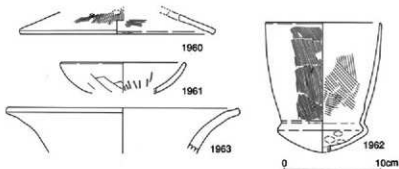


口縁端部を丸く仕上げ、内面にヘラミガキを施す。1962は小型丸底鉢形土器である。口径12cm、器高13.7cmを測る大型のものであり、結晶片岩を含み橙色を呈するが底部内面はにぶい褐色を呈する。偏平な体部から口縁部が大きく内灣しながら立ち上がり口縁端部は尖り気味である。口縁部内面粗いナナメハケのちナデ、口縁部外面細密なタテハケで、底部外面はヘラケズリのちナデである。1963は広口壺形土器である。口縁端部を方形に仕上げ、内外面ヨコナデである。



第207図 SK2045出土遺物実測図

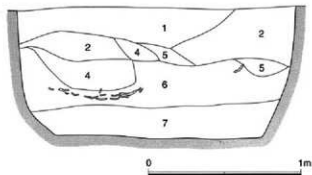
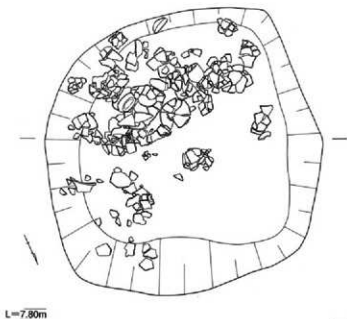
土坑 SK2046 (第208, 図版4-1図)

第9調査区南西端部F70グリッドに位置する平面隅丸方形、断面台形状を呈する土坑であり、長軸1.83m、短軸1.81m、深さ0.86mを測る。埋土は7層に分層でき、第6層から多量の土器を検出している。

出土遺物 (第209図)

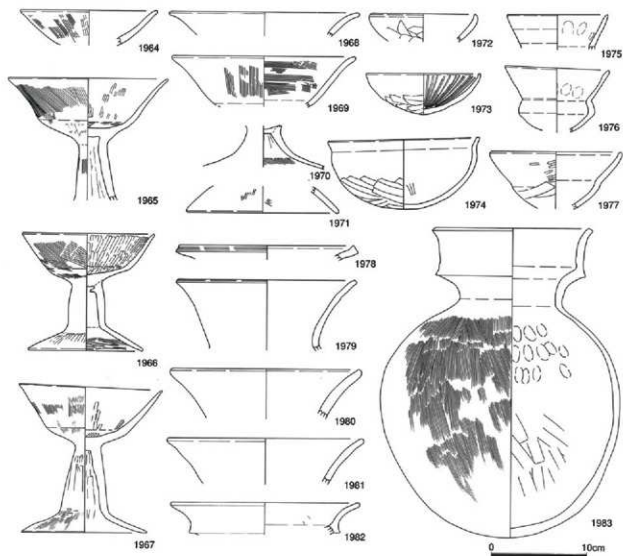
図化し得たものは33点であるが、内訳は高杯形土器25%、鉢形土器19%、壺形土器19%、甕形土器38%である。また完形のもものは高杯形土器2点、鉢形土器2点、二重口縁壺形土器1点、甕形土器2点の計7点を数え高い割合を示している。

1964~1971は高杯形土器である。1964は口縁端部を外反して丸く収め、口縁部外面に粗いタテハケがある。1966は口縁部が屈曲して開き端部を僅かに外反してやや尖り気味に仕上げ、直立する脚柱部から裾部明瞭に屈曲して開き端部を丸く収める。杯部内面タテヘラミガキ、外面ナナメハケ、裾部内面ヨコハケ、外面タテヘラミガキである。1965、1967も同様のタイプであるが、より口縁部が発達し、脚柱部上端の括れが



- | | | | |
|-----------|----------|-------|-------------|
| 1. 黄褐色 | 2.5Y 5/3 | 粘性砂質土 | マンガンを含む |
| 2. 黄褐色 | 2.5Y 5/4 | 粘性砂質土 | マンガンを含む |
| 3. オリーブ黄色 | 5Y 6/3 | 粘性砂質土 | マンガンを含む |
| 4. 灰オリーブ色 | 5Y 5/3 | 粘性砂質土 | マンガンを含む |
| 5. オリーブ色 | 5Y 6/3 | 粘質土 | マンガンを含む |
| 6. 暗灰黄色 | 2.5Y 5/2 | 粘質土 | 炭化物、マンガンを含む |
| 7. 黄灰色 | 2.5Y 5/1 | 粘質土 | マンガンを含む |

第208図 SK2046実測図



第209図 SK2046出土遺物実測図(1)

強い等の特徴がある。1968～1971は胎土が橙色で焼成が甘く、1969は口縁端部を外反させて丸く取め、内面ヨコハケ、外面タテハケである。1970は脚部が明瞭な稜を持たず大きく開く。

1972～1974は鉢形土器である。1972は口縁端部が内側に拡張して端部を方形に仕上げる。1973, 1974は完形である。1973は口縁端部が丸く、内面に放射状のヘラミガキを施す。1974は口縁部が緩やかに屈曲して端部は方形であり、体部外面に縦しわ痕をとどめ、体部内面にナデのちタテヘラミガキが一部認められる。

1975～1977は小型丸底鉢形土器である。1976は体部偏平で強い稜を有し、口縁部僅かに内湾しながら立ち上がり端部はやや尖り気味である。口縁部内面ユビオサエまたはユビナデのちヨコナデで平滑に仕上げ、口縁部外面はヨコナデのちタテヘラミガキが僅かに認められる。1977は肩部が僅かに括れ、口縁部が屈曲して内湾しながら開き端部内側に拡張し丸く取める。体部外面にヘラケズリ痕を残し、口縁部外面はヨコヘラミガキを施す。

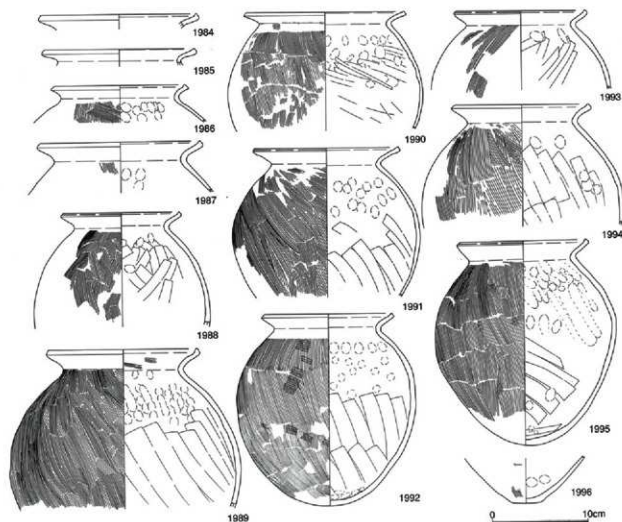
1978～1981は広口壺形土器である。1978は口縁端部を上方に拡張し2条の擬凹線をとどめる。

1979～1981は口縁端部を丸く取め、内外面に強いヨコナデを施す。

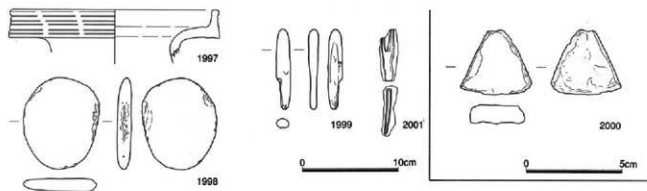
1982, 1983は二重口縁壺形土器である。1983は結晶片岩を含み、球形の体部から頸部と一次口縁が明瞭な境なく緩やかに開き上端部に二次口縁を接合し深く立ち上がり端部を方形に仕上げる。擬口縁下半は露胎し方形に尖るものであるが、接合部を含め口縁部は丁寧なヨコナデが施される。体部内面上半がユビオサエ、下半ヘラケズリ、体部外面細密なタテハケである。完形である。

(第210図)

1984～1995は壺形土器である。いずれも結晶片岩を含み、口縁部「く」の字状に屈曲し端部を摘み上げるもので、体部内面上半ユビオサエ、下半ヘラケズリ、体部外面細密なナナメまたはタテハケを施すものであるが、胎土色、焼成、口縁部の成形等で細分可能である。すなわち1986及び平底の1996は胎土橙色で焼成が甘く器壁が特に薄く、1991は胎土がにぶい黄橙色を呈し焼成硬く器壁も薄い。それら以外はにぶい橙色等を呈し比較的焼成が硬く器壁も厚めである。また1984～1988, 1990～1995は口縁部に丁寧なヨコナデを施し器形が整えられ端面に擬凹線をとどめるも



第210図 SK2046出土遺物実測図(2)



第211図 SX1004出土遺物実測図

のが多いの対し、1989の口縁部はヨコナデが不十分なため指頭圧痕が残るやや歪なものである。1992は口縁端部の積み上げが僅かであり、体部外面に綿密なタテハケを施すが横位のタタキ痕も一部にとどめるものである。

不明遺構

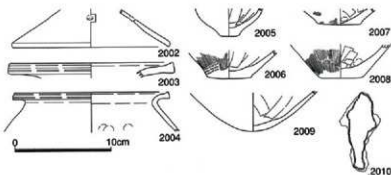
不明遺構 SX1004 (第137図, 図版3-3)

第6調査区中央部E~F-54~55グリッドに位置する大型の性格不明遺構であり、西半分が調査区境界にかかるため全容は不明であるが、長軸3.90m以上、深さ0.93m以上の規模を有し、断面は台形状を呈する。少量の土器及び石器等を検出している。

出土遺物 (第211図)

1997は二重口縁壺形土器である。結晶片岩を含み、直立する頸部から一次口縁が水平に大きく開きさらに二次口縁が直立し端部は方形状であり、5条の擬凹線をとどめる。

1998は片石製の叩石、2000は砂岩製の砥石である。



第212図 SX1005出土遺物実測図

不明遺構 SX1005 (第146図)

第6調査区E~F-55~56グリッドに位置する性格不明遺構である。SD1022, SD1023, SX1004及びSK1077に切られ西側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、深さ0.28mを測り、断面は浅い台形状で底部にややうねりがみられるものの、埋土はほぼ平行堆積であり、少量の土器片を検出している。

出土遺物 (第212図)

2002は高杯形土器である。透かし穴を内面から穿孔し裾端部を方形状に仕上げるが、焼成は甘

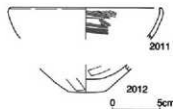
い。2003は広口壺形土器である。口縁端部を上下に拡張し2条の擬凹線をとどめる。2004は甕形土器である。胎土橙色であるが焼成非常に硬く、口縁部「く」の字状に屈曲し端部を摘み上げ2条の擬凹線をとどめる。2005～2009は底部である。2005は突出し座りの悪い平底であり、体部外面に縦しわ痕をとどめる。2006は突出気味の厚い平底であり、体部外面は横位のタタキのちタテハケである。2007は突出気味の薄手の平底であり、底部外面にハケを施す。2008は突出しない厚い平底である。2009はやや尖り気味の丸底であり、外面のハケは丁寧なナデによりほとんど消されている。2010は金属製品である。

不明遺構 SX1007 (第143図)

第9調査区北部 E67～68グリッドに位置し、東側が調査区外にかかるため全容は不明であるが、平面隅丸長方形若しくは隅九方形、断面浅いレンズ状を呈する性格不明遺構である。短軸2.79m以上、深さ0.18mを測り、主軸方位N-81°-Wを示す。埋土は1層であり若干の土器片を検出している。

出土遺物 (第213図)

2011は鉢形土器である。口縁端部を内灣し丸く収め、外面に縦しわ痕をとどめ、内面ヨコハケである。2012は厚手の平底である。



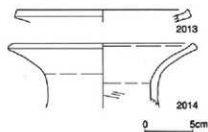
第213図 SX1007出土遺物実測図

不明遺構 SX1008 (第143図)

第9調査区南部 F69グリッドに位置する平面不整形円形若しくは不整形円形を呈する性格不明遺構である。SD1041を切るものであるが、大部分が西側の調査区外にかかるため全容は不明である。若干の土器片を検出している。

出土遺物 (第214図)

2013, 2014は広口壺形土器である。共に結晶片岩を含むもので、口縁端部を上方に拡張するが、2014は胎土橙色を呈し焼成の甘いものである。

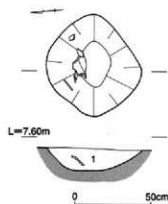


第214図 SX1008出土遺物実測図

小穴・柱穴

小穴 SP2124 (第215図)

第8調査区北部 D61グリッドに位置する、平面隅丸長方形、断面浅い台形状を呈する小穴であり、長軸0.60m、短軸0.55m、深さ0.15mを測る。埋土はマンガンを含むオリーブ色粘質土1層で構成され、少量の土器を検出している。

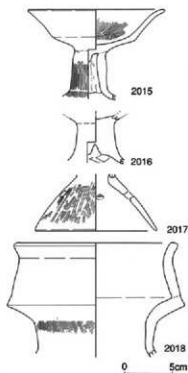


1. オリーブ色 5Y5/4 粘質土
マンガンを含む

第215図 SP2124実測図

出土遺物（第216図）

2015, 2016は高杯形土器である。2015は杯部が屈曲して口縁部が外反し端部を丸く仕上げ、脚部が強く屈曲して開くものであり、脚柱部内の接合部に卵形の粘土塊の挿入が観られる。杯部内面ヘラミガキ、脚柱部外面タテハケを施す。2016は中実の脚柱部であり、脚部内面から三角錐形の孔を掘っている。2017は器台型土器である。裾部僅かに内灣しながら開き端部の一部が外反し尖り気味に仕上げる。外面にタテハケのちタテヘラミガキを施す。2018は二重口縁壺形土器である。直立する頸部から一次口縁が外反し上端部に二次口縁を接合し外反しながら立ち上がり端部を丸く収めるものであり、方形状の掘口縁下半部が露胎し、口径を凌ぐものである。頸部外面に細密なタテハケを施す。

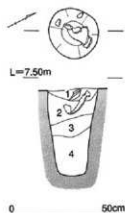


柱穴 SP2136（第217図）

第10調査区 E71グリッドに位置する、平面円形、断面台形を呈する柱穴であり、直径0.26m、深さ0.45mを測る。埋土は4層に分層でき、第1, 2層から土器片を検出している。掘立柱建物 SA2007を構成する SP2128~SP2135と規模、形状、土層等が近似すること及びその平面位置からも SA2007に関連するものと想定できる。

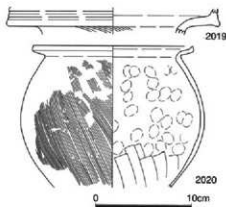
出土遺物（第218図）

2019は二重口縁壺形土器である。橙色を呈し焼成の甘いものであるが口縁端部を上下に拡張し掘凹線をとどめる。頸部内外面にナナメハケを施す。2020は甕形土器である。口縁部「く」の字状に屈曲し端部を摘み上げるものであり、口縁部内外面ヨコナデ、体部内面上位ユビオサエ、下位ヘラケズリ、体部外面ナナメハケである。



1. 暗灰黄色 2.5Y5/2 粘質土
炭化物、鉄分、マンガンを含む
2. 灰色 5Y5/1 粘質土
炭化物、鉄分、マンガンを含む
3. 灰オリーブ色 5Y5/2 粘質土
鉄分、マンガンを含む
4. 黄灰色 2.5Y5/1 粘質土
鉄分、マンガンを含む

第217図 SP2136実測図



第218図 SP2136出土遺物実測図

その他の遺構出土遺物

溝 SD2019（第144図）

第10調査区 F71~72グリッドに位置する南北方向の溝であり、南端は直交する SD2020から分岐し、北端は平面不明瞭である。規模は、最大幅1.05 m、深さ0.17mを測り、

主軸方位はN-12°-Eであり、埋土中から若干の土器片を検出している。

出土遺物 (第219図 2021)

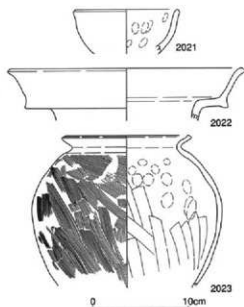
2021は鉢形土器である。結晶片岩を含むもので、口縁端部を外反して丸く取め、器壁厚いが内外面に丁寧なナデを施している。

土坑 SK2036 (第144図)

第9調査区北部 E67グリッドに位置する平面二等辺三角形、断面台形状の土坑であり、長軸1.82m、短軸0.70m、断面0.65mを測る。若干の土器片を検出している。

出土遺物 (第219図 2023)

2023は甕形土器である。結晶片岩を含むもので、口縁部を「く」の字状に屈曲して端部を摘み上げて擬凹線をとどめ、体部下位の器壁は薄い。口縁部内外面ヨコナデ、体部内面上位ユビオサエ、下位ハラケズリ、体部外面細密なハケである。



第219図 各遺構出土遺物実測図

土坑 SK2040 (第144図)

第9調査区北部 F67~68グリッドに位置する土坑であり、西側の大部分が調査区外にかかるため全容は不明であるが、断面は台形状を呈し、長軸1.55m以上、深さ0.82m以上を測る。埋土中から若干の土器片を検出している。

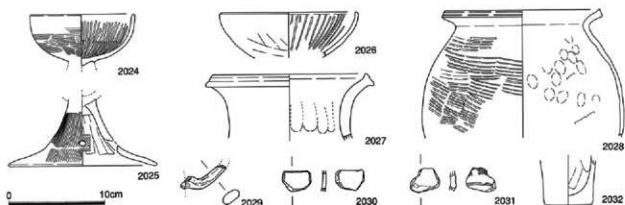
出土遺物 (第219図 2022)

2022は二重口縁壺形土器である。結晶片岩を含み、外傾する頸部から一次口縁が水平に開きその上部に二次口縁を貼り付け端部は外反して丸く取める。垂れ下がった方形の擬口縁下半を露胎している。

(2) 遺構外出土の遺物

以下に、遺構外出土の遺物について説明する。出土地点については観察表を参照されたい。

(第220図) 2024, 2025は高杯形土器である。2024は結晶片岩を含み内面黒褐色、外面橙色を呈し、杯部鉢形で口縁端部を丸く取めるものであり、接合部に粘土が突起している。内面放射状のヘラミガキ、外面ヨコハケであり、内面一円に水銀朱の付着が認められる。2025は脚部が稜を持たずに大きく開き裾端部を方形に仕上げ、内面からの穿孔を有する。外面にタテハケを施す。2026は鉢形土器である。口縁端部が内側に拡張して丸く取め、外面に縦しわ痕をとどめ、内面に放射状のタテヘラミガキを施す。2028は甕形土器である。結晶片岩を含み焼成は甘く橙色を呈する。口縁部を「く」の字状に屈曲し端部を摘み上げ2条の擬凹線をとどめ、口縁部は分厚いが内



第220図 第6～10調査区遺構外出土遺物実測図(1)

外面に丁寧なヨコナデを施し器形が整えられている。体部外面に横位のタタキ、体部内面上位ユビオサエ、下位ハラケズリである。2030は鉢形土器、2031は小型丸底鉢形土器の共に体部であり、ともに内面に水銀朱の付着が認められる。

(第221図) 2033, 2034, 2037は須恵器杯及びび蓋である。2035は須恵器底部、2036は須恵器高杯、2038は須恵器壺である。

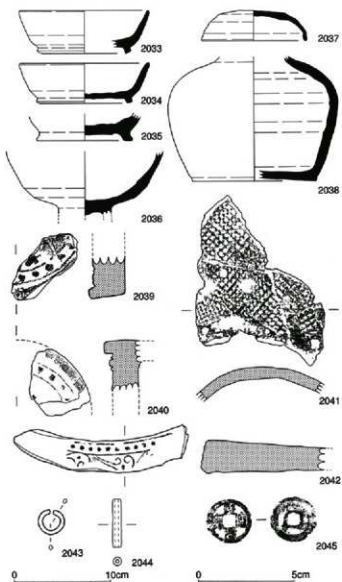
2039, 2040は瓦質の軒丸瓦である。2041は丸瓦である。凸面タタキである。2042は均整唐草文軒平瓦である。凹面・凸面ともに板ナデである。

2043は環状金属製品である。2044は凝灰岩製の管玉である。

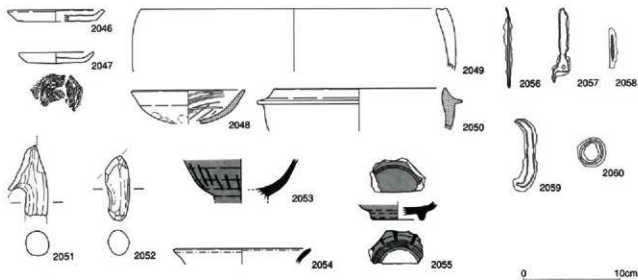
2045は北宋銭である。

(第222図) 2046, 2047は土師質の皿である。底部回転糸切り離しである。2048は瓦器碗である。2049は土師質の鍋、2050は瓦質の羽釜である。2051, 2052は土師質の鍋脚部である。

2053, 2055は龍泉窯系の青磁碗である。共に外面に蓮弁文が観られ、2055



第221図 第6～10調査区遺構外出土遺物実測図(2)



第222図 第6～10調査区遺構外出土遺物実測図(3)

は見込に段差がある。

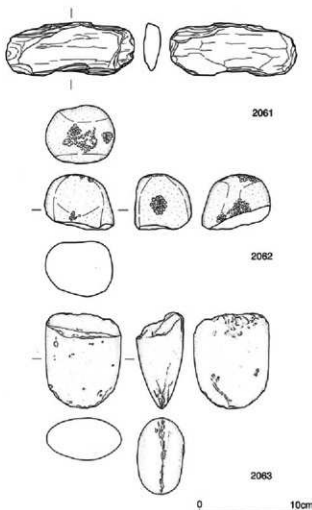
2054は口禿の白磁碗である。

2056～2060は金属製品である。錆の付着が顕著であり、エックス線写真から外形を示した。

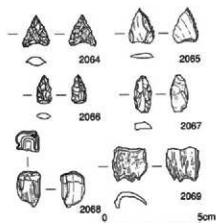
(第223図) 2061は結晶片岩製の石包丁である。2062は叩石、2063は太型蛤刃石斧である。ともに砂岩製である。

(第224図) 2064～2067は石鏃である。2064はチャート製、2065～2067はサヌカイト製である。

2068, 2069は哺乳類の歯か。



第223図 第6～10調査区遺構外出土遺物実測図(4)



第224図 第6～10調査区遺構外出土遺物実測図(5)

(3) 小結

第6調査区～第12調査区は渡内川南岸の微高地に立地し、現地標高8.2～8.3m程度を測るが、そのうち第6調査区～第10調査区北部において、標高7.7～7.8mの第1遺構面と標高7.5m程度の第2遺構面を検出した。2面とも弥生時代終末期から古墳時代初頭に比定でき、時期差は僅かである。遺構密度は比較的高く、多量の土器を検出したが、土器の年代は黒谷川Ⅲ式及びⅣ式段階を中心として、さらに次段階の布留Ⅰ～Ⅱ段階のものがある。¹

検出した遺構のうち、溝は南北方向及び東西方向の方位に規格性を持つものSD1022～SD1024, SD1033～SD1035, SD1037, SD1044, SD2019, SD2020がある。南北方向の溝は、真北より約3～5°西偏し、東西方向の溝もこれにはほぼ直交する。このうち、東西方向のSD1044は溝中央に甕、高杯、鉢等が1列に置かれている。南北方向のSD1037においてもSD1044と同様に甕、鉢が横向きに並べられている。祭祀的性格の強い遺構は土坑にもみられ、SK1083, SK2044は出土遺物のうち高杯の占める割合が他の遺構を大幅に上回り、しかも内面に水銀朱の付着した遺物を含むという特徴を有する。またSK1083出土の高杯1797は完形であり、杯部内外面に朱が塗られている。以上のことより、第6調査区から第10調査区北部が、明確な住居遺構こそ検出されなかったものの、該期の集落として繁栄したことは明らかである。

出土土器はそのほとんどが在地産のものであるが、僅かながら搬入品には次のようなものがある。SK2044出土の甕1957は布留Ⅰ～Ⅰ式のものであるが、体部内面をケズリ、極めて薄く仕上げ、肩部外面に列点4を付している。内面灰白色、外面にぶい橙色を呈し、結晶片岩を有せず、多量の角閃石と石英、雲母を有し、生産地として大阪湾沿岸を想定できる。同様にSK2041出土の甕1896も類似した胎土であり、ほぼ同時期のものと捉えられる。一方SK1083出土の高杯は胎土橙色を呈し、角閃石を含み結晶片岩を含まないことから、讃岐産と想定できる。底部1550も同様の胎土を有する。

赤く彩色された土器、石器のうち、蛍光エックス線分析により水銀朱と判明したものは次のものがある。まず第7調査区のSK2033は、遺構の掘り込みにより遺物の年代にばらつきがあり、詳細な出土状況等は不明であるが、先端部に朱の付着した石杵17851点と内面に朱の付着した鉢1755及び小型丸底鉢1756がある。他には先述した第9調査区SK1083の高杯1797、同じくSK2044の体部片1931～1934がある。このうちSK2044は黒谷川Ⅳ式段階に比定できる。徳島の弥生時代終末期から古墳時代初頭の辰砂生産遺跡としては、阿南市若杉山遺跡が確認されており²、本遺跡周辺の矢野遺跡³、名東遺跡⁴をはじめ県内各地で朱の付着した土器、石器が出土しているが⁵、本遺跡も弥生時代終末期から古墳時代初頭の水銀朱消費遺跡であることが確認できた。

¹ 大西浩正1990『黒谷川郡頭遺跡Ⅴ』徳島県教育委員会

² 各遺構の出土遺物からの遺構の年代区分をⅣ-1章考察1で示しており参照されたい。

³ 岡山真知子1997『辰砂生産遺跡の調査-徳島県阿南市若杉山-』徳島県立博物館

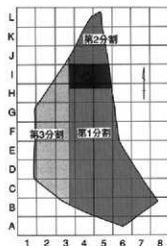
- 4 徳島県埋蔵文化財センター1998『年報 Vol. 9 1997年度』
 5 氏家敏之他1995『名東遺跡』徳島県埋蔵文化財センター
 6 岡山真知子1998「辰砂の採掘・精製—徳島県若杉山遺跡—」『月刊文化財421号 特集 採掘と製・精練の考古学』

5 第13調査区

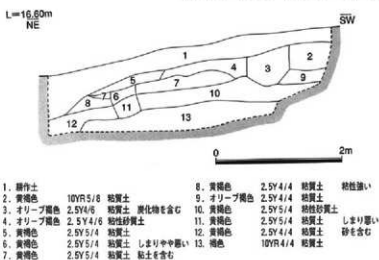
本調査区は、四国山地北東端部に位置する^{ヒノヤヒ}前山中央北端部の尾根部分にあたる標高15~20mを測る丘陵地帯約1200㎡である。(第2図)第12調査区との間200mはグライ層いわゆる深田であり、近年埋立てられている。1993年の試掘調査の結果、遺構は存在しないことが確認されている。

本調査区は、第1~12調査区とは異なる、正方位のグリッドを設定した。すなわち調査区内に存在する県道石井神山線工事用の中心杭No37を通る南北線を基準に、1グリッド5mのメッシュを設定し、南西隅から東方向に1, 2, 3…、北方向にA, B, C…の順に番号, 記号を付け、その組み合わせで各グリッドを表す。(第225図)調査区は山の突端部の斜面に位置しているため、総じて南西部から北東部に向かって傾斜している。(第226, 227図)

西側部分は、傾斜が緩く平坦に近い高台に位置しているのに対し、南東部は斜度12°の斜面に立地し、その下の北東部もそれよりもやや緩い斜面に立地している。調査区内のレベル差により、エリアごとの土地利用が異なり、遺構配置にそれぞれの特徴がある。したがって、調査区を3分割し、すなわち南東部を第1分割、北部を第2分割、西部を第3分割として別々に調査を行った。なお、第1分割と第2分割はそのレベル差により、平面で一部重複する。(第225図)また遺構番号については第12調査区に続けて付した。



第225図 第13調査区グリッド配置図



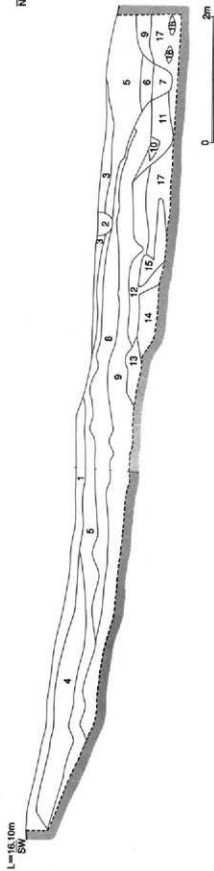
第226図 南東壁土層図

第1分割、西部を第3分割として別々に調査を行った。なお、第1分割と第2分割はそのレベル差により、平面で一部重複する。(第225図)また遺構番号については第12調査区に続けて付した。

(1) 第1分割出土の遺構と遺物

第1分割の遺構配置図を第228図, 第229図に示す。

NE

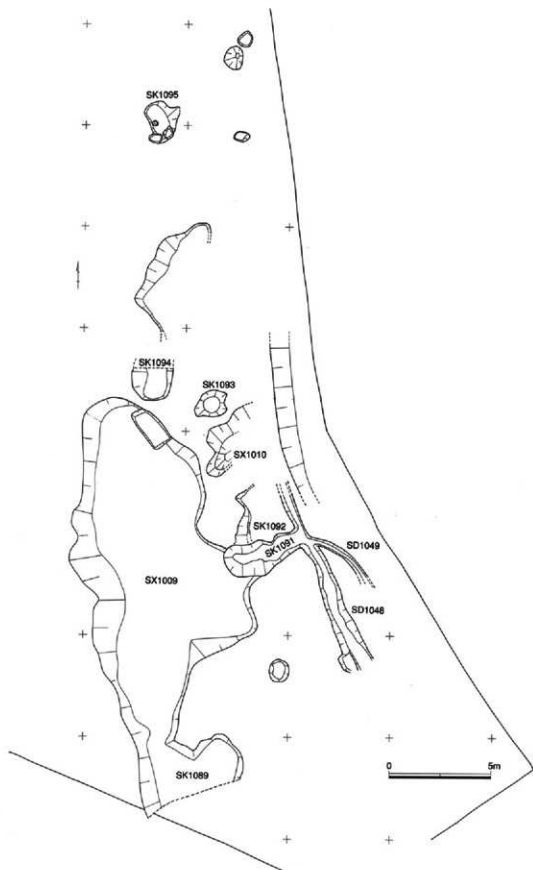


1. にぶい青褐色 10YR 5/4 砂性粘質土
 2. オリーブ褐色 2.5Y 4/6 砂性粘質土
 3. 黄褐色 2.5Y 5/2 砂性粘質土
 4. 黄褐色 2.5Y 5/6 粘質土
 5. 黄褐色 5Y 5/3 砂性粘質土
 を含む

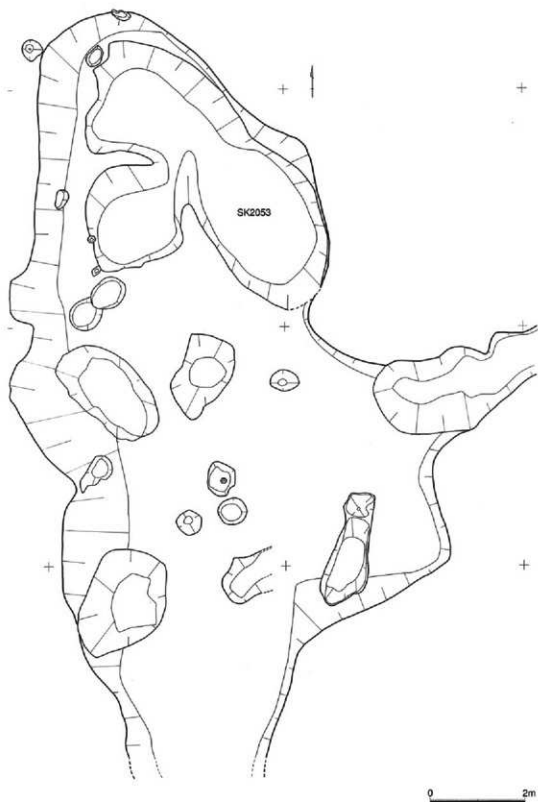
6. 黄褐色 10YR 5/6 砂性粘質土
 7. 黄褐色 2.5Y 5/3 粘性砂質土
 8. にぶい青褐色 10YR 5/4 粘質土
 9. 黄褐色 10YR 6/3 粘質土を含む
 10. オリーブ褐色 5YR 7/4 粘質土
 11. オリーブ褐色 5Y 5/6 粘性砂質土

12. オリーブ褐色 2.5YR 4/6 砂性粘質土
 13. オリーブ褐色 5Y 6/4 粘質土
 14. にぶい黄色 5Y 6/3 砂性粘質土
 15. 黄褐色 2.5Y 5/4 砂性粘質土
 16. オリーブ褐色 5Y 5/3 粘質土
 17. オリーブ褐色 5Y 6/4 粘質土
 鉄分も多量を含む

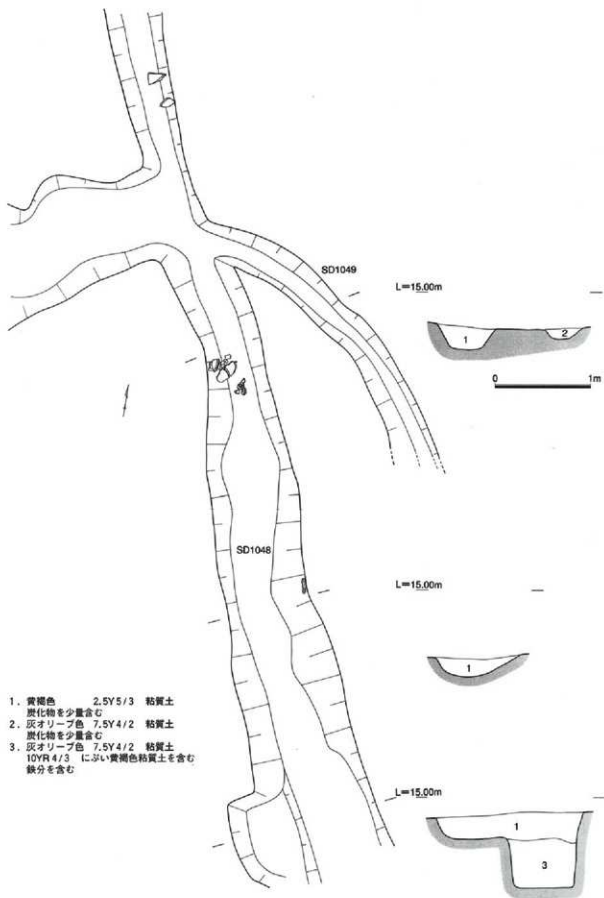
第227図 北西壁土層図



第228図 第13調査区 第1分割第1遺構面 遺構配置図



第229図 第13調査区 第1分割第2遺構面 遺構配置図



第230図 SD1048, SD1049実測図

溝 SD1048 (第230図)

第1分割東側を南北に延びる溝であり、中央部においてSD1049と交差する。両端は攪乱により切られており全容は不明であるが、中心軸の方向はN-25°-W、検出長9.24m、幅0.41~1.1mであり、南部の方が北部に比べ拡幅している。深さは0.18~0.79mを測り、主に台形状の断面形状を呈している。底面の標高は南部14.06m、北部14.41mである。埋土は炭化物を少量含み、古代までの土師器、須恵器に混じり、近世後半以降のまとまった量の陶磁器、土器類を検出した。

出土遺物 (第231図)

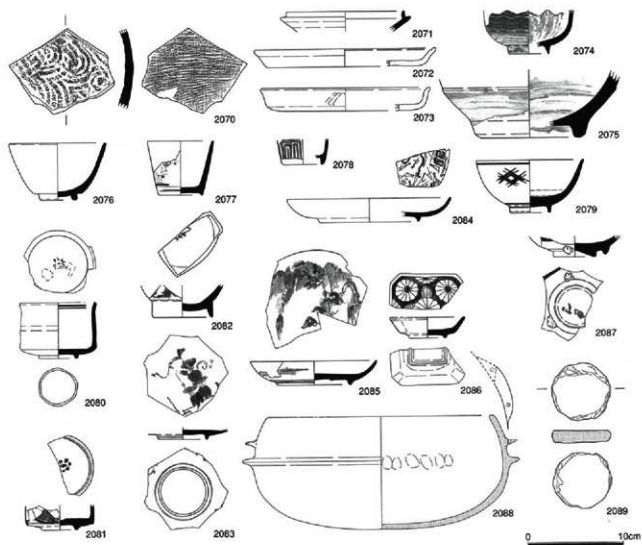
2070~2073は古代までの遺物である。

2070は須恵器体部である。内面には同心円状の当て具の痕跡が、外面には格子状のタタキの痕跡が残る自然軸が掛かっている。2071は須恵器杯身である。受部が短く水平方向に伸び、調整は内外面とも回転ヨコナデである。2072は土師器皿である。回転台成形であり、口縁部は短く直線的に立ち上がり、端部は外反し丸くおさめており、内面には明瞭な沈線を廻らせている。底部は回転糸切り離し後、丁寧なナデを施している。底部外面には赤色塗布の痕跡が認められる。2073は土師器杯である。回転台成形であり、口縁部は短く直立し、端部は外反し丸くおさめており、内面に非常に細く鋭い沈線を廻らせている。外面には板ナデ痕があり、底部は回転ヘラ切り離し後、丁寧なナデ調整をおこなっている。

2074~2089は近世以降の遺物である。

2074は肥前系の陶器碗である。白泥を内面に流し掛けし、外面には刷毛目装飾した後、鉄釉を全面に掛けている。畳付には焼成時の砂が付着している。2075は肥前系の陶器鉢である。高台畳付外側を面取りしている。体部外面に白泥を塗布した後、鉄釉を掛けており、高台内を含むその他の部分には荒く鉄錆釉を塗布している。見込には砂目跡がある。2076は信楽系の小杉碗である。高台際の水平方向の削りが深く、また畳付の外側を面取りしている。文様部分は遺存していないが、高台以外の全面に灰釉を施している。2078は染付神酒徳利である。畳付外側を面取りし、外面には酸化コバルト使用による型紙摺りを施しており、型紙の繋ぎ部分が観られる。内面は無釉である。1880年代以降の生産と考えられる。¹

2077, 2079~2085, 2087は肥前系の染付である。2077は蕎麦猪口である。腰輪高台を呈し、畳付のみ無釉であり、畳付内側には大量の白砂が付着している。2079は碗である。見込は蛇ノ目軸剥ぎしているが、その径が高台径よりも大きく、軸剥ぎ部分の境界付近に細かい白砂が付着している。井桁文を描いている。口縁端部がやや磨耗し、破損部には漆継ぎ痕があり、外面高台脇には錆が2次的に付着している。2080, 2081は半筒型の碗である。2080は貼付けの輪高台の形が歪であり、胴部外面に凹線を廻らせている。畳付のみ無釉である。外面には鉄釉を掛け、見込には圏線内に崩れた「寿」字を描いているがその付近に熔着痕がある。2081は見込中央に凹みがあり、畳付のみ無釉である。見込は手描きの梅花文が、外面には菊花文が描かれている。2082は広東碗である。畳付のみ無釉で、畳付の一部に砂が付着している。見込圏線内に「寿」崩し字を染付けている。2083~2085は皿である。2083は高台内にハリ支え痕が1ヶ所認められる。見込には朝顔文、



第231図 SD1048出土遺物実測図

外面には高台際に2条の圓線と唐草文を染付けている。やや焼成不良気味である。2084は見込にハリ支え跡がある。疊付のみ無軸であり、内面に「福」字、松葉、宝文を描いている。2085は高台高の高い蛇ノ目凹型高台であり、内外面に山水文を、高台際に3条の圓線を染付けている。2087は香炉である。内反りの削り出し高台を持ち、脇には3足を貼付け、その部分に強い稜がある。高台と内面は無軸であり、見込は細かい砂が付着し、高台内には墨書があるが、判読不明である。

2086は瀬戸美濃系の型押皿である。内面に菊花文を型押し装飾した後染付け、疊付のみ無軸である。

2088は瓦質の羽釜である。鋳部以下を成形した後、その上部に口縁部を貼付け、内面には強い指オサエ痕が残っている。鋳の上2方向に取手状に粘土を貼付け2連の穿孔がある。底部外面には炭化物の付着が顕著である。2089は瓦質の加工円盤である。平瓦を円盤状に打ち抜き、側面を研磨している。

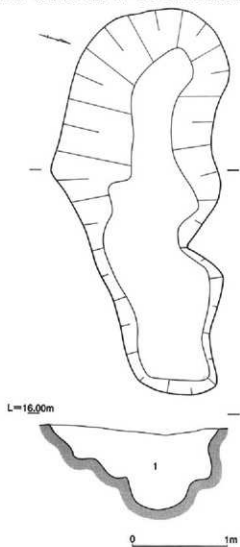
近世以降の遺物は年代幅が広いが、その中で18世紀末から19世紀のものが大半を占めている。

土坑 SK1091 (第232図)

第1分割東側中央部に位置する、東西に長い平面不定形の土坑である。西端はSX1009の一部を切り、東端はSD1091に合流し、越えた先にはSD1049が南東方向に延びている。長軸3.96m、短軸1.78m、深さ0.78mを測り、断面の形状は船底形を呈する。礫を含む砂性粘質土1層からなり、古代の土師器、須恵器、瓦片を検出したが、近世の陶磁器類も混在している。したがって19世紀前半以後の構築であり、SX1009、SD1049とは同時期のものであることから、これらに伴うものと考えられる。

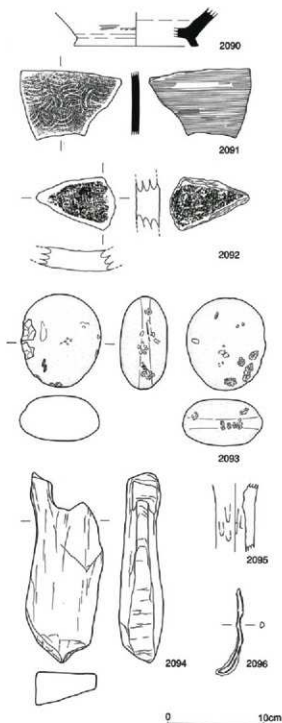
出土遺物 (第233図)

2090は須恵器壺である。回転成形であり、内面ヨコナデ、外面ケズリのちヨコナデ調整である。疊付部に焙着痕が観られる。2091は須恵器体部で



1. 褐色10YR4/6 砂性粘質土 レキを含む

第232図 SK1091実測図



第233図 SK1091出土遺物実測図

ある。内面は同心円文タタキ、外面はタタキのちヨコハケ調整を施している。外面に自然釉が掛かっている。

2092は土師質の平瓦である。凹面には布目痕、凸面には縄帯文タタキ痕がある。

2093は叩石である。砂岩であるが、全体に磨耗が激しい。2094は石製品である。直径3cmほどの穿孔を有する。2095は土師器である。結晶片岩を含み、円筒状である。内外面ともに赤色(10R5/6)を呈する。2096は金属製品である。

ここでは図示していないが、近世の遺物としては肥前系の外面に菊花文を型打した白磁の紅皿が出土している。

土坑 SK1093 (第234図)

第1分割中央部東側に位置し、長軸2.26m、短軸1.52m、深さ0.38mを測り、平面不整形円形、断面レンズ形を呈する。検出できなかったが、西部で小穴が切り込んでいるものと考えられる。覆土は第1、2層の黄褐色粘質土と第3層のオリーブ褐色粘質土とからなるが、第1、3層には多量の礫を含み、第3層から古代の須恵器、土師器等を出土した。この中には古墳時代初頭と考えられる土器も少量含まれる。

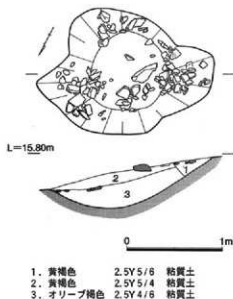
出土遺物 (第235図)

2097は壺型土器である。結晶片岩を含み、口縁端部は面をなし上方に拡張している。内外面ともに剥離激しいがナデ調整とみられる。

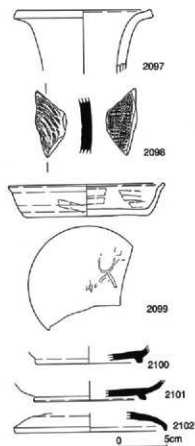
2098は須恵器体部である。内面は同心円文タタキ、外面は格子状タタキを施している。

2099は土師器杯である。回転台成形であり、口縁部を外側に屈曲させ端部は丸くおさめ、内側に沈線を廻らしている。内外面に板ナデ調整を施し、底部は丁寧なナデにより切り離し痕が認められない。内面に赤色塗布の痕跡が認められ、底部外面には線刻画か。

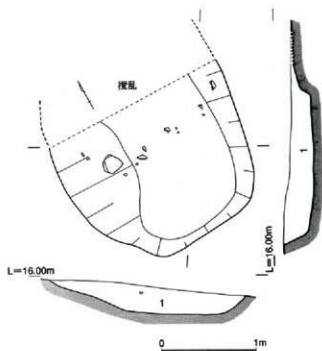
2100、2101は須恵器杯である。共に回転台成形であり、2100は底部回転ヘラ切り離し痕があり、高台を貼付けているが、調整不十分のため歪な形状である。2101は底部に強い板ナデが施され、切り離し痕が認められない。「八」の字状に高台を貼付けたのち、丁寧に回転ナデを施し、特に内側を強くナデ段差状に仕上げている。



第234図 SK1093実測図



第235図 SK1093出土遺物実測図



1. 黄褐色 2.5Y5/6 粘質土
第236図 SK1094実測図

2102は須恵器杯蓋である。回転台成形であり、内外面ともにヨコナデ調整であり、口縁端部は三角形である。

土坑 SK1094 (第236図)

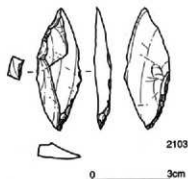
第1分割中央部 SX1009の北側に面し、北半分を攪乱に切られているが、断面は台形状で、深さ0.28mを測る。覆土は黄褐色の粘質土1層であり、古代の土師器、須恵器が中心であるが、加えて旧石器時代のナイフ型石器、古墳時代初頭の土器も含んでいる。

出土遺物 (第237図)

2103はサヌカイト製のナイフ型石器である。国府型ナイフ型石器に比定される。

2104は壺形土器である。結晶片岩を含む胎土であり、丸底で最大径部を体部高60%部分に持ち、体部は球形に近い倒卵形を呈している。口縁部は短く「く」

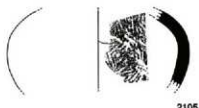
の字状に屈曲し、端部は平坦であり上方に積み上げている。また肩部に1ヶ所穿孔している。調整は内面口縁部がヨコナデ、体部上半が指オサエのちハケのちナデ、下半がヘラケズリであり、外面口縁部がヨコナデ、体部がハケである。黒谷川IV式以降の所謂東阿波型土器である。



2103



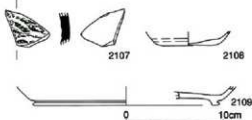
2104



2105



2106



第237図 SK1094出土遺物実測図

2105は須恵器壺である。内面に同心円文タタキ、外面にタタキのちナデ調整を施している。

2106, 2107は須恵器体部である。2106は内面に同心円文タタキ、外面に綿密な横方向のハケ調整を施している。2107は内面が同心円文タタキ、外面がタタキのち幅広いハケ調整である。

2108は土師器小皿である。内外面とも回転ナデであり、底部に回転ヘラ切り離し痕がある。

2109は土師器皿である。回転台成形であり、底部は回転ヘラ切り離しのちナデ調整を施している。高台を貼付け、壘付部を外側に拡張させている。

不明遺構 SX1009 (第238図)

第1分割の南側に広がる南北に長い平面不定形の浅い巨大な遺構である。最深部で0.50mを測り、調査区の地形に沿う形で南西方向から北東方向に緩く傾斜しており、断面は台形状である。中央部東端をSD1049が切っており、北端部に平面長方形、断面台形の土坑EK1001が遺構内に掘られている。また南側は土坑SK1089と連結している。覆土は主に東側部分が炭化物を含むオリーブ褐色の粘質土、西北側部分が多量の礫を含む明褐色の粘質土、南側が炭化物を含む褐色の粘質土が広がっている。遺物は万遍なく全面から多量に出土しているが、古墳時代初頭、奈良・平安時代、近世以降の3期のものが混在している。

出土遺物 (第239図)

2110～2128は古代までの遺物である。

2110～2112は胎土中に結晶片岩を含有する。2110は広口壺形土器である。口縁端部を下方に拡張する。2111, 2112はドーナツ底を呈する底部である。2111は外面に炭化物が付着する。

2113は須恵器体部である。内面同心円文タタキ、外面格子状タタキのちハケである。2114は須恵器壺である。体部内面同心円文タタキのちヨコナデ、体部外面格子状タタキである。2115～2117は須恵器蓋である。2115は口縁端部が屈曲し、2116, 2117は宝珠型の摘みを貼り付ける。

2118～2120は土師器碗である。底部回転ヘラ切りのちナデであり、2119は内外面を赤色塗彩する。

2121は土師器皿、2122は土師器杯である。共に底部回転ヘラ切り痕をとどめる。

2123～2127は黒色土器A類碗である。いずれも内面を黒色処理しヘラミガキを施す。

2128は土師器壺である。

2129～2133は土師器壺である。2130, 2132, 2133は体部外面にハケを施す。

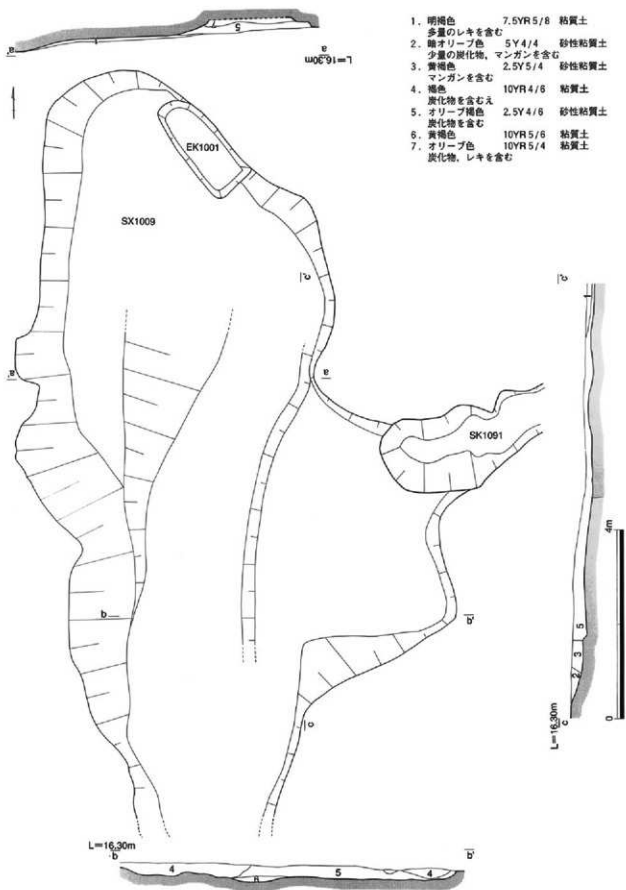
2135は須恵器杯である。

2136は砂岩製の播石、2137は砂岩製の叩石、2138は片岩製である。

2139～2182は近世の遺物である。

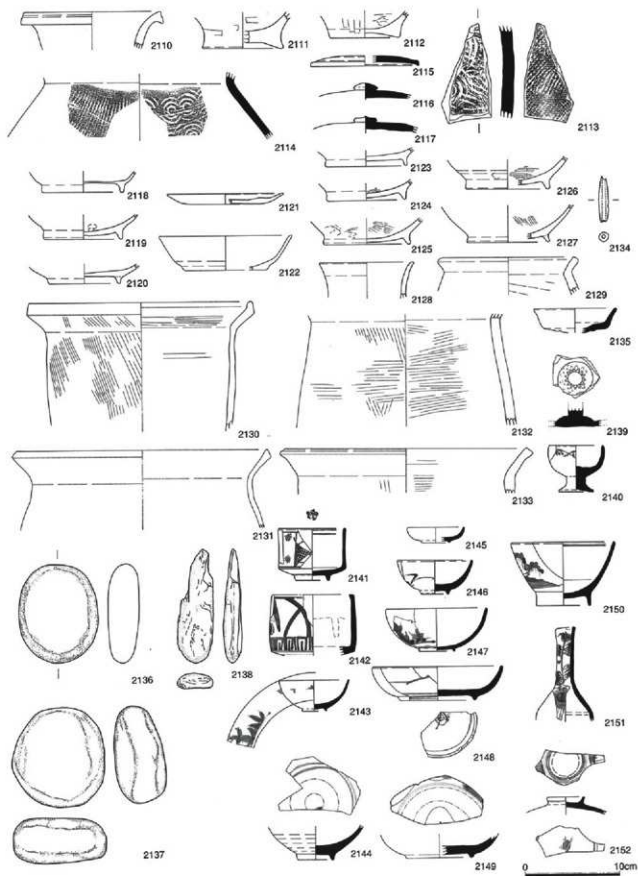
2139は瓦質の蓋である。型押で作った菊花文の摘みを貼り付けている。

2140～2152は肥前系の染付である。2140は仏飯器である。台底輪高台で無軸であり、外面に笹文を描いている。2141は筒型碗である。見込の五弁花は手描きであり、外面には菊花文、高台際には圏線を廻らせている。焼成不良気味である。2142は火入である。内面無軸であり、見込には白砂が付着し、口縁端部に顕著な敲打痕が観られる。2143, 2144, 2146, 2147, 2150は小坏, 碗

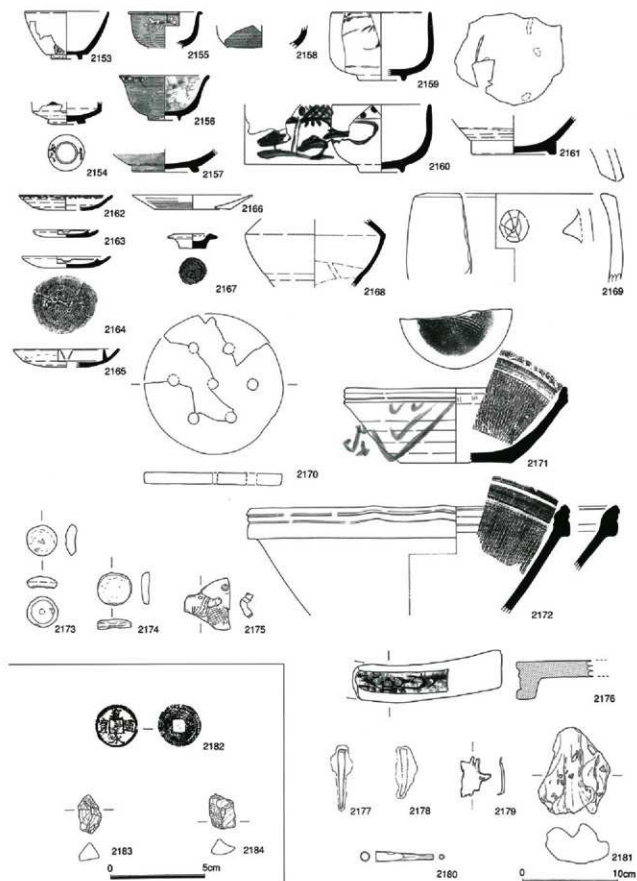


1. 明褐色 7.5YR 5/8 粘質土
多量のレキを含む
2. 暗オリーブ色 5Y 4/4 砂性粘質土
少量の炭化物, マンガンを含む
3. 黄褐色 2.5Y 5/4 砂性粘質土
マンガンを含む
4. 褐色 10YR 4/6 粘質土
炭化物を含む
5. オリーブ褐色 2.5Y 4/6 砂性粘質土
炭化物を含む
6. 黄褐色 10YR 5/6 粘質土
7. オリーブ色 10YR 5/4 粘質土
炭化物, レキを含む

第238図 SX1009実測図



第239图 SX1009出土遺物実測図(1)



第240图 SX1009出土遺物実測図(2)

である。2143は疊付のみ無軸であり、外面に若松文と双鳥文を描いている。2144は内面に見込文様と2条の圈線を染付け、外面には青磁軸を掛けている。疊付のみ無軸でありその部分に砂が付着している。見込を幅広く蛇ノ目軸剥ぎし、疊付部分と同じ砂が付着している。高台内には円刻が覗かれる。2146は疊付のみ無軸であり砂が付着している。口縁端部が僅かに磨耗している。2147は疊付のみ無軸であり、外面に若松文、高台脇に渦繁文を描いている。2150は広東碗である。疊付のみ無軸であり砂が付着している。見込圏線内に崩れた「寿」字、外面に山水文を染付けている。2145は紅皿である。2148, 2149は皿である。2148は疊付のみ無軸であり、見込には荷葉印判による五弁花を、高台内圏線内には「渦福」銘を染付けている。2149は見込を蛇ノ目軸剥ぎし、疊付無軸である。2151は徳利である。草花文を外面に描いている。2152は撥高台の碗に伴う蓋である。疊付のみ無軸であり、見込には二重圏線内に山水文を染付けている。

(第240図) 2153は信楽系の小杉碗である。高台際を水平に深く削り、疊付外側を面取りしている。灰軸を高台以外に施軸し、外面には鉄絵の若松文を描いている。2154は京信楽系の灰軸陶器碗である。幅広い高台であり、高台以外に施軸し、外面に鉄絵が覗かれる。疊付に墨書があるが判読できない。2155, 2156は京信楽系の陶器碗である。2155は灰軸を内外面に施軸し、外面に白泥イッチン掛けと鉄絵で梅折枝文を描いている。2156は内面に白泥を、外面に鉄軸を掛け白泥のイッチン掛けと鉄絵で梅折枝文を描き、疊付以外の全面に透明軸を施軸している。

2157～2161は瀬戸美濃系の陶器である。2157は鉢類である。内面に灰軸を、外面全体に鉄軸を掛けており、疊付に4ヶ所の目跡がある。2158は美濃焼の陶器碗である。内面には緑軸を、外面には鉄軸の条線を廻らせ灰軸を掛けている。2159, 2160は陶胎染付碗である。胎土は磁器質に近く、呉須絵が施されている。疊付のみ無軸である。2161は片口である。高台以外に灰軸を掛けており、見込には3ヶ所の目跡がある。

2162～2165は備前焼の灯明皿である。仕切、焼成、塗土、底部の調整、灯芯油痕から比較すると次のようになる。2163～2165には仕切及びそれに掘られた溝を有するが仕切の高さに特徴がある。2163は口縁部よりも僅かに低い仕切を持ち、ヘラによる3ヶ所の溝が切られている。2165は口縁端部と同位の仕切を持ち、全容は不明であるが溝が切られている。また仕切先端と底部とに輪状の積重ね痕が廻っている。2164は口縁部よりもかなり低い仕切を持ち、2163同様の3ヶ所の溝を刻んでいる。次に焼成の面から比較すると、2162～2164は胎土色が赤褐色の焼成は甘目であるのに対し、2165は褐灰色の磁器質である。また、2162, 2163は塗土を内面のみに施しているが、2164, 2165は内外面に施している。しかも2165は内面が綿密に塗布されているのに対し、外面は薄く疎であるという特徴がある。また2164は内外面とも均質に塗布している。底部の調整においては、2164は左回転糸切り離し痕のみが明瞭に認められ、2162も回転糸切り離し痕が覗かれる。それに対し、2163は回転糸切り離し後、同心円の回転ケズリ調整を施しており、2165には緻密な同心円回転ケズリが施され、切り離し痕は全く観察できない。灯芯油痕の付着状況は、2162は口縁端部内外を全周する形で非常に密であるが、2164は疎な付着であり、2163, 2165は全く付着していない。なお、2163は完形で遺存していた。

2166は土師質の皿である。外面は、底部と口縁部の境界に明瞭な稜を持ち、底部は同心円状のケズリ痕が顕著である。内面に透明釉を施し、外面全体に煤の付着が顕著であり、底部と口縁部下位にはタール状の炭化物の付着も認められる。

2167, 2168は陶器大谷焼である。2167は蓋である。底部に左回転の糸切り離し痕がある。上面には鉄釉が掛けられ、下面は無釉であり、折縁部下面には積重ね痕が輪状に廻らされている。2168は徳利「口長」である。³肩部分が強く折れ、高台際に凹線があり、外面には鉄釉が掛けられている。

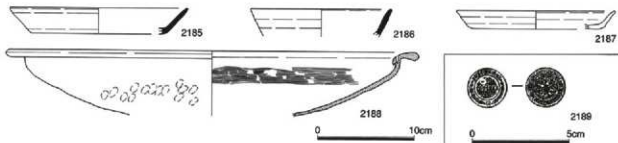
2169は土師質の焼炉である。円形の外型成形であり、口縁部から窓が切り込まれ、火口が前方に張り出しており、口縁部内面には受けが貼り付けられている。内面口縁部には煤の付着が顕著である。2170は七厘の部品「さな」である。円盤状であり、7穴穿孔している。

2171, 2172は堺明石系の播鉢である。2171は、色調は赤色を呈する。口縁部内側の凸帯は低く段差状になっており、また強く口縁帯が張出している。外面はケズリ調整であり、櫛目は見込みが不定形、口縁部が8本1単位に細密に施されている。櫛目の始点が底部にかかっておらず、また口縁部の強いナデにより櫛目終点が揃えられている。口縁端部が著しく磨耗しており、外面には墨書があるが判読できない。⁴2172は色調がにぶい赤褐色を呈する。口縁部内側に段差があり、外面は口縁帯が強く張出している。櫛目は8本1単位の密集したものであり、口縁部の2段の強いナデ消しにより先端は揃えられている。2171は白神典之氏の分類Ⅱ型式2段階⁵、及び稲原昭嘉氏の分類C2b類⁶に比定される。同じく2172は白神氏のⅡ型式に比定される。

2173, 2174は土師質の加工円盤である。蓋と思われる中心部を円形に打抜き再加工している。2174には側面に1条の凹線が廻らされている。2175は土師質の土人形である。型押し成形であり、前後を貼り合わせて製作したと考えられる。空気穴が穿孔され、赤、黒、黄、肌色の彩色が施されている。2176は均整唐草文軒平瓦である。

2178, 2179は金属製品の釘である。2179, 2180は銅製品である。2179は飾り金具状のものである。2180は煙管吸口であり、補強帯がなく、古泉 弘氏の分類では第Ⅳ段階以降に比定されるものである。⁸

2181は焼土塊である。強く指を押し付けた2条の凹線がある。2182は寛永通宝である。裏面が無印であることと、文字の形態から「新寛永」である。2183, 2184は火打石である。グレーみの緑系統を呈するチャート質である。火打石は近世から近代まで阿波の特産物の一つであり、主産



第241図 SK1092, SK1095, SX1010出土遺物実測図

地是那賀川中流西岸の阿南市加茂谷町大田井で
以上、近世の遺物は19世紀前半以降のものか

土坑 SK1092 (第228図)

第1分割東側中央部に位置し、攪乱に切られるため西側の落ち込みの一部のみの検出であるが、深さ0.40mを測り、断面台形である。土質は砂性粘質土からなる。

出土遺物 (第241図2185, 2186)

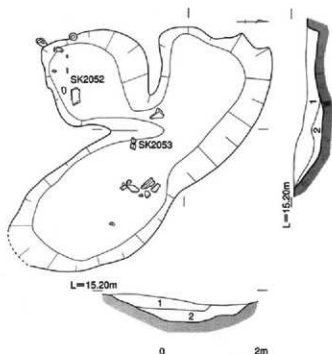
2185, 2186は須恵器杯である。口縁部内外とも回転ナデ成形である。

土坑 SK1095 (第228図)

第1分割北部に位置し、長軸2.12m, 短軸1.64m, 深さ0.12mを測る平面不定形、断面レンズ形であり、3基の柱穴に切られている。上層は10cm程の礫が詰まっているが、下層にいくほど細かくなり底部では殆ど5, 6cmの礫が詰まっている状態である。

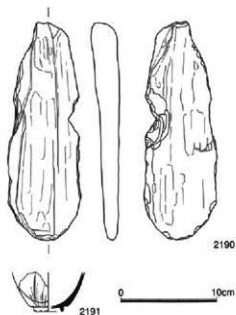
出土遺物 (第241図2187, 2188)

2187は土師器皿である。橙色を呈し、結

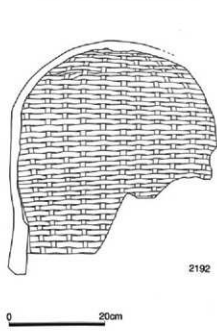


1. 黄褐色 2.5Y 5/4 砂性粘質土 炭化物、マンガンを含む
2. 黄褐色 10YR 5/8 7.5YG 5/1 緑灰色粘土を含む
マンガンを含む

第242図 SK2053実測図



第243図 SK2053出土遺物実測図



晶片岩を含む胎土である。回転台成形であり、口縁部反し、端部は尖り気味である。2188は近世の瓦質の折縁型焙烙である。内型成形であり、口縁部内側の2方向に粘土を貼付け2穴を上から下へ斜めに穿孔している。内面の調整は口縁部がヨコナデ、体部がヨコハケであり、外面は口縁部がヨコナデ、底部が指オサエのちナデである。

不明遺構 SX1010 (第228図)

第1分割東側中央部に位置し、西側部のみを検出できたが、攪乱に切られ全容は不明である。深さ0.20mを測り、断面台形であり、埋土は粘性砂質土1層である。

出土遺物 (第241図, 図版8)

2189はSK1095から出土した銭貨1コペイカである。1コペイカはロシアロマノフ王朝期である1916年が初鋳年である。2213は鉄屑17点である。円盤状のもの(8.5×6.0×0.3cm)と棒状のもの(径0.3~2.0cm, 長さ1.0~10.5cm)の2種類がある。

土坑 SK2053 (第242図)

SX1009北東部分下面に位置し、南西側でSK2052と接している。長軸6.80m, 短軸2.70m, 深さ0.58mを測り、平面は不定形, 断面はレンズ形である。覆土は炭化物, マンガンを含む黄褐色の砂性粘質土とマンガンを含む粘質土の2層からなるが、遺物は19世紀の陶器等、江戸末期に比定されるものを少量出土した。その他、松毬、竹、葉等の植物類を多数検出した。

出土遺物 (第243図)

2190は石楯である。2191は信楽系の小杉碗である。高台外縁を水平に削り、畳付外側を面取りしている。高台以外に灰軸を施し、外面に鉄絵で杉文を描いている。2192は竹製品の箕(てみ)である。その他図示していないものには、近世以降の平瓦等がある。

自然遺物としては、松毬7点2214, 竹2点2215(以上図版8), イタドリ10点の他、枝11点、葉14点、実2点を検出した。

(2) 第2分割出土の遺構と遺物

第2分割の遺構配置図を第244図に示す。

土坑 SK1110 (第245図)

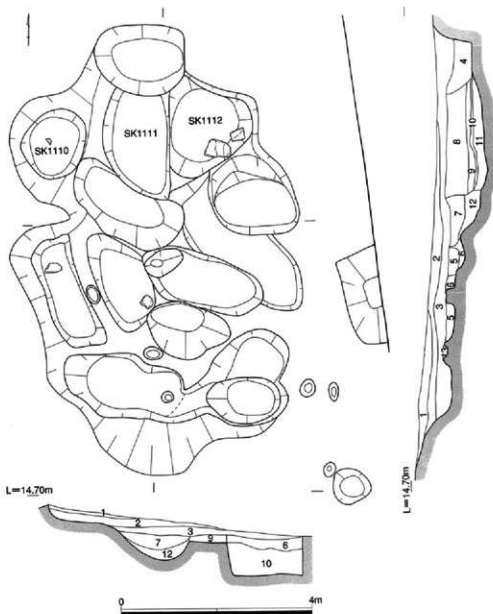
第2分割の密集土坑群中の北西部に位置する1基である。長軸1.48m, 短軸1.24m, 深さ0.33mを測り、平面楕円形, 断面台形である。覆土は鉄分を含むオリブ灰色の粘質土と緑灰色シルトの2層からなるが、第1層上端の中心部付近において、完形の高台付土師器碗を、口縁部を南西方向に向けて寝かした状態で検出した。遺物は平安時代の碗この1点のみである。

第2分割はこの土坑をはじめ、長軸1.8m, 短軸1m前後の平面楕円形, 断面台形土坑が密集して、全体で大きな楕円形(9.28m×5.84m)の1かたまりの土坑群を形成している。構成する個別の土坑は全部で15基あり、いずれも覆土は上層が灰オリブ色系統の砂性粘質土、下層が粘

質土またはシルトという下部ほど粘性の高い土質である。

出土遺物 (第246図2194)

2194は土師器碗である。回転台成形であり、内外面ともヨコナデ調整、外面底部は回転ヘラ切り離しであり、「八」の字状に高台を貼り付けている。色調は灰黄褐色であるが内外面の一部が黒色を呈しており、黒色土器を狙っての焼成かまたは模倣しての製作の可能性もある。



- | | | | | | |
|-----------|----------|-------|-----------|----------|-------|
| 1. にぶい黄色 | 2.5Y 6/4 | 砂性粘質土 | 8. オリーブ灰色 | 10Y 5/2 | 粘質土 |
| 2. オリーブ色 | 5Y 5/6 | 砂性粘質土 | 鉄分、レキを含む | | |
| 3. 灰オリーブ色 | 7.5Y 5/2 | 粘質土 | 9. 緑灰色 | 10GY 5/1 | シルト |
| 鉄分、レキを含む | | | 10. 灰色 | 5Y 4/1 | シルト |
| 4. 灰黄褐色 | 10YR 4/2 | 粘質土 | 11. 緑灰色 | 10GY 5/1 | 粘性砂質土 |
| 5. にぶい黄色 | 2.5Y 6/4 | 砂性粘質土 | 12. 緑灰色 | 10G 5/1 | 粘土 |
| 6. オリーブ灰色 | 10Y 5/2 | 粘質土 | 13. 黄褐色 | 2.5Y 7/6 | 粘性粘質土 |
| 7. 浅黄色 | 2.5Y 7/4 | 砂性粘質土 | レキを含む | | |

第244図 第13調査区 第2分劃遺構実測図



第246図 SK1110, SK1111, SK1112出土遺物実測図

土坑 SK1111 (第244図)

第2分割の密集土坑群のうち北部中央に位置し、北端をSK1113に切られるが、長軸2.18m以上、短軸1.40m、深さ1.04mを測り、形状は平面不定形、断面台形である。

出土遺物 (第246図2193, 2195)

1. オリーブ灰色 10Y5/2 粘質土
鉄分を含む
2. 緑灰色 10GY5/1 シルト

第245図 SK1110実測図

古墳時代初頭の土師器及び近世の陶磁器が出土している。2193は甕型土器である。胎土は結晶片岩を含み、器形は短い口縁部を屈曲させ端部は尖り気味である。外面は剥離しているが、内面は体部上位がエビオサエのちナデ調整、下位がケズリ調整を施している。古墳時代初頭のものとして想定できるが、東隣の土坑SK1112と遺構間接合しておりSK1112からは図示していないが近世の播鉢2個が出土している。いずれも堺明石系であり、口縁部の摺目の始点が底部にかかる、いわゆる白神氏分類のⅡ型式1段階⁸に属するものと、かからないⅡ型式2段階に属するもの2種に分かれ、18世紀後半から19世紀初頭のものと考えられる。

2195は白磁小碗である。畳付を除く全面に施釉し、畳付には砂が付着している。

(3) 第3分割出土の遺構と遺物

第3分割の遺構配置図を第247図に示す。

土坑 SK1114 (第247図)

第3分割南部に位置する、長軸0.78m、短軸0.72m、0.34mを測る、平面不定形、断面船底形の土坑である。

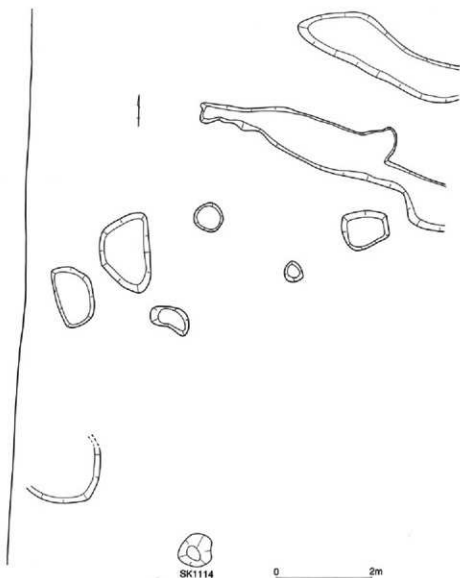
出土遺物 (第248図)

近世の遺物のみの出土であり図示し得たものは2点である。2196は備前焼の灯明皿である。胎土はにぶい赤褐色を呈するが、器壁が薄く比較的固く焼き締まっている。底部は綿密な回転ケズリ成形を施し、切り離し跡が全く認められない。内面には塗土を施している。2197は陶器甕である。胎土は赤褐色を呈し、紐作り成形である。内外面に鉄釉を掛け、底部外面周辺に白色粒が多量に付着している。

(4) 遺構外出土の遺物

(第249図) 2198～2203は近世以前の遺物である。2198は土師器鍋である。胎土に結晶片岩を含み、内面はヘラケズリのちヨコナデ、外面はナデ調整であり、取手は短く屈曲したものである。

2199は須恵器壺である。短く直立した口縁部を持ち、外面肩部に2条の凹線がある。内外面とも回転ナデ調整である。2200は須恵器甕の口縁部である。内面の肩部は指オサエのちヨコナデ、口縁部はケズリのちヨコナデ、外面はケズリのちヨコナデ調整である。外面に分厚い自然釉が掛かっている。2201, 2202は須恵器壺の体部である。ともに内面は同心円文タタキ、外面は平行タタキのち擦り消し調整である。2203は土師器獣足である。ケズリのちナデ、付け根付近は指オサエ調整である。



第247図 第13調査 第3分割遺構配置図

2204は石杵である。

砂岩製であり、先端部の摩耗が顕著である。2206は砂岩製の叩石である。2205, 2207は緑色片岩製である。

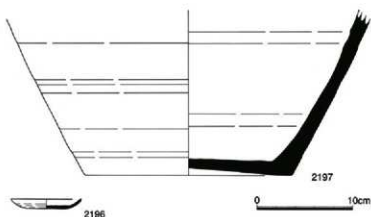
2208～2212は近世以降のものである。2208は白磁小坏である。畳付に細かい砂が付着している。剥離気味であるが、見込に「稽古連」の上絵付けが緑色の釉薬で施されている。近代以降のものである。2209は瓦質の火鉢である。板作り成形であり、平面方形のものである。上面の角部に円内「庄」の刻印がある。2210, 2211は土製品の泥面子である。型押し成形によるものである。2212は土人形である。前後別々に型押し成形後貼り合わせて作っている。

(5) 小結

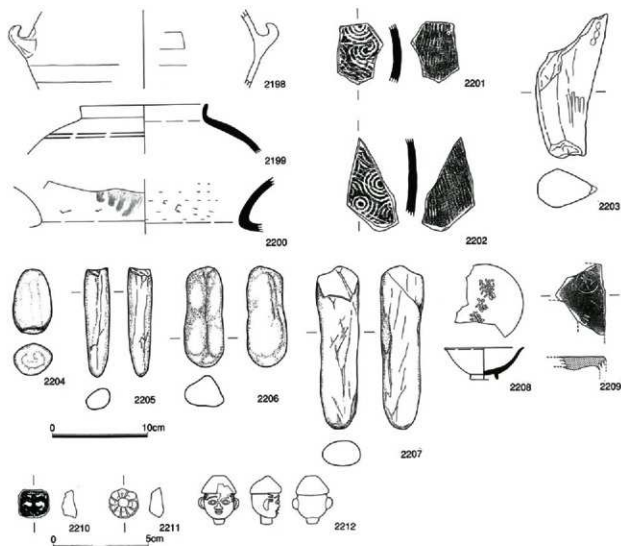
調査区南東部の第1分割の第1遺構面で検出した不明遺構 SX1009はその規模・形態等から溜池等の貯水施設と考えられる。同時期の遺構であり、東端を切る SK1091はこれに伴う排水溝で

あり、その東側に連結する溝 SD1048 に流れるものと想定できる。SX1009 は近世遺物の様相から、19世紀前半の構築であり、SX1009 下層につながる SK2053 から19世紀の陶器や近世の平瓦に加えて竹製品のみ、鋏等工事作業関連の遺物の出土もこのことを裏付けるものである。

調査区北東部の第2分割で検出した平面円形の土坑群は出土遺物が少なく、僅かに SK1110 から完形の平安時代の土師器椀を1点出土した以外は、SK1099, SK1109, SK1111, SK1112 で土師器片が数点あるのみである。SK1112 では18世紀後半～



第248図 SK1114出土遺物実測図



第249図 第13調査区 遺構外出土遺物実測図

19世紀前半の堺明石系の播鉢も検出しており、近世後半に一部攪乱を受けたことを示している。これらの土坑群は、SK1110にみられるような祭祀性の強いものであり、少なくとも近い年代の間に連続して形成されたものと考えられる。

調査区西側の高台に広がる第3分割では、遺構面1枚に溝1条、土坑7基、柱穴1基、自然流路1条を検出した。近世の遺物が少数出土したのみであり、性格付けは難しいが、遺物の年代から18世紀後半以降のものと考えられる。

¹ 仲野泰裕氏の研究によると、瀬戸及び美濃では、酸化コバルトは明治4、5年頃、型紙摺りは明治15年頃の開始とされている。

堀内秀樹 1997「東京大学本郷構内の遺跡における年代的考察」東京大学埋蔵文化財調査室
『東京大学構内遺跡調査研究年報11996年度』

² 首部が長い酒用の容器であり、1升入りと5合のものがある。大谷焼の徳利にはこの他に、その形状から呼称される、酒用の「上戸じやうこ（かぶらともいう）」・「船徳利」、焼酎用の「碓うし」・「棗じやう」、醤油・酢用の「丹波にんぱ」、油用の「たたき」等があり、5合～3升入りまでであるが、いずれも1升入りのものが中心である。

豊田弧庵 1969「阿波の焼物大谷焼」

³ 堺明石系の播鉢における墨書の類例としては、徳島市常三島遺跡じやうさんじまにおいて18世紀の下級武家屋敷の敷地境界に掘られた溝から出土した例があり、口縁部外面に大きく「祝」と記されている。（徳島大学埋蔵文化財調査室 中村 豊氏の御協力による筆者の実見）

⁴ 白神典之 1988「堺播鉢について」堺市教育委員会『堺環濠都市遺跡（SKT79）発掘調査報告』

同 1993「堺播鉢考」『東洋陶磁第19号』

⁵ 稲原昭嘉 1997「明石焼播鉢の編年について」『関西近世考古学研究会8月例会資料』

⁶ 古泉 弘 1983「江戸を掘る」

⁷ 火打石は、藍、塩、紙、木材とともに近世から近代まで全国的に有名な阿波の特産物であり、徳島藩は寛政年間以降、火打石御制道役を置いて採掘場を巡回監視していた。年間180トンを生産し、京阪神地方にも販売していた。大田井の他、阿南市橘町橋泊の東端燈崎でも採掘されたが、こちらは石英のものであった。

須藤茂樹 1996「忘れられた阿波の特産物“火打ち石”と“火打ち金”」『江戸時代人づくり風土記36徳島』

⁸ 註4

IV 考 察

1 石井城ノ内遺跡における弥生時代終末期～古墳時代初頭の土器様相

はじめに

阿波の弥生時代終末期から古墳時代初頭の土器様相は、県北部を流れる吉野川の上中流域、下流域及び、県南部等各地域等により差違を示すことが知られている。¹その中で、比較的豊富な調査事例から、最も土器の編年の研究が先行するのは吉野川下流域である。菅原康夫氏の吉野川左岸下流域に位置する黒谷川郡頭遺跡における「黒谷川Ⅰ～Ⅲ式」の設定²、その後の大西浩正氏による同編年の細分化³、さらに近藤 玲氏の鮎喰川流域の名東・矢野各遺跡等を加えた吉野川下流域における弥生時代後期の7段階の編年⁴等がある。また菅原氏は吉野川下流域の胎土、技法に特徴のある土器群を、上流域を含めた他地域とは異なる阿波東部独特の土器つまり東阿波型土器と呼称し⁵、弥生時代後期から古墳時代初頭における、吉野川上流域を含めた阿波周辺の各地域との併行関係を提示するとともに、東阿波型土器の成立過程とその時期について考察した。⁶この東阿波型土器の定義については近藤氏が明解に示している。つまり、第一に胎土中に結晶片岩を含有することであり、この岩石は三波川変成帯に属する吉野川下流域右岸特に鮎喰川流域に多出する。第二に広口壺、二重口縁壺、甕、小型丸底鉢、鉢の5器種から構成され、特に壺、甕の体部は倒卵型を呈する器形であり、鉢は器高が口径の1/2以下であることである。

本稿では、吉野川下流右岸域で、名東・矢野遺跡の西側に位置し、しかも一部時代の重複する石井城ノ内遺跡であるが、その土器について器形の分類、技法、器種の消長を追うことで、遺構の時期区分を試み、これら既存の下流域編年との併行関係を提示したい。

弥生時代終末古墳時代初頭出土遺物の形態分類

本調査区のうち第5～9調査区からは、弥生時代終末期から古墳時代初頭にかけての溝、土坑、土器溜り等の遺構が検出されたが、その遺構内遺物の様相から数期の遺構年代に区分することが可能である。当該期出土の実測可能な遺物は1200点以上に上るが、ほとんどが細片であり、全体の器形を把握できるものは僅かである。したがって器形の分類は口縁部、体部、底部等残存する部位毎におこない、それらの分類記号の組み合わせにより形態の特徴を表した。なお〔 〕内に最も代表的な器形の遺物番号を示す。また観察表分類欄に略記号で器種名を示す。

(例) 高 A……高杯 A

1. 高杯

次のように器形により分類する。

A…杯体部から口縁部が強く屈曲して上方に立ち上がり外反する。[1152]

B…大きな杯部に円筒形ないしは円錐状の脚部を有し、口縁部は外反し体部との境は明瞭で稜線がある。杯部の形態から細分できる。

B1…口縁部高が体部高よりも小さく、口縁部長が体部長よりも小さい。[1157]

B 2…口縁部高と体部高がほぼ等しく、口縁部長が体部長よりも小さい。〔1793〕

B 3…口縁部高が体部高よりも大きく、口縁部長と体部長がほぼ等しい。〔1102〕

B 5…口縁部高が体部高よりも大きく、口縁部長が体部長よりも大きい。〔1797〕

2. 鉢

法量，体部以上の器形，底部の器形の分類を組み合わせで表示する。有孔鉢も同様の分類とした。

○法量による分類

I…口径20cmを越える大型品。

II…口径13～20cmの中型品。

III…口径8～13cmの小型品。

IV…ミニチュア品。

○器形による分類

A…体部，口縁部が内湾して立ち上がり，口縁部に最大径部を有し，口径が器高よりも大きい。

以下のように器形を細分する。

A 1…体部，口縁部の内外面の内湾曲線が同一円弧であり，口径が器高の1～2倍であるもの。

〔1322〕

A 2…体部，口縁部の内外面の内湾曲線が同一円弧であり，口径が器高の2～3倍であるもの。

〔952〕

A 3…体部，口縁部の内外面の内湾曲線が同一円弧であり，口径が器高の3倍以上であるもの。

〔1565〕

A 4…体部の内湾は僅かでほぼ直線に近く，口縁部の内湾はそれを上回り，口径が器高の1～2倍であるもの。〔965〕

A 5…体部の内湾は僅かでほぼ直線に近く，口縁部の内湾はそれを上回り，口径が器高の2～3倍であるもの。〔857〕

A 6…体部の内湾は僅かでほぼ直線に近く，口縁部の内湾はそれを上回り，口径が器高の3倍以上であるもの〔855〕。

A 7…体部は内湾するが，口縁部の内湾は僅かでほぼ直立に近く，口縁端部は外反するもの。〔1314〕

A 9…体部の内湾は僅かでほぼ直線に近く，口縁部の内湾はそれを上回り，口径が器高の1～2倍以上であるもの〔1586〕。

B…体部，口縁部が内湾して立ち上がり，口縁部に最大径部を有し，口径が器高よりも小さい。器壁，口縁端部の器形で細分する。

B 1…体部から口縁端部まで一貫して内湾し，端部を方形に収める。〔1583〕

B 2…体部から口縁端部まで一貫して内湾し，器壁が極めて薄い。

B 3…口縁端部が僅かに外反する。〔1831〕

C…体部直線的に立ち上がり，口縁端部を方形に収める。口縁部の器形で細分する。

C1…口縁部が直線的に伸びるもの。

C2…口縁部がやや内湾するもの。[1112]

D…体部内湾して立ち上がり、口縁部は緩やかに外反する。口径が器高の1～2倍。[961]

E…体部内湾して立ち上がり、口縁部は外方に屈曲し、口縁部に最大径部を有する。屈曲の程度、口縁部の器形で細分する。

E1…屈曲部に体部最大径部を有し、屈曲は弱く、口縁部が内湾する。[861]

E2…屈曲部に体部最大径部を有し、屈曲は弱く、口縁部は外反する。[1195]

E3…屈曲部に体部最大径部を有し、屈曲は強く、口縁部は内湾する。[959]

E4…屈曲部に体部最大径部を有し、屈曲は強く、口縁部は外反する。[958]

E5…体部3/4位以上に体部最大径部を有し、屈曲は強く、口縁部は僅かに外反する。
[1848]

E6…屈曲部に体部最大径部を有し、屈曲は弱く、口縁部は外反するが、E2よりも深手のもの。[1065]

E7…体部3/4位以上に体部最大径部を有し、屈曲は弱く、口縁部は僅かに外反し深手のもの。[1074]

E8…屈曲部に体部最大径部を有し、屈曲は強く、口縁部は外反するが、E4よりも深手のもの。[1032]

E9…体部3/4位以上に体部最大径部を有し、屈曲は弱く、口縁部は僅かに外反するもの。
[1974]

F…体部内湾して立ち上がり、口縁部は強く屈曲し、体部1/2位以上に最大径部を有する甕形である。口縁部の器形で細分する。

F1…口縁部が僅かに外反し、端部が拡張する。[865]

F2…口縁部が内湾する。[1420]

F3…口縁部が水平に開くもの。[1211]

G…体部に最大径部を有し、口縁部は緩やかに外反するもの。

G1…口縁部が比較的長いもの。[1681]

G2…口縁部が短いもの。[1930]

H…体部内湾して立ち上がり口縁部も内湾するが、口縁部との境界に段を有するいわゆる有段鉢。[1901]

○底部の器形による分類

a…平底。

b…尖り底。

c…丸底。

3. 小型丸底鉢

A…体部に最大径部を有し、体部球形を呈し、口縁部は屈曲して僅かに内湾する。口径が器高

よりも大きく、体部高が口縁部高よりも大きい。[946]

B…体部偏平であり、口縁部は屈曲して内湾する。口径が器高よりも大きく、体部高が口縁部高よりも小さい。口径・器高比により細分できる。

B 1…口径が器高の2～3倍。[1788]

B 2…口径が器高の3倍以上。[1743]

C…体部偏平であり、口縁部は屈曲して直立若しくは内湾する。器高が口径よりも大きく、口縁部高が体部高よりも大きい。底部の形状により分類できる。

Ca…丸底。[1015]

Cb…尖り気味の丸底。[1962]

D…体部偏平であり、口縁部は屈曲して緩やかに内湾若しくは直立する。口径が器高よりも大きく、体部高と口縁部高がほぼ等しい。体部の形状により分類する。

D 1…体部中位に体部最大径部となる明瞭な稜を有するいわゆる箕盤玉形の体部である。[1976]

D 2…体部に稜がないもの。[1977]

4. 壺

4-1 広口壺

Ha…頸部は直立若しくは外傾する比較的長いものであり、口縁部が屈曲して僅かに外反しながら大きく開く。器壁は1cm程度と厚手であり、端部を拡張し、外面に擬凹線をとどめるものが多い。口縁端部の器形により細分する。

Ha 1…口縁端部を上方に拡張するもの。[970]

Ha 2…口縁端部を上下に拡張するもの。[1216]

Hb…頸部は短く外反し、口縁部が緩やかに屈曲して短く開き、端部を上方に拡張する。Haよりも口縁部が短めであり、頸部長、頸部高ともに口縁部長、口縁部高と同程度である。器壁は厚い。[1590]

Hc…頸部、口縁部が一体となって短く外反し、端部上方に粘土を付加し断面三角形の口縁帯を形成する。体部は肩が張り内面は上位までヘラケズリ及び外面は上位ヨコナデ中位ヘラケズリである。[1036]

Hd…明瞭な頸部を持たず、そのまま口縁部大きく外反する。[1444]

He…直立する頸部から口縁部が屈曲して水平に開き、端部を拡張する。擬凹線をとどめる。[872]

Hf…頸部直立し、口縁部強く屈曲して開き、端部を上方に拡張する。頸部長、頸部高が口縁部長、口縁部高を上回る。[1225]

Hg…直立する頸部から極めて短い口縁部が屈曲して端部を上方に拡張する。擬凹線をとどめ、頸部以上が肥厚する。[1214]

Hh…頸部外傾し、口縁部強く屈曲して開き、端部を上方に拡張する。頸部長、頸部高が口縁部長、口縁部高を上回る。極めて薄手である。[1512]

- Hi…頸部内傾し、口縁部強く屈曲して開き、端部を上方に拡張する。擬凹線をとどめ、頸部高が口縁部高を上回り、器壁は薄手である。〔1117〕
- Hj…頸部外傾し、口縁部強く屈曲して開き端部を拡張する。頸部高が口縁部高を上回り、薄手である。〔1519〕
- Hk…頸部短く直立し、口縁部屈曲して大きく開き端部を上方に拡張する。端面が内傾し断面三角形を呈する。口縁部長が頸部長を上回る。〔1726〕
- Hi…頸部外傾し、口縁部僅かに屈曲して端部を方形に収める。頸部長、頸部高が口縁部長、口縁部高を上回る。〔929〕

4-2 二重口縁壺

頸部・口縁部の形態により分類する。

- Na…広口壺 Ha を祖形としたものであり、擬口縁上端部に二次口縁を付加し、二次口縁は大きく外反する。頸部～一次口縁部高が二次口縁部高よりも大きい。〔1228〕
- Nb…Na と同様、広口壺 Ha を祖形としたものであり、擬口縁上端部に二次口縁を付加し、二次口縁は外反する。頸部～一次口縁部高が二次口縁部高にほぼ等しい。〔1763〕
- Nc…広口壺 HA を祖形としたものであるが、頸部以上が肥厚し、二次口縁は直立若しくは外反し、外面に擬凹線をとどめるものが多い。頸部～一次口縁部高が二次口縁部高より大きい。二次口縁により細分できる。
- Nc 1…二次口縁が直立し端部が尖るもの。〔973〕
- Nc 2…二次口縁が外傾し、端部は方形若しくは丸く収めるもの。〔1423〕
- Nd…直立する頸部から短く一次口縁が外反し、擬口縁上端部に二次口縁を付加し、二次口縁は外反しながら立ち上がる。擬口縁部径が口径を上回り、頸部～擬口縁部高が二次口縁部高にほぼ等しい。〔2018〕
- Ne…二次口縁部が極めて短く、外面に擬凹線をとどめ、擬口縁が下垂するもの。〔1226〕
- Nf…頸部～一次口縁高が二次口縁高を凌駕し、短い二次口縁は内傾するもの。〔1366〕
- Ng…広口壺 Hd を祖形とし、擬口縁上端部に二次口縁を付加し、外反しながら立ち上がる。頸部～一次口縁部高が二次口縁部高よりも小さい。〔1983〕

4-3 直口壺

- Ta…口縁部僅かに外反し、端部尖り気味である。〔1246〕
- Ts…短い口縁部が直立するいわゆる短頸壺。〔967〕

4-4 細頸壺

S…本調査区からは、体部の一部破片が検出された。共に最大径部15cm前後の偏平な体部であり、上下に分割成形した接合痕が内面に認められ、内面下半にハケ、外面ヘラミガキのものと外面下半ヘラケズリ、上半ハケのものがある。〔1520〕

4-5 無頸壺

Ma…球形の体部に屈曲する非常に短い頸部が付く。内面と外面下位はヘラケズリである。

[1935]

5. 甕

胎土と体部の成形技法、体部の器形、口縁部の器形、底部の器形それぞれの分類を組み合わせた。

○胎土からの分類

A…胎土中に結晶片岩を含有する阿波在地産と考えられるもの。

S…胎土中に結晶片岩を含有せず角閃石を含有し、赤褐色を呈する、讃岐産のものに類似するもの。

H…胎土中に結晶片岩を含有せず、雲母、角閃石を含有し、灰白色を呈するもの。

X…結晶片岩を含有せず、S、H類以外の搬入品と捉えられるもの。

○器形・成形技法からの分類

E…体部内面上位ユビオサエ、下位ヘラケズリ、外面ハケのもの。[844]

F…体部内面上位ケズリ、下位ユビオサエ、外面ハケのもの。[1957]

G…体部内面上位ケズリ、外面にタタキをとどめるもの。[1948]

K…体部内面上位にケズリ、外面ハケのもの。[1833]

T…体部内面上位ユビオサエ、外面にタタキをとどめるもの。[992]

H…体部内面上位にハケを施すもの [1021]

M…体部外面にミガキを施すもの。[1549]

○体部の器形からの分類

I…最大径部を体部中程よりやや上位に有する長楕円形を呈し、最大径が器高の80%前後のもの。平底。[1121]

II…最大径部を体部中程より上位に有する倒卵形を呈し、最大径が器高の83~92%であるもの。平底。[844]

III…最大径部を体部中程より上位に有する倒卵形を呈し、最大径が器高の91~94%とIVよりも球形化しているもの。平底。[1625]

IV…最大径部を体部中程よりやや上位に有する球形に近い楕円形を呈し、最大径が器高の90~95%のもの。丸底。[1906]

V…球形を呈し、最大径が器高の100%前後を呈するもの。丸底。[1868]

VI…全体に器壁が極めて厚く、体部が長楕円形を呈するもの。[992]

○口縁部の器形による分類

a…鋭角に屈曲し、ヨコナデ等により整った器形の口縁であり、端部は拡張しないもの。[843]

b…鋭角に屈曲し、ヨコナデ等により整った器形の口縁であり、端部を積み上げるもの。擬凹線を有するものが多い。[844]

c…鋭角に屈曲し、ヨコナデ等により整った器形の口縁であり、器壁薄く、端部を僅かに積み上げる。胎土褐色を呈する。[1629]

- d…鋭角に屈曲し、端部を摘み上げ、端部が鋭角の三角形となり内側が沈線状になるもの。
[1712]
- e…鋭角に屈曲し、ヨコナデ等により整った器形の口縁であり、端部は上下に拡張するもの。
[1449]
- f…鋭角に屈曲し、ヨコナデにより整った器形の口縁であり、端部を下方に拡張するもの。
[1615]
- g…鋭角に屈曲し、内外面にタタキ痕等を残す粗雑な口縁であり、端部は拡張しないもの。
[939]
- h…鋭角に屈曲し、内外面にタタキ痕等を残す粗雑な口縁であり、端部を摘み上げるもの。
[1127]
- i…鋭角に屈曲し、内外面にタタキ痕等を残す粗雑な口縁であり、端部は上下に拡張するもの。
[881]
- j…鈍角に屈曲して外傾し、端部が拡張しないもの。[1118]
- k…鈍角に屈曲して外傾し、端部内側に沈線を有するもの。[1957]
- l…鈍角に屈曲して外傾し、端部を摘み上げるもの。[1905]
- m…受口状の口縁で端部が尖るもの [940]
- n…緩やかに外反し、端部を摘み上げるもの。[1777]
- o…頸部を有するもの。[1232]
- p…頸部を有し、受け口状の口縁であるもの。[1548]
- q…鋭角に屈曲して水平に開くもの。[992]
- r…極めて短い口縁の付くもの。[938]
- s…肩が張らず、鋭角に屈曲して端部を摘み上げるもの。[894]
- t…緩やかに開き、内外面にタタキ痕等を残す粗雑な口縁であり、端部を上下に拡張するもの。
[1233]
- u…緩やかに外反し、端部が方形を呈するもの。[1485]

○底部の器形からの分類

- ①…突出する平底 [1446]
- ②…突出気味の平底。[1625]
- ③…突出しない平底。[987]
- ④…尖り気味の丸底。[2009]
- ⑤…丸底。[1453]
- ⑥…上底となる平底。[1120]
- ⑦…ドーナツ底。[1783]
- ⑧…全体に器壁厚いもの。[2008]
- ⑨…突出するドーナツ底。[1781]

遺構の時期区分と土器の様相

本調査区の遺構を出土遺物の器種構成から時期区分し、それぞれの時期の土器の様相をみていく。第1～4表は主要遺構出土の土器のうち、図化掲載したものについて、各器種ごとの点数を示したものである。

〔石井城ノ内I期〕

第5調査区の土器溜りSZ2002、SZ2003、及び土坑SK2025、SK2026が該当する。甕は在地産のAEIが大半を占める。口径15cm前後で、器形は体部楕円形を呈し、口縁部は屈曲して端部を強く摘み上げ擬凹線をとどめるものが多い。底部は突出気味の平底②と突出しない平底③が中心であるが、突出する平底①、上げ底の平底⑥も少量認められる。体部内面上位指押え、下位ヘラケズリで外面は細かなハケによりタタキ痕をほとんど留めない。口縁部形態には器形の整えられたAEBと歪なAEHがあり、AEHの方が全体に器壁が厚い。体部外面にミガキを施すものではなく、体部外面にタタキを留める畿内V様式系のもや、内面のケズリが上位まで及ぶものもない。また一部、甕AEIに加えて次代のもとの捉えられるAEIIが混在するが、年代幅が長いのか、混入かは判然としない。

壺は広口壺Ha1が主体となる。直立する頸部から口縁部が屈曲して水平近くに開き、端部は上方に拡張し、外面には明瞭な擬凹線をとどめるものである。口径は20cm前後を測り、口縁部の器壁は1cm以上の厚手であり、頸部外面には細かなハケが施される。この他に、頸部から直接大きく開き口縁部に至る壺Hdも少量認められる。二重口縁壺はまだ出現していない。SK2025出土の搬入品の壺Hc1036は胎土灰白色を呈し角閃石を含有するもので、頸部から口縁部まで外反しながら立ち上がり端部上方に粘土付加して尖り気味に仕上げ、体部内面上位までヘラケズリを施す。

小型丸底鉢はCa類が少量認められる。直立する口縁部が長く伸び、端部は尖り気味であり、偏平な体部に丸底を呈する。口縁部の内外面に擬ヘラミガキを施す。

鉢は体部から口縁部まで内湾する鉢Aと、体部は内湾し口縁部は屈曲する鉢Eが中心であるが、ともに底部は平底を呈する。まず鉢Aでは、大型で口径が器高の2倍以上のIA2、IA3、中型のIIA2、小型のIIIA2の他に、この時期特有のものとして、口縁部の内湾の度合いが体部より上回る大型のIA5、IA6、中型のIIA5、IIA6が存在する。これらには、外面はほとんどが下半ケズリ、上半はタタキをとどめるが、内面は粗いハケのものミガキを施すもの2通りがある。つまり粗製タイプと精製タイプとに規定できよう。やや深手の鉢IIA1類が少量あるが、いずれも粗製タイプに属する。次に鉢Eでは鉢IEと鉢IIEの中大型品があり、屈曲部が体部最大径部となり屈曲が強いIE3、IE4、IIE3、IIE4と、同じく屈曲部に最大径部を有するが屈曲は弱いIE2、IIE1、IIE2がある。内面の調整からは鉢A同様、粗製タイプと精製タイプとに分けられる。この他少量認められるものとして、体部から口縁部まで直線的に開き、有孔鉢となるIIC2、IIC3がある。

高杯は少量でしかも破片のみの出土であることからその様相を提示しにくい、この時期す

第1表 各遺構出土の器種組成(1)

	器種																														
	B2	B3	B5	TA2	TA3	TA5	TA6	TA9	EA1	EA2	EA3	EA4	EA5	EA6	EA7	EA9	EA1	EA2	EA3	EA5	EA6	EA9	ED1	ED2	ED3	ED4	ED5	ED6			
1 第5区第9層					5	2	2	1	6				4			1	1	1													
2 SZ003	1			2	1			1	1		1		1									1									
3 SZ002				1		1		1	1															1							
4 SK0015				4			1		3				1													1	1				
5 SK005				1		2											1									1					
6 SD009						1										1	1														
7 SK003									3		1	1													1		1				
8 SK104				7	2	1		3	2	1				1	1		2	1					1				1	1			
9 SK006								1																							
10 SK003					1	2			2	1																					
11 SK004				2	1				5	1	1																				
12 SK002																															
13 SK106		1	1	2					1	2	1																				
14 SK003																															
15 SD005					2	1				2																					

第2表 各遺構出土の器種組成(2)

	器 (区口器)																									
	小型瓦器類															壺 (区口壺)										
	1E6	1E1	1E2	1E3	1E4	1E5	1E6	1E7	1E8	1E9	1F1	1F2	1F3	1G1	1G2	A	B1	B2	Cs	Ms1	Ms2	Ms	Ms	Ms	Ms	
1. 器5区層小壺		1	1	2	3	1					2		1	1						10						
2. SZ2003																				2						
3. SZ2002			4	1	1	1	1													1				1		
4. SZ2005		1	1						1	2										5	1				1	
5. SK2028	1	1	1			1													1	1						
6. SD1020		1					1		1										1	1	1					
7. SK2023			1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			2		1				
8. SK1074			1																1	1						
9. SK2046											1													3		
10. SK2033														1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
11. SK2044															1					2						
12. SK2042																										
13. SK1083										1																
14. SK2031																								1		
15. SD1045		1																							2	1

第3表 各遺構出土の器種組成(3)

	器 (二重口器)											器 (單口器)											器 (其他器)																
	No			No			No			No			No			No			No			No			No			No			No			No					
	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№	№								
1																																							
2																																							
3																																							
4																																							
5																																							
6																																							
7																																							
8																																							
9																																							
10																																							
11																																							
12																																							
13																																							
14																																							
15																																							

に杯部において口縁部長が体部長に匹敵し口縁部高が体部高を上回るまでに発達している。

[石井城ノ内Ⅱ期]

第6調査区土坑 SK1074が該当する。

壺は、在地産においては前代の AEⅠが残るものの、主体は体部が倒卵形である壺 AEⅡに移行する。そして倒卵形でも器高が幾分低めで肩が張る壺 AEⅢも少量ながら出現する。体部内面下半のヘラケズリが通常よりやや上位まで及ぶものはあるが、基本的には前代と同様ケズリは下半に止まり、上半には指頭圧痕を残している。口縁部の屈曲の程度や端部の摘み上げの形態においても、精製タイプの AEb と粗製タイプの AEh とも前代とは大差ない。底部は突出気味の平底②が中心であることには変わらないが、完全に突出する①はみられなくなる。その他在地産の少量器種には、長胴型で体部内面上位の一部ハケを施す壺 AHⅣがある。

広口壺では前代からの Ha があるが、口縁部の形態は変わらない。それに加えて在地産では口縁部の短い Hb がこの時期特有のものとして寧ろ Ha を凌ぐ程度である。体部に比べ口縁部が大幅に肥厚するものであり、頭部が外反し口縁部が緩やかに屈曲して短く開き端部を上方に拡張する。口縁部内面には指頭圧痕等が多く残存するが、外面はびっしりと縦方向のハケで埋められている。SK2023では口縁部が短く直立する直口壺 Ts が1点ある。

小丸底鉢は Ca1 点のみであるが、前代よりも口縁部の縮小・外傾内湾化が認められる。

鉢は A 類21点に対し、E 類3点であり、A 類の割合の急増がみられる。さらに A 類ではそのほとんどが丸底を呈していることから画期である。A 類は大中小の3タイプがあることには変わらないが、鉢 IA5、IA6、IIA5、IIA6 の割合が減少することは、このタイプに多い内面にミガキを施す精製品の割合の減少にも通じている。鉢 IA2、IA3、IIA2、IIA3、IIIA2、IIIA3 は内面ハケの粗製タイプであることが多く、用途よる器形・成形の違いが考えられる。

第5調査区 SK2023は壺における様相は SK1074 と大差ないが、鉢においては A 類と E 類の割合が同程度であることと、A 類に平底のものがまだ残ることから SK1074 よりも遡る可能性がある。しかし、I 期にみられない二重口縁壺 Nc が出現している。これは広口壺 Ha を祖形とし、一次口縁上部に直立する二次口縁を付加し、端部は尖り気味、外面に握凹線をとどめるものである。したがって年代幅が長くなる可能性もあり遺構の一括性に疑問はあるが、II 期の中でも古い時期に位置づけられると想定できよう。

[石井城ノ内Ⅲ期]

第9調査区 SK2042、SK2044、SK2046等が該当する。

壺は在地産においては体部がほとんど球形に近い楕円形である壺 AEⅣに移行し、底部も完全に丸底化する大きな画期である。口縁形態は粗製の AEh が減少し、精製の AEb に集約化が進行する。また口縁の屈曲が強く、摘み上げにより端部が鋭角で内側が沈線状となる次代に続く壺 AEd が出現する。SK2044の搬入の壺 HFV1957は、球形の体部から口縁部屈曲して外傾するもので、体部内面のケズリにより極めて器壁は薄く、外面ヨコハケで列点を有する、布留1式に比定できるものである。

壺では広口壺 Ha が口縁部の屈曲が弱まっていき、端部が甕同様に鋭角となるものも現れる。また壺 Hd も認められるが、前代あった Hb はみられない。二重口縁壺は二次口縁が直立し擬凹線をとどめる Nc がなくなり、代わりに二次口縁が大きく外反する Na 若しくは Nb が現れる。壺 Ng である SK2046 の 1983 は丸底で体部球形を呈し、体部内面上位ユビオサエ、下半ヘラケズリ、外面ハケの甕と同形態を示すもので、二次口縁が大きく伸びるものである。SK2044 の 1935 は球形の体部で内面と外面下位にヘラケズリを施す無頸 Ma である。

小型丸底鉢は器高がさらに低くなり口縁部の立ち上がり角度が緩やかな D 類への移行が認められる。

鉢は E 類がなくなり、ほぼ A 類のみとなる。分量からは大中小のうち大型の I A 類が減少し、中小型の II A, III A 類が中心となる。また A5, A6 類はほとんどなくなり A2, A3 類に集約される。鉢 IH である SK2042 の 1901 は外面に段を有する有段鉢である。

高杯は SK2044 において比較的まとまって出土しているが、いずれも口縁部が大きく発達した B5 類である。

[石井城ノ内Ⅳ期]

第 7 調査区 SK2031 が該当する。

甕は、在地産のものは甕 AEN に加え、完全な球形の甕 AEV が出現する。口縁部の屈曲は一段と強くなり、AEV の口縁端部は極めて鋭く尖るようになり鋭角化が進行する。

その他に前代までの二重口縁壺である壺 Nb, 小型の広口壺 Ha があるが、全体に器種が少なく、全体の様相は掴みにくい。しかし、甕において確実に一段階Ⅳ期よりも降る様相が認められることから本期を設定した。

第 5 表 石井城ノ内遺跡と各遺跡の遺構年代

石井城ノ内	本調査区遺構	菅原	基準遺構	近藤	基準遺構
		下流域Ⅳ		後期Ⅱ-2	黒谷川郡頭 SD501
		下流域Ⅴ	矢野国府変電所 SD101 鉄塔 SH02	後期Ⅲ-1	矢野 SE2020
I	SZ2002 SK2026 SZ2003 SK2025 (SD2015)	下流域Ⅵ	黒谷川郡頭 SD302, SD304 (黒谷川Ⅱ式)	後期Ⅲ-2	黒谷川郡頭 SD302, SB304
II	(SK2023) SK1074	下流域Ⅶ	黒谷川郡頭 SE101 (黒谷川Ⅲ式)	後期Ⅲ-3	黒谷川郡頭 SE101
III	SK2046 SK2033 SK2044 SK2042	布留Ⅰ-1	黒谷川郡頭 SK308, SB309 (黒谷川Ⅳ式) 鮎吹川 SD105 2層		
IV	SK2031	布留Ⅰ-2	鮎吹川 SD102 1層		

おわりに

以上本調査区について4段階の時期区分案を示した。遺物が少なくしかも一括性に疑問のある遺構も少なくなく、区分には再考の余地はあろう。敢えて吉野川下流域の同時期遺跡との併行関係を示すと第5表のようになる。

2 石井城ノ内遺跡における9～10世紀の土器様相

はじめに

従来、徳島における古代の土器の編年の研究は、良好な一括資料に恵まれないため資料不足の感否めないもの、勝浦康守氏、早湖隆人氏を中心として進められてきた。⁷徳島の国府関連遺跡、庄遺跡においては、平城宮ⅡないしⅢ段階では、畿内産と考えられる底部外面ヘラケズリ(b手法)による土師器杯類の搬入が認められるのに対し、在地産の杯、皿においては平城宮Ⅲ段階以後回転台使用による成形のち丁寧なナデ調整が施されるものがほとんどとなる。口縁部を肥厚させ丸く収める点、放射状暗文を施す点など搬入土器ときわめて形態的、一部技法的にも類似し、赤彩を全面に施し畿内産を意識したものである。9世紀後半には供膳形態における須恵器の撤退はほぼ完了し回転台土師器が圧倒的優勢な状況を示す。そして10世紀には土師器の法量分化の縮小整備が進行し、10世紀後半には器種内での法量分化はみられなくなる。また黒色土器においては10世紀中葉においてはB類も例外的にみられるが、A類が主体でありその生産に関しては器表面の黒色処理を除いては回転台土師器生産と同レベルで据えられ、畿内系黒色土器B類のような生産の専門化は認められない。

近年の大規模発掘調査等により幾分資料の充実をみたものと思われるが、本格的整理作業の成果は未だ報告されておらず、今後の研究の進展が待たれるところである。ここでは石井城ノ内遺跡出土の土師器皿、杯を分類し、その器種の組成比と法量分布から、9、10世紀の供膳具の様相を検証する。

器種の分類

阿波における、9世紀後半の供膳具は回転台土師器が圧倒的優位を保っていることは先述した通りであるが、当遺跡においても供膳具に占める回転台成形によるものの割合はほぼ100%といえる。9世紀後半以降の回転台土師器杯、皿は体部の立ち上がり、口縁部の形態においても非常にバラエティーに富み、型式差の抽出による変遷を追いかけることは非常に困難であるため、型式学的研究をあきらめざるを得ないというのが実状かもしれない。⁸しかしながら敢えて形式的に分類すると、土師器皿はその器形から次の19種類に分類でき、さらに1器種についてそれぞれ法量から1～5種類に区分できる。同様に土師器杯は18種類に分類でき、1器種につき1～4種類の法量区分ができる。全形のわかるものを中心とした分類であり口縁部のみ等で分類不能なもの

は「皿」,「杯」にとどめた。また底部の回転台からの切離し技法ではいずれも回転ヘラ切り離し若しくは回転ヘラ切り離し後ナデを施すものであるが、そのナデの程度にはヘラ切り痕を全くとどめない程の綿密なものから粗いナデでヘラ切り痕を明瞭に残すものまでバラエティーがあるが、その底部の状態と器形、法量との相関は必ずしも認められないことも付しておく。〔 〕内に代表的な器形の遺物番号を示す。

皿 A 1 …平底で体部直線的に立ち上がり口縁部僅かに外反して丸く取め内側に沈線を廻らせる。径高指数 0.11 であり、外傾指数 $1.33\sim 1.68$ と傾きがかなり急角度である。法量から次の2種がある。〔788〕

皿 A 1 e …口径 17.3cm , 器高 1.9cm

皿 A 1 f …口径 19.0cm , 器高 2.1cm

皿 A 2 …平底で体部内灣して立ち上がり口縁端部を上方に摘み上げ、内側には1条の沈線を有する。径高指数 $0.094\sim 0.125$, 外傾指数 $0.54\sim 1.08$ を示し皿 A 1 よりも傾きが緩やかである。法量から次の5種がある。〔108〕

皿 A 2 b …口径 $12.5\sim 13.6\text{cm}$, 器高 $1.2\sim 1.6\text{cm}$

皿 A 2 c …口径 $13.9\sim 14.6\text{cm}$, 器高 1.7cm

皿 A 2 d …口径 $15.3\sim 16.5\text{cm}$, 器高 $1.8\sim 2.1\text{cm}$

皿 A 2 e …口径 $16.9\sim 17.6\text{cm}$, 器高 $1.6\sim 2.1\text{cm}$

皿 A 2 f …口径 $19.0\sim 19.8\text{cm}$, 器高 $1.8\sim 2.1\text{cm}$

皿 A 3 …平底で体部内灣して立ち上がり口縁部が外反し端部を肥厚して丸く収める。径高指数 $0.11\sim 0.14$, 外傾指数 $0.64\sim 0.85$ を示す。最も頻出の器種であり法量からは次の4種に区分できる。〔7〕

皿 A 3 a …口径 $11.4\sim 12.6\text{cm}$, 器高 $1.1\sim 1.7\text{cm}$

皿 A 3 b …口径 $12.7\sim 13.6\text{cm}$, 器高 $1.4\sim 1.8\text{cm}$

皿 A 3 c …口径 $13.8\sim 14.8\text{cm}$, 器高 $1.6\sim 2.0\text{cm}$

皿 A 3 d …口径 $15.0\sim 16.4\text{cm}$, 器高 $1.4\sim 1.7\text{cm}$

皿 A 4 …平底で体部内灣しながら立ち上がり径高指数 $0.08\sim 0.10$ と器高が低いものであり、口縁部外反して端部を丸く収める。さらに法量から次の4種がある。〔10〕

皿 A 4 b …口径 $13.0\sim 13.6\text{cm}$, 器高 $1.0\sim 1.3\text{cm}$

皿 A 4 c …口径 $14.2\sim 14.3\text{cm}$, 器高 $1.2\sim 1.5\text{cm}$

皿 A 4 d …口径 $15.1\sim 16.6\text{cm}$, 器高 $1.3\sim 1.8\text{cm}$

皿 A 4 e …口径 $17.0\sim 17.5\text{cm}$, 器高 $1.2\sim 1.9\text{cm}$

皿 A 5 …平底で体部内灣しながら立ち上がり口縁部は外反し端部を丸く収める。皿 A 3 よりも器高がやや高く、径高指数 $0.15\sim 0.17$ を示す。法量からは次の3種がある。〔18〕

皿 A 5 a …口径 12.0cm , 器高 1.9cm

皿 A 5 b …口径 $13.0\sim 13.6\text{cm}$, 器高 $1.9\sim 2.2\text{cm}$

皿 A 5 c…口径14.4cm, 器高2.5cm

皿 A 6 …平底で体部強く折れて直線的に立ち上がり口縁端部は外反する。法量からは次の2種がある。[168]

皿 A 6 b…口径13.0cm, 器高1.8cm

皿 A 6 c…口径14.4cm, 器高1.3cm

皿 A 7 …平底で体部は直線的に立ち上がり口縁部は外反して端部は尖る。法量は1種類である。[217]

皿 A 7 b…口径13.0~13.5cm, 器高1.7~2.0cm

皿 A 8 …平底で厚手の体部が直線的に立ち上がり口縁端部を丸く収める。法量から次の3種がある。[203]

皿 A 8 b…口径13.2cm, 器高1.8cm

皿 A 8 c…口径14.5~14.8cm, 器高1.5~2.0cm

皿 A 8 d…口径15.0~15.8cm, 器高2.0~2.2cm

皿 A 9 …皿 A 8 と同様厚手の体部が直線的に立ち上がるが器高が低い。法量から次の2種がある。[539]

皿 A 9 b…口径13.2cm, 器高1.4cm

皿 A 9 d…口径15.8cm, 器高1.5cm

皿 A 10 …平底で体部内灣しながら低く立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収める。径高指数0.068と器高がきわめて低い。法量は1種類である。[74]

皿 A 10 d…口径16.2cm, 器高1.1cm

皿 A 11 …平底で体部は直線的に立ち上がり口縁部は外方へ強く屈曲し端部は肥厚して丸く収める。法量は1種類である。[104]

皿 A 11 a…口径12.5cm, 器高1.8cm

皿 A 12 …全体に器壁極めて薄く、平底で体部強く折れて内灣しながら立ち上がり口縁部は大きく外反して端部を丸く収める。法量は1種類である。[421]

皿 A 12 b…口径13.2cm, 器高1.6cmを測る。

皿 A 13 …平底で体部内灣して立ち上がり口縁部が外反する皿 A 3 と同型式ながら端部は尖る。法量は1種類である。[428]

皿 A 13 b…口径13.6~14.0cm, 器高1.6~1.7cm

皿 A 14 …極めて小型である。平底で径高指数0.09~0.10と浅手で体部は短く立ち上がる。法量は1種類である。[157]

皿 A 14 s…口径9.8~10.2cm, 器高1.0cm

皿 A 15 …平底で体部内灣してそのまま口縁部まで立ち上がり端部を丸く収める。法量は1種類である。[338]

皿 A 15 a…口径11.6cm, 器高1.6cm

皿 A16 …極めて薄い平底であり、体部から口縁部が強く肥厚して外反し端部を丸く収める。法量は1種類である。〔701〕

皿 A16s…口径10.0cm, 器高0.9cm

皿 A17 …皿 A2 と同様に平底で体部内湾して立ち上がるが、口縁部外反せず端部を丸く収め内側に沈線を廻らせる。法量は1種類である。〔710〕

皿 A17e…口径17.2cm, 器高1.6cm

皿 B1 …皿 A4 に高台の付くもの。法量は1種類である。〔664〕

皿 B1 d…口径15.8cm, 器高2.5cm

皿 C1 …円盤状に突出した底部から体部短く直立し、すぐに口縁部強く折れて直線的に大きく開き端部を丸く収めるもので、内面に体部と口縁部の境の強い稜を有する。〔541〕

皿 C1 a…口径10.8cm, 器高2.1cm

杯 A1 …平底で体部強く屈曲して外傾指数3.45と急角度に直線的に立ち上がり口縁部僅かに外反して端部を丸く収め内側には沈線が廻る。体部内外面にヘラミガキを施す。法量は1種類である。〔828〕

杯 A1 e…口径16.8cm, 器高3.8cm

杯 A2 …体部上半の残存のみであるが、口縁部外反して端部を丸く収め内側に沈線を廻らせるもの。体部の立ち上り角度は杯 A1 よりも緩やかであり、内外面にヘラミガキは観られない。法量から次の2種がある。〔154〕

杯 A2 b…口径13.4~13.5cm

杯 A2 d…口径15.9cm

杯 A3 …平底で体部内湾しながら立ち上がり、口縁部は肥厚して外反し端部を丸く収める。径高指数0.21~0.28。外傾指数1.1~1.3を示すもので、本遺跡の土師器杯の中では最も頻出であり、さらに法量からは次の4種に区分できる。〔141〕

杯 A3 a…口径11.4~11.7cm, 器高2.9~3.0cm

杯 A3 b…口径12.5~13.5cm, 器高2.8~3.7cm

杯 A3 c…口径13.9~14.0cm, 器高3.2~3.4cm

杯 A3 d…口径15.0~15.4cm, 器高3.4~4.0cm

杯 A4 …平底で体部低く立ち上がり直線的に延び口縁部僅かに外反して端部を丸く収める。器高は低く、径高指数0.16~0.18, 外傾指数0.7~1.1を示すもので、さらに法量からは4種に区分できる。〔634〕

杯 A4 a…口径12.0cm, 器高2.0cm

杯 A4 b…口径13.3cm, 器高2.7cm

杯 A4 c…口径13.6~14.3cm, 器高2.4~3.1cm

杯 A4 d…口径14.8~15.2cm, 器高2.4cm

杯 A5 …平底で体部そのまま緩やかに内湾しながら立ち上がり、口縁部肥厚して外反し

端部を丸く収める。底部と体部の境は曖昧であり、径高指数0.27~0.29と口径に比して器高は高い。法量は1種類である。〔505〕

杯 A 5 b…口径12.4~13.3cm, 器高3.5~3.8cmを測る。

杯 A 6 …円盤高台気味にやや突出した平底であり体部強く折れて内灣しながら立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収める。径高指数0.28~0.33と器高が高いものであり、さらに法量からは4種がある。〔303〕

杯 A 6 a…口径11.4~11.6cm, 器高3.2~3.3cm

杯 A 6 b…口径12.9cm, 器高3.8~3.9cm

杯 A 6 c…口径14.4cm, 器高4.8cm

杯 A 6 d…口径15.2~16.0cm, 器高4.8~4.9cm

杯 A 7 …平底で体部強く折れて直線的に立ち上がり、口縁部は外反して端部を丸く収める。法量からは次の3種がある。〔620〕

杯 A 7 a…口径10.8~11.6cm, 器高3.0~3.3cm

杯 A 7 b…口径12.6~13.0cm, 器高3.2~3.6cm

杯 A 7 c…口径13.6cm, 器高3.9cm

杯 A 8 …杯 A 5 と同様に底部と体部の境が曖昧で体部そのまま内灣しながら立ち上がり器高が高いものであるが、口縁部が外反せずそのまま延びて端部を丸く収める。法量からは次の3種がある。〔402〕

杯 A 8 a…口径12.4cm, 器高3.2cm

杯 A 8 b…口径13.2cm, 器高4.0cm

杯 A 8 c…口径14.0cm, 器高3.6cm

杯 A 9 …平底で体部強く折れて立ち上がり一貫して直線的に延び口縁端部を丸く収める。底部と体部の境が明瞭であり、径高指数0.29~0.30と口径に比して器高は高い。さらに法量からは次の2種に区分できる。〔95〕

杯 A 9 a…口径11.1~12.4cm, 器高3.2~3.7cm

杯 A 9 b…口径12.8~13.0cm, 器高3.4~3.6cm

杯 A 9 c…口径13.6~14.5cm, 器高3.1~4.1cm

杯 A 10 …杯 A 9 と同様に平底で体部強く折れて立ち上がり一貫して直線的に延び口縁端部を丸く収めるものであるが、径高指数0.19~0.26である。法量からは次の2種がある。〔546〕

杯 A 10 b…口径12.6~13.2cm, 器高3.0~3.2cm

杯 A 10 c…口径13.8~14.8cm, 器高2.8~3.3cm

杯 A 11 …平底で体部内灣しながら外傾指数1.8と急角度に立ち上がり口縁部外反して丸く収めるが内側に沈線を有しない。法量は1種類である。〔792〕

杯 A 11 d…口径14.9cm, 器高3.0cm

杯 A 12 …円盤状に突出気味の平底で体部内灣しながら立ち上がり口縁部そのまま内灣して

端部肥厚して丸く収める。径高指数0.39と器高の高い器形である。量は1種類である。〔354〕

杯 A12c…口径14.0cm, 器高5.5cm

杯 A13 …平底で体部強く折れて立ち上がり一貫して直線的に延び口縁端部を丸く収める。底部と体部の境が明瞭であり、外傾指数1.29~1.49と体部の傾き強く、径高指数は0.17~0.26を示す。量量から次の2種がある。〔666〕

杯 A13b…口径13.2~13.4cm, 器高3.1~3.4cm

杯 A13c…口径14.0~14.7cm, 器高2.5~3.4cm

杯 B1 …平底で体部直線的に立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収めるもので、断面方形の高台が「八」の字状に付く。杯 A7 に高台を付けたものであり、量量から次の2種がある。〔512〕

杯 B1c…口径14.1~14.4cm, 器高5.5cm

杯 B1d…口径16.0~16.5cm, 器高5.7~6.2cm

杯 B2 …平底でそのまま体部内灣しながら立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収める。底部と体部の境が曖昧であり、杯 A5 に断面 U 字状で幅広の高台が「八」の字状に付くものである。量量から2種がある。〔793〕

杯 B2c…口径14.7cm, 器高5.7cm

杯 B2d…口径15.9cm, 器高5.3cm

杯 B3 …厚い平底からそのまま体部大きく内灣しながら立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収めるものであり、断面 U 字状で高台高0.6cmの小型の高台が「八」の字状に付く。回転台成形の後、内面にタテヘラミガキを施し、外面にも一部ヘラミガキが認められる。量は1種類である。〔516〕

杯 B3g…口径19.8~20.4cm, 器高7.2cm

杯 B4 …平底で体部内灣して立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収めるものであり、内外面にヘラミガキ痕をとどめない。口縁部のみの1点を確認できた。〔450〕

杯 B4h…口径21.0cm

杯 B5 …平底からそのまま体部一貫して内灣しながら立ち上がり口縁端部を丸く収めるものであり、細身で外面に強いナデの入る高台高1.0cmの高い高台が「八」の字状に付く。量は1種類である。〔615〕

杯 B5d…口径14.9cm, 器高5.0cm

甕 A I …丸底の長胴型の甕であり口縁部は「く」の字状に屈曲し端部を摘み上げ、最大径部が口縁部にあり径高指数は1.1程度である。口径24.2cm, 器高27.1cmを測り、外面にハケ調整を施し、内面にもハケ調整を施すものがある。〔209〕

甕 A II …丸底で口縁部が「く」の字状に屈曲して端部を摘み上げること、最大径部が口縁部にあること及び調整は甕 A I 同様であるが、径高指数0.63と甕 A I よりも器高が低く体部に幾分丸みを有する。口径20.8cm, 器高13.1cmを測る。〔833〕

甕 B…体部がほぼ球形を呈し口縁部を「く」の字状に屈曲し端部は摘み上げず丸く収める。外面にハケ、内面も一部ハケ調整を施すものであり、口径15.2cm、器高11.3cmを測る。〔529〕

黒色土器はそのほとんどを A 類が占め、椀、杯、高杯が認められるが、中でも椀の割合は他を凌駕する。B 類で図化し得たものは壺の口縁部 1 点のみである。

黒色土器 A 類椀 1…底部・体部一体となり内灣しながら立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収めるものであり、断面 U 字状の高台を有する。内面にヘラミガキ及び黒色処理を施し、外面はヨコナデであり黒色処理はされない。径高指数0.35~0.36を示し、法量からは次の 3 種がある。〔118〕

黒色土器 A 類椀 1 c…口径13.6~14.3cm、器高5.1cm

黒色土器 A 類椀 1 d…口径15.0~15.4cm、器高5.2cm

黒色土器 A 類椀 1 e…口径16.9cm

黒色土器 A 類椀 2…器形は黒色土器 A 類椀 1 と同じであり、内面にヘラミガキと黒色処理を施す他に、外面にもヘラミガキを施すが黒色処理は認められない。径高指数0.34を示し、法量からは次の 4 種がある。〔312〕

黒色土器 A 類椀 2 c…口径13.8cm

黒色土器 A 類椀 2 d…口径14.9cm、器高5.2cm

黒色土器 A 類椀 2 e…口径16.9cm

黒色土器 A 類椀 2 g…口径20.4cm、器高8.6cm

黒色土器 A 類椀 3…体部上半のみの残存であるが内灣しながら立ち上がり口縁部外反して端部が尖る。内面にヘラミガキと黒色処理を施し、外面はヨコナデである。口径18.7cmを測る。法量では 1 種類のみである。〔83〕

黒色土器 A 類椀 3 f…口径18.7cm

黒色土器 A 類椀 4…底部から口縁部まで一貫して内灣しながら立ち上がり端部を丸く収める。内面のみにヘラミガキと黒色処理を施す。法量から次の 3 種がある。〔119〕

黒色土器 A 類椀 4 c…口径14.4cm

黒色土器 A 類椀 4 d…口径15.0cm

黒色土器 A 類椀 4 e…口径16.5~16.8cm

黒色土器 A 類椀 5…器形は黒色土器 A 類椀 4 と同様であるが、内面にヘラミガキと黒色処理を施し、外面はヘラミガキを施すが黒色処理は認められない。法量から次の 2 種類がある。〔311〕

黒色土器 A 類椀 5 e…口径16.1~16.8cm

黒色土器 A 類椀 5 e…口径18.1cm

黒色土器 A 類椀 6…体部のみの残存であるが内灣しながら立ち上がり口縁部強く外反して丸く収める。内面のみ横方向のヘラミガキと黒色処理を施し、口径23.9cmの大型で深い鉢形を呈するものである。〔270〕

黒色土器 A 類椀 6 h…口径23.9cm

黒色土器 A 類杯 1 …平底で体部内灣しながら立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収める。底部と体部の境は不明瞭であり、内面にヘラミガキと黒色処理を施す。法量は 1 種類である。〔672〕

黒色土器 A 類杯 1 e …口径 16.8~17.1cm、器高 4.2cm

黒色土器 A 類杯 2 …体部以上の残存であるが浅く直線的に立ち上がり口縁部緩やかに外反気味で端部を丸く収める。内面にヘラミガキと黒色処理を施し、外面にヘラミガキが認められる。法量は 1 種類である。〔553〕

黒色土器 A 類杯 2 e …口径 17.7cm

黒色土器 A 類高杯 1 …杯部のみの残存であるが体部浅く内灣しながら立ち上がり口縁部外反して丸く収める。内面の横方向のヘラミガキと黒色処理を施す。口径 18.5cm を測る。〔720〕

黒色土器 B 類壺 …口縁部のみの残存であるが、端部を丸く収め端部外側に明瞭な稜を有するもので、口径 6.5cm を測る。内面と口縁部外面が横方向の、頸部外面が縦方向の綿密なヘラミガキを施す。〔313〕

須恵器は皿、杯 A、杯 B、蓋、甕、壺を検出したが、その組成比は僅少であり遺構出土の遺物のうち全体のプロポーシオンを把握できたのは杯 A 1 点のみである。

須恵器杯 A …平底で体部強く折れて一貫して口縁部まで直線的に立ち上がり端部を丸く収めるものであり、外傾指数 1.33 を示し、口径 13.9cm、器高 2.8cm を測る。〔406〕

緑釉陶器についてはさらに少なく、図化したものは 4 点でいずれも皿である。

緑釉陶器皿 …円盤状高台を呈し体部直線的に立ち上がり口縁部外反して端部を丸く収めるものであり、底部回転ヘラ切り難しである。口径 19.1cm、器高 3.5cm を測り、焼成は軟質で、釉薬は薄い黄緑色を呈するものである。いわゆる京都系と据えられる。

遺構の時期区分

第 6 表及び第 7 表は第 1、2 調査区主要遺構における供膳形態を表したものである。SD2001 は遺物数が極端に少ないものの、京都系で焼成が軟質の緑釉陶器皿が、また土師器皿では皿 A 2 類のみが認められる。この緑釉陶器皿は口縁部のみの残存であるが平安京 II 期段階¹⁹⁾のものであり、これは黒谷川宮ノ前遺跡²⁰⁾SK1283 及び阿波国府跡第 6 次調査 SD29²¹⁾においても認められる。土師器杯では黒谷川宮ノ前遺跡 SK1283 に認められる杯 A 1 類、杯 A 2 類は認められないものの、杯 9a 類 1 点を除いては全形こそ不明ながらも口径 13.6~16.7cm の中・大型に限られ、さらに非常に大型の杯 B 類もある。また黒色土器 A 類杯 1 類 2 点とはともに回転台成形で内面のみにヘラミガキを施したものであり、器形的には瓷器模倣系から脱却した土師器生産の延長線上に据えられる阿波国府跡第 8 次調査 SK04²²⁾と同様である。土器溜り SZ2001 も同様に遺物量が少ないが土師器皿は A 2 類のみで構成され、杯類にも口縁部が外反せず外傾指数の大きい杯 A13 類が認められることから同段階のものである。

SK2009 では径高指数 0.20、外傾指数 1.33 を示す須恵器杯 A が認められる。黒色土器 A 類碗で

はSD2001出土の内面に加え外面にもヘラミガキを施すが黒色処理はされない2類及び5類がある。土師器皿ではA2類が皿に占める割合は24%であるがその法量にもバラエティーがある。いずれにせよ、阿波国府跡SD29及びSK04には皿A2類が全く認められないことからこれらよ

第6表 第1, 2調査区主要遺構における供膳具出土状況(1)

		SD2001	SZ2001	SK2009	SD2009	SK2014	SK2005	SK2003	SK2017	SK2011	SK2008	
皿	A2	b		1	1		1					
		c	1	1	1				1			
		d	1	1	1	1			1			
		e	1	1					1			
	A3	a			3	2		1	2			2
		b					3	3	2		3	
		c				1	4	7	2		2	
		d			1		2			1		
	A4	b							1		1	2
		c					1			1		
	A5	b				1						
	A6	b				1						
	A7	b							2			
	A8	b						1				
	A9	b				1						
		d								1		
	A12	b								1		
	A13	c						1			1	
	A14	s				1						
	A15	a										1
C1	a								1			
不明	a				1							
	b			4	2	3	1				1	
	c			2		2	4	2				
	d			2			1		3			
	f			1								
杯	A2	c				1			1			
		d						1				
	A3	a					1					
		b			2		9			1	1	
		c			1						1	
		d							1			
	A4	c			1		1					
		d			1							
	A5	b				2		2				
	A6	a								1		
		b						1		1		

第7表 第1, 2調査区主要遺構における供膳具出土状況(2)

		SD2001	SZ2001	SK2009	SD2009	SK2014	SK2005	SK2003	SK2017	SK2011	SK2008	
杯	A6	c								1		
		d				1		1				
	A8	b				1						
		c			1							
	A9	a	1			1	1					
		c				1						
	A10	b							1			
	A12	c									1	
	A13	c		1								
	B1	d				1						
	B3	g				1		1				
	B4	h								1		
	B	底	1		2	2	1	1	3			
	不明	a			2	1	3	1	2	2	1	1
		b		1	7	6	8	4	5	2	6	4
c		3	2	5	5	2	2	4	3	6	1	
d		2	1	2	3	3	1	2		1	2	
e										1		
底				2	3	3			2	1		
黒色土器A類	1	c				1						
		d	1			1		1				
		e							2			
	2	c				1						
		e						1				
		d			1							
	5	e			1		1	1				
		底					1	1	1			
	杯	2	e							1		
その他	鉢軸陶器皿			須恵器杯	須恵器杯	土師器高杯	須恵器杯 黒色土器 A類高杯 黒色土器 B類密		黒色土器 A類杯			

りやや遅いものと考えられる。SD2004は土師器皿A2類が25%を占めるものの、小型の土師器皿A14類を含むことからこの遺構は年代幅が広いものと想定できる。

次段階に想定できるSK2014では土師器皿類の主体はA3類となり、逆にA2類は僅少となる。他にA4類、A5類で構成されるが法量的にはいずれも小型のa類を含まないもので、b～d類の中型のみである。その中で器高の低いA4類はこの遺構以後一定量出土する。杯では土師器杯A2類が存在し、また径高指数が大きく底部から強く折れて立ち上がるA6類及びA9類

も認められ、A6類はこの遺構以後一定量出土する。しかしながら杯についてはA3b類が半数近くを占めやや収束の傾向が窺える。同段階のSK2005も同様に皿A2類の割合は僅かでA3類が中心であり、このことはSK2003も同様である。またSK2014よりもSK2005及びSK2003が僅かずつではあるが、皿類において法量の縮小化が進行している。SK2017は遺物量が少なく、皿類ではA2類が2割強を占め、杯においても杯A2類が存在する反面、直立する体部から口縁部が強く折れて直線的に開く小型の皿C1類が出現しているのが注目される。

次の段階のSK2011では引き続きA3類が中心であり、皿A2類が全くなくなる。また極めて器壁の薄い皿A12類が検出されている。杯類では杯A6類の他、大型の杯B4類が認められる。同じくSK2008では皿類において法量の小型化がさらに進行し、全てa, b類で占められるようになり、小皿ともいべき皿A15類が現れる。この小皿は黒谷川宮ノ前遺跡SK1034, SD1016においては認められないことから、これより1段階後のものである。また杯類においても椀型を呈する杯A12類が検出されているが、これらはそれぞれ名東遺跡SD06¹⁵⁾、入田瓦窯跡¹⁶⁾においても認められる。

また名東遺跡SD06, 入田瓦窯跡, 庄遺跡水路状遺構上層・土器溜り¹⁷⁾においては、小皿に加え本遺跡においては認められない足高台皿が認められ、庄遺跡水路状遺構においては、回転土師器を素地とする杯形態に高台を貼り付けた黒色土器B類椀が認められることから、これらの遺構は次段階と捉えられる。椀型黒色土器B類椀の黒谷川宮ノ前遺跡SD1011はさらにもう1

第8表 9・10世紀の遺構（遺跡）一覧表

年代	石井城ノ内遺跡 石井・神山線地区	徳島県内遺跡
800		黒谷川宮ノ前遺跡 SK1059, SK1283
	SD2001 SZ2001 SK2009	阿波国府第6次 SD29
900	SK2014 SK2005 SK2003	阿波国府第8次 SK04 庄遺跡 SK01 黒谷川宮ノ前遺跡 SK1034, SD1016
	SK2011 SK2008	名東遺跡 SD06 入田瓦窯跡 庄遺跡水路状遺構上層, 土器溜り 黒谷川宮ノ前遺跡 SD1011

段階下るものであろう。

第8表に本遺跡の各遺構と徳島県内遺跡の併行関係を示す。⁴

赤色塗彩について

本遺跡においては、土師器特に皿及び杯の外表面または内外面に赤色塗彩を施したものが大量に認められるが、これは畿内産土師器の色調、質感を意識したものと考えられ、官衙関連遺跡若しくは中央とのつながりが極めて強い遺跡であることは、緑釉陶器や銅製帯金具の検出と合わせて自明である。

第9表は各遺構ごとの赤色塗彩率を表したものである。さまざまな性格の遺構を一括して議論することは甚だ疑念が残るが、同一集落群という限定された空間内という視点であることから一定の傾向が窺えよう。

最古段階に比定できるSD2001が50%、SZ2001が85.7%と高い値を示し、ややばらつきがあるものの、以後年代が下るごとに赤色塗彩率は下がり、最新のSK2011、SK2008では20%を切る程度にまで落ち込んでいる。この傾向は黒谷川宮ノ前遺跡においても同様である。すなわち9世紀前半に位置付けられる黒谷川宮ノ前遺跡SK1059が85.7%、同じくSK1283が47.4%であるのに対し、10世紀に入るSK1034が25.0%、同じくSD1016が3.2%とその傾向は鮮明である。これら以外の遺跡のデータに乏しいため早計かもしれないが、皿・杯類への赤色塗彩は本地域において少なくとも10世紀を画期として減少傾向に転ずるといえよう。

さらに皿・杯類の各器種ごとの赤色塗彩率をみていこう。第10表及び第11表は各器種ごとの赤色塗彩率を示したものである。まず全体の赤色塗彩率であるが、土師器皿類の総数76個に対して土師器杯類の総数267個と杯が皿の3.5倍を占めている。そのうち赤色塗彩された皿は19点つまり皿全体の25.0%を占めるのに対し、杯は64点24.0%とほぼ同じ値を示している。次に器種間の差

第9表 主要遺構における土師器皿・杯類の赤色塗彩率

	土師器皿・杯類個体数			赤色塗彩土師器皿・杯類個体数			赤色塗彩率 (%)
	皿類	杯類		皿類	杯類		
SD2001	1	7	8	1	3	4	50.0
SZ2001	2	5	7	2	4	6	85.7
SK2009	17	23	40	7	7	14	35.0
SD2009	12	20	32	3	5	8	22.9
SK2014	17	40	57	3	5	8	14.0
SK2005	20	12	33	5	4	9	27.3
SK2003	12	21	33	2	11	13	39.4
SK2017	9	11	30	4	2	6	20.7
SK2011	8	21	29	0	2	2	6.9
SK2008	6	11	17	1	2	3	17.6

第10表 第1, 2調査区第2遺構面出土の土師器皿類における赤色塗彩率

器種	総個体数	赤色塗彩個体数	赤色塗彩率 (%)	器種	総個体数	赤色塗彩個体数	赤色塗彩率 (%)
皿 A1	0	0	—	皿 A12	1	0	0.0
皿 A2	19	11	57.8	皿 A13	2	1	50.0
皿 A3	54	7	13.0	皿 A14	1	0	0.0
皿 A4	15	1	6.7	皿 A15	1	1	100.0
皿 A5	4	0	0.0	皿 A16	0	0	—
皿 A6	2	1	50.0	皿 A17	0	0	—
皿 A7	2	0	0.0	皿 B	1	0	0.0
皿 A8	3	1	33.3	皿 C	1	0	0.0
皿 A9	2	0	0.0	皿(不明)	38	12	31.6
皿 A10	1	1	100.0				
皿 A11	1	0	0.0	皿類総数	76	19	25.0

第11表 第1, 2調査区第2遺構面出土の土師器杯類における赤色塗彩率

器種	総個体数	赤色塗彩個体数	赤色塗彩率 (%)	器種	総個体数	赤色塗彩個体数	赤色塗彩率 (%)
杯 A1	0	0	—	杯 A12	1	1	100.0
杯 A2	5	3	60.0	杯 A13	1	1	100.0
杯 A3	27	4	14.8	杯 B1	5	0	0.0
杯 A4	6	2	33.3	杯 B2	0	0	—
杯 A5	4	2	50.0	杯 B3	2	2	100.0
杯 A6	7	1	14.3	杯 B4	1	0	0.0
杯 A7	4	1	25.0	杯 B5	1	0	0.0
杯 A8	2	0	0.0	杯 B	15	3	20.0
杯 A9	7	1	14.3	杯(不明)	175	40	22.9
杯 A10	4	3	75.0				
杯 A11	0	0	—	杯類総数	267	64	24.0

異であるが、皿類では口縁端部内側に沈線を廻らせる皿 A2 類の塗彩率が57.8%と皿類平均 25.0%の約2.3倍と高い値を示しており、少量出土の A11類, A15類を除けば最も高い割合である。さらにその中の法量に注目すれば、表化していないが、塗彩率は b 類が4 点中3 点(75%), c 類が4 点中1 点(25%), d 類が4 点中3 点(75%), e 類が3 点中2 点(67%)と明瞭に区分される。つまり塗彩率が高いのが口径12.5~13.6cm, 15.3~16.5cm及び16.9~17.2cmであり、反対に13.9~14.6cmのものは比較的低くなっている。

器形に話を戻すと沈線をとどめず口縁部外反して端部を丸く収める皿 A3 類は13.0%と平均値の約半分、器高の低い皿 A4 類はさらに低く6.7%である。一方、杯では口縁端部内側に沈線

を廻らせる杯 A2 類において 5 点中 3 点が赤色塗彩を施されており、高い数値を示している。また体部が強く折れて立ち上がり口縁部まで一貫して直線的に伸びて端部を丸く収める杯 A10 類は最も高い 75.0% である。これに対して、杯 A3 類は 14.8%，杯 A6 類は 14.3% と平均を約 40% 下回る低さである。

以上より、本調査区出土の 9～10 世紀の皿・杯類において、器種と赤色塗彩の間には相関が認められる。つまり内外面を赤色塗彩される器種は口縁端部内側に沈線を廻らせる皿 A2 類、杯 A2 類、及び体部が強く折れて口縁部が直立する杯 A10 類に多くみられ、皿・杯類全体の赤色塗彩率には、これらの器種の占める割合が起因するものといえよう。皿 A2 類の占める割合の高い 9 世紀の SD2001, SZ2001, SK2009 が 86～35% の高率を示し、10 世紀以降皿 A2 類の組成比の減少に伴い赤色塗彩率は低下し、皿 A2 類が皆無となる SK2011, SK2008 は 18～7% の低率を示す。官衝関連遺跡と関連の深い当調査区や黒谷川宮ノ前遺跡において、畿内産土師器模倣傾向の赤色塗彩が 10 世紀を画期として減少に転ずることから、畿内の影響力の低下若しくは、畿内自体での供膳形態の変化が窺える。これに続く 11 世紀の遺物は徳島ではまだ乏しいため、これ以後の展開が不明であり、官衝関連遺跡以外の一般集落の資料も不足するため客観的な傾向をつかめないこと等に課題を残す。今後の一括資料の増加に期待するところである。

¹ 菅原康夫 1993 「弥生時代終末期の阿波の社会と文化」『鳴門史学』第 7 集

² 菅原康夫 1986 『黒谷川郡頭遺跡 I』徳島県教育委員会

³ 大西浩正 1996 『黒谷川郡頭遺跡 IV・V』徳島県教育委員会

⁴ 近藤 玲 1996 「阿波」『古代学協会四国支部第 10 回松山大会資料弥生後期の瀬戸内海』古代学協会四国支部

⁵ 菅原康夫 1987 『黒谷川郡頭遺跡 II』徳島県教育委員会

⁶ 菅原康夫 1992 「阿波弥生時代終末期社会の特質」『考古学と生活文化』同志社大学考古学シリーズ V

⁷ 勝浦康守 1992 「徳島における古代末から中世における土器様相について」『中近世土器の基礎研究Ⅵ』

勝浦康守 1996 「徳島県における古代末～中世の土器様相」『第 8 回四国中世土器研究会資料』

早河隆人 1994 「黒谷川宮ノ前遺跡における古代の土器様相について」『徳島県埋蔵文化財センター調査報告書第 9 集四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 9 黒谷川宮ノ前遺跡』

⁸ 註 7 (勝浦 1996)

⁹ 径高指数 = 器高 / 口径 大きいほど口径に対する器高の割合の高い器形である。

¹⁰ 外傾指数 = 器高 × $\sqrt{1/2 \times (\text{口径} - \text{底径})}$ 外傾指数 1 の時体部の傾きが 45° であり、大きいほど傾きが急角度である。

¹¹ 古代学協会・古代学研究所編『平安京提要』

¹² 徳島県埋蔵文化財センター 1994 『四国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 9 黒谷川宮ノ前遺跡』

- ¹³ 徳島市教育委員会 1988『阿波国府跡第6次調査概報』
- ¹⁴ 徳島市教育委員会 1990『阿波国府跡第8次調査概報』
- ¹⁵ 名東遺跡発掘調査委員会 1990『名東遺跡発掘調査概要』
- ¹⁶ 立花 博・天羽利夫 1970『徳島市入田瓦窯跡調査概報』
- ¹⁷ 徳島県教育委員会 1983『庄遺跡徳大蔵本団地地区』現地説明会資料
なお、庄遺跡水路状遺構上層には一部11世紀の遺物も含まれる。
- ¹⁸ 徳島県内遺跡の時期的変遷については註7を参照し、一部改竄している。

出土遺物觀察表

第12表 出土遺物観察表(1)

番号	遺標	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1	SA2001 SP2009	土師器	杯	13.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	1mmの赤色斑粒、結晶片岩		杯c
2	SA2001 SP2011	土師器	杯	14.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	結晶片岩		杯c
3	SA2001 SP2011	土師器	杯	16.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	結晶片岩	内外・赤彩	皿A2d
4	SA2001 SP2011	黒色土器 A類	碗			6.7	(内)ハラミガキ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	内・褐灰 外・にぶい橙	1mm大の石英、結晶片岩		
5	SA2001 SP2007	土師器	葉	20.8			(内)ヨコハケ(7&cm)(外)ヨコナダ	橙	1~4mmの結晶片岩、砂粒多し		
6	SA2001 SP2011	土師質	葉				(内)ナナメハケ(外)ナナメハケ(4&cm)	にぶい橙	1mmの結晶片岩、砂粒多し		
7	SA2002 SP2032	土師器	皿	12.7	1.7	6.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	にぶい橙	1~3mm大の石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		皿A3b
8	SA2002 SP2032	土師器	皿	13.0	1.4	8.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	浅黄橙	1~4mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		皿A3b
9	SA2002 SP2032	土師器	皿	13.6	1.5	9.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	にぶい黄橙	1~4mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		皿A3b
10	SA2002 SP2032	土師器	皿	14.2	1.2	10.4	(内)ヨコナダハケ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	にぶい橙	1~13mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		皿A4c
11	SA2002 SP2032	土師器	皿	14.4	2.5	10.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄橙	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		皿A5c
12	SA2002 SP2032	土師器	皿	14.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	0.5~3mmの石英、赤色斑粒、微量の砂粒		皿c
13	SA2002 SP2032	土師器	皿	14.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	明黄褐	赤色斑粒、1mmほどの結晶片岩、微量の砂粒		皿A11c
14	SA2002 SP2032	土師器	杯	11.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙 (内、外面上部)	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯a
15	SA2002 SP2032	土師器	杯	12.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b
16	SA2002 SP2032	土師器	杯	13.6	3.9	7.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	にぶい黄橙	1~5mm大の石英、結晶片岩	内外・赤彩	皿A7c
17	SA2002 SP2032	土師器	杯	13.1			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	0.1~0.5mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯b
18	SA2002 SP2032	土師器	皿	13.6	2.0	8.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	灰白	1~3mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		皿A5b
19	SA2002 SP2032	土師器	杯	14.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	1mm大の石英、赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯c
20	SA2002 SP2032	土師器	杯	14.8	2.4	9.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	にぶい黄	1~5mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯A4d
21	SA2002 SP2032	土師器	杯	15.0	3.4	9.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘタ切りのちナダ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~6mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯A3d
22	SA2002 SP2032	土師器	杯	15.2			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい橙 外・浅黄橙	0.1~2mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯A3d
23	SA2002 SP2032	土師器	杯	15.2			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄橙	1~2mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯d
24	SA2002 SP2032	土師器	杯	15.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	1~2mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯d
25	SA2002 SP2032	土師器	杯	17.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	0.1~0.5mmの結晶片岩、石英		杯e

第13表 出土遺物観察表(2)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
26	SA2002 SP2032	土師器	杯			5.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・にぶい黄 外・浅黄緑	1～4mmの石英、赤色炭粒、微量の砂粒		
27	SA2002 SP2032	土師器	杯			8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい黄	1～2mmの結晶片岩、石英炭粒の砂粒		
28	SA2002 SP2032	土師器	杯			9.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	黄	1mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		
29	SA2002 SP2032	土師器	杯			7.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白	1～5mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		
30	SA2002 SP2032	土師器	杯			9.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	浅黄緑	0.5～3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯B
31	SA2002 SP2032	土師器	甕	14.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい黄 外・にぶい赤褐	0.1～0.5mmの石英、赤色炭粒、微量の砂粒		
32	SA2002 SP2032	土師器	甕	28.0			(内)強い横ハケ(6条/cm)(外)強いクテハケのち口縁部ヨコナデ体部ヨコハケ(6条/cm)	にぶい黄	1～5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、砂粒多し		
33	SA2002 SP2032	土師質	甕				(内)層部より1cmから強いヨコナメハケ(外)層部より1cmから強いクテハケ	にぶい黄	1～5mmの石英、結晶片岩、雲母、微量の砂粒		
34	SA2002 SP2030	土師器	皿	14.1	1.4		(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	2mmの黒色炭粒、赤色炭粒、結晶片岩		皿c
35	SA2002 SP2030	土師器	皿	15.0	1.7	10.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	1mmの石英、結晶片岩、黒色炭粒、赤色炭粒、微量の砂粒		皿A3d
36	SA2002 SP2030	土師器	皿	15.1	1.6	11.1	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)丁寧なナデ	にぶい黄	1～2mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩		皿A4d
37	SA2002 SP2030	土師器	杯	13.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		杯b
38	SA2002 SP2030	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	1～4mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		杯c
39	SA2002 SP2030	土師器	杯	14.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄	結晶片岩		杯c
40	SA2002 SP2030	土師器	杯	14.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄	1mm次の結晶片岩、微量の砂粒		杯c
41	SA2002 SP2030	土師器	杯	15.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯d
42	SA2002 SP2030	土師器	杯	14.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい黄 外・にぶい赤褐 灰白	結晶片岩		杯c
43	SA2002 SP2030	土師器	杯	14.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄	1～2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		杯c
44	SA2002 SP2030	緑釉陶器	皿	19.1	3.5	6.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ(内・外)緑釉(外底)無釉	浅黄緑	1mmの石英		軟質京部系
45	SA2002 SP2030	土師器	高杯	36.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい黄 外・にぶい黄	1～3mmの結晶片岩	内外・赤彩	
46	SA2002 SP2030	土師質	土師	5.6	1.9	16.4	部に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	黄	結晶片岩		
47	SA2002 SP2030	金属	不明	7.1	5.0						
48	SA2002 SP2023	土師器	杯	13.4	2.8	7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	黄	2mmの結晶片岩、赤色炭粒		杯A3b
49	SA2002 SP2023	土師器	杯	13.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	1mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		杯c
50	SA2002 SP2023	土師器	杯	15.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄緑	1mm次の結晶片岩		杯d
51	SA2002 SP2023	土師器	甕	23.6			(内)ヨコハケ(6条/cm)(外)口縁部ヨコナデ体部クテハケ(6条/cm)	黄	2mmの赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		

第14表 出土遺物観察表(3)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
52	SA2002 SP2023	土師質	甕				(内)ナナメハタ(6条/cm)(外)テナハケ(6条/cm)/エビオキエ	橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、砂粒多し		
53	SA2002 SP2033	土師器	甕	17.0	1.4	12.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちりぢりナデ	にぶい橙	2mmの石英、赤色炭粒、黒色炭粒、結晶片岩		ⅢA4e
54	SA2002 SP2033	土師器	杯	14.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		杯B1c
55	SA2002 SP2022	土師器	甕	24.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、砂粒多し		
56	SA2002 SP2029	土師器	甕	12.0	1.9		(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		ⅢA5a
57	SA2002 SP2029	石製品	砥石	10.4	7.7	6.5	長割面の3面を使用。一部欠損。		砂岩		
58	SA2002 SP2028	土師器	甕	14.2	1.2	11.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡黄	1mmの結晶片岩、石英		ⅢA4c
59	SA2002 SP2028	土師器	杯	14.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩	内外・赤彩	杯c
60	SA2002 SP2028	土師質	甕				(内)ヨコナデ(外)ヨコハケ(4条/cm)	にぶい橙	3mmの結晶片岩、赤色炭粒		
61	SA2002 SP2025	土師器	杯	14.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		杯c
62	SA2002 SP2025	須恵器	甕	14.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰	石英、結晶片岩		
63	SA2002 SP2027	土師器	杯	13.2	3.2	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちりぢりナデ	にぶい黄橙	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A10b
64	SA2002 SP2027	土師器	杯	16.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	石英、結晶片岩		杯d
65	SA2002 SP2027	土師器	杯			7.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちりぢりナデ	にぶい橙	結晶片岩		
66	SA2002 SP2027	黒色土器A類	甕	14.4			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ	内・黒褐 外・にぶい橙	2mmの石英、結晶片岩		ⅢA 甕c
67	SA2002 SP2027	土師質	土鉢	5.1	0.8	3.0	脣に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちりぢりナデ	橙	結晶片岩		
68	SA2002 SP2027	土師質	土鉢	5.3	1.3	6.8	脣に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちりぢりナデ	にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩		
69	SA2003 SP2059	土師器	甕	14.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・淡黄 橙 外・灰白	1mmの結晶片岩		ⅢA2c
70	SA2003 SP2059	土師器	甕	14.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	5mmの結晶片岩	内外・赤彩	Ⅲc
71	SA2003 SP2059	土師器	甕	13.8	1.5	8.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡黄橙	2mm大の結晶片岩		ⅢA3c
72	SA2003 SP2059	土師器	甕	14.4	1.6	11.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	結晶片岩	内外・赤彩	ⅢA3c
73	SA2003 SP2059	土師器	甕	15.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・淡黄 橙	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		ⅢA3d
74	SA2003 SP2059	土師器	甕	16.2	1.1	12.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩	内外・赤彩	ⅢA10d
75	SA2003 SP2059	土師器	杯	12.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡橙	0.5mmの結晶片岩		杯a
76	SA2003 SP2059	土師器	杯	13.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mm大の赤色炭粒、結晶片岩		杯c
77	SA2003 SP2059	土師器	杯	12.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		杯b
78	SA2003 SP2059	土師器	杯	14.0	3.0	9.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mm大の石英、結晶片岩		杯A3c
79	SA2003 SP2059	土師器	杯			6.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちりぢりナデ	灰白	結晶片岩	内外・赤彩	

第15表 出土遺物観察表(4)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
80	SA2003 SP2059	土師器	杯			8.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのちナデ	にぶい澄	赤色斑紋、結晶片岩、微 量の砂粒	内外・赤彩	
81	SA2003 SP2059	土師器	杯			7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのちナデ	にぶい澄	1mm大の石英、微量の砂 粒		
82	SA2003 SP2059	須恵器	杯	15.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	結晶片岩、微量の砂粒		
83	SA2003 SP2059	黒色土器 A類	碗	18.7			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ	内・黒褐 外・にぶ い黄褐色	3mmの石英、結晶片岩、 赤色斑紋		黒A類3f
84	SA2003 SP2059	土師器	壺	23.6			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)ヨコナデ	澄	1~3mm大の結晶片岩、 石英、砂粒多し		
85	SA2003 SP2059	土師質	土罐	3.8	0.3	0.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい黄 澄	0.5mmの結晶片岩、石英、 少量の砂粒		
86	SA2003 SP2060	土師器	皿	12.8	1.6	8.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのちナデ	内・にぶ い澄 外・にぶ い濁	結晶片岩		皿A3b
87	SA2003 SP2060	土師器	杯	16.0	6.2	8.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのち丁寧なナデ	にぶい澄	2mm大の石英、結晶片 岩、赤色斑紋、微量の砂 粒		杯B1d
88	SA2003 SP2060	土師質	土罐	1.8	0.3	1.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	澄	2mmの石英、結晶片岩		
89	SA2003 SP2058	土師器	杯	12.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	2mm大の結晶片岩	内外・赤彩	杯a
90	SA2003 SP2057	土師器	杯	15.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い澄 外・淡黄 澄	1~2mm大の石英、結晶 片岩、赤色斑紋、微量の 砂粒		杯d
91	SA2003 SP2057	黒色土器 A類?		15.8			(内)ヘラミガキ(外)タテハケのちヨコハ ケ	黒褐	2mmの結晶片岩		
92	SA2005 SP2073	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・淡黄 澄 外・澄	結晶片岩、赤色斑紋	内外・赤彩	杯b
93	SA2005 SP2073	土師器	杯			8.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのちナデ	にぶい澄	1~3mmの石英、結晶片 岩、赤色斑紋		
94	SA2005 SP2073	土師器	壺	28.4			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タ テハケ(5条/cm)	澄	1~4mmの石英、結晶片 岩、砂粒多し		
95	SA2005 SP2075	土師器	杯	14.5	3.1	8.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのち丁寧なナデ	内・灰白 外・淡黄 澄	1mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯A9c
96	SA2005 SP2072	土師質	土罐	3.9	0.4	1.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい澄	3mmの石英、結晶片岩		
97	SD1002	土師器	皿	16.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	2mm大の石英、結晶片 岩、微量の砂粒		皿d
98	SD1002	土師器	杯	12.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	結晶片岩、赤色斑紋		杯a
99	SD1002	土師器	杯			6.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのちナデ	内・澄 外・明黄 濁	1~3mmの結晶片岩、石 英、赤色斑紋、微量の砂 粒		
100	SD1002	土師質	土罐	4.4	0.3	0.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい澄	1mmの石英、結晶片岩、 赤色斑紋、微量の砂粒		
101	SD1002	土師質	土罐	4.4	0.3	1.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい澄	1~2mmの結晶片岩、石 英、赤色斑紋、微量の砂 粒		
102	SD1002	土師質	土罐	5.8	0.3	1.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい澄	1~2mmの結晶片岩、石 英、赤色斑紋、微量の砂 粒		
103	SD1002	金属	不明	0.4	4.2						
104	SD1001	土師器	皿	12.5	1.8	7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ タ切りのちナデ	澄	1~2mmの結晶片岩、赤 色斑紋、微量の砂粒		皿A11a
105	SD1001	土師器	杯	12.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡黄澄	0.5mmの結晶片岩、赤色 斑紋、微量の砂粒	内外・赤彩	杯a
106	SD1001	土師器	壺	17.5			(内)口縁部強いヨコハケ体部ナメハケ のち強いヨコハケ(4~5条/cm)(外)口縁部 ナメタタキ体部ナメタタキ強いナ メハケ	内・にぶ い澄 外・明赤 濁	1~5mmの結晶片岩、石 英、赤色斑紋、砂粒多し		

第16表 出土遺物観察表(5)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
107	SD1001	土師質	土鉢	3.7	0.3	1.1	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい黄褐色	結晶片岩、石英、微量の砂粒		
108	SD2001	土師器	皿	16.9	1.8	12.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	黄	1~8mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒	内外・赤彩	皿A2e
109	SD2001	緑釉陶器	皿	13.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(内外)緑釉	淡黄	0.5mmの石英	缺質	
110	SD2001	土師器	杯	14.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	4~5mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯c
111	SD2001	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	2mmの結晶片岩、赤色斑粒	内外・赤彩	杯c
112	SD2001	土師器	杯	13.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄	1mmの結晶片岩、赤色斑粒	内外・赤彩	杯c
113	SD2001	土師器	杯	11.9	3.4	6.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい黄	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、少量の砂粒		杯A9a
114	SD2001	土師器	杯	15.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯d
115	SD2001	土師器	杯	16.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	0.5mmの石英、結晶片岩		杯e
116	SD2001	土師器	杯			14.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい黄	0.5mmの石英、赤色斑粒、結晶片岩		杯B
117	SD2001	黒色土器A類	碗	15.0			(内)ヘラミダキ(外)口縁端部ヘラミダキ体部ヨコナデ	内・黒褐色	結晶片岩		黒A碗d
118	SD2001	黒色土器A類	碗	15.0	5.2	7.5	(内)ヘラミダキ(3mm幅)(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・褐灰外・黄	0.5~3mmの結晶片岩・石英		黒A碗1d
119	SD2001	黒色土器A類	碗	14.3	5.1	7.2	(内)ヘラミダキ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・オリーブ黒外・にぶい黄/黄	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		黒A碗4c
120	SD2001	土師器	壺	26.2			(内)ヨコハケのちヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	1~2mmの結晶片岩、石英、砂粒多し		
121	SD2001	土師器	壺	20.5			(内)ヨコハケのちヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	1~2mmの結晶片岩、黒色斑粒、少量の砂粒		
122	SD2001	土師器	壺	27.2			(内)強いヨコハケ(5mm/cm)のち一部ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部強いナメハケ(5mm/cm)	内・にぶい赤褐色外・黄	1~2mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		
123	SD2001	土師器	壺	27.4			(内)胴部へ口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部強いナメハケ(5mm/cm)	にぶい黄	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒、石英、砂粒多し		
124	SD2001	土師器	壺	23.8			(内)ヘラケズリ/タテハケ/ヨコナデ(外)強いタテハケ(4mm/cm) 端部上面はヨコナデ	黄	1~2mmの結晶片岩、石英、砂粒多し、		
125	SD2001	土師質	土鉢		1.0	1.7	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	黄	4mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
126	SD2001	土師質	土鉢		1.0	2.0	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい黄	5mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		
127	SD2001	土師質	土鉢		1.0	2.2	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
128	SD2001	土師質	土鉢		1.1	2.7	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	黄	結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		
129	SD2001	土師質	土鉢		1.1	3.6	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄	0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		
130	SD2001	土師質	土鉢	3.6	0.9	3.1	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	黄	1~2mm大の石英、結晶片岩、少量の砂粒		
131	SD2001	土師質	土鉢	3.6	1.1	3.2	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄	0.5~1mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
132	SD2001	土師質	土鉢	3.7	1.0	3.0	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄	0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒、少量の砂粒		
133	SD2001	土師質	土鉢	4.0	1.0	3.8	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	明褐	結晶片岩		
134	SD2001	土師質	土鉢	4.3	0.9	3.3	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい黄	結晶片岩		
135	SD2001	土師質	土鉢	5.1	0.9	4.1	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	黄	1mmの石英、結晶片岩		

第17表 出土遺物観察表(6)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
136	SD2001	石製品	砥石	6.0	1.6	5.0	表裏2面使用	灰白			
137	SD2001	金属	不明	5.9	3.2		断面弓形				
138	SD2002	土師器	皿	17.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄緑	1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		Ⅲe
139	SD2002	土師器	杯	11.4	3.2	5.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	橙	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯A6a
140	SD2002	土師器	杯	12.4	3.6	7.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	浅黄緑	1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		杯A9a
141	SD2002	土師器	杯	13.2	3.6	7.1	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白/焼灰	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯A3b
142	SD2002	土師器	壺	25.8			(内)強いヨコハケ(4条/cm)(外)強いナメハケ(5条/cm)	明赤褐	2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		
143	SD2002	土師器	壺	27.8			(内)強いヨコハケ(5条/cm)(外)強いナメハケ(5条/cm)	内・明赤褐 外・黄褐	1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		
144	SD2004	土師器	皿	14.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		Ⅲc
145	SD2004	土師器	皿	14.4	1.3	9.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	橙	1~4mmの結晶片岩、石英、砂粒多し	内外・赤彩	ⅢA6c
146	SD2004	土師器	杯	12.4	3.8	6.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・橙 外・橙/ にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		杯A9a
147	SD2004	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、少量の砂粒	内外・赤彩	杯b
148	SD2004	土師器	杯			6.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	灰白	1~5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、黒色炭粒、微量の砂粒		
149	SD2004	土師器	壺	15.0			(内)ヨコハケ(外)タタキ	にぶい褐	1mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
150	SD2004	土師器	壺	25.4			(内)強いヨコハケ(5条/cm)(外)口縁部タタキのちナデ体部強いナメハケ(5条/cm)	橙	1~8mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、砂粒多し		
151	SD2004	黒色土器A類	碗	20.4	6.9	8.6	(内)ヘラミガキ(2.5~3mm幅)螺旋状ヘラミガキ(外)ヘラミガキ	内・黒 外・にぶい褐	5~10mmの石英、結晶片岩		ⅢA黒2
152	SD2004	黒色土器A類	碗			7.6	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ	内・黒褐 外・にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		
153	SD2005	土師器	杯			7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	淡橙	1~3mmの赤色炭粒、結晶片岩		
154	SD2008	土師器	杯	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙 外・にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩、刷面「凹」	杯A2b
155	SD2008	土師器	壺	16.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~3mmの結晶片岩、石英、砂粒多し		
156	SD2008	土師器	壺	25.6			(内)強いヨコハケ(5条/cm)(外)ヨコナデ	内・橙 外・にぶい橙	1mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		
157	SD2009	土師器	皿	10.2	1.0	9.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	結晶片岩、赤色炭粒		ⅢA14s
158	SD2009	土師器	皿	12.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		Ⅲa
159	SD2009	土師器	皿	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・明赤褐 外・にぶい橙	結晶片岩、石英、微量の砂粒		Ⅲb
160	SD2009	土師器	皿	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩	内外・赤彩	ⅢA2b
161	SD2009	土師器	皿	12.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄緑	0.5~1mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		ⅢA3a
162	SD2009	土師器	皿	13.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~9mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		Ⅲb

第18表 出土遺物観察表(7)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
163	SD2009	土師器	皿	13.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、少量の砂粒		皿A3c
164	SD2009	土師器	皿	13.2	1.4	9.1	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		皿A9b
165	SD2009	土師器	皿	12.0	1.2	9.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	結晶片岩、赤色斑粒		皿A3a
166	SD2009	土師器	皿	12.8	1.6	8.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	内外・赤彩	皿A2b
167	SD2009	土師器	皿	14.6	1.7	11.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい黄橙 外・橙	1mmの石英、赤色斑粒、結晶片岩	内外・赤彩	皿A2c
168	SD2009	土師器	皿	13.0	1.8	9.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、黒色斑粒、微量の砂粒		皿A6b
169	SD2009	土師器	杯	12.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯b
170	SD2009	土師器	杯	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~4mm大の石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b
171	SD2009	土師器	杯	11.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄橙	1~2mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯a
172	SD2009	土師器	杯	12.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩、黒色斑粒、微量の砂粒		杯b
173	SD2009	土師器	杯	12.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒		杯b
174	SD2009	土師器	杯	12.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b
175	SD2009	土師器	杯	14.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯c
176	SD2009	土師器	杯	14.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯d
177	SD2009	土師器	杯	13.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b
178	SD2009	土師器	杯	13.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	1~3mmの結晶片岩、石英、黒色斑粒、赤色斑粒、少量の砂粒	内外・赤彩	杯c
179	SD2009	土師器	杯	13.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒、石英、微量の砂粒		杯c
180	SD2009	土師器	杯	14.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~6mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、少量の砂粒	内外・赤彩	杯c
181	SD2009	土師器	杯	13.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	2mm大の赤色斑粒、結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯c
182	SD2009	土師器	杯	15.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄橙	1~3mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯d
183	SD2009	土師器	杯	15.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5~3mmの結晶片岩、石英、黒色斑粒、少量の砂粒	内外・赤彩	杯d
184	SD2009	土師器	杯			9.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)圓転ヘラ切りのちりナデ	内・明黄 外・浅黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、少量の砂粒	内外・赤彩	
185	SD2009	土師器	杯			8.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)圓転ヘラ切りのちりナデ	内・橙 外・にぶい橙	1~2mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		
186	SD2009	土師器	杯			10.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)圓転ヘラ切りのちりナデ	内・暗黄 外・にぶい黄橙	1~2mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、少量の砂粒		
187	SD2009	土師器	杯			8.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	4mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯B

第19表 出土遺物観察表(8)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	注法・特徴	色調	胎土	備考	分類
188	SD2009	土師器	杯			8.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧ナデ	内・淡黄緑外・橙	1~6mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒	内外・赤彩	杯B
189	SD2009	黒色土器A類	碗	13.8			(内)ヘラミダキ(外)ヨコナデのちヘラミダキ	内・黒黒外・にぶい黄緑	2mmの結晶片岩		黒A碗2c
190	SD2009	黒色土器A類	碗	15.4			(内)ヘラミダキ(外)ヨコナデ	黒緑	結晶片岩		黒A碗1d
191	SD2009	土師器	壺	31.5			(内)ヨコハケ(外)ヨコナデ	淡黄緑	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、砂粒多し		
192	SD2009	土師器	壺	20.8			(内)ヨコハケのちナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙外・橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		
193	SD2009	須恵器	杯			12.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)丁寧ナデ	青灰	結晶片岩、石英		
194	SD2009	須恵器	壺	14.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	暗灰	1mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
195	SD2009	土師質	土鉢		0.8	1.0	轆に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい橙	結晶片岩		
196	SD2009	土師質	土鉢		0.9	2.0	轆に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩、微量の砂粒		
197	SD2009	土師質	土鉢		0.8	1.1	轆に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい赤褐	1mmの結晶片岩、少量の砂粒		
198	SD2009	土師質	土鉢	4.2	1.4	7.2	轆に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい橙	結晶片岩		
199	SD2009	金属	不明	1.5	0.4						
200	SD2009	銅	不明	12.2			(内)口縁部2条の突帯線				
201	SD2009	土師器	鉢	16.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙外・橙	結晶片岩、赤色炭粒	古墳初瀬	
202	SD2010	土師器	杯			10.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧ナデ	淡黄緑	0.5mmの石英、結晶片岩		杯B
203	SD2006	土師器	皿	15.1	2.0	12.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	8mmの結晶片岩	内外・赤彩	黒A8d
204	SD2012	須恵器	皿			10.3	(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白	1mmの石英、結晶片岩		
205	SD2012	土師質	土鉢	5.6	1.2	7.0	轆に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい黄緑	結晶片岩、赤色炭粒		
206	SD2013	緑釉陶器	皿			7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)ナデ(内・外)緑釉	淡黄緑		軟質京郡系	
207	SD2013	土師質	土鉢	4.5	1.2	6.3	轆に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄緑	結晶片岩		
208	SD1013	土師器	杯	12.8	3.4	7.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩	内外・赤彩	杯A9b
209	SD1013	土師器	壺	24.2	27.1	5.0	(内)口縁部ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)ヨコハケ(6金/cm) 下位スピオサユ(外)口縁部ヨコナデ(外底)タナハケ(7金/cm) ナメハケ(7金/cm)	内・にぶい橙/同灰外・にぶい橙/にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、少量の砂粒		要A I
210	SK2003	土師器	皿	13.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒	内外・赤彩	黒A3b
211	SK2003	土師器	皿	12.4	1.5	9.1	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	0.5~1mmの赤色炭粒、結晶片岩、黒色炭粒、微量の砂粒		黒A3a
212	SK2003	土師器	皿	11.8	1.6	7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・にぶい橙外・橙	1~2mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		黒A3a
213	SK2003	土師器	皿	12.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5~1mmの結晶片岩、微量の砂粒		黒A3b
214	SK2003	土師器	皿	13.0	1.7	8.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1mmの結晶片岩		黒A7b
215	SK2003	土師器	皿	14.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		黒c
216	SK2003	土師器	皿	13.5	1.2	10.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・橙外・淡橙	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		黒A4b

第20表 出土遺物観察表(9)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
217	SK2003	土師器	皿	13.5	2.0	7.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	橙	1mm大の結晶片岩、石英、赤色泥粒		皿A7b
218	SK2003	土師器	皿	14.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒、微量の砂粒		皿c
219	SK2003	土師器	皿	14.6	1.7	10.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	1mmの結晶片岩、赤色泥粒	内外・赤彩	皿A3c
220	SK2003	土師器	皿	14.2	1.5	9.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色泥粒、微量の砂粒		皿A3c
221	SK2003	土師器	皿	17.0	1.6	11.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	結晶片岩、赤色泥粒		皿A2e
222	SK2003	土師器	杯	12.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	5mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯b
223	SK2003	土師器	杯	12.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・淡黄 外・灰白	1mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯a
224	SK2003	土師器	杯	14.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	4mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯c
225	SK2003	土師器	杯	12.4			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	0.5~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯a
226	SK2003	土師器	杯	12.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	1~2mmの石英、結晶片岩、	内外・赤彩	杯b
227	SK2003	土師器	杯	12.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・灰白 外・淡黄 橙	1mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯b
228	SK2003	土師器	杯	12.9	3.7	7.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	灰白	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A5b
229	SK2003	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	0.5mmの結晶片岩、黒色の泥物、微量の砂粒	内外・赤彩	杯b
230	SK2003	土師器	杯	13.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	1~3mmの結晶片岩、赤色泥粒	内外・赤彩	杯c
231	SK2003	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい 外・にぶい 橙/淡黄	1~2mmの結晶片岩、赤色泥粒、石英、微量の砂粒		杯c
232	SK2003	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	淡黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯b
233	SK2003	土師器	杯	14.2			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙 外・にぶい 橙	1~2mmの赤色泥粒、結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯c
234	SK2003	土師器	杯	12.6	3.5	7.2	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	橙/褐灰	1~5mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒	内外・赤彩	杯A5b
235	SK2003	土師器	杯	15.4	4.0	9.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A3d
236	SK2003	土師器	杯	16.4			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・淡黄 橙 外・褐灰	0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒、微量の砂粒		杯d
237	SK2003	土師器	杯	16.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・淡黄 橙 外・淡橙	1~5mmの石英、結晶片岩、赤色泥粒		杯d
238	SK2003	土師器	杯	15.2	4.9	8.1	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)幅1cmの回転ヘラ切り	淡黄橙	1~7mmの結晶片岩、赤色泥粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A6d
239	SK2003	土師器	杯			9.1	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	淡黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色泥粒、石英、微量の砂粒		杯B
240	SK2003	土師器	杯			7.9	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	淡黄橙	結晶片岩、赤色泥粒、微量の砂粒		杯B
241	SK2003	土師器	杯			9.2	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	内・橙 外・にぶい 橙	1~6mmの結晶片岩、石英、赤色泥粒、微量の砂粒		杯B
242	SK2003	黒色土器A類	碗	16.6			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ	内・黒褐色 外・黒褐色 にぶい橙	1mm大の赤色泥粒、結晶片岩		黒A碗1e
243	SK2003	黒色土器A類	碗	15.4			(内)ヨコミガキ(外)ヨコナダ	内・黒褐色 外・褐灰	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		黒A碗1d

第21表 出土遺物観察表 (10)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
244	SK2003	黒色土器 A類	輪	16.9			(内)ヨコミガキ(外)ヨコナデ	内・黒褐色 外・橙	1~3mm大の石英、赤色 炭粒、結晶片岩、微量の 砂粒		黒A輪1c
245	SK2003	黒色土器 A類	輪				(内)ミガキ(外)ナデ(外底)回転ヘラ切りの ち丁寧なナデ	内・黄褐色 外・にぶ い橙	1mm大の結晶片岩、赤色 炭粒、微量の砂粒		
246	SK2003	土師器	杯	20.4			(内)体部クテヘラミガキ体部ヨコヘラミ ガキ(外)口縁部ヨコヘラミガキ体部ヨコ ナデ	にぶい橙	1~2mmの石英、結晶片 岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯B3
247	SK2003	土師器	甕	21.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い黄褐色 外・橙	1~2mmの石英、結晶片 岩、砂粒多し		
248	SK2003	土師器	甕	22.6			(内)ヨコハケのちナデ(外)ヨコナデ	内・橙 外・にぶ い橙	1~5mmの結晶片岩、石 英、赤色炭粒		
249	SK2003	土師器	甕	33.0			(内)ヨコハケ(3条/cm)(外)ヨコナデ	にぶい濁	1~4mmの結晶片岩、石 英、砂粒多し		
250	SK2003	土師器	甕	21.8			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ク テハケ	内・にぶ い橙 外・橙	1~3mmの結晶片岩、石 英、砂粒多し		
251	SK2003	土師器	甕	32.5			(内)ヨコハケ(3条/cm)(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mm大の結晶片岩、石 英、砂粒多し		
252	SK2003	土師質	土罐		1.0	3.6	撫に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい橙	結晶片岩		
253	SK2003	土師質	土罐		1.1	2.9	撫に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい橙	結晶片岩		
254	SK2003	土師質	土罐		1.0	2.8	撫に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい橙	結晶片岩		
255	SK2003	土師質	土罐	4.7	1.7	9.3	撫に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	0.5mmの結晶片岩、微量 の砂粒		
256	SK2004	土師器	皿	12.5	1.6	9.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ら切りのちナデ	橙	1~5mmの結晶片岩、石 英、赤色炭粒、少量の砂 粒		皿A3a
257	SK2004	土師器	皿	12.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、赤 色炭粒、黒色炭粒、微量 の砂粒		皿b
258	SK2004	土師器	皿	15.8	1.5	11.1	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	内・明褐色 外・灰白	0.5~2mmの結晶片岩、 赤色炭粒、微量の砂粒		皿A4d
259	SK2004	土師器	杯	13.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5mmの結晶片岩、赤色 炭粒、微量の砂粒		杯b
260	SK2004	土師器	杯	11.4	3.0	7.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの結晶片岩、石英、 微量の砂粒		杯A3a
261	SK2004	土師器	杯	12.6	3.5	7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ら切りのち丁寧なナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石 英、赤色炭粒		杯A3b
262	SK2004	土師器	杯	13.2	3.7	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのち丁寧なナデ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、石 英、赤色炭粒、微量の砂 粒		杯A3b
263	SK2004	土師器	杯	14.3	3.1	8.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い橙 外・橙	0.5~2mmの結晶片岩、 石英、赤色炭粒、少量の 砂粒		杯A4c
264	SK2004	土師器	杯	12.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	3mmの結晶片岩、微量 の砂粒		杯b
265	SK2004	土師器	杯	13.4	3.0	7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石 英、微量の砂粒		杯b
266	SK2004	土師器	杯	18.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~3mmの結晶片岩、石 英、赤色炭粒、微量の砂 粒		杯c
267	SK2004	土師器	杯			8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩、赤色 炭粒、黒色炭粒、微量の 砂粒		
268	SK2004	土師器	杯			8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのち丁寧なナデ	内・橙 外・にぶ い橙	1~5mmの結晶片岩、石 英、微量の砂粒	内外・赤彩	杯B

第22表 出土遺物観察表(11)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
269	SK2004	土師器	杯	16.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑紋、微量の砂粒		杯B1d
270	SK2004	黒色土師A類	碗	23.9			(内)ヨコミガキ(外)ヨコナデ	内・黒褐色外・にぶい橙	0.5mmの結晶片岩、赤色斑紋		黒A碗6h
271	SK2004	土師器	壺	21.6			(内)ヨコハケ(6条/cm)(外)ヨコナデ	橙	0.5~1mmの結晶片岩、微量の砂粒		
272	SK2004	土師器	壺	18.0			(内)ヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ	内・灰黄褐色外・橙	1~3mmの結晶片岩、石英、黒色斑紋、少量の砂粒		
273	SK2004	土師質	平瓦				(四面)布目織(凸面)縄縞紋タタキ	にぶい橙	1~5mmの結晶片岩、石英、赤色斑紋、砂粒多し		
274	SK2004	土師質	平瓦				(四面)布目織(凸面)縄縞紋タタキ/エビオサエ	にぶい橙	7mm火の石英、結晶片岩、砂粒多し		
275	SK2005	土師器	皿	12.5	1.2	8.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒		皿A2b
276	SK2005	土師器	皿	13.2	1.8	8.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	3mm火の石英、結晶片岩		皿A8b
277	SK2005	土師器	皿	13.6	1.6		(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	皿c
278	SK2005	土師器	皿	12.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mm火の結晶片岩		皿A3a
279	SK2005	土師器	皿	12.8	1.7	7.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・灰白外・浅黄褐色	結晶片岩	内外・赤彩	皿A3b
280	SK2005	土師器	皿	13.4	1.6	8.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	3mmの結晶片岩、赤色斑紋	内外・赤彩	皿A3b
281	SK2005	土師器	皿	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩、赤色斑紋	内外・赤彩	皿b
282	SK2005	土師器	皿	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1mm火の石英、結晶片岩		皿A3b
283	SK2005	土師器	皿	13.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・浅黄褐色外・灰白	1mmの石英、結晶片岩		皿c
284	SK2005	土師器	皿	14.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	2mm火の石英、結晶片岩		皿c
285	SK2005	土師器	皿	14.2	1.6	9.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	砂粒、赤色斑紋、硝子母		皿c
286	SK2005	土師器	皿	14.2	1.6	9.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩	内外・赤彩	皿A3c
287	SK2005	土師器	皿	14.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの赤色斑紋、結晶片岩		皿c
288	SK2005	土師器	皿	14.6	1.7	10.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	2mmの結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒		皿A3c
289	SK2005	土師器	皿	14.6	1.6	10.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、赤色斑紋		皿A3c
290	SK2005	土師器	皿	14.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩、赤色斑紋		皿A3c
291	SK2005	土師器	皿	14.7	1.6	10.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1~3mm火の結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒		皿A3c
292	SK2005	土師器	皿	14.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	2mmの結晶片岩		皿A3c
293	SK2005	土師器	皿	14.8	1.6	10.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	砂粒、赤色斑紋、硝子母		皿A3c
294	SK2006	土師器	皿	15.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄褐色	結晶片岩		皿d
295	SK2005	須恵器	杯		7.3		(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白	1~2mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		
296	SK2005	土師器	杯	11.1	3.2	5.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの赤色斑紋、結晶片岩		杯A9a
297	SK2005	土師器	杯	12.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・浅黄褐色外・にぶい橙	1mmの赤色斑紋、結晶片岩、少量の砂粒		杯a
298	SK2005	土師器	杯	13.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	内外・赤彩	杯b
299	SK2005	土師器	杯	12.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙外・にぶい橙	1mm大結晶片岩	内外・赤彩	杯b
300	SK2005	土師器	杯	14.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	結晶片岩	内外・赤彩	杯c

第23表 出土遺物観察表 (12)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
301	SK2005	土師器	杯	13.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	3mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯b
302	SK2005	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	0.5mmの結晶片岩		杯b
303	SK2005	土師器	杯	12.9	3.8	6.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・黄 外・浅黄 橙	1~3mmの石英、結晶片岩		杯A 6b
304	SK2005	土師器	杯	14.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	3mmの石英、結晶片岩		杯c
305	SK2005	土師器	杯	15.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~2mmの赤色炭粒		杯d
306	SK2005	土師器	杯	15.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・浅黄 外・黄	1~2mmの結晶片岩、石英	内外・赤彩	杯A 2d
307	SK2005	土師器	杯			8.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩		杯B
308	SK2005	須恵器	杯			10.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・灰 外・緑灰/ 灰	結晶片岩、赤色炭粒		
309	SK2005	黒色土器 A類	高杯	18.5			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ	内・黒灰 外・黄	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		
310	SK2005	黒色土器 A類	碗			9.1	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・にぶい 外・黒灰	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		
311	SK2005	黒色土器 A類	碗	18.1			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ/ヘラミガキ	内・黒 外・にぶい 橙	1~3mmの結晶片岩		黒A碗5e
312	SK2005	黒色土器 A類	碗	16.9			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ/ヘラミガキ	内・黒 外・にぶい 橙	結晶片岩		黒A碗2c
313	SK2005	黒色土器 B類	壺	6.5			(内)ヨコヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ口縁部ヨコヘラミガキ	黒			黒B壺
314	SK2005	土師器	壺	25.8			(内)ヨコハケ(9枚/cm)(外)ヨコナデ	にぶい橙	2mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		
315	SK2005	土師質	壺				(上)板ナデ(下)ヨコナデ	内・黄 外・にぶい 橙	1~2mm大の石英、結晶片岩、赤色炭粒、砂粒多し		
316	SK2007	土師器	皿			10.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		
317	SK2007	土師器	杯	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩		杯b
318	SK2007	土師器	杯	13.2	3.4	7.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち僅かにナデ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯A 3b
319	SK2007	土師器	杯	13.0	3.2	6.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち僅かにナデ	にぶい橙	3mm大の結晶片岩、赤色炭粒		杯A 7b
320	SK2007	土師器	杯	17.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡黄	1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		杯c
321	SK2007	土師器	杯			9.7	(内)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白	2mm大の石英、結晶片岩		杯B
322	SK2007	土師質	土師	1.1	3.3		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい黄 橙	0.5mmの結晶片岩、微量の砂粒		
323	SK2007	土師質	土師	1.3	4.5		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい黄 橙	結晶片岩		
324	SK2007	土師質	土師	1.1	4.4		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	オリーブ 陶/にぶい 黄橙	1mmの結晶片岩、微量の砂粒		
325	SK2007	土師質	土師	3.8	1.4	5.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい黄 橙	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
326	SK2007	土師質	土師	1.0	4.1		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	黄橙	結晶片岩		
327	SK2007	土師質	土師	1.3	5.8		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	橙	0.5mmの結晶片岩、微量の砂粒		
328	SK2007	土師質	土師	4.7	1.0	4.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	浅黄橙	0.5mm大の結晶片岩、微量の砂粒		
329	SK2007	土師質	土師	4.8	1.1	5.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	橙	結晶片岩		
330	SK2007	土師質	土師	4.8	0.9	3.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい橙	結晶片岩		

第24表 出土遺物観察表(13)

番号	遺 標	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類	
331	SK2007	土師質	土鉢	5.1	1.1	5.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのらナデ	橙	結晶片岩			
332	SK2007	土師質	土鉢	5.2	1.0	4.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのらナデ	橙	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒			
333	SK2007	土師質	土鉢	5.3	0.9	4.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのらナデ	橙	結晶片岩			
334	SK2007	土師質	土鉢	5.7	1.3	9.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのらナデ	橙	結晶片岩			
335	SK2007	土師質	土鉢	5.7	1.1	5.7	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのらナデ	にぶい黄橙	0.5mmの結晶片岩、少量の砂粒			
336	SK2007	土師質	土鉢	6.0	1.1	5.2	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのらナデ	橙	1mm大の結晶片岩			
337	SK2007	土師質	土鉢	5.8	1.9	17.6	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのらナデ	黒褐	6mm大の結晶片岩、石英、少量の砂粒			
338	SK2008	土師器	皿	11.6	1.6	8.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・浅黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	内外・赤彩	ⅢA15a	
339	SK2008	土師器	皿	13.1	1.2	9.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1~2mmの石英、結晶片岩		ⅢA4b	
340	SK2008	土師器	皿	13.0	1.1	8.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		ⅢA4b	
341	SK2008	土師器	皿	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙 外・にぶい橙	5mmの結晶片岩		Ⅲb	
342	SK2008	土師器	皿	12.2	1.6	7.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		ⅢA3a	
343	SK2008	土師器	皿	12.7	1.5	8.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~5mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		ⅢA3a	
344	SK2008	土師器	杯	11.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯a	
345	SK2008	土師器	杯	12.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b	
346	SK2008	土師器	杯	13.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯b	
347	SK2008	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄橙	1~3mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯c	
348	SK2008	土師器	杯	12.5	3.4	7.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へら切りのらナデ	内・明赤 外・橙	1~5mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯A3b	
349	SK2008	土師器	杯	12.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・灰白 外・浅橙	0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b	
350	SK2008	土師器	杯	12.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b	
351	SK2008	土師器	杯	13.9	3.2	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へら切りのらナデ	黄橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯A3c	
352	SK2008	土師器	杯	14.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯d	
353	SK2008	土師器	杯	15.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	内外・赤彩	杯d	
354	SK2008	土師器	杯	14.0	5.5	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へら切りのらナデ	灰白	1~2mmの石英、結晶片岩	内外・赤彩	杯A12c	
355	SK2008	黒色土師A類	碗	16.5			(内)ヘラムガキ(外)ヨコナデ	内・黄灰 外・橙/灰白	1mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		ⅢA碗2e	
356	SK2008	土師器	甕	18.2			(内)ヨコハケ(5&6/㎝)(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、少量の砂粒			
357	SK2008	土師器	甕	22.0			(内)ヨコハケ(外)ヨコナデ	にぶい黄橙	1~3mmの結晶片岩、少量の砂粒			

第25表 出土遺物観察表 (14)

番号	遺 積	分 類	器 種 名	口径	器高	底径	注 法 ・ 特 徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
358	SK2008	土師器	甕	22.9			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		
359	SK2008	土師器	甕	25.4			(内)ヨコハケ(7条/cm)(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		
360	SK2008	土師器	甕	26.8			(内)ヨコハケ(6条/cm)(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~5mmの結晶片岩、石英、多量の砂粒		
361	SK2008	土師器	甕	32.8			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)口唇部ナデ体部タテハケ	内・橙 外・にぶい橙	0.5mmの結晶片岩、微量の砂粒		
362	SK2008	土師質	土鉢	5.8	1.2	5.6	縁に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	結晶片岩		
363	SK2008	土師質	土鉢	4.1	1.4	6.7	縁に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	0.5~1mmの結晶片岩、 微量の砂粒		
364	SK2008	土師質	土鉢		1.5	6.4	縁に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい黄橙	1~3mmの結晶片岩、微 量の砂粒		
365	SK2008	須恵質	九瓦	8.7	2.2	7.0	(西面)毒目痕(凸面)板ナデ	灰	1~6mmの石英、結晶片 岩、少量の砂粒		
366	SK2008	土師質	九瓦	11.3	2.2	8.5	(西面)毒目痕(凸面)板ナデ	(西面)灰 質(凸面) 黄 灰・に ぶい橙	6mmの石英、結晶片岩、 微量の砂粒		
367	SK2009	土師器	皿	11.6	1.4	7.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのち丁寧ナデ	淡黄	1~5mmの結晶片岩、石 英、微量の砂粒		ⅢA 3 a
368	SK2009	土師器	皿	12.5	1.3	7.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのち丁寧ナデ	にぶい橙	石英、結晶片岩、赤色炭 粒		ⅢA 3 a
369	SK2009	土師器	皿	12.6	1.3	9.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	2mmの結晶片岩、石英、 赤色炭粒、微量の砂粒		ⅢA 3 a
370	SK2009	土師器	皿	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	2mm大の結晶片岩、石 英、微量の砂粒	内外・赤彩	ⅢA 2 b
371	SK2009	土師器	皿	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡黄橙	0.5mmの石英、結晶片岩	内外・赤彩	Ⅲ b
372	SK2009	土師器	皿	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ 内・明褐色 外・灰黄 褐色	内・明褐 灰・灰黄 褐色	2mm大の石英、結晶片 岩、赤色炭粒、微量の砂 粒	内外・赤彩	Ⅲ b
373	SK2009	土師器	皿	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩		Ⅲ b
374	SK2009	土師器	皿	13.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡黄橙	1~3mmの石英、結晶片 岩、赤色炭粒、微量の砂 粒		Ⅲ b
375	SK2009	土師器	皿	14.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩、赤色炭粒		Ⅲ c
376	SK2009	土師器	皿	14.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	結晶片岩、赤色炭粒		Ⅲ c
377	SK2009	土師器	皿	14.5	1.7	10.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ	内・にぶ い橙 外・橙	2mm大の結晶片岩、赤色 炭粒、微量の砂粒		ⅢA 2 c
378	SK2009	土師器	皿	15.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙 外・にぶ い橙	結晶片岩、赤色炭粒		Ⅲ d
379	SK2009	土師器	皿	15.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ	橙	結晶片岩、赤色炭粒		ⅢA 3 d
380	SK2009	土師器	皿	15.3			(内)ヨコナデ (外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩	内外・赤彩	Ⅲ d
381	SK2009	土師器	皿	15.9	1.8	10.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのち丁寧ナデ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	2~3mm結晶片岩、微量 の砂粒	内外・赤彩	ⅢA 2 d
382	SK2009	土師器	皿	17.2	2.1	10.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのち丁寧ナデ	灰白	1~3mmの石英、結晶片 岩、微量の砂粒	内外・赤彩	ⅢA 2 e
383	SK2009	土師器	皿	19.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、微 量の砂粒	内外・赤彩	Ⅲ f
384	SK2009	土師器	杯	12.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	2~3mmの結晶片岩、石 英、赤色炭粒、微量の砂 粒		杯 a
385	SK2009	土師器	杯	11.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・灰白 外・淡橙	2~3mmの石英、結晶片 岩、赤色炭粒		杯 a
386	SK2009	土師器	杯	12.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	3mmの石英、結晶片岩		杯 b

第26表 出土遺物観察表 (15)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分期
387	SK2009	土師器	杯	12.5			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	1~2mmの赤色斑粒、結晶片岩		杯 b
388	SK2009	土師器	杯	12.8			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯 A 3 b
389	SK2009	土師器	杯	12.8			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	内・橙 外・にぶい橙	赤色斑粒、結晶片岩		杯 b
390	SK2009	土師器	杯	12.9			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	1mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯 b
391	SK2009	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	内・灰白 外・浅黄橙	結晶片岩	内外・赤彩	杯 b
392	SK2009	土師器	杯	13.3			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	浅黄橙	1mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯 b
393	SK2009	土師器	杯	13.5			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	結晶片岩	内外・赤彩	杯 b
394	SK2009	土師器	杯	14.0			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	結晶片岩	内外・赤彩	杯 c
395	SK2009	土師器	杯	14.0			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	2mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 c
396	SK2009	土師器	杯	13.8	2.5	9.2	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 A 4 c
397	SK2009	土師器	杯	14.4			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	浅黄橙	0.5mmの結晶片岩		杯 c
398	SK2009	土師器	杯	15.0			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	浅黄橙	結晶片岩		杯 d
399	SK2009	土師器	杯	14.6			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	内・にぶい橙 外・灰白	結晶片岩、赤色斑粒		杯 c
400	SK2009	土師器	杯	13.3	3.5	7.0	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい橙	1~5mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 A 3 b
401	SK2009	土師器	杯	14.0			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	橙	2mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯 c
402	SK2009	土師器	杯	14.0	3.6	7.3	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ(外底)回転ヘラ切りのちナテ	浅黄橙	0.5~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯 A 8 c
403	SK2009	土師器	杯	15.2	2.4	8.5	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 A 4 d
404	SK2009	土師器	杯			7.9	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ(外底)回転ヘラ切りのちナテ	浅黄橙	1~6mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		
405	SK2009	土師器	杯	16.2			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい黄橙	1~2mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯 d
406	SK2009	須恵器	杯	13.9	2.8	9.7	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ(外底)回転ヘラ切りのちナテ	灰白	0.5mmの石英、結晶片岩		須杯 A
407	SK2009	土師器	杯			10.4	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ(外底)回転ヘラ切りのち了事ナテ	淡黄	1mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		
408	SK2009	土師器	杯			9.0	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ(外底)回転ヘラ切りのち了事ナテ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		
409	SK2009	黒色土器 A 類	碗	16.8			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナテ	内・黒褐 外・にぶい橙	1~2mmの結晶片岩		黒A碗 5e
410	SK2009	黒色土器 A 類	碗	14.9	5.2	7.2	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナテ/ヘラミガキ(外底)回転ヘラ切りのちナテ	内・オリーブ黒 外・橙	1~10mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		黒A碗 2d
411	SK2009	須恵器	壺			8.4	(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ(外底)回転ヘラ切りのちナテ	内・灰白 外・オリーブ灰	0.5mmの石英、砂粒を少量含む		
412	SK2009	土師器	壺	22.5			(内)ヨコナテ(外)ヨコナテ	にぶい黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒、石英、水晶、多量の砂粒		
413	SK2009	土師器	壺	21.3			(内)ヨコハケ(6巻/cm)(外)ヨコナテ	にぶい橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、少量の砂粒		
414	SK2009	土師器	壺	23.6			(内)ヨコハケ(5巻/cm)(外)タテハケのちヨコナテ	内・にぶい橙 外・明褐	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒、石英、少量の砂粒		

第27表 出土遺物観察表 (16)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
415	SK2009	土師器	甕	33.6			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)ヨコナデ	内・にぶ 外・橙	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、少量の砂粒		
416	SK2009	須恵器	甕	35.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	褐色	1~3mmの結晶片岩、石英、少量の砂粒を含む		
417	SK2009	土師質	土甕		1.1	3.2	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	2mmの結晶片岩、赤色炭粒、石英、微量の砂粒		
418	SK2009	土師質	土甕		1.0	3.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナデ	にぶい橙	結晶片岩		
419	SK2009	土師質	土甕	4.6	1.6	9.8	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄橙	結晶片岩、微量の砂粒		
420	SK2009	金属	不明	0.5	3.1						
421	SK2011	土師器	皿	13.2	1.6	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	橙	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩		皿A12b
422	SK2011	土師器	皿	13.2	1.7	8.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	浅黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		皿A3b
423	SK2011	土師器	皿	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	浅黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		皿A3b
424	SK2011	土師器	皿	13.6	1.5	9.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~3mmの赤色炭粒、結晶片岩		皿A3b
425	SK2011	土師器	皿	13.6	1.3	10.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙/ にぶい橙 外・橙	1~3mmの結晶片岩、微量の砂粒		皿A4b
426	SK2011	土師器	皿	13.8	1.6	9.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		皿A3c
427	SK2011	土師器	皿	14.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	淡橙	結晶片岩、微量の砂粒		皿A3c
428	SK2011	土師器	皿	14.0	1.7	10.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		皿A13c
429	SK2011	土師器	杯	11.6	3.3	6.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	橙	1mmの結晶片岩		杯A6a
430	SK2011	土師器	杯	12.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩、赤色炭粒		杯a
431	SK2011	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・浅黄橙/ にぶい橙 外・浅黄橙/ 橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		杯b
432	SK2011	土師器	杯	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの結晶片岩、赤色炭粒、石英、微量の砂粒	内外・赤影	杯b
433	SK2011	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	1mmの赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯c
434	SK2011	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの結晶片岩、赤色炭粒		杯c
435	SK2011	土師器	杯	14.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩		杯c
436	SK2011	土師器	杯	12.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯b
437	SK2011	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1~2mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯b
438	SK2011	土師器	杯	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯b
439	SK2011	土師器	杯	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯b
440	SK2011	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	2~5mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯c
441	SK2011	土師器	杯	13.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤影	杯c
442	SK2011	土師器	杯	14.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯c
443	SK2011	土師器	杯	16.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5~2mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩		杯d

第28表 出土遺物観察表 (17)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
444	SK2011	土師器	杯	17.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		杯 e
445	SK2011	土師器	杯	12.9	3.9	7.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのちナダ	にぶい橙	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩		杯 A 6 b
446	SK2011	土師器	杯	13.3	3.4	7.9	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのちナダ	橙	0.5~1mm大の結晶片岩		杯 A 3 b
447	SK2011	土師器	杯	14.4	4.8	7.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのちナダ	にぶい橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		杯 A 6 c
448	SK2011	土師器	杯			6.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのちナダ	灰白	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
449	SK2011	黒色土器 A 類	碗	15.0			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ	内・焼灰外・黄灰/にぶい黄橙	結晶片岩、赤色炭粒		黒 A 碗 d
450	SK2011	土師器	杯	21.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	明褐色	1~4mmの結晶片岩、微量の砂粒	内・炭化物付着顕著	杯 B 4
451	SK2011	土師器	甕	21.1			(内)ヨコハケ(6&/cm)(外)ヨコナダ	内・橙外・にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、石英、少量の砂粒		
452	SK2011	土師器	壺	18.4			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ胴部上段ヨコハケ(6&/cm)下段ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ胴部ナメハケ(6&/cm)	内・にぶい橙外・明褐	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		
453	SK2011	土師器	甕	23.9			(内)ヨコハケ(6&/cm)(外)ナメハケのちヨコナダ	橙	1~2mmの結晶片岩、石英、少量の砂粒		
454	SK2011	土師器	甕	21.8			(内)ヨコハケ(7&/cm)(外)ナメハケのちヨコナダ	橙	1~2mmの結晶片岩、少量の砂粒		
455	SK2011	土師器	壺	27.2			(内)口縁部ヨコハケ(6&/cm)胴部(5&/cm)(外)口縁部ヨコナダ胴部タナハケ(6&/cm)	橙	1~3mmの結晶片岩、砂粒多し		
456	SK2011	土師質	土鉢	3.9	1.4	6.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナダ	にぶい橙	1mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		
457	SK2011	土師質	土鉢		1.2	5.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい橙	結晶片岩、赤色炭粒		
458	SK2011	金銅	釘	0.4	7.1						
459	SK2011	土師質	碗				(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ/タナハケ	内・灰濁外・にぶい橙/灰濁	1~3mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		
460	SK2011	土師質	平瓦				(西面)布目痕(凸面)縄痕紋タナキ	内・にぶい橙外・にぶい黄橙	5mmの赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		
461	SK2014	土師器	皿	13.0	1.9	8.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのち丁寧ナダ	灰白	1~2mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		皿 A 5 b
462	SK2014	土師器	皿	13.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	結晶片岩		皿 b
463	SK2014	土師器	皿	13.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	3mmの結晶片岩、微量の砂粒		皿 b
464	SK2014	土師器	皿	13.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		皿 b
465	SK2014	土師器	皿	13.6	1.7	8.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのち丁寧ナダ	浅黄橙	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		皿 A 3 b
466	SK2014	土師器	皿	13.6	1.8	8.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのちナダ	内・淡橙/灰白外・淡橙	1mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		皿 A 3 b
467	SK2014	土師器	皿	13.6	1.9	9.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのちナダ	内・浅黄橙外・灰白	1mm大の赤色炭粒、結晶片岩		皿 A 3 b
468	SK2014	土師器	皿	13.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	1mm大の石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒	内外・赤彩	皿 e
469	SK2014	土師器	皿	13.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄橙	4mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		皿 A 3 c
470	SK2014	土師器	皿	13.9	1.6	9.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転へら切りのち丁寧ナダ	にぶい橙	1~2mm大の結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		皿 A 3 c

第29表 出土遺物観察表 (18)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
471	SK2014	土師器	皿	14.1	2.0	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1～3mmの結晶片岩、赤色斑紋、石英、微量の砂粒		皿A3c
472	SK2014	土師器	皿	14.2	2.0	8.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・洗黄 外・灰白	1mm大の結晶片岩、微量の砂粒		皿A3c
473	SK2014	土師器	皿	14.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩、石英、絹雲母、赤色斑紋	内外・赤彩	皿c
474	SK2014	土師器	皿	14.3	1.5	8.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白	1mm大の結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒	内外・赤彩	皿A4c
475	SK2014	土師器	皿	16.0	1.4	11.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	洗黄橙	1mm大の赤色斑紋、結晶片岩		皿A3d
476	SK2014	土師器	皿	16.4	1.8	10.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1mm大の結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒		皿A3d
477	SK2014	土師器	皿	15.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	2mmの結晶片岩、赤色斑紋		皿A2d
478	SK2014	土師器	杯	13.6	2.4	7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	2mmの赤色斑紋、結晶片岩、石英		杯A4c
479	SK2014	土師器	杯	12.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	洗黄橙	5mm大の石英、結晶片岩		杯a
480	SK2014	土師器	杯	11.7	2.9	6.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・橙 外・にぶい橙	1～5mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯A3a
481	SK2014	土師器	杯	12.6	2.9	7.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	結晶片岩、赤色斑紋		杯A3b
482	SK2014	土師器	杯	12.6	3.1	7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・にぶい橙/灰白 外・にぶい橙	1mm大の石英、結晶片岩		杯A3b
483	SK2014	土師器	杯	12.7	3.2	7.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	2mmの石英、結晶片岩	内外・赤彩	杯A3b
484	SK2014	土師器	杯	12.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1～2mmの結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒		杯b
485	SK2014	土師器	杯	12.8	3.4	7.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1mm大の赤色斑紋、結晶片岩、微量の砂粒		杯A3b
486	SK2014	土師器	杯	12.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	結晶片岩	内外・赤彩	杯b
487	SK2014	土師器	杯	12.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1～2mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯b
488	SK2014	土師器	杯	11.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・灰褐/ にぶい橙 外・にぶい橙/ にぶい橙	1mmの赤色斑紋、結晶片岩、微量の砂粒		杯a
489	SK2014	土師器	杯	13.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1～2mmの赤色斑紋、結晶片岩		杯b
490	SK2014	土師器	杯	13.1	3.6	7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・洗黄橙 外・灰白	1～3mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯A5b
491	SK2014	土師器	杯	13.3	3.3	7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・洗橙/ 黄灰 外・洗橙/ 灰白	1～2mmの結晶片岩、		杯A3b
492	SK2014	土師器	杯	13.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・洗黄橙 外・灰白	2mmの石英、結晶片岩、赤色斑紋		杯A2b
493	SK2014	土師器	杯	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1～2mmの赤色斑紋		杯b
494	SK2014	土師器	杯	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1mmの赤色斑紋、結晶片岩		杯b
495	SK2014	土師器	杯	13.4	3.4	7.1	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・明黄 外・にぶい橙	1～2mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯A3b
496	SK2014	土師器	杯	13.5	3.2	7.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1～2mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯A3b

第30表 出土遺物観察表(19)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
497	SK2014	土師器	杯	13.5	3.3	7.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	浅黄緑	1~6mm大の結晶片岩、赤色斑粒		杯A3b
498	SK2014	土師器	杯	13.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・浅緑外・ぶい橙	1~3mmの赤色斑粒、結晶片岩		杯c
499	SK2014	土師器	杯	14.4			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・淡緑/黒褐外・浅黄緑	結晶片岩		杯c
500	SK2014	土師器	杯	12.0	3.7	7.1	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	ぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯A9a
501	SK2014	土師器	杯	12.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	ぶい橙	1~4mm大の石英、結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		杯b
502	SK2014	土師器	杯	12.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	ぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯a
503	SK2014	土師器	杯	13.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	ぶい橙	1mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯b
504	SK2014	土師器	杯	13.4	3.6	7.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白	1~5mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯A3b
505	SK2014	土師器	杯	13.3	3.8	7.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	淡緑	1~2mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯A5b
506	SK2014	土師器	杯	13.6	4.1	7.2	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切り	橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		杯A9c
507	SK2014	土師器	杯	13.2	4.0	5.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	ぶい橙	1~3mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯A8b
508	SK2014	土師器	杯	15.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・ぶい橙外・橙	1~4mmの結晶片岩、	内外・赤彩	杯d
509	SK2014	土師器	杯	15.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	ぶい橙	1mm大の赤色斑粒、結晶片岩		杯d
510	SK2014	土師器	杯	16.0	4.8	8.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	ぶい橙	1~7mm大の赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯A6d
511	SK2014	土師器	杯	16.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		杯d
512	SK2014	土師器	杯	16.0	5.7	8.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	ぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒、少量の砂粒		杯B1d
513	SK2014	土師器	杯		5.0		(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	浅黄緑	1mmの赤色斑粒、微量の砂粒		
514	SK2014	土師器	杯		8.0		(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	ぶい橙	1~7mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		
515	SK2014	土師器	杯		6.5		(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	灰白	1mm大の赤色斑粒、結晶片岩		
516	SK2014	土師器	杯	19.8	7.2	8.9	(内)2.5mm幅のクテハラミガキ(外)ヨコナダのちハラミガキ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	内・黒褐赤褐/赤外・赤/黒赤	0.5~3mmの結晶片岩、石英、砂粒	内外・赤彩	杯B3
517	SK2014	土師器	杯		8.6		(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・ぶい黄緑外・ぶい橙	1~4mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯B
518	SK2014	土師器	高杯	30.7			(内)ハラミガキ(外)ハラミガキ	内・ぶい橙外・ぶい橙	1mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	
519	SK2014	黒色土器A類	碗	13.6			(内)ハラミガキ(外)ヨコナダ	内・黒褐外・浅黄緑	1mm大の赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒		黒A碗1c
520	SK2014	黒色土器A類	碗	16.1			(内)ハラミガキ(外)ヨコナダ	内・黒褐外・浅黄緑	0.5mmの結晶片岩、黒色炭物、微量の砂粒		黒A碗5e
521	SK2014	黒色土器A類	碗		7.6		(内)ハラミガキ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	内・黒褐外・ぶい橙	0.5~3mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒		

第31表 出土遺物観察表 (20)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
522	SK2014	黒色土器 A類	碗			7.8	(内)ヘラミゴキ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	内・黒 外・ぶ い澄	1~2mmの結晶片岩、赤 色斑粒、微量の砂粒		
523	SK2014	黒色土器 A類	碗			7.5	(内)ヘラミゴキ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	内・黒 外・ぶ い澄	1mmの石英、結晶片岩、 赤色斑粒、微量の砂粒		
524	SK2014	土師器	甕	26.4			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)ヨコナデ	澄	1~2mmの結晶片岩、砂 粒多し		
525	SK2014	土師器	甕	26.2			(内)ヨコハケ(7条/cm)(外)ヨコナデ	にぶい澄	1~2mmの結晶片岩		
526	SK2014	土師器	甕	22.0			(内)ヨコハケ(7条/cm)(外)タタキのちナ デ	にぶい澄	1~4mmの結晶片岩、石 灰、砂粒多し		
527	SK2014	土師器	甕	20.7			(内)ヨコハケ(3条/cm)(外)ヨコナデ	にぶい澄	2mmの結晶片岩		
528	SK2014	土師器	甕	23.4			(内)体部上部ヨコハケ(5~6条/cm)体部下 部ナメハケ(外)体部上部タナハケ(6条/ cm)体部下部ナメハケ	澄	1~7mmの結晶片岩、石 灰、砂粒多し		
529	SK2014	土師器	甕	15.2	11.3		(内)口縁部~体部上位ヨコハケ体部中 下段オオエのち不定方向ハケ(外)口縁部 タナハケのちヨコナデ体部上位タナハケ 体部中下位不定方向ハケ	澄	0.5~4mmの結晶片岩、 石英、砂粒、長石		表B
530	SK2014	土師質	甕				(内)ナメハケ(6条/cm、幅2.8cm)(外)タ ナハケ(6条/cm)	澄	1~7mmの石英、結晶片 岩、砂粒多し		
531	SK2014	土師質	土鉢		1.0	1.7	糊に粘土を巻き付けて成形。外側ケズリ のちナデ	にぶい澄	0.5mmの赤色斑粒、結晶 片岩		
532	SK2014	土師質	土鉢	3.5	1.2	4.0	糊に粘土を巻き付けて成形。外側ケズリ のちナデ	にぶい澄	結晶片岩、赤色斑粒		
533	SK2017	土師器	皿	13.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	澄	結晶片岩、微量の砂粒		皿A2c
534	SK2017	土師器	皿	14.3	1.3	11.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	にぶい澄	0.5mmの赤色斑粒、結晶 片岩		皿A4c
535	SK2017	土師器	皿	15.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	1mmの結晶片岩	内外・赤影	皿d
536	SK2017	土師器	皿	15.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	澄	0.5mmの結晶片岩	内外・赤影	皿A2d
537	SK2017	土師器	皿	15.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	2mmの赤色斑粒、結晶片 岩	内外・赤影	皿d
538	SK2017	土師器	皿	15.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	6mmの石英、結晶片岩	内外・赤影	皿d
539	SK2017	土師器	皿	15.8	1.5	10.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	にぶい澄	結晶片岩		皿A9d
540	SK2017	土師器	皿	15.9	1.5	12.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	にぶい澄	1~2mmの結晶片岩、赤 色斑粒		皿A3d
541	SK2017	土師器	皿	10.8	2.1	6.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	淡澄	1mmの石英、結晶片岩		皿C1a
542	SK2017	土師器	杯	11.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・黄灰 外・ぶ い澄	1mmの結晶片岩、微量 の砂粒		杯a
543	SK2017	土師器	杯	12.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	赤色斑粒		杯a
544	SK2017	土師器	杯	12.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・黄灰 外・ぶ い澄	1mmの赤色斑粒、結晶 片岩		杯b
545	SK2017	土師器	杯	13.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	結晶片岩		杯b
546	SK2017	土師器	杯	13.2	3.3	7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	にぶい澄	1~4mmの結晶片岩、少 量の砂粒	内外・赤影	杯A10b
547	SK2017	土師器	杯	13.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	1mmの石英、結晶片岩、 赤色斑粒		杯c
548	SK2017	土師器	杯	13.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄灰/ にぶい 黄澄	1~3mmの石英、結晶片 岩、少量の砂粒		杯c
549	SK2017	土師器	杯	14.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	1mmの結晶片岩		杯A2c
550	SK2017	土師器	杯	14.7			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい澄	結晶片岩		杯c
551	SK2017	土師器	杯			7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転 ヘラ切りのち丁寧なナデ	澄	0.5mmの石英、結晶片岩	内外・赤影	
552	SK2017	土師器	鉢	21.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・暗灰 黄 外・ぶ い黄澄	結晶片岩、微量の砂粒		

第32表 出土遺物観察表(21)

番号	遺標	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
553	SK2017	黒色土器 A類	杯	17.7			(内)ヘラミガキ(外)ヘラミガキ	内・褐灰/ 灰黄褐 外・にぶ い橙	1mmの結晶片岩、微量の 砂粒		黒A杯2e
554	SK2017	土師器	甕	26.9			(内)口縁部ヨコハケ(5条/cm)体部ナメ ハケ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(5 条/cm)	内・橙 外・明焼	1~7mmの結晶片岩、砂 粒多し		
555	SK2017	土師器	甕	27.8			(内)口縁部ヨコハケ(6条/cm)体部エビオ サエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(6 条/cm)	にぶい橙	1~2mmの石英、結晶片 岩、少量の砂粒		
556	SK2017	土師質	土鉢	5.8	1.8	18.4	釉に粘土を塗き付けて成形、外面ケズリ のちナデ	灰黄、褐 灰	結晶片岩		
557	SK2017	土師質	甕				(四部)ハケ(凸部)ハケ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、砂 粒多し		
558	SK2017	土師質	甕				(内)ナデ(外)ハケ/ナデ	内・橙 外・にぶ い橙	1~2mmの結晶片岩、砂 粒多し		
559	SK2017	土師質	甕				(内)ハケ(外)埴部ナデ根元部ハケ	内・橙 外・橙	1mmの結晶片岩、微量の 砂粒		
560	SK2017	土師質	製塩土器				(内)毒目痕	内・にぶ い褐 外・褐灰	結晶片岩		
561	SK2017	土師質	製塩土器				(内)毒目痕	内・淡橙 外・にぶ い橙	1~6mmの結晶片岩、 石英、砂粒多し		
562	SK2017	土師質	製塩土器				(内)毒目痕	内・橙内 ・橙ノに ぶい橙	1~2mmの結晶片岩、微 量の砂粒		
563	SK1018	土師器	杯	17.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い橙 外・にぶ い褐	0.5mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯e
564	SK1023	土師器	甕	27.0			(内)口縁部ナメハケ/ヨコハケ(5条/cm) 体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部 タテハケ(5条/cm)	橙	1~5mmの結晶片岩、石 英、砂粒多し		
565	SK1027	土師器	杯	14.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯c
566	SK1028	土師器	皿	16.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙 外・明赤 褐	0.5mmの結晶片岩、微量 の砂粒		皿e
567	SK1028	土師器	杯			7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ ラ塗りのちナデ	内・にぶ い橙 外・淡黄 橙	結晶片岩	内外・赤彩	
568	SK1037	土師器	甕	20.0			(内)口縁部ヨコナデ胴部タテハケ(6条/cm) (外)口縁部ヨコナデ胴部磨耗強く不明	内・明赤褐 外・橙	1~5mmの石英、結晶片 岩、砂粒多し		
569	SK1039	土師器	杯	12.4	3.2	7.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ ラ塗りのち丁字ナデ	橙	1~9mmの石英、結晶片 岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A8a
570	SK1039	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	結晶片岩	内外・赤彩	杯c
571	SK1039	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5mmの赤色炭粒、結晶 片岩	内外・赤彩	杯c
572	SK1039	土師器	杯	14.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄 橙	1~3mmの結晶片岩、微 量の砂粒		杯c
573	SK1039	土師器	杯	14.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い黄橙 外・黄褐	1mm大の結晶片岩		杯c
574	SK1039	土師器	杯	14.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・黄褐 外・にぶ い褐	結晶片岩、微量の砂粒		杯d
575	SK1039	黒色土器 A類	杯			6.0	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ(外底)丁字 ナデ	内・黒褐 外・橙	1~3mmの石英、結晶片 岩、微量の砂粒		
576	SK1039	土師器	甕	28.4			(内)埴部ヨコナデ口縁部ヨコハケ(5条/ cm)(外)埴部ヨコナデ口縁部タテハケのち ヨコナデ	にぶい褐	1~3mm大の結晶片岩、 石英、微量の砂粒		
577	SK1039	金属	帯金具	1.9	0.7	1.3kg			主成分の銅、微量の鉄、 鉛、鉛		鈎具刺金 径1.5mmの 穿孔

第33表 出土遺物観察表 (22)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
578	SK1042	土師器	杯	15.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄	0.5mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 d
579	SK1042	黒色土器 A 類	杯			8.9	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ(外底)丁寧なナダ	内・黒陶外・灰黄緑	1mm大の結晶片岩		
580	SK1046	土師器	甕	28.7			(内)ヨコハケ(7条/cm)(外)ヨコナダ(外)ヨコナダ	明褐色	1~3mmの石英、結晶片岩、砂粒多し	内外・赤彩	
581	SZ2001	土師器	皿	14.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄緑	結晶片岩	内外・赤彩	皿 A 2 c
582	SZ2001	土師器	皿	15.3	1.8	11.2	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄緑	2mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	皿 A 2 d
583	SZ2001	土師器	杯	12.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄緑	1~3mm大の結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		杯 b
584	SZ2001	土師器	杯	14.2			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄緑	1~3mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 c
585	SZ2001	土師器	杯	14.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	黄	1~6mmの結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 c
586	SZ2001	土師器	杯	14.6	2.9	10.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りの丁寧なナダ	淡黄	1mmの石英、結晶片岩	内外・赤彩	杯 A13c
587	SZ2001	土師器	杯	15.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄緑	2mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯 d
588	SZ2001	土師質	土罐	5.1	1.0	5.7	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナダ	にぶい黄緑	結晶片岩		
589	SX1002	土師器	杯	13.3	2.8	7.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)底部回転ヘラ切りの丁寧なナダ	内・明褐色外・にぶい黄	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒	内外・赤彩	杯 A 3 b
590	SX1002	土師器	甕	21.5			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)ヨコナダ	内・明褐色外・黄	1~5mmの結晶片岩、石英、少量の砂粒		
591	SX1002	金属	不明	4.1	0.9						
592	SP2001	土師器	皿	16.6	1.8	10.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい黄	2mm大の結晶片岩		皿 A 4 d
593	SP2001	土師器	杯	12.6	3.0	7.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい黄	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯 A10b
594	SP2001	土師器	杯	13.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄	結晶片岩、赤色炭粒		杯 c
595	SP2001	土師器	杯	15.9			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄	1mmの赤色炭粒、石英、結晶片岩、少量の砂粒	内外・赤彩	杯 A 2 d
596	SP2001	黒色土器 A 類	碗	17.1			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ	内・黒陶外・淡黄緑	3mmの結晶片岩、赤色炭粒		黒 A 碗 e
597	SP2001	黒色土器 A 類	碗			8.8	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ(外底)丁寧なナダ	内・黒陶外・淡黄緑	3mmの結晶片岩、赤色炭粒		
598	SP2001	土師質	土罐		1.1	2.9	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナダ	にぶい黄緑	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		
599	SP2003	土師器	杯	14.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい黄外・淡黄	3mm大の結晶片岩	内外・赤彩	杯 c
600	SP2003	黒色土器 A 類	碗	15.1			(内)ヘラミガキ痕書耗散しく詳細不明(外)ヨコナダ	内・黒陶外・黒陶/黄緑	0.5mmの石英、結晶片岩		黒 A 碗 1 d
601	SP2003	土師器	甕	28.4			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)口縁部ヨコナダ胴部タテハケ(4条/cm)	黄	1~3mmの結晶片岩、石英、砂粒多し		
602	SP2003	土師質	土罐		1.1	2.7	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナダ	黄	1mmの結晶片岩、微量の砂粒		
603	SP2003	土師質	土罐	3.9	0.9	3.2	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナダ	にぶい黄	1mmの結晶片岩、微量の砂粒		
604	SP2003	土師質	土罐	4.1	1.3	7.1	粘土に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナダ	黄	2mmの石英、赤色炭粒、微量の砂粒		
605	SP2003	土師質	甕				(内)ハケ(5~6条/cm)(外)ハケ(5条/cm)のちナダ	黄	1~6mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、砂粒多し		
606	SP2015	土師器	杯	12.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	2mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩	内外・赤彩	杯 b
607	SP2015	土師器	杯	12.6	3.6	7.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい黄緑/灰黄緑	1mmの結晶片岩、赤色炭粒		杯 A 7 b

第34表 出土遺物観察表 (23)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
608	SP2015	土師器	杯	13.3	3.2	7.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、石英、微量の砂粒		杯A3b
609	SP2015	土師器	杯	14.8	3.3	8.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	橙	1~4mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		杯A10c
610	SP2041	土師器	皿	16.0	1.5	11.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・浅黄 橙外・橙	3mmの結晶片岩、赤色炭粒	内外・赤彩	皿A3d
611	SP2041	土師器	皿	17.5	1.9	9.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒、黒色炭粒、少量の砂粒		皿A4e
612	SP2041	土師器	杯	13.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	結晶片岩、赤色炭粒		杯b
613	SP2041	土師器	杯	15.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	結晶片岩、赤色炭粒		杯d
614	SP2041	土師器	杯			6.9	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	内・にぶ い橙外・ 浅黄橙	7mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		
615	SP2041	土師器	杯	14.9	5.0	9.1	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	淡橙/橙	1~10mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		杯B5c
616	SP2041	土師器	甕	20.2			(内)ヨコハケ(6条/cm)(外)ヨコナダ	橙	1~2mmの結晶片岩、少量の砂粒		
617	SP2042	土師器	皿	17.0	1.2	13.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙外・黄 橙	1mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		皿A4e
618	SP2042	土師器	高台付皿			8.9	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	1~3mm大の赤色炭粒、結晶片岩		皿B
619	SP2042	土師器	杯	15.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶ い橙/橙 外・にぶ い橙	1~3mmの石英、結晶片岩		杯d
620	SP2042	土師器	杯	15.0	4.4	7.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	橙	1~3mmの赤色炭粒、結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯A7d
621	SP2042	土師器	杯	14.1	5.5	8.9	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダヘラ痕あり	内・浅黄 橙/灰白 外・浅黄 橙/にぶ い橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒		杯B1c
622	SP2042	土師器	甕	17.0			(内)口縁部ヨコハケ割部ヨコナダ(外)口縁部タチハケのちヨコナダ割部タチハケのちヨコハケ	内・橙外・にぶ い橙	1~2mmの結晶片岩、石英、少量の砂粒		
623	SP1006	土師器	杯	14.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	2mm大の結晶片岩、赤色炭粒		杯c
624	SP1006	土師器	甕	24.4			(内)ヨコハケ(6条/cm)(外)ヨコナダ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、砂粒多し		
625	SP2062	土師器	皿	11.4	1.1	8.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	浅黄橙	赤色炭粒、結晶片岩		皿A3a
626	SP2002	土師器	皿	12.4	1.7	6.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	内・浅黄 橙外・浅黄 橙外底・ 淡黄	1~2mm大の石英、結晶片岩		皿A3a
627	SP2002	土師器	皿	13.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	1mmの石英、結晶片岩		皿c
628	SP2005	土師器	皿	17.4			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	淡橙	1mm大の赤色炭粒、結晶片岩		皿A2e
629	SP2044	土師器	皿	16.5	2.1	12.7	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	3mm大の結晶片岩	内外・赤彩	皿A2d
630	SP2049	土師器	皿			8.4	(内)ナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	浅黄橙	1mm大の石英	内外・赤彩	
631	SP2064	土師器	杯	16.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙外・ 浅黄橙	1~6mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		杯d
632	SP2013	土師器	杯	13.9			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・灰白 /高橙 外・灰白	2mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		杯c
633	SP2004	土師器	杯	12.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	1mm大の石英、結晶片岩	内外・赤彩	杯b
634	SP2004	土師器	杯	12.0	2.0	7.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	灰白	1~2mm大の石英、結晶片岩、赤色炭粒		杯A4a
635	SP2051	土師器	杯			6.8	(内)ナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	0.5mmの赤色炭粒、結晶片岩		

第35表 出土遺物観察表 (24)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
636	SK2020	土師器	杯			6.7	(内)ナデ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	にぶい橙	1mmの結晶片岩、赤色斑紋		
637	SP2088	土師器	杯			6.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	内・淡橙 外・淡黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑紋		
638	SP2016	土師器	杯			8.9	(内)ナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・橙 外・にぶい橙	1~2mmの赤色斑紋、結晶片岩		杯B
639	SP2016	黒色土器A類	椀			8.6	(内)ヘラミガキ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧なナデ	内・黄灰 外・橙	1mmの結晶片岩		
640	SP2021	黒色土器A類	椀			7.0	(内)ヘラミガキ磨削激しく詳細不明(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・褐灰 外・にぶい橙	3mmの石英、赤色斑紋、結晶片岩		
641	SP9004	土師器	壺	12.1			(内)ヨコハケ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ	内・薄外・にぶい赤黄	1~2mmの結晶片岩、石英、砂粒多し		
642	SP2021	土師器	壺	22.5			(内)ヨコハケ(6条/cm)(外)口縁部タテハケ(5条/cm)のちナデ	内・橙 外・明黄	1~4mmの結晶片岩、砂粒多し		
643	SP2049	土師器	壺	25.8			(内)ヨコハケ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	1~4mmの結晶片岩、石英、砂粒多し		
644	SP2013	土師器	壺	32.6			(内)ヨコハケ(3条/cm)(外)ヨコナデ	内・橙 外・にぶい橙	1mm次の石英、結晶片岩、砂粒多し		
645	SP2016	土師器	壺	25.2			(内)ヨコハケ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(4条/cm)	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~3mmの石英、結晶片岩、砂粒多し		
646	SP2019	土師器	壺				(内)ナメハケ/ヨコハケのちユビオサエ(外)タタキのちナメハケ/ヨコハケ(3条/cm)	にぶい橙	1~12mmの結晶片岩、石英、赤色斑紋、砂粒多し		
647	SK2013	土師器	土鉢		1.1	2.8	糊に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリのちナデ	橙	1mm次の結晶片岩、微量の砂粒		
648	SP2051	土師器	土鉢		2.8	36.2	糊に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリのちナデ	橙/灰濁	2mmの赤色斑紋、結晶片岩		
649	SP2082	土師器	土鉢	5.5	2.6	40.5	糊に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリのちナデ	橙/灰濁	結晶片岩		
650	SK2020	金属	不明	0.4	3.9						
651	SP2051	金属	不明	6.5	1.1						
652	第4区第5層	土師器	高杯	16.2	12.8	10.4	(内)杯部ヨコハケ(7条/cm)のちナデ柱状部横方向のヘラケズリ筋部ヨコハケ(7条/cm)(外)杯部タテハケ(8条/cm)脣部ヨコナデ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1~2mm次の結晶片岩、石英、赤色斑紋、微量の砂粒		
653	第4区第4層	土師器	高杯	17.9			(内)口縁部ヨコハケ(6条/cm)のちナデ体部ナメハケ/ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙 外・にぶい橙	1~10mm次の結晶片岩、石英、微量の砂粒		
654	第4区第5層	土師器	高杯			11.7	(内)柱状部横方向のヘラケズリ筋部ヨコナデ(外)柱状部ヨコハケのちヘラミガキに近い面取り状の丁寧なナデ脣部ヨコナデ	にぶい濁	1~5mm次の結晶片岩、微量の砂粒		
655	第4区第5層	土師器	壺	15.2			(内)口縁部ハケのちナデ体部上部ユビオサエ体部中下部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ハケ(7条/cm)のちヘラミガキ(0.3mm)	内・薄灰 外・薄灰/灰黄陶	1~10mmの結晶片岩、赤色斑紋		
656	第1区第6層	土師器	皿	14.2	1.6	10.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・淡黄橙 外・橙	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩		皿A3c
657	第1区第6層	土師器	皿	13.9	1.5	9.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・にぶい橙 外・にぶい赤陶	0.5~1mmの赤色斑紋、結晶片岩		皿A3c
658	第1区第6層	土師器	皿	14.4	1.7	10.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	石英、結晶片岩、赤色斑紋、砂粒		皿A3c
659	第1区第6層	土師器	皿	14.4	1.2	11.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	1~5mmの石英、結晶片岩		皿A3c

第36表 出土遺物観察表 (25)

番号	遺 跡	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
660	第1区 第6層	土師器	皿	14.4	1.7	10.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		ⅢA3c
661	第1区 第6層	土師器	皿	15.2	1.4	10.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		ⅢA3d
662	第1区 第6層	土師器	皿	14.6	1.7	10.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	石英、結晶片岩	内外・赤彩	ⅢA3c
663	第1区 第6層	土師器	皿	15.0	2.2	10.2	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	橙	0.5~2.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		ⅢA8d
664	第1区 第6層	土師器	皿	15.8	2.5	9.2	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	絹雲母、赤色炭粒		ⅢB1d
665	第1区 第6層	土師器	杯	14.3	2.5	10.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A13c
666	第1区 第6層	土師器	杯	14.0	2.8	9.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	結晶片岩、0.5mmの砂粒	内外・赤彩	杯A13c
667	第1区 第6層	土師器	杯	12.6	3.0	7.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	1~5mmの赤色炭粒、石英、結晶片岩	内外・赤彩	杯A10b
668	第1区 第6層	土師器	杯	12.4	3.6	7.2	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙 外・にぶい黄緑	3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		杯A5b
669	第1区 第6層	土師器	杯	13.0	3.1	8.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	浅黄橙	1~2.5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、黒雲母		杯A3b
670	第1区 第6層	土師器	杯	13.3	3.4	7.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	内・にぶい黄緑 外・灰黄緑	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		杯A3b
671	第1区 第6層	土師器	杯	14.7	3.4	9.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	明赤褐	0.5~2mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、砂粒	内外・赤彩	杯A13c
672	第1区 第6層	黒色土器 A類	杯	16.8	4.2	7.8	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	内・黒/にぶい黄緑 外・橙	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		ⅢA杯1c
673	第1区 第6層	須恵器	杯	12.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰黄	1mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		
674	第1区 第6層	土師器	杯			7.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)丁寧なナダ	内・にぶい橙 外・橙	0.5~8mmの石英、0.5mmの結晶片岩、砂粒		杯B
675	第1区 第6層	黒色土器 A類	碗			7.9	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ	内・橙灰 外・にぶい黄緑	2mmの石英、0.5mmの結晶片岩		
676	第1区 第6層	土師器	高杯	20.4			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	1mmの結晶片岩	内外・赤彩	
677	第1区 第6層	須恵器	蓋	15.4			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	1~2mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
678	第1区 第6層	土師器	甕	10.6			(内)口縁部ヨコハケ(5条/cm)体部ヨコハケ/ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(3条/cm)	にぶい橙	1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒、砂粒多し		
679	第1区 第6層	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ヨコナダ体部ヨコハケ(4条/cm)ナメハケ(行条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部ヨコハケ/ナメハケ(行条/cm)口縁部に工具痕(ハケ)が等間隔に残る。	内・橙 外・明褐	0.5~1mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒、砂粒		
680	第1区 第6層	土師器	甕	19.7			(内)口縁部ヨコハケ(3条/cm)体部ヨコハケ(3条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(4条/cm)	内・にぶい赤褐 外・明赤褐	1~3mmの結晶片岩、砂粒多し		
681	第1区 第6層	土師器	甕	21.2			(内)口縁部ヨコハケの上端をヨコナダ体部ヨコハケ(4条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(5条/cm)	橙	1~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒、砂粒		
682	第1区 第6層	土師器	甕	22.3			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部ヨコハケ(6条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(6条/cm)	橙	1~3mm大の結晶片岩、砂粒多し		
683	第1区 第6層	土師質	土鉢	4.5	0.8	2.2	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい黄褐	結晶片岩		
684	第1区 第6層	土師質	土鉢	1.3	2.0		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい橙	1~2mmの石英、4mmの結晶片岩		
685	第1区 第6層	土師質	土鉢	1.0	2.3		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	淡赤橙	結晶片岩、赤色炭粒		
686	第1区 第6層	土師質	土鉢	1.0	2.3		棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	明黄褐	結晶片岩		

第37表 出土物観察表 (26)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
687	第1区 第6層	土師質	土師		1.1	4.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	結晶片岩		
688	第1区 第6層	土師質	土師	4.8	1.0	5.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい橙	0.5~6mmの石英、0.5~ 2.5mmの結晶片岩、赤色 斑粒		
689	第1区 第6層	土師質	土師	5.4	1.0	3.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい褐	結晶片岩		
690	第1区 第6層	土師質	土師		1.1	5.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5~1mmの結晶片岩、 赤色斑粒		
691	第1区 第6層	土師質	土師	5.0	1.3	7.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	0.5~1mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色斑 粒		
692	第1区 第6層	土師質	土師	4.9	1.2	5.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	0.5~2mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩、赤色 斑粒		
693	第1区 第6層	土師質	土師	5.8	1.3	8.6	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	褐色	微細な石英、結晶片岩		
694	第1区 第6層	土師質	土師		1.3	7.2	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい褐	結晶片岩		
695	第1区 第6層	土師質	土師		1.3	5.8	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	7mmの石英、結晶片岩		
696	第1区 第6層	土師質	土師		1.7	7.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	0.5~1mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色斑 粒		
697	第1区 第6層	土師質	土師	5.2	1.7	11.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	暗灰黄	結晶片岩		
698	第1区 第6層	金属	釘	0.6							
699	第1区 第6層	石製品	砥石	9.4	5.0	7.0	2面使用		砂岩		
700	第1区 第5層	土師器	皿	9.8	1.0	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	橙	0.5mmの石英、0.5~1mm の結晶片岩、微量の砂粒		皿 A14a
701	第1区 第5層	土師器	皿	10.0	0.9	8.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5~1mmの石英、0.5mm の結晶片岩		皿 A16a
702	第1区 第5層	土師器	皿	13.4	1.0	10.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	内・にぶ い橙 外・橙	0.5~2mmの石英、0.5~ 5mmの結晶片岩、赤色斑 粒		皿 A 4 b
703	第1区 第5層	土師器	皿	13.4	2.2	8.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	灰黄褐	1mmの石英、1mmの結晶 片岩		皿 A 5 b
704	第1区 第5層	土師器	皿	14.5	1.5	10.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	橙	0.5~4mmの石英、0.5~ 2.5mmの結晶片岩、赤色 斑粒		皿 A 8 c
705	第1区 第5層	土師器	皿	14.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~2.5mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色斑 粒		皿 c
706	第1区 第5層	土師器	皿	14.8	1.5	10.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	0.5~2.5mmの石英、1mm の結晶片岩		皿 A 8 c
707	第1区 第5層	土師器	皿	14.6	1.6	11.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	内・橙 外・明黄 褐	0.5~5mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩		皿 A 3 c
708	第1区 第5層	土師器	皿	14.8	2.0	11.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	内・にぶ い橙 外・にぶ い橙	1mmの石英、1~1.5mm の結晶片岩、赤色斑粒		皿 A 3 c
709	第1区 第5層	土師器	皿	15.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5mm の結晶片岩、赤色斑粒		皿 d
710	第1区 第5層	土師器	皿	17.2	1.6	11.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	橙	0.5~2.5mmの石英、0.5 ~1.5mmの結晶片岩、赤 色斑粒	内外・赤影	皿 A17e
711	第1区 第5層	土師器	皿	17.6	1.9	14.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	橙	0.5~2mmの石英、0.5~ 2.5mmの結晶片岩	内外・赤影	皿 A 2 e
712	第1区 第5層	土師器	皿 (高杯?)	18.8			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転へ ラ切りのちナデ	にぶい橙	1mmの石英、0.5~1mm の結晶片岩		皿 A 2 f

第38表 出土遺物観察表 (27)

番号	遺 標	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分類
713	第1区 第5層	土師器	杯	13.4	3.3	7.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	にぶい橙	1.5~2.5mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		杯A3b
714	第1区 第5層	土師器	杯	13.3	2.7	7.7	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	橙	0.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		杯A4b
715	第1区 第5層	土師器	杯			10.7	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	橙	0.5~6mmの石英、1~4mmの結晶片岩	内外・赤帯	杯B
716	第1区 第5層	黒色土器 A類	碗	16.8			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ	内・黒褐 外・橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		黒A碗c
717	第1区 第5層	黒色土器 A類	碗			9.0	(内)ヘラミガキ?磨耗激しく詳細不明 (外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	内・黒褐 外・にぶい橙	1~4mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		
718	第1区 第5層	黒色土器 A類	碗			9.9	(内)巾2mmのヘラミガキ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	内・黒褐 外・にぶい黄橙	1.5mmの石英、1~8mmの結晶片岩、赤色炭粒		
719	第1区 第5層	黒色土器 A類	盃		1.6	2.3	(内)ヘラミガキ(外)ナダ	内・黒褐 外・黄灰	1~6mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩		
720	第1区 第5層	黒色土器 A類	高杯	18.0			(内)ヘラミガキ(外)ヨコナダ	内・黒 外・橙	1~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、砂粒		黒A高杯I
721	第1区 第5層	土師器	高杯				(内)受部ナダ?脚柱器ナダ?(外)受部ナダ脚柱部面取りのちナダ	内・にぶい黄橙 外・明赤帯	0.5~1mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩	内外・赤帯	
722	第1区 第5層	輪軸陶器	皿			6.5	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰白	0.5mmの石英、黒炭帯、砂粒		
723	第1区 第5層	須恵器	盃	12.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・灰 外・暗オリーブ	0.5~3mmの石英、結晶片岩		自然釉?
724	第1区 第5層	須恵器	盃			11.9	(内)ヨコナダ(外)粗なナダ(外底)粗なナダ	灰	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩、砂粒		
725	第1区 第5層	須恵器	盃	16.6	1.5		(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	灰黄褐	0.5~2.5mmの石英、1~3mmの結晶片岩		
726	第1区 第5層	須恵器	盃	18.9	1.4		(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちナダ	灰黄	0.5~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、砂粒		
727	第1区 第5層	須恵器	盃	19.5			(内)平行タキのちヨコナダ(外)ヨコナダ	灰	石英、結晶片岩		
728	第1区 第5層	土師器	甕	27.8			(内)口縁部ヨコハク体部ナメハケのちヨコハク(5条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部強いタテハケ(5条/cm)口縁部に工具痕(ハケ)あり	内・にぶい黄橙 外・明赤帯	1~1.5mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、砂粒		
729	第1区 第5層	土師質	土鉢	3.3	1.0	3.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリのちナダ	にぶい橙	1mmの結晶片岩		
730	第1区 第5層	土師質	土鉢	3.3	1.0	2.8	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい黄橙	0.5~1.5mmの石英、1mmの結晶片岩		
731	第1区 第5層	土師質	土鉢	3.6	1.0	2.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい黄橙	1~2mmの石英、1~4mmの結晶片岩、砂粒を多く含む		
732	第1区 第5層	土師質	土鉢	3.6	1.0	3.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	橙	1mmの石英、0.5mmの結晶片岩		
733	第1区 第5層	土師質	土鉢	3.7	1.0	3.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい黄橙	1mmの石英、0.5の結晶片岩		
734	第1区 第5層	土師質	土鉢	3.7	1.0	2.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい黄橙	0.5mmの結晶片岩		
735	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.3	1.0	4.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	橙	0.5~1mmの石英、1~4mmの結晶片岩		
736	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.3	1.1	4.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	浅黄橙	0.5mmの結晶片岩		
737	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.4	0.9	3.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	明黄褐	0.5~4mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩		
738	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.8	1.0	4.7	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	明赤褐	0.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
739	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.8	1.1	5.2	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい橙	0.5~2mmの石英、~1.5mmの結晶片岩		
740	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.8	0.9	3.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナダ	にぶい橙	結晶片岩、赤色炭粒		

第39表 出土遺物観察表 (28)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
741	第1区 第5層	土師質	土師	5.3	1.0	4.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい橙 灰	0.5-1mmの石英、結晶 片岩	黒色	
742	第1区 第5層	土師質	土師	5.4	1.0	4.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	0.5-1mmの石英、0.5mm の結晶片岩		
743	第1区 第5層	土師質	土師	5.5	1.1	5.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	淡黄橙	0.5-1.5mmの石英、1- 2mmの結晶片岩		
744	第1区 第5層	土師質	土師	5.6	1.0	3.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	結晶片岩		
745	第1区 第5層	土師質	土師	5.9	0.9	4.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5-2mmの結晶片岩		
746	第1区 第5層	土師質	土師	6.2	1.0	4.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	0.5mmの石英、0.5-2mm の結晶片岩		
747	第1区 第5層	土師質	土師	6.7	0.7	7.6	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	黄灰	結晶片岩	黒色	
748	第1区 第5層	土師質	土師	3.3	1.2	4.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5-2mmの石英、0.5- 2mmの結晶片岩		
749	第1区 第5層	土師質	土師	3.7	1.4	5.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	淡黄橙	0.5mmの結晶片岩、赤色 斑紋		
750	第1区 第5層	土師質	土師	3.7	1.4	5.8	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	黄褐	0.5-7.5mmの石英、1- 2mmの結晶片岩		
751	第1区 第5層	土師質	土師	3.8	1.2	5.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5-2mmの石英、0.5- 2mmの結晶片岩		
752	第1区 第5層	土師質	土師	3.9	1.4	6.0	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5mmの石英、0.5-1mm の結晶片岩		
753	第1区 第5層	土師質	土師	3.9	1.3	4.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	1-1.5mmの結晶片岩		
754	第1区 第5層	土師質	土師	4.0	1.4	6.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5-1mmの結晶片岩		
755	第1区 第5層	土師質	土師	4.2	1.3	6.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5mmの結晶片岩、赤色 斑紋		
756	第1区 第5層	土師質	土師	4.3	1.3	6.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5mmの石英、0.5mmの結 晶片岩、赤色斑紋		
757	第1区 第5層	土師質	土師	4.3	1.4	6.9	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	0.5-2mmの石英、1- 2.5mmの結晶片岩		
758	第1区 第5層	土師質	土師	4.4	1.4	6.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	黄褐	0.5-2mmの石英、0.5- 1mmの結晶片岩、赤色斑 紋		
759	第1区 第5層	土師質	土師	4.7	1.4	7.6	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい橙	0.5-1mmの石英、0.5- 2mmの結晶片岩		
760	第1区 第5層	土師質	土師	4.8	1.3	7.3	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5mmの石英、0.5mmの結 晶片岩、赤色斑紋		
761	第1区 第5層	土師質	土師	4.8	1.4	8.1	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	0.5-1mmの石英、0.5- 2mmの結晶片岩		
762	第1区 第5層	土師質	土師	4.8	1.2	7.2	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	明褐	0.5-1.5mmの結晶片岩		
763	第1区 第5層	土師質	土師	4.9	1.3	7.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	0.5mmの結晶片岩		
764	第1区 第5層	土師質	土師	4.8	1.2	4.8	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	明黄褐	0.5-1mmの石英、1mm の結晶片岩		
765	第1区 第5層	土師質	土師	5.1	1.3	7.8	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 褐	結晶片岩		
766	第1区 第5層	土師質	土師	5.1	1.2	5.8	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5-1mmの石英、0.5- 1mmの結晶片岩		
767	第1区 第5層	土師質	土師	5.3	1.4	7.2	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	0.5-1mmの石英、0.5- 1mmの結晶片岩		
768	第1区 第5層	土師質	土師	5.4	1.4	8.4	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	橙	0.5-2.5mmの石英、0.5 mmの結晶片岩		
769	第1区 第5層	土師質	土師	5.5	1.3	7.6	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	明褐	0.5-1mmの結晶片岩		
770	第1区 第5層	土師質	土師	5.6	1.2	7.5	棒に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	黄褐	結晶片岩		

第40表 出土遺物観察表(29)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類	
771	第1区 第5層	土師質	土鉢		1.6	7.5	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	1~5mmの石英、0.5~ 2mmの結晶片岩、赤色斑 粒			
772	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.0	1.6	7.2	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	明黄緑	1~3mmの石英、1~2 mmの結晶片岩、赤色斑粒			
773	第1区 第5層	土師質	土鉢	4.2	1.5	7.0	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩			
774	第1区 第5層	土師質	土鉢	5.0	1.6	12.2	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	淡黄	1~4mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩			
775	第1区 第5層	土師質	土鉢	5.3	1.8	13.3	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5~5mmの石英、0.5~ 6mmの結晶片岩			
776	第1区 第5層	土師質	土鉢	5.6	1.8	14.4	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5~3mmの石英、1~ 2mmの結晶片岩			
777	第1区 第5層	土師質	土鉢	5.6	1.8	13.9	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	灰白	0.5~6mmの石英、1~ 2mmの結晶片岩	硬質		
778	第1区 第5層	土師質	土鉢		2.0	19.1	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	浅黄	1~2mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩			
779	第1区 第5層	土師質	土鉢	5.3	3.0	48.7	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	橙	0.5~3mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩			
780	第1区 第5層	土師質	土鉢	5.5	2.7	45.7	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい黄 橙	0.5~1mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、砂粒を 多く含む			
781	第1区 第5層	土師質	土鉢	5.7	2.5	41.5	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5~ 5mmの結晶片岩、砂粒を 多く含む			
782	第1区 第5層	土師質	土鉢	6.2	2.8	48.0	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ケズリ のちナデ	にぶい黄 橙 暗黄 褐	1mmの石英、1~1.5mm の結晶片岩			
783	第1区 第5層	土師質	土鉢	6.5	2.8	44.5	釉に粘土を巻き付けて成形。外面ナデ	にぶい黄 橙	0.5~1mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、砂粒を 多く含む			
784	第1区 第5層	金属器	鉄斧	4.2								
785	第1区 第5層	金属器	不明	0.9	8.5							
786	第1区 第5層	金属器	不明	0.8	3.2							
787	第4区 第4層	土師器	皿	17.3	1.9	14.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)ヨコナ デ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・にぶ い橙 外・橙	1~2mm大の結晶片岩	内外・赤彩	Ⅲ A 1 c	
788	第4区 第4層	土師器	皿	19.0	2.1	16.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ ラ切りのちナデ	にぶい黄 橙	2mmの結晶片岩		内外・赤彩	Ⅲ A 1 f
789	第4区 第4層	土師器	杯	10.8	3.3	6.1	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ ラ切りのちナデ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	1~2mmの結晶片岩、微 量の砂粒		内外・赤彩	杯 A 7 a
790	第4区 第4層	土師器	杯	13.8	2.9	9.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ ラ切りのちナデ	内・焼灰 外・にぶ い黄橙	1~5mmの結晶片岩		内外・赤彩	杯 A 10c
791	第4区 第4層	土師器	杯	14.5	2.8	9.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ ラ切りのちナデ	内・橙 外・明褐	1~2mmの結晶片岩、赤 色斑粒、微量の砂粒		内外・赤彩	杯 A 10c
792	第4区 第4層	土師器	杯	14.9	3.0	11.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘ ラ切りのちナデ	にぶい橙	1mmの石英、結晶片岩		内外・赤彩	杯 A 11d
793	第4区 第4層	土師器	杯	15.9	5.3	8.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~2mmの結晶片岩、赤 色斑粒			杯 B 2 d
794	第4区 第4層	土師器	壺	23.6			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い橙 外・明褐 灰	1~4mmの結晶片岩、微 量の砂粒			
795	第4区 第4層	土師器	壺	21.9			(内)口縁部ヨコハケ(5条/cm)外部ヨコハ ケ(5条/cm)(外)口縁部ヨコナデ外部 タテハケ(5条/cm)	橙	1~2mm大の結晶片岩、 砂粒少し		内外・赤彩 口縁部・穿 孔 1	
796	第4区 第4層	土師器	壺	24.7			(内)口縁部ヨコハケ(5条/cm)外部ヨコハ ケ(4条/cm)/ナメハケ(5条/cm)(外)口 縁部ヨコナデ外部タテハケ(5条/cm)	(内)橙/ 明赤褐 (外)明赤 褐	1~5mmの石英、結晶片 岩、砂粒多し			

第41表 出土遺物観察表 (30)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
797	第4区 第4層	土師器	甕	26.2			(内)ヨコナデ(4条/cm)(外)口縁部ヨコナ デ体部タナメハケ(4条/cm)	橙	1~5mmの結晶片岩、石 灰、砂粒多し		
798	第4区 第4層	土師器	甕	17.4			(内)口縁部ヨコハケ(7条/cm)胴部上中位ハ ラケズリのちナデ下位ユビオサエのちナ デ(外)口縁部タナメハケ(7条/cm)	にぶい橙	1~5mmの結晶片岩、 2~4mm大の長石		
799	第4区 第4層	金属	釘	0.7							
800	第4区 第3層	土師器	高杯	18.7			(内)ヘラミガキ(外)ヘラミガキ	にぶい橙	1~4mmの結晶片岩、微 量の砂粒		
801	第4区 第3層	土師器	皿	15.4	2.1	8.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナメナナデ	内・にぶ い橙 外・にぶ い橙/に ぶい黄橙	1~4mmの結晶片岩、赤 色斑紋、微量の砂粒	内外・赤彩	ⅢA2d
802	第4区 第3層	土師器	皿	17.4	1.9	10.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナメナナデ	にぶい橙	1~2mmの結晶片岩	内外・赤彩	ⅢA2e
803	第4区 第3層	須恵器	甕	9.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄灰	1~2mmの石英、結晶片 岩、微量の砂粒		
804	第4区 第3層	須恵器	杯	13.8	4.4	9.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	結晶片岩		須恵杯A
805	第4区 第3層	須恵器	杯	17.6	6.3	11.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ爪痕あり	内・灰白 外・淡黄	1~2mmの結晶片岩		須恵杯B
806	第4区 第3層	土師器	甕	28.6			(内)口縁部ヨコハケ(4条/cm)体部ヨコナ デ(外)口縁部ヨコナデ体部タナメハケ(4条/ cm)	橙	1~3mmの石英、結晶片 岩、砂粒多し		
807	第4区 第3層	土師器	甕	26.2			(内)口縁部ヨコハケ(4条/cm)体部ユビ オサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タナメハケ(3 条/cm)	内・明赤 外・橙	1~3mmの結晶片岩、石 灰、砂粒多し		
808	第4区 第3層	土師器	杯	14.8	3.3	9.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転赤 知り未調整	橙	1~2mmの赤色斑紋、結 晶片岩		杯C1d
809	第4区 第3層	土師器	杯	15.5	3.1	9.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転赤 知り未調整	橙	1mmの赤色斑紋、結晶片 岩		杯C1d
810	第4区 第3層	土師質	土鉢	1.2	5.0		釉に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリ のちナデ	淡黄橙	1mm大の赤色斑紋、石 灰、結晶片岩		
811	第4区 第3層	土師質	土鉢	4.3	1.4	6.6	釉に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリ のちナデ	黄灰	結晶片岩		
812	第4区 第3層	土師質	土鉢	5.7	2.6	36.3	釉に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリ のちナデ	にぶい黄 橙/灰黄	0.5mmの石英、結晶片 岩、 微量の砂粒		
813	第4区 第3層	金属	釘	0.6	4.3						
814	第4区 第3層	金属	釘	0.7	4.4						
815	第4区 第3層	金属	不明	0.6	6.8						
816	第4区 包含層	土師器	皿	15.0	1.7	9.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い橙 外体部・ 橙 外底部・ にぶい橙	結晶片岩、赤色斑紋		ⅢA3d
817	第4区 包含層	土師器	皿	14.5	2.0	8.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	1~3mmの結晶片岩、赤 色斑紋	内外・赤彩	ⅢA8c
818	第1区 西壁	土師器	皿	15.8	2.0	7.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ	淡橙	1mmの結晶片岩、赤色斑 紋		ⅢA8d
819	第1区 先行ト レンチ	土師器	皿	19.0	1.8	12.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ	内・橙 外・にぶ い橙	0.5mmの赤色斑紋、結 晶片 岩		ⅢA2f
820	第1区 不明	土師器	杯	11.6	3.0	6.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ	にぶい橙	1~2mm大の結晶片岩	内外・赤彩	杯A7a
821	第1区 南壁	土師器	杯	12.6	3.2	7.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ハ ラ切りのちナデ	にぶい橙	0.5~1.5mmの石英、1~ 5mmの結晶片岩、赤色斑 紋、砂粒	内外・赤彩	杯A7b

第42表 出土遺物観察表 (31)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
822	第1区 先行トレン チ	土師器	杯	13.2	3.4	8.6	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	にぶい橙	1~5mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A13b
823	第1区 先行トレン チ	土師器	杯	13.0	3.3	8.3	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	にぶい黄橙	1mmの結晶片岩	内外・赤彩	杯A7b
824	第4区 包含層	土師器	杯	13.4	3.1	9.0	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	にぶい橙	1~11mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A13b
825	第4区 包含層	土師器	杯	13.0	3.6	7.1	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	にぶい橙	1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A9b
826	第1区 不明	土師器	杯	13.2	3.4	7.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	灰白	0.5mmの結晶片岩、微量の砂粒		杯A3b
827	第1区 不明	土師器	杯	13.0	3.2	7.4	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	灰白	1~3mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		杯A3b
828	第4区 包含層	土師器	杯	16.8	3.8	14.6	(内)ヨコナダのちへらミガキ(外)ヨコナダのちへらミガキ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	内外・赤彩	杯A1e
829	第1区 先行トレン チ	土師器	高杯	18.0			(内)へらミガキ(外)ヨコナダ/へらミガキ	内・黄灰 外・橙	0.5mmの赤色炭粒、結晶片岩		
830	第1区 先行トレン チ	土師器	杯	14.7	5.7	7.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ(外底)回転ヘラ切りのちねナダ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		杯B2c
831	第1区 包含層	須恵器	長頸壺	9.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰	石英、結晶片岩		
832	第4区 包含層	土師器	甕	11.5			(内)ヨコハケ(5条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(7条/cm)	内・にぶい黄 外・にぶい赤黄	1~3mmの結晶片岩、砂粒多し		
833	第1区 不明	土師器	甕	20.8	13.1		(内)口縁部ヨコハケ体部不定方向ハケ(外)口縁部ヨコナダ体部上位タナハケ下位同一工具によるタキヤクハケ	にぶい橙	0.5~3mmの結晶片岩、石英、炭石、砂粒		甕AⅡ
834	第1区 不明	土師器	甕				(内)ナダ/ハケ(外)ハケ	橙	1~5mmの結晶片岩、石英、砂粒多し		
835	第1区 先行トレン チ	土師器	甕				(内)ハケ(5条/cm)(外)ハケ(5条/cm)	橙	1~3mm大の結晶片岩、石英、砂粒多し		
836	第1区 先行トレン チ	金属	釘	1.3	1.9						
837	第4区 攪乱	金属	リング	0.7	2.9						
838	第1区 包含層	金属	不明	3.4	7.4						
839	第1区 包含層	金属	刀子	0.9	9.7						
840	第1区 第2層	金属	刀子	1.4							
841	SD2014	土師器	甕	15.5			(内)口縁部ヨコハケのちねナダ(外)口縁部ヨコハケ体部タナメハケ	にぶい橙	2mmの赤色炭粒、結晶片岩		口縁部2割の縦凹線
842	SD2014	土師器	甕	13.5			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエのちねナダ(外)口縁部ヨコハケのちねナダ体部タナメハケのちねナダ	にぶい橙	結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線
843	SD2014	土師器	甕	13.4			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエのちねナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タナメハケのちねナダ	内・口縁部にぶい橙 体部明灰 外・にぶい橙	結晶片岩、赤色炭粒		口縁部1条の縦凹線
844	SD2014	土師器	甕	13.8	25.6	4.0	(内)口縁部ヨコハケのちねナダ体部上部エビオサエ体部下部ヘラズリ底部エビオサエ(外)口縁部ヨコハケのちねナダ体部タナメハケ(8条/cm)/(11条/cm) 底部顔面ヨコナダ底部ハケ(13条/cm)	内・にぶい橙 外・明黄橙	1~4mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線 体部下部1~底部外面炭化物付着

第43表 出土遺物観察表 (32)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
845	SD2015	土師器	高杯				(内)ヘラケズリ(外)ヘラミガキ(巾2.5mm)	内・にぶ い椀 外・にぶ い黄椀	1mm大の赤色炭粒、結晶 片岩		
846	SD2015	土師器	高杯				(内)柱状部しぼり痕埋部ナメハケ(6条/ cm)(外)柱状部ヘラミガキ(巾2mm)裾部 タナク(5条/cm)	にぶい黄 椀	0.5~2.5mmの石英、0.5 mmの結晶片岩、赤色炭粒	透かし穴	
847	SD2015	土師器	鉢	12.7			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ(5条/ cm)(外)口縁部ヨコナデ(5条/cm)	椀	1~5mmの石英、結晶片 岩		鉢ⅡE5
848	SD2015	土師器	鉢	10.2	4.5		(内)ナデのちヘラミガキ?磨耗痕しく詳 細不明(外)口縁部ヨコナデ(5条/cm)体 部下部ヘラケズリ	内・椀 外・にぶ い椀	1~2mmの石英、1mmの 結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA2
849	SD2015	土師器	鉢	16.3			(内)ナメハケのちナデ(外)口縁部 しお痕/ナデ体部ヘラケズリ	内・にぶ い椀 外・椀	1~5mmの結晶片岩、赤 色炭粒、微量の砂粒		鉢ⅡA5
850	SD2015	土師器	鉢	16.8			(内)ナデのちナメハケ(8条/cm)(外) ナデ(爪痕あり)	椀	1~3mm大の結晶片岩		鉢ⅡA2
851	SD2015	土師器	鉢	19.8			(内)口縁部ヨコナデのちナメハケ(5条/ cm)体部ナデのちナメハケ(外)腹しお痕 /口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリのち ナデ	内・にぶ い椀 外・にぶ い黄椀	結晶片岩		鉢ⅠA2
852	SD2015	土師器	鉢	19.2			(内)ナデ? (外)腹しお痕/口縁部ナ デ体部ヘラケズリのちナデ	椀	1~2mmの赤色炭粒、結 晶片岩		鉢ⅠA2
853	SD2015	土師器	鉢	20.0			(内)ナメハケ(20条/2.5cm)(外)腹しお痕 /口縁部タキのちヨコナデ体部タキの ちヘラケズリ	にぶい椀	1~2mmの石英、1~5 mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA2
854	SD2015	土師器	鉢	20.8			(内)ナメハケのち板ナデ/布ナデ? (外) 腹しお痕/口縁部タキのちヨコナデ体 部上段タキのちナデ体部下段ヘラケズ リのちナデ	内・にぶ い椀 外・椀	1~2mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩、赤色炭 粒		鉢ⅠA2
855	SD2015	土師器	鉢	21.5	6.5		(内)ハケ(7条/cm)のちヘラミガキ(外)腹 しお痕/口縁部ヨコナデ体部-底部ヘラ ケズリ	内・椀 外・にぶ い椀	1~4mmの石英、1~3 mmの結晶片岩	内面水銀朱 付着 外面炭化物 付着	鉢ⅠA6
856	SD2015	土師器	鉢	18.0			(内)ナメハケ(5条/0.9cm)(8条/1.2cm) (外)腹しお痕/口縁部ナメハケ部に指 痕体部ヘラケズリのちナデ	椀	0.5~3mmの石英、1~ 5mmの結晶片岩、赤色炭 粒		鉢ⅡA5
857	SD2015	土師器	鉢	19.8	7.0		(内)ヨコハケ(9条/2cm)(外)腹しお痕/ 口縁部タキのちヨコナデ体部底段タキ のちヘラケズリのちナデ	内・椀 外・明間	0.5~2mmの石英、0.5mm の結晶片岩、赤色炭粒	口縁部底段 凹縁	鉢ⅠA5
858	SD2015	土師器	鉢	18.3			(内)ナデのちヘラミガキ?磨耗痕しく詳 細不明(外)腹しお痕/口縁部ナデ体部 ヘラケズリ	にぶい椀	1~3mmの結晶片岩、石 英		鉢ⅡA2
859	SD2015	土師器	鉢	19.8			(内)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(9条/ cm)のちヘラミガキ(外)腹しお痕/口縁 部ヨコナデ体部ヘラケズリのちヘラミ ガキ	にぶい椀	1mm大の石英・結晶片 岩、細雲母、赤色炭粒		鉢ⅡA2
860	SD2015	土師器	台付鉢	15.0			(内)口縁部ナメハケのちヨコナデ(5条/ cm)ヨコハケのちヨコナデ体部ヘラミ ガキ(外)口縁部ヨコナデ体部腹しお 痕/ヘラケズリのちヘラミガキ体部下 段ヘラケズリのちナメハケのちヨコ ナデ	にぶい椀	1~2mmの石英、1mmの 結晶片岩、赤色炭粒	口縁部部 約1.3cmの 縦凹縁	鉢ⅡE3
861	SD2015	土師器	鉢	18.8			(内)口縁部ヨコハケ(7条/cm)体部ヘラ ケズリのちナメハケ(5条/0.5cm)のち ヘラミガキ(巾3mm)(外)口縁部腹し お痕/ナデ体部ヘラケズリ	にぶい黄 椀	0.5~1mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩、赤色 炭粒		鉢ⅡE1
862	SD2015	土師器	鉢	24.7	10.0	4.0	(内)口縁部ヨコハケ(11条/cm)体部ナ メハケ(8条/cm)のちヘラミガキ(巾 2.5mm)(外)口縁部ヨコナデ体部ヘ ラケズリのちナデ	にぶい椀	1~2mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色炭 粒	変形 口縁部1 条の縦凹縁	鉢ⅠE3
863	SD2015	土師器	鉢	34.7			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部 板ナデのちヘラミガキ(外)口縁部ヨ コハケのちヨコナデ体部ナメハケ磨 耗痕しく詳細不明	椀	1~5mmの石英、1~3 mmの結晶片岩	口縁部1 条の縦凹縁	鉢ⅠE4
864	SD2015	土師器	鉢	33.1			(内)口縁部ナメハケのちヨコナデ体 部ナメハケ(7条/cm)(外)口縁部ヨ コナデ	にぶい椀	0.5~1mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩、赤色 炭粒	口縁部1 条の縦凹縁 口縁部・体 部内面、口 縁部水銀 朱付着	鉢ⅠF1

第44表 出土遺物観察表 (33)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
865	SD2015	土師器	鉢	30.9			(内)口縁部ハケのちナデ部ナメハケ(10条/cm)(外)口縁部ヨコナデ部ハケ	橙	1~4mmの結晶片岩、石英	口縁端部2条の縦凹線	鉢IF1
866	SD2015	土師器	広口壺	24.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ/ハケ爪痕あり	内・ぶい 外・ぶい 黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部2条の縦凹線	壺Ha1
867	SD2015	土師器	広口壺	23.7			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケのちヨコナデ?	内・ぶい 外・ぶい 黄橙	1~7mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部近い2条の縦凹線	壺Ha1
868	SD2015	土師器	広口壺	20.9			(内)口縁部ナメハケのちヨコナデ腹部ヨコハケ(7条/cm)のちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケ(5条/0.6cm)のちヨコナデ	内・ぶい 外・ぶい 黄橙	1~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部2条の縦凹線	壺Ha1
869	SD2015	土師器	広口壺	19.4			(内)口縁部ヨコハケのちナデ部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ/ユビオサエ頸部ハケ	内・橙 外・ぶい 黄橙	1~3mm大の赤色泥粒、結晶片岩	口縁端部近い3条の縦凹線	壺Ha1
870	SD2015	土師器	広口壺	18.6			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケのちナデ	橙	8mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	口縁端部2条の縦凹線	壺Ha1
871	SD2015	土師器	広口壺	19.6			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ/ヨコハケ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケのちナデ	内・橙 外・ぶい 黄橙	1~5mmの赤色泥粒、石英、結晶片岩、微量の砂粒	口縁端部3条の縦凹線	壺Ha1
872	SD2015	土師器	広口壺	14.5			(内)口縁部ヨコナデ腹部ユビオサエのちヨコナデ体部上位ユビオサエのちナデ部下部ユビオサエ/ハラズリ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケのちヨコナデ部ナメハケ(10条/cm)	内・橙/ ぶい 黄橙 外・ぶい 黄橙	1~2mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部2条の縦凹線	壺He
873	SD2015	土師器	二重口縁壺	15.5			(内)二次口縁部ナメハケ一次口縁部ヨコナデ頸部ヨコハケ(外)二次口縁部ヨコナデ一次口縁部一環部ハケ	内・橙 外・ぶい 黄橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色泥粒、微量の砂粒	口縁端部近い数条の縦凹線	壺Nc1
874	SD2015	土師器	二重口縁壺	16.5			(内)ヨコナデ一次口縁に爪痕(外)ヨコナデ	内・ぶい 外・ぶい 黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩	口縁端部近い3条の縦凹線	壺Nc1
875	SD2015	土師器	二重口縁壺	19.6			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(7条/0.8cm)のちヨコナデ	内・ぶい 外・橙 黄橙	1~4mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部5条の縦凹線	壺Nc2
876	SD2015	土師器	広口壺		2.0		(内)頸部ヨコナデ部指ナデ(外)頸部ヨコナデ体部上位ハケのちナデ部下部タテキ/ハケ底部ハケ	内・ぶい 外・ぶい 黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	口縁部のみ欠損	
877	SD2015	土師器	甕	16.0			(内)口縁部ナメハケ体部ナデ(外)口縁部ユビオサエ/ハケ体部タテハケ(8条/cm)	内・橙 外・ぶい 黄橙	1mm大の結晶片岩		甕AEa
878	SD2015	土師器	甕	14.2			(内)口縁部ヨコナデ体部詳細不明(外)口縁部ヨコハケ体部詳細不明	内・明橙 外・明赤 橙	1~2mm大の結晶片岩、石英	口縁端部1条の縦凹線	甕AEr
879	SD2015	土師器	甕	14.3			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(7条/0.9cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄橙	1~1.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AEb
880	SD2015	土師器	甕	14.5			(内)口縁部ヨコナデ体部取ナデ? (外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(11条/cm)(13条/cm)	ぶい 黄橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AEb
881	SD2015	土師器	甕	15.7			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ナメハケ体部ナメハケ(9条/cm)	橙	1~2mmの結晶片岩、赤色泥粒		甕AEi
882	SD2015	土師器	甕	15.8			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(8条/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄橙	0.5mmの石英、結晶片岩	口縁端部1条の縦凹線	甕AEh
883	SD2015	土師器	甕	15.5			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部ユビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(9条/cm)	内・ぶい 外・橙 黄橙	0.5~1mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AEh
884	SD2015	土師器	甕	13.9			(内)ナメハケのちヨコナデ前縁直しく詳細不明(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ前縁直しく詳細不明	ぶい 黄橙	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AEh

第45表 出土遺物観察表 (34)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	技 法・特 徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
885	SD2015	土師器	甕	12.3			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部ナメハケ	内・にぶ い黄緑 外・にぶ い黄緑	結晶片質	口縁部2 条の縦凹線	変AEh
886	SD2015	土師器	甕	11.8			(内)口縁部ヨコハケ(8条/cm)体部上位エビオサエ/ヘラケズリ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナテ体部タタキのちハケ(11条/cm)(5条/cm)	橙	1~1.5mmの石英、1mmの結晶片質、赤色炭粒	口縁部弱 い2条の縦 凹線	変AE1h
887	SD2015	土師器	甕	13.9			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエのち 指ナテ(外)口縁部ヨコナテ体部ナメハ ケ(11条/cm)	内・にぶ い黄 外・にぶ い黄緑	0.5~2.5mmの石英、2mmの結晶片質	口縁部2 条の縦凹線 体部外面下 位炭化物付 着	変ABb
888	SD2015	土師器	甕	16.4			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエ/ヘラ ケズリ(外)口縁部ヨコナテ体部上部タテ ハケ(5条/cm)体部下部ナメハケ(9条/ cm)	にぶい黄 緑	0.5~5mmの石英、3~4mmの結晶片質	口縁部2 条の縦凹線	変ABb
889	SD2015	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナテ体部上 部エビオサエ体部下部ヘラケズリ(外)口 縁部ヨコナテ体部ナメハケ	内・にぶ い黄 外・橙	1mmの石英、1mmの結晶 片質	口縁部2 条の縦凹線 口縁部・体 部外面中位 以下炭化物 付着	変ABb
890	SD2015	土師器	甕	14.4			(内)口縁部ヨコハケ(7条/cm)体部エビオ サエ/ヘラケズリのち指ナテ(外)口縁部ナ メハケ体部タタキ(8条/cm)	内・にぶ い黄 外・橙	1mmの石英、1mmの結晶 片質	口縁部・体 部外面中位 以下炭化物 付着	変ABh
891	SD2015	土師器	甕	14.3			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエのち ナテ(外)口縁部ヨコナテ体部タタキのち ナメハケ(35条/2.3cm)(8条/cm)	内・にぶ い黄緑 外・にぶ い黄	1mmの石英、1~2mmの 結晶片質、赤色炭粒	口縁部1 条の縦凹線	変AEh
892	SD2015	土師器	甕	16.2			(内)口縁部エビオサエ/ヨコハケ(10条/ cm)体部上部エビオサエ体部下部ヘラケズ リ(外)口縁部ヨコナテ体部上部タタキの ちナメハケ(10条/cm)体部下部タタキ (10条/cm)	内・にぶ い黄緑 外・にぶ い黄	1~4mmの石英、1~9 mmの結晶片質、赤色炭粒	体部外面下 位・体部外 面・口縁部 炭化物付着	変AE2h
893	SD2015	土師器	甕		3.4		(内)エビオサエ/ヘラケズリ(外)体部タタ キのちタタキ(10条/cm)底部ハケ	内・黄緑 外・にぶ い黄緑	1~3mmの石英、0.5~ 1.4mmの結晶片質、赤色炭 粒		変AB③
894	SD2015	土師器	甕	14.4			(内)口縁部~体部上端ヨコナテ体部上位 エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁 部~体部上端ヨコナテ体部タタキ(12条 /cm)	内・橙 外・明赤 濁	0.5~2mmの角閃石	口縁部2 条の縦凹線 体部外面下 位炭化物付 着 環状痕	変SEa
895	SD2015	土師器	甕	14.7			(内)口縁部ヨコナテ体部ヨコハケのちエ ビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部ナメ ハケ(9条/cm)	橙	1mm大の石英、赤色炭 粒、結晶片質	口縁部2 条の縦凹線	変ABb
896	SD2015	土師器	甕	16.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナテ体部エ ビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部ナメ ハケ磨光強く詳細不明	灰黄	1~2mmの石英、1~2 mmの結晶片質、赤色炭粒	口縁部2 条の縦凹線	変ABb
897	SD2015	土師器	甕	14.2			(内)口縁部ヨコナテ体部上部エビオサエ 体部下部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナ テ体部タタキのちタタキ(5条/cm)	橙	0.5~2mmの結晶片質、 赤色炭粒	口縁部2 条の縦凹線 口縁部・体 部外面中位 炭化物付着	変ABb
898	SD2015	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコハケ体部上部エビオサエ 体部下部ヘラケズリ?磨光強く詳細不 明(外)口縁部ヨコナテ体部ナメハケ(11 条/cm)(7条/cm)	橙	1~2mmの石英、1mmの 結晶片質、赤色炭粒	口縁部1 条の縦凹線 体部外面下 位炭化物付 着	変ABh
899	SD2015	土師器	甕	13.0			(内)口縁部ヨコナテ体部上部エビオサエ 体部下部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナ テ体部タタキ(15条/cm)(6条/cm)	橙	1~3mmの石英、1~8 mmの結晶片質、赤色炭粒	口縁部2 条の縦凹線 体部外面下 位炭化物付 着	変ABh
900	SD2015	土師器	底部			7.2	(内)ヘラケズリ(外)ハケ(5条/cm)	内・にぶ い黄 外・にぶ い黄緑	1~4mmの結晶片質、赤色 炭粒		A③

第46表 出土遺物観察表 (35)

番号	遺標	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
901	SD2015	土師器	底部			4.4	(内)エビオサエ(外)体部ナメハケ(8条/cm)底部ハケ	内・ぶい 外・ぶい 黄褐色	1~4mmの石英、結晶片岩	底部外面炭化物付着	A㉔
902	SD2015	土師器	底部			3.0	(内)体部ナメハケ(8条/cm)/(4条/cm)底部エビオサエ(外)体部ナメハケ(12条/cm)底部ハケ	内・黄灰 外・ぶい 黄褐色	1~3mmの結晶片岩	底部外面炭化物付着	A㉔
903	SD2015	土師器	底部			3.2	(内)ヘラケズリ(1.3cm巾)(外)体部タテハケ(9条/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ	ぶい黄褐色	3~5mmの結晶片岩	体部下位、底部外面炭化物付着	A㉔
904	SD2015	土師器	底部			3.6	(内)板ナダ?(外)底部側面ヨコナダ底部ハケ	内・ぶい 黄褐色 外・黒褐色	1~1.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑紋をわずかに含む	体部下位、底部外面炭化物付着	A㉔
905	SD2015	土師器	底部			3.7	(内)ヘラケズリ(外)底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ(7条/0.8cm)	内・黄 外・ぶい 黄褐色	1~4.5mmの石英、3mmの結晶片岩	体部下位、底部外面炭化物付着	A㉔
906	SD2015	土師器	底部			3.6	(内)ヘラケズリ(外)底部側面ヨコナダ底部ハケ(6条/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄褐色	5mmの結晶片岩	体部下位、底部外面炭化物付着	A㉔
907	SD2015	土師器	底部			2.7	(内)板ナダ?(外)体部タテハケ(10条/cm)底部ハケ	ぶい黄褐色	1mmの石英、2mmの結晶片岩、赤色斑紋	体部外面下位炭化物付着	A㉔
908	SD2015	土師器	底部			3.9	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(6条/0.9cm)底部ハケ	内・ぶい 外・黄褐色	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩		A㉔
909	SD2015	土師器	底部			4.0	(内)体部エビオサエのちヘラケズリ底部エビオサエ(外)体部タテハケ(7条/1.1cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ	内・黄 外・ぶい 黄褐色	1.5~4mmの石英、2~7mmの結晶片岩	体部下位、底部内外面炭化物付着	A㉔
910	SD2015	土師器	底部			4.2	(内)体部エビオサエのちヘラケズリ底部エビオサエ(外)体部タテハケのちタテハケ(5条/1.1cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ	内・明褐色 外・ぶい 黄褐色	0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑紋	体部下位、底部内外面炭化物付着	A㉔
911	SD2015	土師器	底部			3.1	(内)エビオサエ(爪痕あり)(外)ヘラケのちナダ	内・黄灰 外・ぶい 黄褐色	結晶片岩	体部内面下位炭化物付着	A㉔
912	SD2015	土師器	底部			5.0	(内)エビオサエ(外)体部タテハケ(5条/cm)底部ハケ	内・黒褐色 (脚) 外・ぶい 赤褐色	結晶片岩	体部内外面下位、底部内面炭化物付着	A㉔
913	SD2015	土師器	底部			4.9	(内)ヘラケズリ(外)底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ	内・灰黄褐色 外・黄褐色	1~6mmの石英、1mmの結晶片岩	体部内外面下位、底部内面炭化物付着	A㉔
914	SD2015	土師器	底部			4.2	(内)ヘラケズリ(外)底部側面ヨコナダ底部ハケ(10条/cm)	内・灰黄褐色 外・ぶい 黄褐色	0.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩	体部下位、底部外面炭化物付着	A㉔
915	SD2015	土師器	底部			4.1	(内)ヘラケズリ(外)磨耗激しく不明	明黄褐色	2~6mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑紋		A㉔
916	SD2015	土師器	底部			4.8	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ底部側面ヨコナダ底部ハケ	ぶい黄褐色	1mmの結晶片岩	体部内外面下位、底部内面炭化物付着	A㉔
917	SD1020	土師器	高杯				(内)ヘラミガキ(外)口縁部ナメハケ体部ヨコナダヘラミガキ	内・黄 外・ぶい 黄褐色	1~3mmの結晶片岩、赤色斑紋		
918	SD1020	土師器	高杯				(内)脚柱部ナダ(外)脚柱部ナダのちタテヘラミガキ	内・ぶい 黄褐色 外・黄褐色	1~5mmの石英、結晶片岩、砂粒多し		
919	SD1020	土師器	鉢	13.8			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・黄 外・明赤褐色	1~3mmの結晶片岩、赤色斑紋、石英、少量の砂粒		鉢ⅡE4
920	SD1020	土師器	鉢	17.8			(内)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ	ぶい黄褐色	2~4mmの結晶片岩		鉢ⅡE1
921	SD1020	土師器	鉢	18.4			(内)エビオサエ(外)タタキ(タタキ目が非常に細く、ハケの道具でたいたものか?)	ぶい黄褐色	赤色斑紋、結晶片岩		鉢ⅡA9

第47表 出土遺物観察表 (36)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
922	SD1020	土師器	鉢	21.8			(内)ナメハケ(7条/cm)(外)ナデ	橙	1mmの結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅠA6
923	SD1020	土師器	鉢	11.7	8.4	3.2	(内)板ナデ(巾1.1cm)(外)縦しわ底/口縁部-体部中位タキ体部下位ヘラケズリ	内・灰黄 外・灰黄 /にぶい黄橙	1～6mm大の結晶片岩、石英、砂粒多し		鉢ⅡA1a
924	SD1020	土師器	鉢	22.2			(内)口縁部ヨコハケ体部ナメハケ(外)口縁部ナメハケ	にぶい橙	1mmの結晶片岩	口縁部部2条の縦凹線	鉢ⅡE6
925	SD1020	土師器	鉢	25.3			(内)口縁部ヨコハケ体部ナメハケ(外)口縁部ナメハケのちヨコナデ体部縦しわ底/ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	1～3mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	鉢ⅠE5
926	SD1020	土師器	鉢	35.4			(内)口縁部ヨコハケ(9条/cm)体部ナメハケ(7条/cm)のちヘラミガキ(10cm)(外)口縁部ヨコナデ/ヨコハケ(7条/cm)体部縦しわ底/タキ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	2mmの結晶片岩		鉢ⅠE3
927	SD1020	土師器	鉢	37.0			(内)口縁部ヨコハケ体部ハケのちヘラミガキ(外)縦しわ底/口縁部タキのちナデ体部エビオサエのちナデ	内・明黄 外・橙	1～3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅠE5
928	SD1020	土師器	広口壺	21.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1～5mmの結晶片岩、石英		
929	SD1020	土師器	広口壺	17.0			(内)ヨコナデ(外)口縁部タテハケ(11条/cm)のちヨコナデ	内・橙 外・にぶい橙	結晶片岩		壺Ⅱ
930	SD1020	土師器	広口壺	13.7			(内)口縁部ヨコナデのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ/口縁部上位ヨコナデ/ナメハケ口縁部下位タテハケ	にぶい橙	1mmの石英、結晶片岩	口縁部部2条の縦凹線	壺Ⅱa1
931	SD1020	土師器	広口壺	17.4			(内)ハケのちナデ(外)ヨコナデ	内・明黄 外・褐灰	1～3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	口縁部部2条の縦凹線	壺Ⅱa2
932	SD1020	土師器	体部				(内)ハケ(5条/7mm)指オサエナデ(外)ヘラケズリ	にぶい橙	0.5～4mmの石英	内・朱付着	
933	SD1020	土師器	壺	14.4			(内)口縁部ヨコハケ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ/ナメハケ	にぶい黄橙	2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	壺ⅡA
934	SD1020	土師器	壺	17.7			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(6条/cm)	内・黄橙 外・橙	結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒	口縁部部2条の縦凹線	壺ⅡB
935	SD1020	土師器	壺	16.0			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ/ナメハケ	にぶい橙	結晶片岩		壺ⅡBb
936	SD1020	土師器	壺	15.1			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(9条/cm)	内・にぶい黄橙 外・灰橙	石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線 体部外面炭化物付着	壺ⅡBb
937	SD1020	土師器	壺	18.9			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ多く系底残る(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(6条/cm)	内・にぶい橙 外・橙	1mm大の赤色斑粒、結晶片岩	口縁部部2条の縦凹線 体部外面下位炭化物付着	壺ⅡA
938	SD1020	土師器	壺	15.4			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ/ナメハケ	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	結晶片岩	口縁部部2条の縦凹線	壺ⅡEr
939	SD1020	土師器	壺	9.3			(内)口縁部ヨコハケ体部上頸エビオサエ体部上位置ナデのちヘラミガキ(10cm)体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコハケ体部上位置タテハケ体部下位ナメハケ(6条/cm)	内・灰黄 外・にぶい橙	2mmの石英、結晶片岩		壺ⅡE1g
940	SD1020	土師器	壺	12.0			(内)口縁部ハケ体部横位のケズリ(外)口縁部粘土付加のタテハケ(10条/cm)体部上位置タキ体部中位ヨコハケ	内・灰白 外・灰黄	赤色斑粒、微砂粒多し	類入土器	壺ⅡTm
941	SD1020	土師器	壺	13.8			(内)口縁部エビオサエ/ヨコハケ体部上位置エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部エビオサエ体部タテハケ/ナメハケ(8条/cm)	にぶい橙	1～2mmの結晶片岩、少量の砂粒	口縁部部2条の縦凹線 口縁部、体部外面下位炭化物付着	壺ⅡA
942	SD1020	土師器	底部		7.6		(内)ナデ(外)体部タテハケ底部ヘラミガキ?	にぶい黄橙	1～9mmの結晶片岩、赤色斑粒、砂粒多し		A⑤
943	SD1020	土師器	底部		4.6		(内)エビオサエのちナデ(外)ヘラケズリ	にぶい橙	1～3mmの石英、1～2mmの結晶片岩、赤色斑粒		A③

第48表 出土遺物観察表(37)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
944	SD1020	土師器	底部				(内)ハケのち放射状ヘラミガキ(外)ヘラケズリ	内・灰黄褐色外・にぶい黄橙	1~5mmの石英、結晶片岩	外面炭化物付着	A⑤
945	SK2023	土師器	高杯	23.0			(内)口縁部ヨコハケ(15条/cm)のちヘラミガキ(外)口縁部ナメハケのちヨコナダのちヘラミガキ体部ヘラケズリのちナダ?	にぶい黄橙	1~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩		
946	SK2023	土師器	小型丸底鉢	8.9	7.2		(内)口縁部エビオサエのち板ナダ体部板ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・にぶい黄褐色外・灰黄	1.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		小A
947	SK2023	土師器	甕	12.0			(内)口縁部ナメハケ体部ヘラケズリ(外)タテハケ磨耗激しく詳細不明	内・黄褐色外・橙	0.5~1mmの石英、1mmの結晶片岩		第AKu
948	SK2023	土師器	鉢	8.2			(内)口縁部 ハケ?のちヨコナダ 体部ヨコナダ(外)口縁部 ヨコナダ 体部縦しわ肌/ヨコナダ	内・橙外・にぶい黄橙	結晶片岩、赤色斑粒		
949	SK2023	土師器	鉢	10.6	4.9		(内)板ナダ?(外)縦しわ肌/口縁部ヨコナダ体部ナダ	にぶい黄橙	0.5~1mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅡA2c
950	SK2023	土師器	鉢		1.8		(内)体部板ナダ底部ヘラケズリ(外)体部上位置しわ肌/ヨコナダ体部下位~底部ヘラケズリ	にぶい黄橙	1~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		鉢ⅡA2a
951	SK2023	土師器	鉢	10.5			(内)ナメハケ(6条/1.1cm)(外)縦しわ肌/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・にぶい黄橙外・にぶい黄橙	0.5~2mmの結晶片岩、微量の赤色斑粒		鉢ⅡA2a
952	SK2023	土師器	鉢	16.0	6.4		(内)ヘラケズリ/エビオサエ(外)縦しわ肌/ヘラケズリ	内・にぶい黄橙外・にぶい黄橙	0.5~8mmの結晶片岩、赤色斑粒、石英	完形	鉢ⅡA2c
953	SK2023	土師器	鉢	16.3			(内)ヘラミガキ(巾2mm)(外)ヘラケズリ	にぶい黄橙	1~3mmの石英、結晶片岩		鉢ⅡA2
954	SK2023	土師器	鉢	18.6	7.5	5.5	(内)ナメハケ(8条/cm)(外)縦しわ肌/体部ナダのちナダ底部ナダ	内・明褐色外・黄褐色	1~5mmの石英、赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒	ほぼ完形	鉢ⅡA2a
955	SK2023	土師器	鉢	16.4			(内)口縁部ハケのちナダ体部ナメハケ(4条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ肌/タタキ	内・橙外・褐	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒		鉢ⅡE3
956	SK2023	土師器	鉢	16.2	8.0	3.8	(内)口縁部ヨコナダ体部上位ヨコナダヘラミガキ体部中位タテヘラミガキ体部下位~底部ナダ(外)口縁部 ヨコナダ体部上位縦しわ肌/体部~底部ハケのちヘラミガキ	内・にぶい黄橙外・にぶい黄橙	1.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	完形	鉢ⅡE5a
957	SK2023	土師器	鉢	17.8	8.5		(内)口縁部ヨコハケ体部ヨコハケ(8条/cm)のちヘラミガキ(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部ヘラケズリ	内・黄灰外・にぶい黄橙	1~10mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅡE2a
958	SK2023	土師器	鉢	19.1	6.8		(内)口縁部ハケのちナダ体部ナメハケ(7条/cm)のちヘラミガキ(巾2mm)(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ肌/ヘラケズリ	内・黒外・にぶい黄橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅡE4c
959	SK2023	土師器	鉢	18.9	7.6		(内)口縁部ヨコハケ体部ハケのち(10条/cm)ヘラミガキ(巾3mm)(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部上位縦しわ肌/タタキのちヨコナダ体部下位ヘラケズリ	にぶい黄橙	1~2.5mmの石英、3mmの結晶片岩、赤色斑粒をわずかに含む		鉢ⅡE3c
960	SK2023	土師器	鉢	29.3			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(10条/cm)	内・にぶい黄褐色外・にぶい黄橙	1~3mmの石英、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	鉢ⅠF1
961	SK2023	土師器	鉢	31.5			(内)口縁部ヨコハケ(6条/cm)体部ナメハケ(8条/cm)(外)器部ハケのちナダ口縁部エビオサエ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅠD
962	SK2023	土師器	鉢	41.2			(内)口縁部ハケ体部ハケのちヘラミガキ(巾3mm)(外)口縁部エビオサエのちヨコナダ体部上位縦しわ肌/タタキ体部下位ヘラケズリ	にぶい黄橙	1~4mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅠE4
963	SK2023	土師器	鉢	14.5			(内)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(6条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部ハケ?磨耗激しく詳細不明	内・黄褐色外・橙	1~2mmの石英、結晶片岩		鉢ⅡF1

第49表 出土遺物観察表 (38)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分期
964	SK2023	土師器	鉢	13.1	5.3	2.8	(内)口縁部ユビオサエ体部板ナメハク(外)口縁部粗しわ肌/ヨコナダ体部ヘラケズリのうちナ	にぶい黄緑	1~2mmの石英、結晶片岩		鉢ⅡA5a
965	SK2023	土師器	有孔鉢	13.4	9.8	2.8	(内)口縁部ユビオサエのうちヨコナダ体部板ナメハク(0.1,1cm)底部ユビオサエ(外)口縁部~体部上縁しわ肌/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・橙外・にぶい黄緑	1~1.5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA4a
966	SK2023	土師器	有孔鉢				(内)ユビオサエのうちハケ(7条/cm)(外)ヘラケズリ	内・にぶい黄緑外・にぶい黄緑	0.5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩		
967	SK2023	土師器	短頸壺	13.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ヨコナダ体部ナメハク(替?)(外)スリップ/頸部 ヨコナダ体部ナメハク	内・橙外・にぶい黄緑	0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒を少量含む		壺Ts
968	SK2023	土師器	広口壺	18.1			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タナメハク(8条/cm)	にぶい黄緑	1mm次の赤色炭粒、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	壺Hb
969	SK2023	土師器	広口壺	19.4			(内)口縁部ヨコハケ(5条/0.7cm)のうちヨコナダ体部ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部~体部ナメハク(4条/0.9cm)	橙	0.5~1mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部3条の縦凹線	壺Ha1
970	SK2023	土師器	広口壺	20.1			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコハケのうちヨコナダ体部タナメハク(9条/cm)のうちヨコナダ体部上縁にヘラケ工具?によりつけられた痕跡の集まり(意図的?)	内・橙外・にぶい黄緑	1~6mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部3条の縦凹線	壺Ha1
971	SK2023	土師器	広口壺	21.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・灰褐色外・明褐色	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部4条の縦凹線	壺Ha1
972	SK2023	土師器	二重口縁壺	19.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄緑	1~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Nc1
973	SK2023	土師器	二重口縁壺	19.1			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	1~6mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、砂粒少し	口縁部5条の縦凹線	壺Nc1
974	SK2023	土師器	甕	16.0			(内)口縁部 ヨコハケ体部 磨耗激しく不明(外)口縁部 ヨコナダ体部 ナメハク(9条/cm)	橙	0.5~4mmの石英、1~7mm結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	甕AEc
975	SK2023	土師器	甕	16.7			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ/ナメハク(10条/cm)	にぶい黄緑	1~2mmの石英、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	甕AEb
976	SK2023	土師器	甕	15.9			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タナメハク	結晶片岩		口縁部2条の縦凹線	甕AEb
977	SK2023	土師器	甕	15.9			(内)口縁部 ヨコナダ体部 ユビオサエのうち板ナメハク(外)口縁部 ヨコナダ体部タナメハク磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄緑外・橙	2~10mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	甕AEb
978	SK2023	土師器	甕	17.0			(内)口縁部 ヨコハケ(8条/cm)体部ユビオサエ(外)口縁部 ヨコナダ体部タナメハク(10条/cm)	内・橙外・にぶい黄緑	0.5~2mmの石英、1.5mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	甕AEb
979	SK2023	土師器	甕	16.6			(内)口縁部 ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部 ナメハク(8条/cm)	にぶい黄緑	0.5~9mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線体部内面下位炭化物付着	甕AEb
980	SK2023	土師器	甕	15.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハク(5条/cm)	内・にぶい黄緑外・にぶい黄緑	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線体部内外面下位炭化物付着	甕AEb
981	SK2023	土師器	甕	14.6			(内)口縁部ヨコナダ体部上部ユビオサエ体部下ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部上部ナメハク(9条/0.9cm)体部下タナメハク(7条/cm)	内・にぶい黄緑外・にぶい黄緑	2~5mmの石英、2~15mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線体部内面下位、外面全体炭化物付着	甕AE1b
982	SK2023	土師器	甕	23.4			(内)口縁部ヨコハケのうちヨコナダ?体部ユビオサエ(工具?)(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハク(6条/0.6cm)	内・にぶい黄緑外・淡赤橙	0.5~3mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		甕AEh
983	SK2023	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエのうちヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タナメハク(9条/1.1cm)(4条/0.6cm)	内・にぶい黄緑外・橙	0.5~2.5mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	甕AEb

第50表 出土遺物観察表 (39)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
984	SK2023	土師器	甕	15.5			(内)口縁部ナナメハケのちヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ(8&cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	ⅤAEb
985	SK2023	土師器	甕	13.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエのちヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	1mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線 体部外面下位炭化物付着	ⅤAEb
986	SK2023	土師器	甕	14.1			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ(8&cm)	内・橙外・にぶい黄橙	1~6mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線 体部外面下位炭化物付着	ⅤAEb
987	SK2023	土師器	甕	14.2	20.8	4.1	(内)口縁部ヨコナダ体部上部ユビオサエ体部下部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(17&cm)底部ハケ	橙	0.5~1mmの石英、6mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	ⅤAEⅢb ③
988	SK2023	土師器	甕	10.4			(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ	内・明灰黄 外・灰黄褐	1mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	ⅤAKb
989	SK2023	土師器	甕	11.0			(内)口縁部ナナメハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ(10&cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	1~3mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部弱い1条の縦凹線	ⅤAEr
990	SK2023	土師器	甕	11.7			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ(10&cm)	内・にぶい黄橙 外・黄褐	1mmの石英、1mmの結晶片岩	口縁部弱い2条の縦凹線	ⅤAEb
991	SK2023	土師器	甕	12.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエのちヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ 全体に磨耗激しく詳細不明	明赤褐	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩	体部外面下位炭化物付着	ⅤAEh
992	SK2023	土師器	甕	11.2	15.8		(内)口縁部ヨコナダ体部上段ユビオサエ/摺子字体部下段ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部上段タテハケ/体部中位タテハケ/体部下位タテハケ(9&cm)	内・橙外・にぶい黄	2~5.5mmの石英、3mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線 外面全体炭化物付着	ⅤATVq ③
993	SK2023	土師器	底部			3.6	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8&cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	1~3.5mmの石英、2~7.5mmの結晶片岩		A④
994	SK2023	土師器	底部			3.5	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(11&cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(8&cm)	にぶい黄	2~7mmの結晶片岩		A④
995	SK2023	土師器	底部			3.8	(内)ヘラケズリ体部下位螺旋状の爪痕(外)体部タテハケ(8&cm)底部ハケ	内・にぶい黄橙 外・明灰黄	結晶片岩	内外面炭化物付着	A②
996	SK2023	土師器	底部			3.0	(内)ヘラケズリ底部螺旋状の爪痕(外)体部タテハケ(6&cm)底部ハケ	内・にぶい黄橙 外・黄褐	0.5~3mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	外面炭化物付着	A②
997	SK2023	土師器	底部			3.7	(内)ヘラケズリ(外)底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ	内・橙外・にぶい黄	1~3mmの石英、2mmの結晶片岩	外面炭化物付着	A④
998	SK2023	土師器	底部			1.9	(内)ヘラケズリ(外)ケズリのちハケのちナ	内・黒褐外・灰褐	1~1.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩	内外面炭化物付着	A④
999	SK2023	土師器	底部			3.0	(内)板ナサ(外)ケズリのち板ナサ磨耗激しく詳細不明	浅黄橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1000	SK2024	土師器	鉢	13.0			(内)ナナメハケ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・褐外・明褐	1~2mmの石英、結晶片岩		ⅢE A 2
1001	SK2024	土師器	鉢	16.1			(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラミガキ(外)ヨコナダ	にぶい黄	1mmの赤色斑粒、結晶片岩		ⅢE A 3
1002	SK2024	土師器	鉢	21.6			(内)口縁部ナナメハケ/ヨコナダ体部ナナメハケ/ヨコハケ(外)縦しわ板ナサ	橙	1~2mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		ⅢE A 3
1003	SK2024	土師器	広口壺	15.0			(内)口縁部ヨコハケ(外)口縁部ヨコナダ体部上部タテハケ	にぶい黄	1mmの結晶片岩		
1004	SK2024	土師器	甕	17.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	0.5mmの石英、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	ⅤAE

第51表 出土遺物観察表 (40)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1005	SK204	土師器	底部			3.2	(内)ヘラケズリ(外)ナデ	灰黄	1~3mmの石英、結晶片岩	外面灰化物付着	A①
1006	SK205	土師器	高杯	21.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶ い黄 外・黄	1~4mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		
1007	SK205	土師器	鉢	21.0			(内)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(外)口縁部ヨコナデ体部タタキ	内・にぶ い黄 外・暗灰 黄	1mm次の石英、結晶片岩		鉢ⅡE2
1008	SK205	土師器	鉢	20.5			(内)口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ(市1.3cm)/ヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリのちナデ	内・にぶ い黄 外・明黄 濁	1mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡE1
1009	SK205	土師器	鉢	21.0			(内)口縁部ヨコナデ体部ヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部上位履しわ履/ナデ体部下位タタキ	内・黄 外・浅黄 濁	1~2mmの結晶片岩		鉢ⅡE5
1010	SK205	土師器	鉢	24.8			(内)板ナデ(外)履しわ履/ヨコナデ	にぶい黄	3mmの石英、結晶片岩		鉢ⅠA6
1011	SK205	土師器	鉢	24.2			(内)ユビオサエ(外)履しわ履/タタキ	黄	結晶片岩		鉢ⅠA6
1012	SK205	土師器	鉢	22.9			(内)ナメハケ(7条/cm)(外)履しわ履/タタキもちナデ	内・にぶ い黄 外・黄	1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA2
1013	SK205	土師器	有孔鉢	14.9	12.6		(内)ナメハケ(6条/cm)/(7条/cm)(外)履しわ履/タタキ	内・にぶ い黄 外・にぶ い黄	石英、1~4mmの結晶片岩		鉢ⅠC2
1014	SK205	土師器	鉢	10.2			(内)ヨコナデ(外)履しわ履/ヘラケズリ	にぶい黄	1mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒、微量の砂粒		鉢ⅢA1
1015	SK205	土師器	小塚丸底鉢	7.1	8.6		(内)口縁部ナデのち3mm幅のタテヘラミガキ頸部ユビオサエ体部ヨコナデ(外)口縁部ハケ(9条/0.9cm)のち2mm幅のタテヘラミガキ頸部工具痕/ヨコナデ体部上位ヨコナデヘラミガキ体部下位タタキのちナデ	にぶい黄	1~2.5mmの石英、結晶片岩		小Ca
1016	SK205	土師器	広口壺	23.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	4mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩		壺Hd
1017	SK205	土師器	広口壺	22.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ/ユビオサエ	にぶい黄	6mmの石英、結晶片岩	口縁部1条の縦凹線	壺He
1018	SK205	土師器	広口壺	20.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄	0.5mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	口縁部3条の縦凹線	壺Ha1
1019	SK205	土師器	広口壺	19.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄	1~2mmの結晶片岩、石英	口縁部前位2条の縦凹線	壺Ha1
1020	SK205	土師器	広口壺	19.9			(内)口縁部ヨコナデ部部タテハケ? 履しわ履しく不明(外)口縁部ヨコナデ部部タテハケ(9条/cm)	内・黄 外・黄	1~3mmの結晶片岩	口縁部3条の縦凹線	壺Ha1
1021	SK205	土師器	壺	11.5			(内)口縁部ヨコハケ体部上位ナメハケ(9条/cm)体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部上位タテハケ(8条/cm)体部中位履しわ履体部下位タタキ	内・にぶ い黄 外・浅黄 濁	5mm次の石英、結晶片岩		壺AHVj
1022	SK205	土師器	広口壺	12.2			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部ヨコハケ/タテハケ	黄	4mmの結晶片岩		壺H
1023	SK205	土師器	壺	14.4			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(9条/cm)	内・にぶ い黄 外・灰 濁	1~3mm次の結晶片岩、微量の砂粒	口縁部1条の縦凹線	壺AEh
1024	SK205	土師器	壺	12.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	黄	結晶片岩	口縁部1条の縦凹線	壺AEb
1025	SK205	土師器	壺	12.0			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ	内・にぶ い黄 外・にぶ い黄	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	壺AEb
1026	SK205	土師器	壺	10.5			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ	内・にぶ い黄 外・黄	4mmの結晶片岩	口縁部1条の縦凹線	壺AEb
1027	SK205	土師器	壺	12.3			(内)口縁部ヨコハケ体部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ	黄	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		壺AEb

第52表 出土遺物観察表 (41)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1028	SK2025	土師器	甕	14.3			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(8条/cm)	内・橙 外・にぶ い橙	1~3mmの赤色炭粒、結 晶片岩、微量の砂粒	口縁部2 条の縦凹線	要AEs
1029	SK2025	土師器	甕	16.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ヨコナダ(外)口 縁部ヨコナダ体部タテハケ(7条/cm)	にぶい黄 橙、外面 灰附着	1~2mmの石英、結晶片 岩	口縁部2 条の縦凹線	要AEb
1030	SK2025	土師器	甕	16.0			(内)口縁部ヨコハケ体部ヨコナダ(外)口 縁部ヨコナダ体部タテハケ(4条/cm)	内・地灰 外・にぶ い黄橙	結晶片岩	口縁部2 条の縦凹線	要AEh
1031	SK2025	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ/ハラ ケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ (7条/cm)	にぶい橙/ 橙	4mmの石英、赤色炭粒、 結晶片岩、微量の砂粒	口縁部3 条の縦凹線	要AEb
1032	SK2025	土師器	鉢	26.0			(内)口縁部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナ ダ体部ナメハケ(6条/cm)	内・黄灰 外・にぶ い橙	1~4mmの石英、結晶片 岩、微量の砂粒		鉢IE8
1033	SK2025	土師器	底部			3.7	(内)体部ハラケズリ底部ユビオサエ(外) 体部タテハケ(7条/cm)底部ハケ	橙	1~3mmの石英、赤色炭 粒、結晶片岩	体部外面下 位灰化物付着	A①
1034	SK2025	土師器	底部				(内)体部ハケ(7条/cm)底部ユビオサエ (外)体部ハケ(6条/cm)底部ハラケズリ/ハ ケ	にぶい橙	1~5mmの赤色炭粒、石 英、結晶片岩		A②
1035	SK2025	石製品	叩石	8.5	2.3	7.4			砂岩		
1036	SK2025	弥生土器	広口壺	16.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ハラケズリ(外) 口縁部ヨコナダ体部上位ヨコナダ体部下 位ハラケズリ	内・灰白/ 橙 外・灰白	1~5mmの多量の角閃 石、石英、赤色炭粒、		壺Ic
1037	SK2026	土師器	鉢	24.5			(内)口縁部ヨコナダ体部ハラミガキ(外) 履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部横位のハラ ケズリ	にぶい橙	0.5mmの結晶片岩、赤色 炭粒		鉢IE3
1038	SK2026	土師器	鉢	27.1			(内)口縁部ヨコハケ(4条/cm)体部ナダ (外)口縁部ヨコナダ体部ナダ?	にぶい黄 橙	結晶片岩(潜見)		鉢IE3
1039	SK2026	土師器	鉢	26.9			(内)口縁部ヨコハケ(4条/cm)体部ナメ ハケ(4条/cm)(外)履しわ痕/口縁部ヨコナ ダ体部タテキ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い黄橙/ 黒濁	2mmの結晶片岩	口縁部2 条の縦凹線	鉢IE3
1040	SK2026	土師器	鉢	28.7			(内)口縁部ヨコハケ(9条/cm)のちユビオ サエ体部ナメハケ(7条/cm)のちユビオ サエ(外)口縁部ヨコナダ/ユビオサエ体部 板ナダ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	1~2mmの石英、結晶片 岩	口縁部2 条の縦凹線	鉢IE4
1041	SK2026	土師器	鉢	14.6			(内)口縁部ヨコハケ体部ナメハケ(外) 履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部タテキ	内・橙 外・にぶ い橙	1~2mmの結晶片岩	口縁部部 弱い縦凹線	鉢IE3
1042	SK2026	土師器	鉢	13.4			(内)ナメハケ(9条/cm)(外)履しわ痕/口 縁部ヨコナダ体部ハラケズリ	内・橙 外・にぶ い橙	0.5mmの結晶片岩、赤色 炭粒、石英		鉢IIA2
1043	SK2026	土師器	鉢	14.0			(内)ナメハケ(8条/cm)(外)履しわ痕/ハラ ケズリ	にぶい橙	1~6mmの石英、結晶片 岩、赤色炭粒		鉢IIA2
1044	SK2026	土師器	白付鉢			4.2	(内)ハラミガキ?(外)体部ヨコナダ底部 横型・底部ユビオサエ	橙	1~2mm大の石英、結晶 片岩、微量の砂粒		
1045	SK2026	土師器	広口壺	23.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	灰黄	1~2mmの石英、結晶片 岩	口縁部2 条の縦凹線	壺IIa2
1046	SK2026	土師器	広口壺				(内)頸部ヨコナダ体部ユビオサエ/ナダ (外)頸部タテハケのちヨコナダ体部ヨコ ナダ	内・にぶ い黄 外・にぶ い橙	1~2mmの石英、赤色炭 粒、結晶片岩	肩口突帯文 様	
1047	SK2026	土師器	甕	19.6			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部タテハケ(5条/cm)	内・橙 外・にぶ い橙	1mm大の結晶片岩	口縁部2 条の縦凹線	要AEb
1048	SK2026	土師器	甕	16.8			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部 タテハケ	内・橙 外・にぶ い橙	結晶片岩	口縁部2 条の縦凹線	要AEb
1049	SK2026	土師器	甕	15.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(4条/cm)	にぶい黄 濁	0.5mmの赤色炭粒、結晶 片岩	口縁部2 条の縦凹線	要AEs

第53表 出土遺物観察表 (42)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1050	SK2026	土師器	甕	14.7			(内)ヨコナデ(内)ヨコナデ	にぶい橙	結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	要AEs
1051	SK2026	土師器	甕	14.2			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオナエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(8条/cm)	にぶい黄橙	結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	要AEb
1052	SK2026	土師器	甕	15.9			(内)口縁部ヨコナデ体部上位ユビオナエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部上位タテハケ(9条/cm)/ナナメハケ(7条/cm)体部下位タテハケ(7条/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	口縁部2条の縦凹線	要AE II b
1053	SK2026	土師器	底部		6.4		(内)体部ハケのちナデ底部ユビオナエ(外)体部ヘラミガキ底部縦面ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、石英、砂粒多し		A①
1054	SK2026	土師器	底部		3.5		(内)ヨコナデ(外)タタキ	内・にぶい褐 外・黄褐	0.5mmの石英、結晶片岩?		A①
1055	SK2026	土師器	底部		3.3		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8条/cm)底部ヨコハケ(7条/cm)	内・灰褐色 外・黄褐	1mmの結晶片岩、石英		A①
1056	SK2026	土師器	底部		4.4		(内)ヘラケズリ(外)ナデ	内・暗灰黄 外・黒褐	1~5mmの石英、結晶片岩	外面炭化物付着	A①
1057	SK2026	土師器	底部		4.4		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8条/cm)底部ナデ	内・にぶい黄褐 外体・黒褐 外底・明赤褐	1mmの石英、結晶片岩、赤色黄粒	外面炭化物付着	A②
1058	SK2026	土師器	底部		4.6		(内)ヘラケズリ(外)体部ハケ底部縦面ナデ底部ハケ	内・黄褐色 外・灰黄褐	1~2mmの石英、結晶片岩	外面炭化物付着	A②
1059	SK2026	石製品	砥石	7.3	1.5	5.3	方形の使用面1面				
1060	SZ2002	土師器	高杯	20.6			(内)口縁部ヨコナデ体部ハケ(8条/cm)(外)口縁部ヨコナデ体部磨耗激しく不明	内・黄褐色 外・にぶい黄橙	1~3mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		
1061	SZ2002	土師器	高杯				(内)口縁部ヨコハケ(7条/cm)のち放射状ヘラミガキ?体部ヨコハケのち放射状ハケのちヘラミガキ(外)口縁部ナメハケ口縁部下端ヨコナデ体部ヨコヘラケズリのち放射状ヘラミガキ	内・にぶい黄橙 外・灰黄	1~4mmの結晶片岩、微量の砂粒		
1062	SZ2002	土師器	鉢	20.3			(内)ヘラミガキ(外)履しわ底/口縁部右上がりのタタキのちナデ体部ヘラケズリ	明黄褐	1~4mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		鉢I A 2
1063	SZ2002	土師器	鉢	24.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部ナメハケ(6条/cm)(外)口縁部ヨコナデ体部履しわ底/タタキのちヨコナデ	内・橙 外・にぶい黄橙	1~2mm大の結晶片岩、石英、微量の砂粒	口縁部2条の縦凹線	鉢II E 4
1064	SZ2002	土師器	鉢	19.6			(内)口縁部ヨコハケ(4条/cm)体部ナメハケ(4条/cm)(外)口縁部右上がりのタタキのちヨコナデ体部履しわ底/右上がりのタタキ	内・にぶい橙 外・黄褐	1~3mmの結晶片岩、赤色黄粒、微量の砂粒	口縁部1条の縦凹線	鉢II E 3
1065	SZ2002	土師器	鉢	20.2			(内)口縁部ヨコハケ体部ナメハケ/ヘラミガキ(外)履しわ底/口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1mm大の結晶片岩	口縁部1条の縦凹線	鉢II E 6
1066	SZ2002	土師器	鉢	23.5			(内)口縁部ハケのちヨコナデ体部ハケ?(外)履しわ底/口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	内・明褐色 外・褐	結晶片岩		鉢II E 6
1067	SZ2002	土師器	鉢	17.8			(内)口縁部ナメハケ/ヨコナデ体部ハケ/ナデ(9条/cm)のちヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	にぶい黄橙	1~7mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒	口縁部1条の縦凹線	鉢II E 2 a
1068	SZ2002	土師器	鉢	19.2			(内)口縁部ナメハケ(6条/cm)体部ヘラミガキ(外)履しわ底/口縁部ヨコナデ体部タタキのちヘラケズリ	にぶい橙	1~7mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		鉢II E 2 a
1069	SZ2002	土師器	鉢	21.6			(内)口縁部ヨコハケ(8条/cm)体部ナメハケ(13条/1.7cm)(外)履しわ底/口縁部ヨコナデ体部上位タタキのちヨコナデ体部下位ヘラケズリ	にぶい橙	4mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色黄粒		鉢II E 2 a
1070	SZ2002	土師器	鉢	22.6			(内)口縁部ハケのちヨコナデ体部ヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリのちナデ	内・にぶい橙 外・橙	1mmの赤色黄粒、結晶片岩		鉢II E 2 a
1071	SZ2002	土師器	鉢	34.2			(内)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(7条/cm)のちヘラミガキ?(外)履しわ底/磨耗激しく不明	内・橙 外・明赤褐	1~4mm石英、1~6mmの結晶片岩		鉢I E 2

第54表 出土遺物観察表 (43)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1072	SZ2002	土師器	鉢	14.3	7.0	2.5	(内)口縁部ナメハケ体部上位ナメハケ(8条/cm)体部下位ナメハケまたはヘラミガキ(外)履しわ腹/口縁部ヨコナデ体部上位ヘラケズリのちナデ体部下位ヘラケズリ	橙	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑紋		鉢ⅡA2a
1073	SZ2002	土師器	鉢	16.0			(内)ナメハケのちナデ(外)口縁部~体部上位ナメハケ体部中位タタキのちヘラケズリ体部下位ヘラケズリ	内・橙外・にぶい黄橙	1~3mmの結晶片岩、石英、赤色斑紋、微量の砂粒		鉢ⅡA1
1074	SZ2002	土師器	鉢	15.9			(内)口縁部ナメハケ(8条/cm)体部ナデ(外)履しわ腹/口縁部~体部上位タタキ体部下位タタキのちタテハケ	内・にぶい黄橙外・橙	1~2mm大の石英、赤色斑紋、結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅡE7
1075	SZ2002	土師器	広口壺	23.2			(内)口縁部ヨコナデ頸部ユビオサエのちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデのちタテハケ	内・橙外・にぶい黄	1~7mmの結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒		壺Ⅳd
1076	SZ2002	土師器	広口壺	22.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい黄橙外・浅黄	1mmの石英、1~2.5mmの結晶片岩、赤色斑紋	口縁部3条の縦凹線	壺Ⅳa1
1077	SZ2002	土師器	広口壺	19.6			(内)口縁部ハケのちナデ頸部ユビオサエのちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(8条/cm)	にぶい橙	0.5~1mm大の結晶片岩、赤色斑紋、石英、微量の砂粒	口縁部3条の縦凹線	壺Ⅳa1
1078	SZ2002	土師器	甕	18.3			(内)口縁部ヨコハケ(8条/cm)体部ユビオサエ(外)口縁部タタキのちヨコナデ体部タタキのちタテハケ(8条/cm)	内・黒褐外・にぶい橙	1mmの結晶片岩		甕ⅣTh
1079	SZ2002	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(8条/cm)	にぶい黄橙	1~3mmの結晶片岩、砂粒多し	口縁部2条の縦凹線	甕ⅣEb
1080	SZ2002	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(8条/cm)	内・にぶい黄橙外・にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑紋	口縁部2条の縦凹線体部外面下位炭化物付着	甕ⅣEb
1081	SZ2002	土師器	甕	15.8			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(9条/cm)	内・橙外・にぶい橙	1~2mmの結晶片岩、赤色斑紋	口縁部2条の縦凹線外面赤色塗彩?	甕ⅣEb
1082	SZ2002	土師器	甕	15.8			(内)口縁部ヨコナデ/ユビオサエ体部タテハケ/ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ	内・橙外・にぶい橙	1~4mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	口縁部2条の縦凹線	甕ⅣEb
1083	SZ2002	土師器	甕	13.9			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(7条/cm)	にぶい黄橙	1mmの石英、赤色斑紋、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	甕ⅣEb
1084	SZ2002	土師器	甕	10.5			(内)口縁部ヨコナデ体部上縁板ナデのちヨコナデ体部上位ユビオサエのち板ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(11条/cm)	にぶい橙	0.5~2mmの石英、12mmの結晶片岩、赤色斑紋	口縁部2条の縦凹線	甕ⅣEb
1085	SZ2002	土師器	甕	11.3			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ/ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(7条/0.9cm)(5条/0.9cm)	にぶい橙	1~2mmの石英、1~2.5mmの結晶片岩、赤色斑紋	口縁部2条の縦凹線	甕ⅣEb
1086	SZ2002	土師器	甕	14.2			(内)口縁部ヨコナデ/ヨコハケ体部上位ユビオサエのち布しるヨコナデ体部中位ヘラケズリ(外)口縁部~体部上縁ヨコナデ体部タテハケ(8条/cm)	にぶい黄橙	1~3mmの石英、結晶片岩、赤色斑紋、微量の砂粒	口縁部2条の縦凹線	甕ⅣEc
1087	SZ2002	土師器	甕	18.2			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(6条/cm)	内・黄灰外・にぶい橙	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑紋	口縁部2条の縦凹線体部外面下位炭化物付着	甕ⅣEb
1088	SZ2002	土師器	甕	15.9			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ/ユビオサエ体部ナメハケ(6条/cm)	内・褐灰外・褐灰/にぶい橙	結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	甕ⅣEb
1089	SZ2002	土師器	甕	15.6			(内)口縁部ヨコナデ体部上縁ユビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部上縁タテハケ(5条/1.1cm)体部下位ナメハケ(5条/1.1cm)	内・黄褐外・橙	1mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑紋	口縁部2条の縦凹線体部外面下位炭化物付着	甕ⅣEb
1090	SZ2002	土師器	底部			4.2	(内)上方向へのヘラケズリ(外)タテハケ(13条/cm)	内・橙外・にぶい橙	1~11mm大の結晶片岩、石英、赤色斑紋、少量の砂粒		A②

第55表 出土遺物観察表 (44)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1091	S22002	土師器	底部			4.4	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(7条/cm)底部ハケ(3条/cm)	内・にぶ い黄褐色 外・にぶ い橙	2mm大の結晶片岩		A①
1092	S22002	土師器	底部			3.8	(内)ナナメハケ(5条/cm)(外)体部 タ キ底部磨耗強く不明	にぶい黄 褐色	1mmの石英、2~3mmの 結晶片岩、赤色斑紋		A①
1093	S22002	土師器	底部			6.2	(内)ハケ(6条/cm)(外)タタキ	にぶい黄 褐色	1~3mmの赤色斑紋、結 晶片岩	体部外面下 位炭化物付 着	A⑦
1094	S22002	土師器	底部			4.4	(内)上方向へのヘラケズリ(外)体部タテ ハケ(8条/cm)底部格子状ハケ(3条/cm)	内・黒褐 外・にぶ い黄褐色	1mmの石英、結晶片岩	内面炭化物 付着	A②
1095	S22002	土師器	底部			3.9	(内)ヘラケズリ(外)体部ハケ底部ハケ(8 条/cm)	内・黒褐 外・暗灰 黄	結晶片岩	内外面炭化 物付着	A⑦
1096	S22002	土師器	底部			3.9	(内)ヘラケズリ(外)底部側面 ハケのち ヨコナデ底部 ハケ	内・にぶ い黄 外・にぶ い黄褐色	1~3mmの結晶片岩		A③
1097	S22002	土師器	底部			3.6	(内)ヘラケズリ(外)ハケ?磨耗強く詳 細不明	内・にぶ い黄 外・橙	0.5mmの石英、砂粒多し		A⑧
1098	S22002	土師器	底部			4.0	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8条/ cm)底部ハケ	内・にぶ い褐 外・明褐	1~3mmの結晶片岩、微 量の砂粒		A⑤
1099	S22002	土師器	底部			3.8	(内)ヘラケズリ(外)体部ハケ底部ハケ (5条/cm)	内・橙 外・にぶ い橙	1~2mmの石英、結晶片 岩、赤色斑紋、微量の砂 粒		A③
1100	S22002	土師器	底部			3.8	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(5条/ cm)底部ハケ(5条/cm)	内・にぶ い黄褐色 外・にぶ い橙	1~2mmの結晶片岩、石 英		A⑥
1101	S22003	土師器	高杯	26.2			(内)口縁部ヨコハケのちヘラミガキ(外)体 部ヘラミガキ(112.5mm)(外)口縁部ヨコハ ケのちヘラミガキ体部ヘラケズリのちナ デ	内・橙 外・にぶ い橙	1~5.5mmの石英、1~ 3mmの結晶片岩、赤色斑 紋		
1102	S23003	土師器	高杯	27.5	15.3	15.6	(内)杯部ヨコハケ(9条/cm)のちヘラミガ キ(112mm)脚柱部しほり裏面ナメハケ (7条/cm)(外)口縁部ナメハケ(7条/cm) 杯部ヘラケズリのちナデ脚柱部裏ナデ 部ナデ	内・にぶ い黄 外・橙	1~2mmの石英、1~5 mmの結晶片岩、赤色斑 紋	透かし穴2 通3方向	高B3
1103	S23003	土師器	高杯			17.6	(内)ヨコハケ?磨耗強く詳細不明(外) タテハケ(7条/cm)のちヘラミガキ	橙	1~2.5mmの石英、1~ 2mmの結晶片岩、赤色斑 紋	透かし穴	
1104	S23003	土師器	器台			6.0	(内)脚部ヨコハケ(20条/1.9cm)(外)化粧 土/ナデまたはヘラミガキ磨耗強く詳細 不明	橙	1mmの石英、0.5~1.5mm の結晶片岩、赤色斑紋		
1105	S23003	土師器	鉢	12.2	4.1	5.0	(内)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(9条/ cm)のちナデ磨耗強く詳細不明(外)ナ デ	内・橙 外・にぶ い橙	1~2mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩、赤色斑 紋		鉢ⅡA2a
1106	S23003	土師器	鉢	15.3			(内)ヨコナデ(外)縦しわ痕/タタキのちヨ コナデ	橙	1~2mmの赤色斑紋、結 晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅡA3
1107	S23003	土師器	鉢	17.5			(内)ナメハケ(5条/cm)(外)縦しわ痕/右 上がりのタタキ	橙	1~3mmの石英、結晶片 岩		鉢ⅡA1
1108	S23003	土師器	鉢	19.3	6.0		(内)ナメハケ(17条/3.3cm)のち一帯ヘ ラミガキ(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナデ 体部ヘラケズリ	橙	1mmの石英、1~6mmの 結晶片岩、赤色斑紋	ほぼ完形	鉢ⅡA6c
1109	S23003	土師器	鉢	23.3			(内)口縁部ヨコハケ(10条/cm)体部ナメ ハケ(10条/cm)(外)縦しわ痕/口縁部タ タキのちヨコナデ体部上位ヘラケズリ のちナデ体部下位ヘラケズリ	橙	1~2mmの石英、1~13 mmの結晶片岩、赤色斑 紋		鉢ⅠA5
1110	S23003	土師器	鉢	24.6			(内)ナメハケ(5条/cm)のちヘラミガキ (外)口縁部ヘラケズリのちヨコナデ体部 ヘラケズリ	にぶい黄 褐色	1~2mmの石英、2mmの 結晶片岩、赤色斑紋		鉢ⅠA3
1111	S23003	土師器	鉢	22.2			(内)ナメハケ(4条/cm)(外)縦しわ痕/タ タキのちヨコナデ	内・にぶ い黄褐色 外・にぶ い橙	1~3mmの石英、0.5mm の結晶片岩、赤色斑紋		鉢ⅠA3

第56表 出土遺物観察表(45)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分期
1112	SZ2003	土師器	有孔鉢	18.2	9.0	1.9	(内)ナナメハク(7条/cm)(外)口縁部縦しわぬ/タキキ体部ヘラケズリ底部ヘラケズリ	内・ぶい黄緑外・黄	3mmの石英、1-3mmの結晶片岩、赤色泥粒	穿孔2	鉢IC2b
1113	SZ2003	土師器	有孔鉢	13.8	8.6	2.7	(内)口縁部ナナメハク体部上位ナナメハク(9条/cm)体部下位ヘラケズリ(外)縦しわぬ/タキキのちナナ	内・黄外・ぶい黄緑	0.5-1mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒	穿孔1 ほぼ完形	鉢IIIa
1114	SZ2003	土師器	有孔鉢				(内)ヘラケズリ(外)ヘラケズリ	内・黄外・ぶい黄緑	0.5mmの石英、0.5-1mmの結晶片岩	穿孔1、貫通しない1穴	
1115	SZ2003	土師器	体部				(内)ナナメハク(6条/cm)(外)タキキ	内・灰黄外・黒褐色	0.5mmの赤色泥粒、結晶片岩	水銀朱付着	
1116	SZ2003	土師器	広口壺	19.2			(内)口縁部ナナメハク(7条/cm)のちヨコナテ頸部ヨコナテ(外)タキキのちヨコナテ	にぶい黄緑	0.5mmの石英、0.5-3mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部2条の縦凹線	変Hs1
1117	SZ2003	土師器	広口壺	12.9			(内)口縁部ヨコハケ頸部板ナテのちヨコナテ体部エビオサエのち板ナテ磨耗強く磨損不明(外)口縁部ヨコナテ頸部タテハク(5条/cm)体部タテハク(8条/cm)	黄	1-4mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部2条の縦凹線	変Hs
1118	SZ2003	土師器	甕	13.2			(内)口縁部ヨコハク(6条/0.8cm)体部上位ナナメハク(9条/cm)体部下位ヘラケズリ(外)口縁部エビオサエのちヨコナテ体部上位タテハク(7条/cm)体部下位タキキのちナナ	内・黄外・ぶい黄緑	1-3mmの石英、0.5-1mmの結晶片岩、赤色泥粒		変AHVj
1119	SZ2003	土師器	甕	12.0			(内)口縁部ヨコハクのちヨコナテ体部上位エビオサエのち上端にヨコナテ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナテ体部上位タテハク(5条/cm)体部下位ナナメハク(8条/cm)	内・ぶい黄緑外・黄緑	1-4mmの石英、1-3mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部2条の縦凹線	変AEo
1120	SZ2003	土師器	甕	11.7	17.7	3.7	(内)口縁部ヨコハク(4条/0.5cm)上端に工具痕跡上位工具痕跡/ナテ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナテ体部上位ナナメハク(5条/cm)体部下位タテハク(10条/cm)底部縦面ヨコナテ底部ハク	黄	0.5-3mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒	ほぼ完形 体部外面下位炭化物付着	変AEIIh ⑥
1121	SZ2003	土師器	甕	13.8			(内)口縁部ヨコナテ体部上位エビオサエのち上端にヨコナテ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナテ体部タテハク(6条/cm)	内・黒褐色外・ぶい黄緑	0.5-2mmの石英、1-2mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線 体部外面下位炭化物付着	変AEIb
1122	SZ2003	土師器	甕		3.8		(内)体部上位エビオサエ体部下位ヘラケズリ底部ヘラケズリ(外)体部上部ナナメハク(4条/cm)体部下位タテハク(9条/cm)底部縦面ヨコナテ底部ハク(9条/cm)	内・黄緑外・ぶい黄緑	1-4mmの石英、1-12mmの結晶片岩	体部内面下位~底部炭化物付着	変AEI②
1123	SZ2003	土師器	甕	12.5			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部ナナメハク(9条/cm)	黄	1-9mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	口縁部1条の縦凹線	変AEb
1124	SZ2003	土師器	甕	12.9			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエのち上端にヨコナテ(外)口縁部ヨコナテ体部ナナメハク(8条/cm)	内・黄外・ぶい黄緑	1-5mmの石英、0.5-3mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1125	SZ2003	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ナナメハクのちヨコナテ体部エビオサエのち上端にヨコナテ(外)口縁部タキキのちヨコナテ体部ナナメハク(8条/cm)	にぶい黄緑	0.5-1mmの石英、1mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線 口縁部外面炭化物付着	変AEb
1126	SZ2003	土師器	甕	16.8			(内)口縁部ナナメハクのちヨコナテ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部ハク(7条/1.4cm)/8条/cm)	灰黄	1-2mmの石英、1mmの結晶片岩、砂粒	口縁部2条の縦凹線	変AEa
1127	SZ2003	土師器	甕	13.6			(内)口縁部エビオサエのちヨコナテ体部上位エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部タキキのちヨコナテ体部タテハク(8条/1.1cm)	にぶい黄緑	1mmの石英、1-4mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部~体部外面炭化物付着	変AEh
1128	SZ2003	土師器	甕	15.8			(内)口縁部ヨコナテ体部上位エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナテ体部上端、ナナメハクのちヨコナテ体部ナナメハク(7条/1.2cm)	にぶい黄緑	0.5-4mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部2条の縦凹線 口縁部、体部中下位炭化物付着	変AEb
1129	SZ2003	土師器	甕	16.5			(内)口縁部ヨコナテ体部上位ナナメハク体部エビオサエ/ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナテ体部ナナメハク(10条/1.1cm)/6条/1.2cm)	内・ぶい黄緑外・黄	1-7mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部2条の縦凹線 体部外面下位炭化物付着	変AEb

第57表 出土遺物観察表 (46)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1130	SZ2003	土師器	甕			3.9	(内) 体部上半指オサエのちナゲ体部下平ヘラケズリ底部指オサエ(9%)体部上半ヨコタタキのちタテハケ(7~8%/cm)体部下平タテハケ(10%/cm)のちヨコハケ(6%/cm)	内・にぶい 外・にぶい 黄褐色	0.5~1.5mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	体部内外面下位~底部炭化物付着	表 AE Ⅱ ①
1131	SZ2003	土師器	底部			3.8	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8%/cm)底部側面ヨコナゲ底部ハケ(10%/cm)	内・灰褐色 外・にぶい	1~2mmの石英、1.5~2mmの結晶片岩	体部内面下位~底部、体部外面下位炭化物付着顕著	A①
1132	SZ2003	土師器	底部			4.0	(内)体部上部エビオサエ体部下平ヘラケズリ底部ヘラケズリ(外)体部タテハケ(7条/0.8cm)底部側面ヨコナゲ底部ハケ(5条/cm)	内・橙 外・にぶい	2~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		A②
1133	SZ2003	土師器	底部			4.5	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(9条/0.9cm)底部側面ヨコナゲ底部ハケ(10%/cm)	内・褐色 外・にぶい	1~6mmの石英、1mmの結晶片岩	体部外面下位炭化物付着	A②
1134	SZ2003	土師器	底部			3.0	(内)体部ヘラケズリのち板ナゲ底部エビオサエ爪あり(外)体部タテハケ(4条/cm)底部ナゲ(巻純散しく詳細不明)	にぶい	1mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		A④
1135	SZ2003	土師器	底部			5.6	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8条/cm)底部側面ヨコナゲ底部ハケ(8条/cm)	内・にぶい 外・にぶい 黄褐色	1~2mmの石英、3mmの結晶片岩、赤色炭粒	体部内外面下位炭化物付着	A①
1136	SZ2003	土師器	底部			4.5	(内)ヘラケズリ?磨丸散しく詳細不明(外)体部タテハケ(6条/0.5cm)底部ハケ磨丸散しく詳細不明	内・にぶい 外・灰褐色	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	体部~底部内外面下位炭化物付着	A①
1137	SZ2003	土師器	底部			3.8	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(11条/cm)底部側面ヨコナゲ底部ハケ磨丸散しく詳細不明	内・灰褐色 外・にぶい 黄褐色	1mmの石英、4mmの結晶片岩	体部~底部内外面下位炭化物付着	A②
1138	SZ2003	土師器	底部			3.8	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(7条/cm)底部側面ヨコナゲ底部ハケ磨丸散しく詳細不明	にぶい 黄褐色	0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		A②
1139	SD1020	土師器	皿	12.3	2.2	8.0	(内)ヨコナゲ(外)ヨコナゲ(外底)覆い板ナゲ	にぶい	1~7mmの結晶片岩、石英	定形	皿 a
1140	SD1020	土師器	皿	15.7	1.5	11.2	(内)ヨコナゲ(外)ヨコナゲ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧ナゲ	内・橙 外・にぶい	1~5mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒	定形 外面赤色塗彩	皿 d
1141	SD1020	土師器	杯	13.5	2.9	8.4	(内)ヨコナゲ(外)ヨコナゲ(外底)回転ヘラ切りのち丁寧ナゲ	にぶい	1~2mmの結晶片岩	ほぼ定形 内外面赤色塗彩	杯 b
1142	SD1020	土師器	杯	13.3	3.6	10.7	(内)ヨコナゲ(外)ヨコナゲ(外底)回転ヘラ切りのちナゲ	にぶい	1~2mm大の結晶片岩、微量の砂粒	ほぼ定形 内外面赤色塗彩	杯 b
1143	SD1020	須恵質	平瓦				(凹面)板ナゲ(凸面)筒目タタキ	灰黄	1~7mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		
1144	SD1020	土師質	土鋪	1.2	8.6		棒に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリのちナゲ。	灰褐色	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
1145	SD1021	須恵質	平瓦				(凹面)布目模(凸面)縄縞紋タタキ	灰	6mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		
1146	SK1070	土師器	広口壺	17.5			(内)ヨコナゲ(外)ヨコナゲ	にぶい 黄褐色	3mmの石英	口縁端部3余の腹凹線	
1147	SK1070	須恵質	口縁部	18.3			(内)ヨコナゲ(外)ヨコナゲ	灰	結晶片岩	口縁端部磨耗	
1148	SK1070	須恵質	平瓦				(凹面)布目模(凸面)縄縞	灰	1mmの結晶片岩		
1149	SK1070	金属	不明	3.2	1.9						
1150	SK1072	土師質	平瓦				(凹面)布目模(凸面)縄縞紋タタキ	内面・灰黄褐色 凸面・にぶい	1~2mmの石英、結晶片岩		
1151	SK1072	土師質	土鋪	3.8	1.1	4.0	棒に粘土を巻き付けて成形、外面ケズリのちナゲ	にぶい	結晶片岩		
1152	第9層	土師器	高杯	21.3			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナゲ体部ハケのちヨコナゲ(外)口縁部ヨコハケのちヨコナゲのちヘラミガキ体部ヨコナゲ全体に磨丸散しく詳細不明	橙	1~4mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		高 A

第58表 出土遺物観察表(47)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1153	第9層	土師器	高杯	17.4			(内)口縁部ヨコハケ(8条/cm)のちヘラミガキ(2mm巾)体部ハケのちヘラミガキ(10mm巾)(外)口縁部ナメハケ(4条/cm)のちナデ体部ヘラミガキ?	内・黄 外・にぶ い橙	1~3mmの赤色珪粒、結晶片岩	口縁縁部1条の縦凹線	高B3
1154	第9層	土師器	高杯	18.5			(内)ナデ/ハケ(外)ハケ?全体に磨鏡もしくは詳細不明	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		
1155	第9層	土師器	高杯	22.5			(内)ヨコハケのちヨコナデのちヘラミガキ(外)口縁部ナメハケ(5条/0.9cm)のちヨコナデのちヘラミガキ体部ヘラケズリのちナデ	にぶい橙	1~4mmの石英、1~3.5mmの結晶片岩、赤色珪粒		
1156	第9層	土師器	高杯	23.5			(内)ヨコナデ(外)ハケのちナデ	橙	1~2mmの石英、結晶片岩		
1157	第9層	土師器	高杯	24.5	14.7	13.7	(内)杯部 ハケのち(7条/cm)ヘラミガキ(巾2mm)脚柱部板ナデ(板部ナメハケ磨鏡激しく詳細不明)(外)口縁部ナデのちナデヘラミガキ体部ハケのちヘラミガキ脚柱部ナメハケのちヨコナデのちヘラミガキ(板部ナメハケ接合部ナメハケ(7条/cm)全体に磨鏡激しく詳細不明	にぶい黄 橙	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色珪粒	ほぼ完形遺かし穴3方向の縦凹線口縁縁部内側、踵部外側1条の沈線	高B1
1158	第9層	土師器	高杯			18.0	(内)杯部ナデ脚柱部ヘラケズリ/ユビオサエ筋部ハケのちナデ(外)接合部ヘラケズリ脚部ハケのちナデ踵部ヨコナデ	橙	1~4mmの赤色珪粒、結晶片岩、微量の砂粒	遺かし穴4方向	
1159	第9層	土師器	高杯			20.7	(内)柱状部しほり真鍮部ハケ(外)ヘラミガキ	橙	1~11mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		
1160	第9層	土師器	高杯				(内)ハケ?のちナデ(外)ナデハケ(8条/cm)	内・明赤 褐 外・橙	1~2mmの石英、結晶片岩		
1161	第9層	土師器	鉢	16.1			(内)ヨコナデ(外)口縁部 板状のものを押し当てたような痕あり。体部 右下がりのヘラケズリのちタタキのちナデ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	1~5mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA9
1162	第9層	土師器	鉢	10.2			(内)ナデ?磨鏡激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	橙	1~5mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA5
1163	第9層	土師器	鉢	13.3			(内)ヨコナデ/ヘラミガキ(外)縦しわ痕/口縁部~体部上段ヨコナデ体部下段ヘラケズリ	内・暗灰 黄 外・	結晶片岩		鉢ⅡA5
1164	第9層	土師器	鉢	13.6	5.9		(内)ナメハケ(11条/1.2cm)(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	明黄褐	2~4mmの石英、1~3.5mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA5a
1165	第9層	土師器	鉢	15.0			(内)板ナデ(外)縦しわ痕/ヘラケズリのちナデ	内・明黄 褐 外・にぶ い黄橙	結晶片岩		鉢ⅡA5
1166	第9層	土師器	鉢	12.5	6.8		(内)指ナデのちヘラミガキ(巾2mm)(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	にぶい橙	1~5mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	完形	鉢ⅢA1c
1167	第9層	土師器	鉢	14.2			(内)根ナデ(外)口縁部 タタキのちヨコナデ体部下段縦しわ痕/タタキ体部下段縦しわ痕/ヘラケズリ	にぶい橙	1mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA1
1168	第9層	土師器	鉢	13.2			(内)ヨコナデ(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5mm~3mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA2
1169	第9層	土師器	鉢	13.1			(内)口縁部ヨコナデ踵部につまんだ指痕あり体部板ナデ(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	内・暗灰 黄 外・灰オ リーブ	0.5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA2
1170	第9層	土師器	鉢	14.2	6.2	3.0	(内)口縁部ヨコナデ体部板ナデ底部ユビオサエ/ヘラケズリ(外)縦しわ痕/ナメハケ(10条/cm)のちナデ	橙	5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA2a
1171	第9層	土師器	鉢	15.2			(内)ユビオサエ/ナデ(外)縦しわ痕/ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの赤色珪粒、結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅡA2
1172	第9層	土師器	鉢	19.0			(内)ナメハケ(8条/cm)のちタテハケ(13条/1.4cm)(外)タタキのち縦しわ痕のちナデ	内・にぶ い橙 外・橙	1~3.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色珪粒		鉢ⅡA2
1173	第9層	土師器	鉢	17.4	7.4		(内)口縁部ナメハケのちヨコナデ体部~底部板ナデ(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリ	にぶい黄 橙	1~5mmの石英、0.5~5mm・1.7cmの結晶片岩、赤色珪粒	ほぼ完形	鉢ⅡA2c

第59表 出土遺物観察表 (48)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1174	第9層	土師器	鉢	16.0			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部ナメハケ(6ø/0.8ø)(外)履しわ痕/ナダ	にぶい黄褐色	1mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA5
1175	第9層	土師器	鉢	15.8			(内)ナメのちヘラミガキ(外)履しわ痕/口縁部タタキのちヨコナダ体部タタキのちヘラケズリ	にぶい黄褐色	1~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	一部内外面赤色物付着	鉢ⅡA5
1176	第9層	土師器	鉢	17.8	7.1		(内)板ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキのち履しわ痕	内・にぶい黄褐色 外・灰黄	1~3mmの結晶片岩		鉢ⅡA5a
1177	第9層	土師器	鉢	18.2	6.4		(内)口縁部ヨコナダのちヘラミガキ(0.3mm)体部ヘラケズリのちヘラミガキ(0.3mm)(外)履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	にぶい黄褐色	0.5~3mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒	完形	鉢ⅡA5c
1178	第9層	土師器	鉢	20.6			(内)口縁部ハケのちナダ体部ナメハケ(7ø/cm)のちヘラミガキ? (外)履しわ痕/口縁部ナダ体部ヘラケズリ磨粒数しく詳細不明	明赤褐色	1~10mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		鉢ⅠA5
1179	第9層	土師器	鉢	23.0			(内)ナメハケのち放射状ヘラミガキ(巾5mm)(外)履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・にぶい黄褐色 外・明灰黄	1~2mm大の赤色炭粒、結晶片岩		鉢ⅠA5
1180	第9層	土師器	鉢	20.6			(内)口縁部ヨコハケ(8ø/cm)のちヨコナダ体部細の基状ハケ(28ø/3.4cm)のち下位ナダ(外)履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部タテハケ(1.0ø/cm)	内・にぶい黄褐色 外・にぶい黄褐色	0.5~2mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA6
1181	第9層	土師器	鉢	24.3			(内)ヨコナダ(外)履しわ痕/ナダ磨粒数しく詳細不明	黄褐色	1~6mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		鉢ⅠA6
1182	第9層	土師器	鉢	22.6			(内)ナメハケのち(9ø/cm)ヘラミガキ(0.3mm)(外)履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・にぶい黄褐色 外・にぶい黄褐色	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩	口縁部1余の鬚凹線	鉢ⅠA3
1183	第9層	土師器	鉢	22.8			(内)ナメハケ(6ø/cm)(外)履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	にぶい黄褐色	1~3mmの結晶片岩		鉢ⅠA3
1184	第9層	土師器	鉢	22.8			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部ナメハケ(6ø/cm)のち板ナダ?のちヘラミガキ(外)口縁部~体部上位タタキのち履しわ痕のちナダ体部下位ヘラケズリ	にぶい黄褐色	1~4mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA3
1185	第9層	土師器	鉢	21.0			(内)ヨコナダ(外)履しわ痕/ヘラケズリのち口縁部ヨコナダ	内・明赤褐色 外・黄褐色	1~3mm大の赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅠA3
1186	第9層	土師器	鉢	21.2			(内)ナメハケ(10ø/1.5cm)のちヘラミガキ(外)履しわ痕/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・にぶい黄褐色 外・黄褐色	0.5~4mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA3
1187	第9層	土師器	小型丸底鉢	7.9			(内)口縁部ヨコハケ体部ヘラミガキ(0.2mm)(外)口縁部ヨコナダ体部履しわ痕/上位ハケ(7ø/cm)下位ナダ	内・にぶい黄褐色 外・黄褐色	0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		小A
1188	第9層	土師器	鉢	17.7			(内)口縁部ヨコハケ体部ナメハケ(8ø/cm)(外)口縁部ヨコナダ	内・黄褐色 外・にぶい黄褐色	1mm代の赤色炭粒、結晶片岩	口縁部弱い鬚凹線	鉢ⅡE3
1189	第9層	土師器	鉢	18.9			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部板ナダ? (外)口縁部ユビオキエのちヨコナダ体部ヨコハケ全体に磨粒数しく詳細不明	にぶい黄褐色	1~3mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部弱い鬚凹線	鉢ⅡE4
1190	第9層	土師器	鉢	17.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・明褐色 外・明黄褐色	1mmの結晶片岩		鉢ⅡE1
1191	第9層	土師器	鉢	16.9			(内)口縁部ヨコハケ(9ø/cm)体部上部板ナダ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部 履しわ痕/ヘラケズリ	内・黄褐色 外・にぶい黄褐色	1~3mmの石英、2~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡE3
1192	第9層	土師器	鉢	20.4			(内)口縁部ヨコハケ(6ø/cm)体部ナメハケ(9ø/cm)/(7ø/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部 履しわ痕/ヘラケズリ	にぶい黄褐色	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡE4
1193	第9層	土師器	鉢	18.0			(内)口縁部ヨコハケ(7ø/cm)体部ナメハケ(4ø/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部履しわ痕/ヘラケズリのちナダ	にぶい黄褐色	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅡE5
1194	第9層	土師器	鉢	20.2			(内)口縁部~体部上部ヨコナダ体部ナメのちヘラミガキ(外)口縁部タタキのちナダ体部上位タタキ体部下位タタキのちヘラケズリ	内・灰白色 外・にぶい黄褐色	1~3mm大の石英、結晶片岩		鉢ⅡE4

第60表 出土遺物観察表 (49)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1195	第9層	土師器	鉢	20.0	7.0	4.5	(内)口縁部ハケのちナダ体部上端右下がりのナメハケ体部放射状ハケ(8条/cm)(外)縦しわ痕/口縁部一帯部上位ヨコナダ体部下位ヘラケズリ	橙	1~4mmの赤色斑粒、結晶片岩	完形 内面未付着	鉢ⅡB2a
1196	第9層	土師器	鉢	23.8			(内)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8条/cm)のちヘラミガキ(巾2mm)(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部タタキのちヘラケズリ	内・ぶい 橙 外・橙	1~3mm大の結晶片岩、石英、赤色斑粒	口縁部部1条の縦凹線	鉢ⅠE4
1197	第9層	土師器	鉢	23.9			(内)口縁部ヨコハケ体部ハケのちヘラミガキ(巾3mm)(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部タタキのち縦しわ痕のちヘラケズリ	内・ぶい 黄橙 外・ぶい 橙	1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部縦凹線	鉢ⅠE4
1198	第9層	土師器	鉢	25.0			(内)口縁部ヨコハケ(7条/cm)のちヨコナダ体部ナメハケのちナダのちヘラミガキ(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部タタキのち縦しわ痕のちヘラケズリ	内・ぶい 橙 外・黄橙	0.5~3mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部1条の縦凹線	鉢ⅠE4
1199	第9層	土師器	鉢	24.9			(内)口縁部ヨコナダ体部器終致しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部タタキのち縦しわ痕	内・ぶい 橙 外・橙	1~3mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	口縁部部弱い縦凹線	鉢ⅠE4
1200	第9層	土師器	鉢	23.9			(内)口縁部ヨコナダ体部ハケのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	橙	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部1条の縦凹線	鉢ⅠE2
1201	第9層	土師器	鉢	25.4			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ痕/ヘラケズリ	ぶい黄橙	1mmの石英、赤色斑粒、結晶片岩	口縁部部弱い縦凹線 内面未付着	鉢ⅠE2
1202	第9層	土師器	鉢	27.6			(内)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部タタキのち縦しわ痕のちナダ	内・灰黄 橙 外・ぶい 橙	1~10mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	口縁部部弱い縦凹線	鉢ⅠE5
1203	第9層	土師器	鉢	30.9			(内)口縁部ヨコハケ(7条/cm)体部上部ヨコハケ(10条/cm)のちヨコナダ体部下位ヘラミガキ(巾2mm)(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ痕/ヘラケズリのちハケ	内・灰黄 外・ぶい 橙	1~3mmの赤色斑粒、結晶片岩	口縁部部2条の縦凹線 口縁部内外面、体部内面未付着	鉢ⅠE4
1204	第9層	土師器	鉢	35.4			(内)口縁部ナメハケ(7条/cm)体部ナメハケ(6条/cm)(外)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部縦しわ痕/ヨコハケ	内・橙 外・ぶい 橙	1~5mm大の結晶片岩、石英、微量の砂粒		鉢ⅠE4
1205	第9層	土師器	鉢	35.2			(内)口縁部ナメハケ体部ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	内・灰黄 橙 外・灰黄 橙	1~3mmの結晶片岩	口縁部部1条の縦凹線	鉢ⅠF1
1206	第9層	土師器	鉢	34.4			(内)口縁部ヨコハケのちナダ体部ナメハケ(外)口縁部タタキのちヨコハケ体部タタキ	内・ぶい 黄橙 外・ぶい 橙	1~3mmの石英、結晶片岩		鉢ⅠF1
1207	第9層	土師器	底部			3.9	(内)放射状ヘラミガキ(巾2.5mm)(外)ヘラケズリ	内・灰黄 外・灰黄/ 褐灰	1~4mmの結晶片岩、石英		
1208	第9層	土師器	底部			4.0	(内)放射状のヘラケズリ(外)縦しわ痕/ヘラケズリ	内・ぶい 橙 外・ぶい 黄橙	1~2mmの赤色斑粒、結晶片岩		
1209	第9層	土師器	底部			4.5	(内)板ナダ(外)縦しわ痕/ナダ	内・灰黄 外・ぶい 黄橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1210	第9層	土師器	底部				(内)ハケ(13条/1.5cm)(外)縦しわ痕/ヘラケズリ	橙	1~5mmの石英、9mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1211	第9層	土師器	鉢	9.9			(内)口縁部一帯部上端ヨコナダ体部上位エビオサエのちヨコナダ体部中位エビオサエ体部下位ヘラケズリのちエビオサ(外)口縁部ヨコナダ体部上位ハケのちナダ体部下位ヘラケズリのちハケ(7条/cm)	ぶい黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩	口縁部部2条の縦凹線	鉢ⅢF3
1212	第9層	土師器	無頸壺	10.7			(内)口縁部ナメハケ(7条/cm)体部ケズリのちエビオサエ(外)口縁部タテハケ体部タタキのちナメハケ(11条/cm)のちタタキ	内・橙 外・ぶい 黄橙	1~2mmの赤色斑粒、結晶片岩		
1213	第9層	土師器	広口壺	11.7			(内)ヨコハケのちナダ(外)ヨコナダ	ぶい黄橙	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色斑粒、微量の砂粒		壺Ⅱd
1214	第9層	土師器	広口壺	12.8			(内)口縁部ヨコナダ頸部上位エビオサエ/ヨコナダ頸部下位ナメハケ(8条/cm)(外)口縁部ヨコナダ頸部ナメハケ(10条/cm)	橙	1~7mmの結晶片岩	口縁部部弱い2条の縦凹線	壺Ⅱg

第61表 出土遺物観察表 (50)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1215	第9層	土師器	広口壺	13.8			(内)ヨコナデ(外)ナメハケのちヨコナデ磨耗強く詳細不明	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	査Ha1
1216	第9層	土師器	広口壺	14.8			(内)口縁部-頸部上位ヨコナデ頸部下位縦方向の板ナデ(外)口縁部 ヨコナデ頸部 ナメハケ(6条/cm)	内・明褐色 外・橙	1mmの結晶片岩、微量の砂粒	口縁部3条の縦凹線	査Ha2
1217	第9層	土師器	広口壺	18.2			(内)ヨコハケのちヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙外・にぶい橙	1mmの石英、1mmの結晶片岩	口縁部円形洋文、1条の縦凹線	
1218	第9層	土師器	広口壺	16.1			(内)ハケのちヨコナデ(外)ヨコナデ	内・明褐色 外・橙	1mm大の石英、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	査Ha1
1219	第9層	土師器	広口壺	17.2			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~2mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部3条の縦凹線	査Ha1
1220	第9層	土師器	広口壺	17.5			(内)口縁部 ヨコナデ頸部ヘラケズリのちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケ(8条/cm)のちヨコナデ	内・黄褐色 外・明赤橙	1~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部3条の縦凹線	査Ha1
1221	第9層	土師器	広口壺	17.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	1~5mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	口縁部弱い縦凹線	査Ha1
1222	第9層	土師器	広口壺	18.8			(内)口縁部 ヨコハケのちヨコナデ頸部ヘラケズリのちエビオサエ(外)口縁部ナメハケ(8条/cm)のちヨコナデ頸部タテハケ(8条/cm)のちヨコナデ体部ヨコナデ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部3条の縦凹線 口縁部、頸部外周共矢形物付着	査Ha1
1223	第9層	土師器	広口壺	19.3			(内)口縁部ヨコナデ頸部上部ヨコハケ(8条/cm)頸部下位エビオサエのちナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ体部タテハケ(共に5条/cm)	にぶい黄橙	1~2mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	査Ha1
1224	第9層	土師器	広口壺	22.5			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコハケ(6条/cm)のちナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケのちナデ	にぶい橙	1~3mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	口縁部2条の縦凹線	査Ha1
1225	第9層	土師器	広口壺	17.0			(内)口縁部 ヨコハケ/エビオサエのちナデ頸部 ヨコナデ体部 エビオサエ(外)口縁部 ヨコナデ頸部 ヨコナデ体部 ナメハケ(7条/cm)	内・橙外・にぶい橙	1~3mm大の結晶片岩、微量の砂粒		査Hf
1226	第9層	土師器	二重口縁壺	18.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・橙外・にぶい橙	1~5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	二次口縁部外周4条の縦凹線	査Ne
1227	第9層	土師器	二重口縁壺	21.6			(内)口縁部ヨコハケのちナデ頸部ヨコナデ(外)口縁部ハケのちナデ頸部タテハケのちヘラケ工具によるオサエ?	橙	1~7mmの結晶片岩、赤色炭粒、少量の砂粒		査Na
1228	第9層	土師器	二重口縁壺	26.7			(内)口縁部-頸部ヨコナデ(外)二次口縁部ナメハケ(8条/cm)のちヨコナデ一次口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(9条/cm)のちヨコナデ	内・橙外・にぶい橙	1~18mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		査Na
1229	第9層	土師器	二重口縁壺				(内)口縁部タテハケ頸部ヨコハケ(10条/cm)体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(12条/cm)	内・橙外・にぶい橙	1~6mmの石英、1~8mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1230	第9層	土師器	広口壺	13.9			(内)口縁部ヨコハケ体部エビオサエ(外)口縁部ハケのちナデ体部ナメハケ(12条/cm)	内・にぶい黄橙 外・橙	1mm大の結晶片岩、微量の砂粒		査Hk
1231	第9層	土師器	壺	17.9			(内)ハケ(7条/cm)のちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ?全体に磨耗強く詳細不明	内・明褐色 外・橙	0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部弱い縦凹線	査AEi
1232	第9層	土師器	壺	17.2			(内)口縁部ヨコハケ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケのちナメハケ(8条/cm)	内・橙外・にぶい橙	1mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	査AEo
1233	第9層	土師器	壺	16.3			(内)口縁部ナメハケ/エビオサエ体部エビオサエ(外)頸部ナメハケ口縁部タテハケ/エビオサエ体部ナメハケ(11条/cm)	内・橙外・にぶい橙	1mmの赤色炭粒、結晶片岩		査AEt
1234	第9層	土師器	二重口縁壺	12.4			(内)ヨコナデ?(外)ヨコナデ?全体に磨耗強く詳細不明	黄褐色	0.5~4mmの不明石英粗粒を多く含む、赤色炭粒		搬入品
1235	第9層	土師器	壺	8.7			(内)口縁部-体部上端ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部-体部上端ヨコナデ体部ハケ	橙	1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	査AEVh
1236	第9層	土師器	壺	9.5			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ磨耗強く詳細不明	橙	1~3mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		査AEa

第62表 出土遺物観察表 (51)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1237	第9層	土師器	甕	10.9			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(灰黄赤) (外)口縁部ヨコナダ体部タタキのち ナメハケ(11条/cm)	橙	1mmの結晶片岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEr
1238	第9層	土師器	甕	13.4			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(7条/cm)	内・にぶ い黄 外・橙	0.5mmの結晶片岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEa
1239	第9層	土師器	甕	13.8			(内)口縁部ハケのちエビオサエ体部エビ オサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	橙	0.5mmの赤色炭粒、結晶片 岩		表 AEh
1240	第9層	土師器	広口壺	13.6			(内)口縁部ヨコナダ体部上端ハケのちヨ コナダ体部上位ヘラズリのちエビオサ エ(外)口縁部 ヨコナダ体部タテハケ(10 条/cm)体部上端に工具痕あり	にぶい黄 橙	2mmの石英、1mmの結晶 片岩、赤色炭粒	口縁部部2 条の縦凹線	表 H
1241	第9層	土師器	甕	13.1			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部タテハケ(8条/cm)	にぶい黄 橙	1~2mmの石英、1~6 mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEa
1242	第9層	土師器	甕	13.6			(内)口縁部ナメハケ体部エビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(6条/cm)	橙	1mmの赤色炭粒、結晶片 岩		表 AEb
1243	第9層	土師器	広口壺	29.0			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダのち ヘラミガキ裏面上位ナダのちヘラミガキ (外)口縁部部エビオサエ口縁部 ヨコ ナダのちヨコナダ部部ナメハケ(5条/ 0.9cm)	内・にぶ い橙 外・灰黄	1~4mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩、赤色炭 粒	口縁部部4 条の縦凹線	表 Ha1
1244	第9層	土師器	甕	20.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ハケのちエビオ サエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	内・褐 外・にぶ い黄橙	1~3mmの結晶片岩、赤 色炭粒	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEg
1245	第9層	土師器	甕	20.7			(内)口縁部エビオサエ/ナメハケ体部エ ビオサエ(外)口縁部タタキのちヨコナ ダ エビオサエ体部タテハケ	内・赤褐/ 黒褐 外・橙	0.5mmの結晶片岩、微量 の砂粒		表 AEi
1246	第9層	土師器	直口壺	14.8	34.0		(内)口縁部ナメハケ(8条/cm)体部上 エビオサエ体部下半ヘラズリ(外)口縁 部ナメハケ(8~9条/cm)体部ナメハケ (8~9条/cm)	橙	1~9mmの結晶片岩、石 灰、赤色炭粒、微量の砂 粒		表 Ta
1247	第9層	土師器	甕	15.1			(内)口縁部ヨコナダのちエビオサエ体部 エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ヨ コナダ	橙	1~2mmの石英、結晶片 岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1248	第9層	土師器	甕	15.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ヨコナダ/エビ オサエ? (外)口縁部ヨコナダ体部ヨコナ ダ/タテハケ	にぶい橙	1mmの赤色炭粒、結晶片 岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1249	第9層	土師器	甕	14.2			(内)口縁部 ヨコナダ体部 エビオサエ (外)口縁部 ヨコナダ体部 ハケ	橙	2mmの石英、結晶片岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1250	第9層	土師器	甕	13.8			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	内・にぶ い黄 外・にぶ い橙	1mm大の結晶片岩、赤 色炭粒	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1251	第9層	土師器	甕	13.6			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエのち ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメ ハケのちヨコナダ部部無しく詳細不明	内・にぶ い黄 外・橙	0.5~5mmの石英、1mm の結晶片岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1252	第9層	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(4条/cm)	にぶい橙	1~3mmの石英、結晶片 岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1253	第9層	土師器	甕	12.4			(内)口縁部ナメハケ体部エビオサエ (外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(10 条/cm)	にぶい橙	結晶片岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1254	第9層	土師器	甕	13.2			(内)口縁部ヨコナダ体部上端エビオサ エ体部下エビオサエのちヘラズリ(外) 口縁部ヨコナダ体部タテハケ(7条/cm)	内・にぶ い黄 外・橙	1~2mmの石英、1~3 mmの結晶片岩、赤色炭 粒、口縁部部2条の縦凹 線、口縁部	体部外周下 位炭化物付 着	表 AE1b
1255	第9層	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部 エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タ テハケ? 摩耗痕しく詳細不明	内・灰 外・にぶ い黄橙	1~6mmの石英、1~3 mmの結晶片岩、赤色炭 粒	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1256	第9層	土師器	甕	15.2			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外) 口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい黄 橙	1~5mmの結晶片岩、微 量の砂粒	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEb
1257	第9層	土師器	甕	15.2			(内)口縁部ヨコナダのちヨコナダ体部上 端ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナ メハケ(5条/0.7cm)	内・橙 外・にぶ い橙	0.5mmの石英、0.5~1mm の結晶片岩、赤色炭粒	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEh
1258	第9層	土師器	甕	14.7			(内)口縁部ヨコナダのちエビオサエ体部 エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タ テハケ	内・にぶ い黄 外・橙	1~2mmの赤色炭粒、結 晶片岩	口縁部部2 条の縦凹線	表 AEh

第63表 出土遺物観察表 (52)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1259	第9層	土師器	甕	14.3			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい霞	1mmの赤色斑粒、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線 口縁部外面炭化物付着	要AEb
1260	第9層	土師器	甕	14.4			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい濁	1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒、微量の砂粒	口縁部2条の縦凹線	要AEb
1261	第9層	土師器	甕	14.7			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(11条/cm)/ナメハケ(8条/cm)	にぶい黄霞	1~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	要AEb
1262	第9層	土師器	甕	16.8			(内)口縁部ハケのちエビオサエ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(6条/cm)	にぶい霞	1~2mmの石英、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	要AEh
1263	第9層	土師器	甕	16.3			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ磨耗痕しく詳細不明	内・にぶい霞 外・霞	0.5~4mmの石英、1~8mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	要AEh
1264	第9層	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ	内・霞外・明赤霞	1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	要AEb
1265	第9層	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(11条/cm)/9条/cm)	にぶい霞	1~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	要AEb
1266	第9層	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	内・灰黄濁 外・霞	1~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線 口縁部、体部外面炭化物付着顯著	要AEb
1267	第9層	土師器	甕	24.8			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(6条/1cm)	内・にぶい霞 外・にぶい黄霞	1~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	要AEh
1268	第9層	土師器	底部		7.4		(内)ナメハケ(13条/cm)/エビオサエ(外)ナメハケ	内・濁外・にぶい霞	1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		A③
1269	第9層	土師器	底部		3.7		(内)ヘラズリのちエビオサエ(外)体部タテハケ(7条/cm)底部ハケのちナダ	内・にぶい黄霞 外・黒(煤付着)	1~3mmの結晶片岩、石英	外面炭化物付着	A③
1270	第9層	土師器	底部		3.5		(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ(9条/cm)底部ハケ	内・にぶい黄霞 外・黒濁塗付着	1~3mmの赤色斑粒、結晶片岩、微量の砂粒	体部内面、体部外面炭化物付着	A③
1271	第9層	土師器	底部		3.5		(内)ヘラズリ(外)板ナダ?磨耗痕しく詳細不明	内・にぶい濁 外・にぶい黄霞 内・濁	0.5~1mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		A③
1272	第9層	土師器	底部		3.0		(内)体部ヘラズリ底部ヘラズリ/エビオサエ(外)体部タテハケ(10条/cm)底部ハケ(10条/cm)	内・霞外・にぶい霞	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		A⑥
1273	第9層	土師器	底部		3.0		(内)ヘラズリ(外)タテハケ(5条/0.8cm)	内・灰外・にぶい霞	1mmの結晶片岩、赤色斑粒		A⑥
1274	第9層	土師器	底部		4.0		(内)ヘラズリ(外)体部タテハケのちヘラズリ	内・霞外・にぶい霞	結晶片岩		A②
1275	第9層	土師器	底部		4.2		(内)体部ヘラズリ底部エビオサエ(外)体部タテハケ(4条/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(4条/cm)	内・にぶい黄霞 外・にぶい黄霞	1~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒	体部外面炭化物付着	A②
1276	第9層	土師器	底部		3.2		(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ底部ハケ	内・霞外・にぶい霞	1mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1277	第9層	土師器	底部		3.9		(内)エビオサエ(外)体部ナメハケ底部ハケ(8条/cm)	内・にぶい霞 外・にぶい濁	1~2mmの石英、赤色斑粒、結晶片岩	外面炭化物付着	A②

第64表 出土遺物観察表 (53)

番号	遺 標	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
1278	第9層	土師器	底部			3.4	(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ(8条/cm)底部ハケ	内・ぶ い黄 外・ぶ い黄	1~6mm大の結晶片岩、 赤色斑粒	外面炭化物 付着	A②
1279	第9層	土師器	底部			4.0	(内)ヘラズリ(外)体部ナメハケ(6条/1.4cm)底部側面ヨコナデ底部ハケ(6条/1.4cm)	内・灰黄 外・ぶ い黄	1~2mmの結晶片岩、赤 色斑粒	内面炭化物 付着顕著 外部炭化物 付着	A②
1280	第9層	土師器	底部			4.2	(内)ヘラズリ(外)体部ハケ(5条/cm)のち ナデ底部ナデ	内・黒(全 面に 付着) 外・ぶ い黄	1mm大の石英、結晶片岩	内面炭化物 付着顕著 外部炭化物 付着	A②
1281	第9層	土師器	底部			5.4	(内)磨粒激しく詳細不明(外)体部ハケ底 部ハケ	内・黄 外・ぶ い黄	1~5mmの結晶片岩、少 量の砂粒	外部炭化物 付着	A②
1282	第9層	土師器	底部			3.9	(内)ヘラズリのちナデ(外)体部ナメ ハケ(5条/cm)底部 ハケ	ぶい黄	1~2mmの石英、結晶片 岩		A②
1283	第9層	土師器	底部			5.2	(内)ヘラズリ(外)底部側面タテハケの ちヨコナデ底部ハケ磨粒激しく詳細不明	焼灰	0.5~2mmの石英、0.5~ 2mmの結晶片岩		A②
1284	第9層	土師器	底部			3.8	(内)ヘラズリ(外)底部側面タテハケの ちヨコナデ底部ハケ	内・明焼 外・黄	1~2mmの石英、1~2 mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1285	第9層	土師器	底部			6.7	(内)ヘラズリ(外)体部ナデ底部ハケの ちナデ	内・黒焼 外・明赤 褐	赤色斑粒、結晶片岩		A①
1286	第9層	金属	不明	8.4	2.8						
1287	第9層	金属	不明	9.6	2.0						
1288	第7層	土師器	広口壺	16.5			(内)口縁部ヨコナデ体部ナデ(外)口縁部 ヨコナデ体部タテハケ(11条/cm)のちナデ	内・ぶ い黄 外・黄	1~2mmの石英、結晶片 岩、微量の砂粒	口縁部2 条の縦凹線	ⅡB
1289	第7層	土師器	鉢	21.3			(内)口縁部ヨコナデ体部ヨコナデ(外)口 縁部ヨコナデ体部ヘラズリのちハケ/ナ デ	ぶい黄	1mm大の石英、結晶片 岩、赤色斑粒、微量の砂 粒		鉢ⅡE2
1290	第7層	土師器	鉢	25.7			(内)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(5条/ cm)(外)口縁部ヨコナデ体部ヨコナ デ	内・明黄 褐 外・黄	1~2mmの結晶片岩、赤 色斑粒		鉢ⅠE4
1291	第7層	土師器	鉢	21.8			(内)口縁部ヨコハケ体部タテハケ(6条/ cm)(外)口縁部ヨコナデ体部タタキのち ユビナデ	ぶい黄	1~4mmの結晶片岩、石 英	口縁部弱 い縦凹線	鉢ⅠF2
1292	第7層	土師器	広口壺	20.2			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ側部 ハケのちナデ	ぶい黄	1~4mmの結晶片岩、赤 色斑粒、微量の砂粒	口縁部3 条の縦凹線	ⅡHa1
1293	第7層	土師器	甕	12.2			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオキエ(外) 口縁部タタキのちヨコナデ体部ナメハ ケ	ぶい黄	1mmの結晶片岩	口縁部2 条の縦凹線	甕AEh
1294	第7層	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオキエ(外) 口縁部ヨコナデ体部タテハケ(10条/cm)	黄	結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2 条の縦凹線	甕AEb
1295	第7層	土師器	甕	14.1			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオキエ(外) 口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(8条/cm)	内・明黄 褐 外・黄	1mmの結晶片岩、石英、 微量の砂粒		甕AEh
1296	第7層	石器	柱状片刀 石斧	12.4	1.0	3.4			結晶片岩		
1297	第7層	石製品	砥石	15.4	6.9	9.0	1面を使用。1/2欠損。		砂岩		
1298	第5層	土師器	高杯(甕 の蓋)			12.7	(内)板ナデ(外)柱状部ヨコナデ裾部タ テハケ(7条/cm)	黄	0.5~1mmの石英、1mm の結晶片岩、赤色斑粒		
1299	第5層	土師器	鉢	13.6	5.3		(内)ナメハケ(6条/0.9cm)(外)口縁部ヨ コナデ体部縦しわ裏/ヘラズリ	黄	1~2mmの石英、3~4 mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅡA2
1300	第5層	土師器	鉢	11.7	5.8	2.6	(内)口縁部ヨコナデ体部上位ヨコナデ 体部下位板ナデ(外)縦しわ裏/ナデ	内・ぶ い黄 外・ぶ い黄	2.5mmの石英、4mmの結 晶片岩		鉢ⅢC2
1301	第5層	土師器	底部			2.9	(内)板ナデ(外)縦しわ裏/ヘラズリのちナ デ	ぶい黄	1~2.5mmの石英、1.5mm の結晶片岩、赤色斑粒		
1302	第5層	土師器	合付鉢	19.9			(内)板ナデの上位ヨコナデヘラズリ下位 タテハラミギ(外)口縁部ヨコナデ体部 タタキ底部側面ユビオキエ底部ナデ	黄	1~5mmの石英、1.5mm の結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅠC2

第65表 出土遺物観察表 (54)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
1303	第5層	土師器	広口壺	13.8			(内)口縁部ナメハケのちヨコナデ頸部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケ(7.5/0.9cm)のちヨコナデ	にぶい黄	0.5~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2本の刻凹線	査H1
1304	第5層	土師器	底部			3.9	(内)ヘラケズリのちナデ(外)体部タテハケ(9.8/cm)底部側面ヨコナデ底部ハケ(8.8/cm)	内・焼灰外・にぶい黄	3mmの石英、0.5mmの結晶片岩		A④
1305	第5層	土師器	底部			3.8	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケのちヨコナデ底部側面ヨコナデ底部ナデ	内・赤黄外・にぶい黄	1~2mmの石英、2mmの結晶片岩、赤色炭粒		A⑤
1306	包含層	土師器	高杯	23.5			(内)体部ナメハケ(7.8/cm)(外)口縁部ナメハケ(6.8/cm)全体に磨耗激しく詳細不明	黄	1~4mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
1307	西壁	土師器	高杯	24.4			(内)口縁部ナメハケ(6.8/cm)のちヘラミガキ体部タテハケ(7.8/cm)(外)口縁部タテハケのちヘラミガキ体部ヨコナデ	内・黄外・にぶい黄	1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		
1308	西壁	土師器	高杯	26.0			(内)口縁部ナメハケ(6.8/cm)のちヨコナデ(10.8/cm)のちヘラミガキ(外)口縁部ナメハケ(6.8/cm)のちタテハケ(6.8/cm)のちナデ	黄	1~5mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		
1309	包含層	土師器	高杯				(内)しほり痕(外)瓶ナデ?磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄外・黄	結晶片岩		
1310	包含層	土師器	高杯			19.2	(内)ヨコナデ(外)磨耗激しく詳細不明	黄	1~4mm大の結晶片岩、微量の砂粒		
1311	包含層	土師器	台付鉢			17.2	(内)体部ヘラミガキ?脚部同心円状のハケ(4.8/cm)(外)接合部タテハケ脚部上位ハケのちヘラミガキ(113mm)脚部下位タテハケ(4.8/cm)	黄	1~6mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒	透し穴2通3方向	
1312	西壁	土師器	鉢	9.4	5.0	3.4	(内)ヘラケズリ(外)ヘラケズリ	内・黄外・黄/にぶい黄	1~2mm大の石英、赤色炭粒、結晶片岩	ほぼ完形	鉢ⅡA1a
1313	西壁	土師器	鉢	12.0	6.2		(内)ユビオサエ/瓶ナデ(外)ヘラケズリ	内・焼灰外・黄/焼灰	1~7mmの結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅡA9a
1314	西壁	土師器	鉢	14.3			(内)ユビオサエ(外)ヨコナデ	にぶい黄	1~3mmの赤色炭粒、結晶片岩		鉢ⅡA7
1315	包含層	土師器	鉢	14.8			(内)ナメハケ(8.8/cm)(外)ナデ/ヘラケズリ?磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄外・黄	1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA2
1316	西壁	土師器	鉢	14.8			(内)ナメハケ(6.8/cm)(外)タタキ	黄	1~2mm大の結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		鉢ⅡA1
1317	包含層	土師器	有孔鉢	15.1	8.1		(内)ハケのちヘラミガキ(外)タタキ	黄	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒	ほぼ完形	鉢ⅡA1c
1318	包含層	土師器	鉢	16.2		4.3	(内)ナメハケ(8.8/cm)(外)口縁部ヨコナデ体部右下方のヘラケズリ	明赤黄	1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		鉢ⅡA2a
1319	包含層	土師器	鉢	16.6			(内)右よりナメハケ径復のヘラミガキ(外)口縁部右よりのタタキ体部右方向のヘラケズリ	内・黒焼外・にぶい黄	1~7mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅡA2
1320	包含層	土師器	鉢	15.8			(内)ナメハケ(8.8/cm)(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリのちナデ底部ヘラケズリのちナデ	にぶい黄	1~2mmの赤色炭粒、結晶片岩		鉢ⅡA2
1321	包含層	土師器	鉢	16.0			(内)ナメハケ(5.8/cm)(外)タタキ	内・にぶい黄外・にぶい黄	1~4mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		鉢ⅡA1
1322	包含層	土師器	有孔鉢	17.8	9.5		(内)ナメハケ(5.8/cm)(外)口縁部ナデ体部ヘラケズリ底部ヘラケズリ	黄	1~9mmの石英、結晶片岩		鉢ⅡA1
1323	包含層	土師器	鉢	18.3			(内)磨耗激しく詳細不明(外)ヨコナデ/ヘラケズリ	黄	1~4mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒		鉢ⅡA5
1324	包含層	土師器	鉢	19.0			(内)ハケのちナデ(外)ナデ/ヘラケズリ	黄	1~4mm石英、結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA5
1325	包含層	土師器	鉢	18.3			(内)ナメハケ(10.8/cm)のちヘラミガキ(105mm)(外)タタキ/ハケのちヘラケズリ	にぶい黄	1mmの石英、結晶片岩		鉢ⅡA5

第66表 出土遺物観察表(55)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1326	包含層	土師器	鉢	26.0			(内)ハケ?のちヘラミガキ密着しく詳細不明(外)口縁部ヘラズリのちヨコナデ端部一部ハケ目隠る体部ヘラズリ	橙	1~3mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢IA6
1327	包含層	土師器	鉢	26.1			(内)放射状のヘラミガキ(外)ヘラズリ	にぶい橙	1~6mmの石英、赤色塵粒、結晶片岩、微量の砂粒		鉢IA6
1328	西層	土師器	鉢	24.2			(内)ナメハケのちヘラミガキ(巾2mm)(外)ヨコナデ/ヘラズリ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1~3mmの石英、結晶片岩		鉢IA6
1329	西層	土師器	鉢	23.4	6.4		(内)ハケ(5条/cm)(外)口縁部 ヨコナデ体部ヘラズリ底部 ヘラズリ	内・にぶい黄橙 外・橙	1~11mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		鉢IA6
1330	包含層	土師器	鉢	16.0			(内)口縁部ヨコナデ体部板ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラズリ	橙	0.5~2mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢IIA2c
1331	包含層	土師器	鉢	17.6			(内)ナメハケ(外)ヘラズリ	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	1~4mmの結晶片岩、石英		鉢IIA5
1332	包含層	土師器	鉢	17.8	7.1		(内)口縁部 ヨコハケ(10条/0.9cm)体部ナメハケ(10条/0.9cm)のちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラズリ	内・灰灰/リアー 外・にぶい黄橙	1~7mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢IIA5c
1333	包含層	土師器	鉢	18.9			(内)口縁部 ヨコハケ(11条/cm)体部ナメハケ(11条/cm)のちヘラミガキ(巾2mm)(外)口縁部ユビオキエ/ヨコナデ体部ヘラズリ	内・にぶい黄橙 外・灰灰	0.5~2mmの石英、1~5.5mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢IIA5
1334	包含層	土師器	鉢	20.6			(内)ナメハケ(5条/cm)(外)タタキ	内・灰灰/ にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	1~6mmの結晶片岩、微量の砂粒		鉢IIA5
1335	包含層	土師器	鉢	20.1			(内)放射状ヘラミガキ(巾2mm)(外)ヨコナデ/ヘラズリ	橙	1~2mmの赤色塵粒、石英、結晶片岩		鉢IIA5
1336	包含層	土師器	鉢	17.2			(内)口縁部 ヨコハケ体部ナデ?磨光密しく詳細不明(外)口縁部ヨコナデ体部上部ヨコハケ(6条/cm)体部下部ヘラズリ のちナメハケ(5条/cm)	にぶい黄橙	1.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢II E2
1337	包含層	土師器	鉢	30.5			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部ヨコハケ(7条/cm)/ヘラミガキ?(外)口縁部タタキ体部上部タタキ体部下部ヘラズリ	にぶい黄橙	1~2mmの石英、結晶片岩		鉢II E2
1338	覆土	土師器	鉢	21.3			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部ナメハケ(7条/cm)のちヘラミガキ(巾2mm)(外)口縁部ヨコナデ体部上部タタキのちナデ体部下部ヘラズリ	内・にぶい黄橙/ にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	1~6mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢II E4
1339	包含層	土師器	鉢	21.8			(内)口縁部ヨコハケのちナデ体部ナメハケのちヘラミガキ(巾3mm)(外)口縁部ハケのちナデ体部タタキ	橙	2mm大の結晶片岩、石英、微量の砂粒		鉢II E4
1340	包含層	土師器	鉢	35.5			(内)口縁部 ユビオキエ体部 ナメハケ(外)口縁部 ヨコナデ体部 ヘラズリ	橙	1~4mmの結晶片岩、微量の砂粒		鉢II E7
1341	包含層	土師器	鉢	26.2			(内)口縁部ヨコハケ(8条/cm)体部上部ナメハケ(8条/cm)体部下部板ナデ?(外)口縁部 ヨコナデ体部上部タナハケ(8条/cm)体部下部タタキ	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	0.5~3mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢II F1
1342	包含層	土師器	小型丸底鉢	7.9			(内)口縁部ナメハケ(10本/1.7cm)底部強い磨ナデ(外)口縁部ナメハケ(10本/1.7cm)底部ヘラズリのちナデ	にぶい赤褐	0.5~4mmの石英、結晶片岩、赤色塵粒		小Cb
1343	包含層	土師器	小型丸底鉢	9.0	8.2		(内)口縁部・体部ナメハケ(6条/cm)底部ヘラミガキ(巾2mm)(外)口縁部・体部ナメハケ底部 ヘラズリ	内・黄橙 外・にぶい黄橙	1~2mmの結晶片岩、赤色塵粒		小Cb
1344	包含層	土師器	小型丸底鉢		1.2		(内)ナデ(外)ヘラズリのちナデ上部にハケあり	内・明緑 外・橙	1mmの結晶片岩、赤色塵粒		

第67表 出土遺物観察表 (56)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	土 質	備 考	分 類
1345	椀	土師器	細頸炊				(内)体部上部 じりり穴/エビオサエ体部下部タテハケ(11&cm/1.6cm)(外)体部上部2mmのヘラミガキ体部下部ヘラツズリのちヘラミガキ	内・灰黄 外・橙	1~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1346	西壺	土師器	広口壺				(内)頸部ヨコナデ体部上部エビオサエ/西ナデ体部下部ヘラツズリ(外)頸部ハケのちナデ体部上部ハケのち(11&cm)ヘラミガキ(0.2cm)体部下部ハケ(7&cm)	にぶい橙	1~6mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩、微量の砂粒		
1347	包含層	土師器	広口壺	12.2			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ	にぶい橙	1~10mm大の結晶片岩、赤色炭粒、石英、微量の砂粒	壹Ha1	
1348	包含層	土師器	広口壺	13.1			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ	橙	0.5mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩	壹Ha1	
1349	西壺	土師器	広口壺	12.4			(内)口縁部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(8&cm)	橙	1~3mmの結晶片岩、微量の砂粒	壹Ha1	
1350	包含層	土師器	広口壺	15.7			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケのちナデ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1~2mm大の結晶片岩、赤色炭粒、石英、微量の砂粒	壹Ha1	
1351	椀	土師器	広口壺	16.7			(内)口縁部 ヨコハケ(6&cm)頸部 ヨコハケ(6&cm)(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケ(8&cm)	橙	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒、石英、微量の砂粒	壹Ha1	
1352	包含層	土師器	広口壺	18.0			(内)口縁部ヨコナデ頸部ハケ(外)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ/ハケ	橙	1~4mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	壹Ha1	
1353	西壺	土師器	広口壺	18.7			(内)口縁部・頸部上部ナメハケのちナデ(4&cm)頸部下部 ヨコナデ(外)口縁部タテハケ(5&cm)頸部ナメハケ(4&cm)のちタテハケ(6&cm)	内・褐灰 外・橙	1~5mmの石英、結晶片岩、微量の砂粒	壹Ha1	
1354	包含層	土師器	広口壺	20.5			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコハケ(9&cm/1.3cm)(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケ(9&cm/1.3cm)	内・橙 外・にぶい橙	1mmの石英、0.5~9mmの結晶片岩、赤色炭粒	壹Ha1	
1355	第4層	土師器	広口壺	20.6			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ハケのちナデ	内・橙 外・にぶい黄橙	1~6mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒	壹Ha1	
1356	包含層	土師器	広口壺	20.0			(内)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ?磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ磨耗激しく(詳細不明)	橙	0.5~6mmの石英、0.5~6mmの結晶片岩、赤色炭粒	壹Ha1	
1357	包含層	土師器	広口壺	18.8			(内)口縁部ハケのちナデ?頸部ヨコハケのちナデ? (外)口縁部ヨコナデ?頸部ヨコナデ?全体に磨耗激しく詳細不明	橙	1~2mm大の石英、結晶片岩、赤色炭粒	壹Ha1	
1358	包含層	弥生土器	広口壺	13.4			(内)ヘラミガキ(外)ヘラミガキ	橙	1~2mmの石英、1~6mmの結晶片岩	円形浮文	
1359	包含層	弥生土器	広口壺	20.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・明赤黄	1~2mmの石英、結晶片岩、砂粒多し		
1360	包含層	土師器	広口壺	22.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	壹Ha1	
1361	包含層	土師器	広口壺	22.5			(内)口縁部ヨコナデ頸部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケ(6&cm)	橙	1~10mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒	壹Ha1	
1362	包含層	土師器	広口壺	22.9			(内)口縁部ヨコナデ頸部エビオサエのちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケ(5&cm)	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	0.5~1mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色炭粒	壹Ha1	
1363	包含層	土師器	広口壺	25.8			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ頸部エビオサエのちナデ(指?) (外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(9&cm/0.8cm)のちヨコナデ	にぶい橙	1~5mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	壹Ha1	
1364	包含層	土師器	広口壺	25.3			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(9&cm)	にぶい橙	0.5~3mmの石英、0.5~6mmの結晶片岩、赤色炭粒	壹Ha1	
1365	包含層	土師器	二重口縁壺	20.4			(内)口縁部ヨコナデ受部ヨコハケのちヨコナデ頸部ヨコハケ(6&cm)(外)ヨコナデ	橙	1~3mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒	壹Nc1	

第68表 出土遺物観察表 (57)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1366	包含層	土師器	二重口縁 甕	20.0			(内)口縁部ヨコナダ受部タテハケ(7条/0.7cm)頸部ヨコハケ(7条/0.7cm)(外)受部ヨコナダ 頸部ナメハケ磨耗激しく詳細不明	橙	1~2mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		査 Nf
1367	包含層	土師器	二重口縁 甕	22.4			(内)口縁部ヨコナダ頸部 ヨコハケ(6条/cm)(外)口縁部ヨコナダ頸部ヨコナダ	にぶい橙	1~10mmの結晶片岩、石英、微量の砂粒		査 Nc 2
1368	包含層	土師器	二重口縁 甕				(内)口縁部 ハケ(9条/cm)頸部 ハケ(8条/cm)(外)口縁部 ヨコナダ頸部 板ナダ	にぶい橙	1~3mm大の石英、結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		
1369	包含層	土師器	二重口縁 甕	27.5			(内)口縁部上端ヨコナダ二次口縁部ナメハケ(8条/1.2cm)下端はのちヨコナダ(外)二次口縁部ナメハケ(10条/cm)のちヨコナダ一次口縁部ヨコハケのちユビオサエ	内・橙 外・明黄 褐	1~2mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1条の縦凹線	
1370	包含層	土師器	甕	10.7			(内)口縁部ハケのちナダ粘土を纏ぎ足し、上からハケ(2次調整後)体部上部ユビオサエ体部下部ヘラズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(8条/cm)	にぶい黄 橙 外・黄褐色	1mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒、微量の砂粒		査 AEh
1371	包含層	土師器	甕	10.7			(内)口縁部 ハケのちナダ体部ユビオサエ/指ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(11条/cm)/ナメハケ(9条/cm)	にぶい黄 橙	1~8mmの結晶片岩		査 AEg
1372	西壁	土師器	甕	11.2			(内)口縁部 ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(5条/cm)	内・にぶ い橙 外・橙	結晶片岩	口縁部3条の縦凹線	査 AEb
1373	包含層	土師器	甕	13.3			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部 ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	内・にぶ い黄 外・明褐	0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		査 AEb
1374	包含層	土師器	甕	13.8			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(5条/cm)	内・にぶ い橙 外・にぶ い黄 外・にぶ い黄	1~10mmの石英、結晶片岩		査 AEb
1375	包含層	土師器	甕	13.5			(内)口縁部ヨコナダ体部上部ユビオサエのちナダ体部下部ヘラズリ(外)口縁部ヨコナダ体部上部タテハケのち板ナダ体部下部タテハケ(7条/cm)	にぶい橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		査 AEb
1376	西壁	土師器	甕	12.2			(内)口縁部 ヨコナダ体部上部板ナダ体部下部板ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部上部ナメハケ(9条/cm)体部上部ナメハケ(6条/cm)	橙	1~6mmの石英、結晶片岩、少量の砂粒		査 AEb
1377	包含層	土師器	甕	14.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい黄 橙	0.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		査 AEb
1378	西壁	土師器	甕	13.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(10条/cm)	内・にぶ い橙 外・橙	1mm大の赤色炭粒、結晶片岩		査 AEb
1379	包含層	土師器	甕	13.6			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ユビオサエ	内・橙 外・にぶ い褐	1~2mmの結晶片岩、微量の砂粒		査 AEb
1380	包含層	土師器	甕	13.4			(内)口縁部ハケのちナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ/ヨコハケ(8条/cm)	内・にぶ い橙 外・にぶ い黄	結晶片岩		査 AEb
1381	包含層	土師器	甕	16.1			(内)口縁部ハケのちナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ/ユビオサエ体部タテハケ(8条/cm)	内・にぶ い黄 外・橙	1~3mm大の石英、結晶片岩、微量の砂粒		査 AEb
1382	包含層	土師器	甕	14.5			(内)口縁部ヨコハケ磨耗激しく詳細不明体部上部ユビオサエ体部下部ヘラズリ(外)口縁部 ヨコナダ体部 タタキのちタテハケ(9条/cm)(14条/cm)	内・にぶ い黄 外・にぶ い橙	1~3mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		査 AEb
1383	包含層	土師器	甕	17.9			(内)口縁部ユビオサエのちヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ	橙	1~3mmの石英、結晶片岩		査 AEb
1384	包含層	土師器	甕	15.9			(内)口縁部ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ	内・にぶ い橙 外・にぶ い黄	0.5mmの赤色炭粒、結晶片岩		査 AEb
1385	西壁	土師器	甕	14.7			(内)口縁部ハケのちナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	内・橙 外・にぶ い橙	1mm大の結晶片岩、赤色炭粒		査 AEb

第69表 出土遺物観察表 (58)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1386	包含層	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8g/cm)	にぶい橙	0.5mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		甕 AEb
1387	包含層	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8g/1.1cm)/(10g/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.5~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	塚付着	甕 AEb
1388	包含層	土師器	甕	16.8			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	内・にぶい橙 外・にぶい橙	1mmの石英、結晶片岩		甕 AEb
1389	西壁	土師器	甕	18.4			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(5g/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	結晶片岩		甕 AEb
1390	包含層	土師器	甕	15.0			(内)口縁部 ヨコナダ体部上部 エビオサエ体部下部 ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(7g/cm)	内・橙 外・にぶい橙	1~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		甕 AEb
1391	包含層	土師器	底部		1.6		(内)ヘラケズリ(外)タテハケ(9g/cm)	内・灰黄緑 外・にぶい黄橙	0.5~9mmの石英、1~3.5mmの結晶片岩		
1392	包含層	土師器	底部		3.9		(内)エビオサエ(外)体部ナメハケ(7g/cm)底部ハケ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙 一部塚付着	1~4mmの赤色炭粒、結晶片岩		
1393	包含層	土師器	底部		4.7		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ底部ハケ	内・にぶい黄橙 外・灰黄緑	1~3mmの石英、赤色炭粒、結晶片岩		
1394	包含層	土師器	底部		4.5		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(5g/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(5g/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.5~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1395	包含層	土師器	底部		4.6		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(9g/1.3cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ磨耗激しく詳細不明	にぶい橙	0.5~3mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1396	西壁	土師器	底部		6.7		(内)放射状のヘラケズリ(外)体部 ヨコナダ底部ヘラミガキ	内・黒褐色 外・にぶい橙 外底・黒褐色	1mm次の結晶片岩		
1397	包含層	土師器	底部		3.4		(内)ヘラケズリのちナダ(外)ナダ?磨耗激しく詳細不明	内・明褐色 外・橙	1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1398	包含層	土師器	底部		2.5		(内)体部 ヘラケズリ底部エビオサエ(外)体部タテハケ(9g/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ?磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄橙 外・暗灰黄	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片岩		
1399	包含層	土師器	底部		3.5		(内)体部ヘラケズリ底部エビオサエ(外)体部タテハケ(7g/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(7g/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1400	包含層	土師器	底部		4.8		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(11g/cm)底部ハケ(7g/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩		
1401	包含層	土師器	底部		3.4		(内)ヨコハケ(7g/cm)(外)体部タテハケ底部ナダ?磨耗激しく詳細不明	にぶい黄橙	2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1402	掘孔	石器	太鼓給刀石弁	13.8	5.5	7.7			輝緑岩		
1403	包含層	金属	不明	4.6	3.0						
1404	第4層	金属	釘	0.8	3.5						
1405	西壁	金属	不明	1.6	4.1						
1406	包含層	須恵質	均等唐草文軒瓦				(凹部)ナダ(凸部)ナダ	灰		均正唐草文	

第70表 出土遺物観察表 (59)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1407	包含層	須恵器	杯	13.0	4.5	8.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)圓転ヘラツリのちナデ	灰	黒色炭粒、結晶片岩		
1408	包含層	土師器	不明	9.7		3.6	外縁腹方向のヘラツズリ	灰白	1~6mmの赤色炭粒、砂粒多し	脚部	
1409	包含層	土師器	土玉	2.2		2.3	ナデ	にぶい黄橙	結晶片岩		
1410	包含層	土師器	壺				(内)ヨコハケ(8条/cm)(外)縞状タナキ	内・黄灰/ 灰白 外・にぶい黄橙	1mmの石英	東播磨系縞杉文(中世)	
1411	包含層	石製品	砥石	20.4	2.9	6.0			結晶片岩		
1412	SD1022	土師器	高杯			12.0	(内)柱状部しほり裏腹部ヨコナデ?(外)ナデ?全体に磨耗激しく詳細不明	橙	1~4mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1413	SD1022	土師器	高杯			17.8	(内)ナメハケ磨耗激しく詳細不明(外)板ナデ?磨耗激しく詳細不明	橙	1~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	脚部外面1条の縦凹線、腹部透かし穴	
1414	SD1022	土師器	ミニチュア鉢	6.6			(内)ナデ(外)縦しわ痕	内・黄灰/ 外・灰黄褐	0.5~3mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅣA2
1415	SD1022	土師器	ミニチュア鉢	8.6			(内)ナデ(外)縦しわ痕/体部板ナデ	橙	0.5~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅣA2
1416	SD1022	土師器	鉢	11.0			(内)板ナデ(外)縦しわ痕/ヘラツズリのち板ナデ	にぶい黄橙	0.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		鉢ⅢA2
1417	SD1022	土師器	鉢	20.4			(内)ナデ?磨耗激しく詳細不明(外)縦しわ痕/口縁部~体部上位ヨコナデ体部下位ヘラツズリ	にぶい橙	0.5~1mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA2
1418	SD1022	土師器	合付鉢			7.0	(内)ナデ?磨耗激しく詳細不明(外)体部タナハケ(5条/cm)台部~底部ナデ	にぶい橙	1~2mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1419	SD1022	土師器	鉢	30.4			(内)口縁部ヨコハケ体部ナメハケ(6条/cm)(外)口縁部ヨコハケ体部ヨコハケ(5条/cm)のち上位はナメハケ(6条/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部内外・赤影	鉢ⅠF2
1420	SD1022	土師器	鉢	36.1			(内)口縁部ヨコナデ体部ナメハケのち上位ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(6条/cm)	橙	0.5~5mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠF2
1421	SD1022	土師器	壺	40.3			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオキエのち板ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ磨耗激しく詳細不明	にぶい橙	0.5~4mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺AEB
1422	SD1022	土師器	広口壺	24.2			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ	内・にぶい黄橙 外・橙	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部沿い2条の縦凹線	壺ⅡA2
1423	SD1022	土師器	二重口縁壺	20.6			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコハケのちヨコナデ体部ユビオキエ(外)口縁部ヨコナデ頸部ハケのちナデ体部ナメハケ(6条/cm)	内・橙 にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~4mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部外面3条の縦凹線	壺Ⅱc2
1424	SD1022	土師器	壺	12.8			(内)口縁部ハケのちヨコナデ体部ユビオキエ/指ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ	内・にぶい黄橙 外・灰黄褐	1~7mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の弱い縦凹線	壺AEB
1425	SD1022	土師器	壺	16.4			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオキエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タナハケ?磨耗激しく詳細不明	内・橙 外・にぶい橙	1mmの石英、1~4mmの結晶片岩		壺AEB
1426	SD1022	土師器	壺	17.5			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオキエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケのちナデ?磨耗激しく詳細不明	内・にぶい橙、暗灰黄 外・にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、1~4mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	壺AEB
1427	SD1022	土師器	壺	17.1			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオキエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ	にぶい橙	1~3mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	壺AEB
1428	SD1022	土師器	底部			4.0	(内)ヘラツズリのちナデ若しくは板ナデ(外)体部タナハケのちヨコナデ底部ナデ	内・灰黄褐 外・橙	0.5~4mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		A①
1429	SD1022	土師器	底部			4.1	(内)ヘラツズリ(外)体部ヨコナデ底部ハケ	内・暗灰黄 外・黄灰	1.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		A②

第71表 出土遺物観察表 (60)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1430	SD1022	土師器	底部			2.4	(内)ヘラケズリのちナデ(外)タテハケのちナデ	内・にぶい 外・にぶい 黄褐色	1~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		A③
1431	SD1022	土師器	底部			4.0	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ磨耗激しく詳細不明底部ハケ(8条/cm)	内・暗灰 外・にぶい 黄褐色	0.5~4mmの石英、2~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		A③
1432	SD1022	土師器	底部				(内)板ナデ(外)ヘラケズリのちタテハケのちナデ	にぶい黄褐色	0.5~5mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		A③
1433	SD1028	土師器	高杯			13.8	(内)裾部ヨコナデ(外)磨耗激しく不明	褐色	0.5~3.5mmの結晶片岩・石英・砂粒		
1434	SD1028	土師器	鉢	18.0			(内)体部上位ヨコナデ(外)履しわ痕/体部上位ヨコナデ体部下位ヘラケズリ	褐色	~3.0mmの石英・結晶片岩・赤色炭粒		鉢ⅡA2
1435	SD1028	土師器	鉢	19.4			(内)口縁部ヨコナデ体部ナデのちヘラミダシ(外)履しわ痕/口縁部強いヨコナデ体部ヘラケズリ	褐色	~3mmの石英、~6.0mmの結晶片岩・赤色炭粒		鉢ⅡA2
1436	SD1028	土師器	鉢	21.5			(内)体部上位ヨコナデ中位ナメハケ(7~8条/cm)底部板ナデ(外)履しわ痕/口縁部ヨコナデ体部上位ヘラケズリ	にぶい褐色	1.0~3.0mmの結晶片岩・石英	口縁部1条の縦凹線 完全形、体部外面下位~底部大きく粘上剥離	鉢ⅠA2c
1437	SD1028	土師器	鉢	13.6			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ磨耗激しく詳細不明	明赤褐色	結晶片岩、6mmの石英		鉢ⅡA7
1438	SD1028	土師器	鉢	10.6			(内)ナデ(外)履しわ痕/口縁部~体部上位ナデ体部下位ヘラケズリ	灰黄	結晶片岩、石英、雲母	口縁部~体部外面上位 長軸3cm程度の楕円形 状に粘上剥離箇所多数	鉢ⅢA1
1439	SD1028	土師器	体部				(内)エビオサエのちナデ若しくはハケ(外)ヨコハケのちヘラミダシ(3.5mm幅)	褐色	1.0~4.5mmの石英・結晶片岩・赤色炭粒		
1440	SD1028	土師器	甕	13.0			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい褐色	0.5mmの石英、結晶片岩		甕AVf
1441	SD1028	土師器	甕				(内)体部エビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい褐色	結晶片岩、多量の0.1~3.0mmの石英		甕AVf
1442	SD1028	土師器	甕	15.9			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(3条/5mm)	にぶい褐色	結晶片岩、1.0~4.0mmの石英	口縁部2条の縦凹線	甕AEb
1443	SD1029	土師器	甕	13.6			(内)口縁部ヨコナデ体部上位エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(上位9条/cm下位11条/0.5cm)	褐色	0.5~4.0mmの結晶片岩・石英・雲母・赤色炭粒	口縁部縦径 1条の縦凹線	甕AEVb
1444	SD1029	土師器	広口壺	22.0			(内)口縁部ヨコナデ体部上位エビオサエのちナデ下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(8条/cm)	褐色	0.5~8.0mmの石英・結晶片岩・砂粒		壺Hd
1445	SD1037	土師器	広口壺	18.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい褐色	0.5~8.0mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Hb
1446	SD1037	土師器	甕	11.1	22.2	6.1	(内)口縁部ヨコナデ頸部エビオサエ体部上位エビオサエのちナメハケ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ下位ヘラミダシ磨耗激しく詳細不明	内・灰 外・黄灰 褐色	1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒	完全形 口縁部から 体部にかけて 断面楕円形	甕AHⅡ b④
1447	SD1037	土師器	底部			5.1	(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(6条/cm)下位ヨコナデ底部ハケ(7条/cm)	内・灰黄 外・黄灰	1~2.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩		A④
1448	SD1037	土師器	甕			6.2	(内)体部ヘラケズリ底部エビオサエ(外)下草ナデ一部にヘラミダシ	内・黄灰 外・にぶい 黄褐色	1~7mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1449	SD1037	土師器	甕	27.2			(内)口縁部~頸部ヨコナデ体部上位ヨコナデ中位タテヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケのちヨコナデ体部タテハケのちヘラミダシ	内・灰黄 外・にぶい 黄褐色	0.5~2mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		甕AKe
1450	SD1037	土師器	甕	12.0			(内)磨耗激しく不明(外)磨耗激しく不明	褐色	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部内側1条の弱い凹線	甕AEb

第72表 出土遺物観察表(61)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1451	SD1037	土師器	甕	15.8			(内)口縁部磨耗激しく不明体部ヨコナゲ(外)磨耗激しく不明	橙	1~4mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		実AHbj
1452	SD1037	土師器	底部			7.0	(内)ヘラケズリ(外)体部タナハケのち一部ヘラミガキが磨耗激しく詳細不明	内・橙 外・にぶ い橙	1~4mmの石英、1~12mmの結晶片岩、赤色斑粒		A㊟
1453	SD1037	土師器	甕	15.0	23.3		(内)口縁部ヨコナゲ体部上位ユビオサエ体部下位ヘラケズリ底部ユビオサエ(外)口縁部ナメハケのちヨコナゲ体部ナメハケ(9条/0.9cm)	にぶい黄 橙	0.5~1.5mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	完形	実AEVb ㊟
1454	SD1038	土師器	高杯				(内)しほり痕(外)磨耗激しく不明	内・にぶ い橙 外・にぶ い黄橙	1~6mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1455	SD1038	土師器	鉢	14.1			(内)ヨコナゲのちヘラミガキ(外)ヘラケズリのちヨコナゲ	内・にぶ い橙 外・にぶ い橙	1~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢B1c
1456	SD1038	土師器	広口甕	18.8			(内)ヨコナゲ(外)ヨコナゲ	内・にぶ い橙 外・にぶ い橙	1~8mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕Hd
1457	SD1038	土師器	甕	16.0			(内)口縁部ヨコナゲ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナゲ体部ナメハケ(10条/cm)	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い橙	0.5~6mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEb
1457	SD1037	石製品	不明	9.4	1.6	9.6			結晶片岩		円盤状
1458	SD1044	土師器	高杯	14.4			(内)杯部板ナゲのちヘラミガキ脚柱部しほり痕/ナゲ? (外)杯部上位ヨコナゲナゲ下部ナゲのちハケ(9条/cm)脚柱部板ナゲ	内・明褐色 外・橙	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B5
1459	SD1044	土師器	高杯	17.0			(内)板ナゲのちヘラミガキ(外)杯部上位ヨコナゲのち一部ハケ杯部下部ハケ(6条/0.6cm)	内・灰黄色 明褐色 外・にぶ い橙	0.5~6mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B5
1460	SD1044	土師器	高杯	20.9			(内)杯部上位ヨコナゲ(外)磨耗激しく不明	内・黄褐色 外・橙	0.5~9mmの石英、1~7mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1461	SD1044	土師器	高杯				(内)杯部板ナゲ?脚柱部粘土挿入痕板ナゲヘラケズリ(外)ヨコナゲ全体に磨耗激しく詳細不明	内・にぶ い橙 外・にぶ い橙 にぶい橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1462	SD1044	土師器	高杯				(内)接合部ユビオサエ脚柱部ナゲ(外)接合部ヨコナゲ脚柱部タナハケ	にぶい橙	0.5~2mmの石英、2mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1463	SD1044	土師器	高杯				(内)杯部ナゲ脚柱部ヘラケズリ(外)杯部ヨコナゲ脚柱部ナメハケ全体に磨耗激しく詳細不明	内・にぶ い橙 外・橙	1~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1464	SD1044	土師器	高杯				(内)接合部、脚柱部ナゲ(外)ナメハケのちナゲ?全体に磨耗激しく詳細不明	内・にぶ い橙 外・にぶ い黄橙	0.5~4mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1465	SD1044	土師器	高杯				(内)ヘラケズリ(外)ヘラケズリのちタナハケ磨耗激しく詳細不明	橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1466	SD1044	土師器	高杯			12.6	(内)脚柱部しほり痕下部ナゲ脚柱部ナゲ(外)脚柱部板ナゲ脚柱部ナゲ全体に磨耗激しく詳細不明	内・にぶ い橙 外・にぶ い橙	0.5~5mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1467	SD1044	土師器	高杯			10.8	(内)脚部上位ヘラケズリ脚部下部ヨコナゲ(外)タナハケのちヘラミガキ脚部ヨコナゲ	内・にぶ い橙 外・にぶ い橙	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩		
1468	SD1044	土師器	高杯			10.6	(内)脚部上位ヘラケズリ脚部下部ヨコナゲ(外)タナハケ脚部ヨコナゲ	内・橙 外・にぶ い橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		

第73表 出土遺物観察表 (62)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1469	SD1044	土師器	高杯			13.2	(内)ナダ(外)ナダ全体に磨耗激しく詳細不明	内・橙 外・ぶい黄 外・ぶい黄	0.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色泥粒		
1470	SD1044	土師器	高杯			15.0	(内)ヨコハケ(外)ナダ?磨耗激しく詳細不明	内・黒褐色 外・ぶい黄	1~1.5mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩		
1471	SD1044	土師器	高杯			14.9	(内)裾部上位ヘラケズリ裾部下位ヨコナダ(外)ナダのちへらミガキ踵部はさらにヨコナダ	内・橙 外・ぶい黄	0.5~4mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色泥粒		
1472	SD1044	土師器	鉢	14.5	4.8		(内)ナダのちへらミガキ磨耗激しく詳細不明(外)履しわ腹/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・ぶい黄 外・ぶい黄	1~6mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色泥粒	完形	鉢ⅡA2a
1473	SD1044	土師器	鉢	14.5	4.5		(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ磨耗激しく詳細不明(外)履しわ腹/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・ぶい黄 外・ぶい黄	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色泥粒		鉢ⅡA2a
1474	SD1044	土師器	鉢			15.1	(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちへらミガキ(外)履しわ腹/口縁部~体部上位ヨコナダ体部下位ヘラケズリ全体に磨耗激しく詳細不明	内・明褐色 外・橙	0.5~3mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色泥粒		鉢ⅡA2
1475	SD1044	土師器	鉢			16.5	(内)ヨコナダのちへらミガキ(外)履しわ腹/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・ぶい黄 外・明褐色	0.5~4mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色泥粒		鉢ⅡA2
1476	SD1044	土師器	鉢			16.9	(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちへらミガキ(外)履しわ腹/口縁部ヨコナダ体部上部ヨコナダ体部下部ヘラケズリ	内・ぶい黄 外・橙	0.5~4mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色泥粒		鉢ⅡA2
1477	SD1044	土師器	鉢			17.2	(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ?磨耗激しく詳細不明(外)履しわ腹/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・ぶい黄 外・灰黄褐色	1~7mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色泥粒		鉢ⅡA2
1478	SD1044	土師器	鉢			17.7	(内)ヨコナダのちへらミガキ(外)履しわ腹/口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	ぶい黄	0.5~5.5mmの石英、1.5~4mmの結晶片岩、赤色泥粒		鉢ⅡA2
1479	SD1044	土師器	鉢			22.4	(内)口縁部ヨコハケ体部ヨコハケ(外)口縁部ヨコハケ/エビオサエのちヨコナダ体部ヨコハケ全体に磨耗激しく詳細不明	ぶい黄	0.5~1mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		鉢ⅡB3
1480	SD1044	土師器	広口壺			20.6	(内)ヨコナダ? (外)ヨコナダ?全体に磨耗激しく詳細不明	橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒		
1481	SD1044	土師器	広口壺			20.3	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙 外・ぶい黄	0.5~2.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒		壺Ha2
1482	SD1044	土師器	広口壺			21.8	(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙 外・ぶい黄	1~2mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色泥粒		壺Hd
1483	SD1044	土師器	底部			3.8	(内)ハケか磨耗激しく詳細不明(外)磨耗激しく不明	内・ぶい黄 外・橙	0.5~8mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色泥粒		
1484	SD1044	土師器	甕			11.1	(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ?磨耗激しく詳細不明(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部タタキ	内・橙 外・ぶい黄	1~5mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色泥粒		甕ATJ
1485	SD1044	土師器	甕			12.3	(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ磨耗激しく詳細不明	ぶい黄	1~7mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、金雲母		甕AEu
1486	SD1044	土師器	甕			12.6	(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(11条/cm)	内・黄褐色 外・ぶい黄	0.5~5mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色泥粒		甕AEB
1487	SD1044	土師器	甕			14.2	(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ?磨耗激しく詳細不明	内・ぶい黄 外・ぶい黄	0.5~6mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色泥粒		甕AEB
1488	SD1044	土師器	甕			14.3	(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ磨耗激しく詳細不明	内・ぶい黄 外・橙	0.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色泥粒	口縁部1余の頸凹痕	甕AEB

第74表 出土遺物観察表 (63)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1488	SD1044	土師器	甕	15.9			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケのちナダ? 磨耗強く詳細不明	橙	0.5~3mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色底粒	口縁部1条の弱い縦凹線	素AEB
1490	SD1044	土師器	甕	16.1			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ/ユビナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケのちナダ? 磨耗強く詳細不明	にぶい橙	0.5~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色底粒		素AEB
1491	SD1044	土師器	甕	16.4			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	にぶい橙	0.5~5mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色底粒		素AEB
1492	SD1044	土師器	甕	14.2			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ユビオサエ体部下位ヘラズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8条/cm)	明褐色	0.5~5mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色底粒	口縁部1条の弱い縦凹線	素AEB
1493	SD1044	土師器	甕	16.3			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ユビオサエ体部下位ヘラズリ(外)口縁部ヨコナダ体部板ナメハケ(7~10条/0.8cm)	内・にぶい橙 外・橙	1~7mmの石英、2~8mmの結晶片岩、赤色底粒	口縁部1条の縦凹線	素AEB
1494	SD1044	土師器	甕	14.5			(内)口縁部ヨコナダ上位に強いヨコナダ体部上位ユビオサエ体部下位ヘラズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8条/cm)	にぶい橙	1~7mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色底粒		素AEB
1495	SD1044	土師器	甕	15.3			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ユビオサエ体部下位ヘラズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8条/cm)	内・灰黄外・にぶい黄橙	0.5~9mmの石英1~3.5mmの結晶片岩、赤色底粒		素AEB
1496	SD1044	土師器	甕	17.4			(内)磨耗強く不明(外)磨耗強く不明	橙	0.5~7mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色底粒		素AEB
1497	SD1044	養生土器	甕	19.4	27.8	6.2	(内)口縁部ヨコナダ体部上位ナメハケのちナダ体部下位ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラミガキ底部ヘラミガキの強いヨコナダ底部ナダ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1~5mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色底粒、砂粒		
1498	SD1045	土師器	高杯				(内)杯部ナダのちヘラミガキ脚柱部しぼり底接合部形状工具で下方から押さえた痕跡(外)脚柱部ヨコハケのちナダ全体に磨耗強く詳細不明	橙	0.5~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色底粒		
1499	SD1045	土師器	高杯				(内)脚柱部しぼり痕跡部ナメハケ(外)ナメハケのちナダ	内・灰黄外・にぶい橙	0.5~8mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色底粒		
1500	SD1045	土師器	高杯				(内)ナダ?(外)板ナダ?全体に磨耗強く詳細不明	橙	1~4mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色底粒		
1501	SD1045	土師器	高杯		15.7		(内)底部上位ヘラズリ底部下位ハケのちヨコナダ(外)ナメハケ(8条/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.5~3mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色底粒		
1502	SD1045	土師器	高杯		15.1		(内)ナダ?(外)ナダ?全体に磨耗強く詳細不明	内・にぶい橙 外・橙	1~5mmの石英、結晶片岩、赤色底粒		
1503	SD1045	土師器	ミニチュア鉢	5.8			(内)ナダ(外)ナダ全体に磨耗強く詳細不明	明褐色	0.5~3mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色底粒		鉢IV E 8
1504	SD1045	土師器	ミニチュア鉢	6.6			(内)ユビオサエのちナダ(外)ユビオサエのちナダ	橙	1~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色底粒		鉢IV A 9 b
1505	SD1045	土師器	鉢	18.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ?(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナダ体部ナダ	橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色底粒		鉢II E 1
1506	SD1045	土師器	鉢	19.2			(内)ヨコナダ(外)口縁部強いヨコナダ体部ハケ	にぶい橙	2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色底粒		鉢II A
1507	SD1045	土師器	鉢	15.7			(内)ヘラミガキ(外)縦しわ痕/口縁部ヨコナダ	内・黒褐外・にぶい黄橙	1~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色底粒		鉢II A 2
1508	SD1045	土師器	鉢	16.7			(内)口縁部ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ全体に磨耗強く詳細不明	内・にぶい橙 外・橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色底粒		鉢II A 2
1509	SD1045	土師器	鉢	21.5			(内)口縁部ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ全体に磨耗強く詳細不明	橙	0.5~3mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色底粒		鉢II A 3
1510	SD1045	土師器	鉢	20.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコハケのちヨコナダ	内・灰白外・淡黄橙	1~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色底粒	内面赤彩痕	鉢II A 3

第75表 出土遺物観察表 (64)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類	
1511	SD1045	土師器	鉢	19.1			(内)ヨコナダ(外)履しわ痕/口縁部ヨコナダ磨耗強く詳細不明	橙	1~3mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒			鉢IA5
1512	SD1045	土師器	広口壺	13.1			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ腹部ヨコナダ体部タナハケ/エビオサエ(外)口縁部~腹部ヨコナダ体部ナメハケ(10条/1.5cm)	にぶい橙	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1条の弱い縦凹線		壺Hh
1513	SD1045	土師器	広口壺	17.5			(内)ヨコナダ?(外)ヨコナダ?全体に磨耗強く詳細不明	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~3mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒			壺Ha1
1514	SD1045	土師器	広口壺	18.9			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒			壺Ha1
1515	SD1045	土師器	広口壺	19.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい橙	0.5~7.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒			壺Ha1
1516	SD1045	土師器	広口壺	20.8			(内)ヨコハケ(外)ナメハケ	橙	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒			壺Ha1
1517	SD1045	土師器	広口壺	23.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	0.5~6mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、赤色炭粒			壺Ha1
1518	SD1045	土師器	広口壺	25.6			(内)ヨコナダ?(外)ヨコナダ全体に磨耗強く詳細不明	内・灰白 外・灰褐色 にぶい橙	0.5~3mmの石英、0.5~6mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線		壺Ha1
1519	SD1045	土師器	広口壺	10.3			(内)口縁部ヨコナダ腹部ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ腹部タナハケ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1mmの石英、1mmの結晶片岩、砂粒			壺Hh
1520	SD1045	土師器	細頸壺				(内)腹部ヨコハケ(6条/cm) 体部上端しぼり痕体部上半エビオサエ最大径部に接合痕赤褐色体部下半ヨコナダ(外)腹部ヘラケズリのちナダ体部上半タナハケ(6条/cm) 体部下半ヘラケズリ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒			
1521	SD1045	土師器	甕	9.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(16条/cm)	にぶい黄橙	0.5~9mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒			甕AKVa
1522	SD1045	土師器	甕	10.5			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(6条/cm)	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線		甕AEBb
1523	SD1045	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナダ腹部ヨコハケ(外)口縁部ヨコナダ	橙	0.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線		甕AEBb
1524	SD1045	土師器	甕	14.2			(内)口縁部ヨコナダ体部磨耗強く不明(外)口縁部ヨコナダ体部磨耗強く不明	内・明黄 外・橙	0.5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1条の弱い縦凹線		甕AEBb
1525	SD1045	土師器	甕	15.7			(内)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ全体に磨耗強く詳細不明	にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1条の縦凹線		甕AEBb
1526	SD1045	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	内・橙 外・にぶい橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1条の縦凹線		甕AEBb
1527	SD1045	土師器	甕	14.5			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ磨耗強く詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部磨耗強く不明	橙	0.5~1mmの石英1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒			甕AEBb
1528	SD1045	土師器	甕	13.0			(内)磨耗強く不明(外)口縁部ヨコナダ体部磨耗強く不明	橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒			甕AEBb
1529	SD2020	土師器	高杯		18.8		(内)ナダ?(外)ナダ?全体に磨耗強く詳細不明	橙	1~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒			
1530	SD2020	土師器	鉢	20.9			(内)ナダ(外)口縁部~体部ナダ底部ヘラケズリ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒			鉢IA3a
1531	SD2020	土師器	鉢	23.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダの放射状ヘラミダキ(外)口縁部ヨコナダ体部上履しわ痕体部下位ヘラケズリ	淡赤橙	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒			鉢IA2

第76表 出土遺物観察表(65)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1532	SD2020	土師器	鉢	18.0			(内)ナナメハケのちナダ(外)ナダ	にぶい橙	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA2
1533	SD2020	土師器	鉢	15.9	7.0		(内)口縁部ナナメハケのちヨコナダ体部ナナメハケ(6条/cm)のち履旋状ヘラミギキ(外)口縁部ナナメハケのちヨコナダ体部上位ナナメハケ体部下位ヘラケズリ	内・にぶい橙 外・橙	0.5~11mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	ほぼ完形	鉢ⅡA2c
1534	SD2020	土師器	鉢	9.8			(内)ナダ?磨耗激しく詳細不明(外)磨耗激しく不明	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~3.5mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅢA1
1535	SD2020	土師器	鉢	9.7	9.3		(内)口縁部~体部上位ユビオサエのちヨコナダ(5条/cm)体部下位ナダ(外)口縁部~体部上位タタキのちヨコナダ体部下位~底部タタキのちヘラケズリ	内・明黄 外・橙	0.5~3mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	ほぼ完形	鉢ⅢG2
1536	SD2020	土師器	鉢	23.6			(内)ナナメハケのちナダ(外)口縁部ナナメハケ(4条/cm)のちナダ体部ナダ	橙	0.5~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部弱い1条の縦凹線	鉢ⅠE4
1537	SD2020	土師器	鉢	23.8			(内)ナナメハケのちナダ(4条/cm)(外)口縁部ヨコナダ体部タタキのちナダ	内・灰白 にぶい橙 外・にぶい橙	0.5~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部弱い2条の縦凹線	鉢ⅠE3
1538	SD2020	土師器	甕	16.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	淡橙	0.5~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1539	SD2020	土師器	甕	18.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙 にぶい赤褐 外・橙	0.5~11mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1540	SD2020	土師器	甕	15.7			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ/指ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキ	内・明黄 外・橙	0.5~3mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部1条縦凹線	甕ATb
1541	SD2020	土師器	甕	17.8			(内)口縁部ナナメハケ(6条/cm)のちヨコナダ体部上位ユビオサエ中下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキのちナナメハケ(4条/cm)	橙	1~2mmの石英、1~3.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		甕AEb
1542	SD2020	土師器	甕	13.1			(内)口縁部ナナメハケのちヨコナダ磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ磨耗激しく詳細不明	にぶい橙	0.5~1.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AEe
1543	SD2020	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ヨコナダ? (外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ(6条/cm)	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	0.5~1mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部弱い1条の縦凹線	甕AEb
1544	SD2020	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ナナメハケのちヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキ(7条/cm)	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩	口縁端部2条の縦凹線	甕AEe
1545	SD2020	土師器	甕	16.2			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキ全体に磨耗激しく詳細不明	内・橙 外・明黄褐	1~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AEe
1546	SD2020	土師器	甕	12.8			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ	にぶい黄橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AEe
1547	SD2020	土師器	甕	14.9	24.1	3.1	(内)口縁部ヨコナダ体部上位ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキ(外)口縁部ヨコナダ体部ナナメハケ(7条/cm)	橙	0.5~12mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒	ほぼ完形 口縁端部2条の縦凹線	甕AEⅢ b③
1548	SD2020	土師器	甕	11.8			(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキ	にぶい橙	0.5~6mmの石英を多く含む。1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	外面窪付着顕著	甕AGVp
1549	SD2020	土師器	甕	11.9			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タタキのちテハラミギキ	橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁端部2条の縦凹線	甕AMe
1550	SD2020	土師器	底部		4.3		(内)ヘラケズリ(外)体部ヘラミギキ(中2mm)底部側面ヨコナダ底面ハケ	にぶい赤褐	1~2mmの石英、赤色炭粒、砂粒、角閃石結晶片岩含まず	腹状底、内面及び体部外面窪付着顕著	S②
1551	SD2020	土師器	底部		4.1		(内)ヘラケズリのちナナメハケ(外)体部下位ヘラケズリによる押さへ底面磨耗激しく不明	内・にぶい橙 外・にぶい橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩	底面外面窪付着顕著	A②

第77表 出土遺物観察表 (66)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1552	SD000	土師器	底部			4.4	(内)ヘラケズリ?磨耗激しく詳細不明 (外)体部下端ヨコナダ底部ハケ	内・ぶ い黄 灰黄 外・ぶ い黄	0.5~1.5mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩、赤色 斑紋		A③
1553	SD000	土師器	底部			5.0	(内)ヘラケズリ(外)体部~底部側面タ タキ底部ヘラミガキ?タナキハケの可能性 あり磨耗激しく詳細不明	内・暗 灰黄 外・黒 地に ぶい 黄	1~2mmの石英、1~2 mmの結晶片岩、赤色斑 紋	底部外面毎 付着顕著	A④
1554	SD000	土師器	底部			5.9	(内)ヘラケズリ(外)体部タナハケ(9~10 条/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(11条/ cm)	ぶい 黄	0.5~1.5mmの石英、0.5 ~3mmの結晶片岩、赤色 斑紋	底部外面毎 付着顕著	A④
1555	SD000	土師器	底部			6.1	(内)ヘラケズリ(外)体部タナハケ(8条/ cm)体部下端ヨコナダ底部ハケ?磨耗激 しく詳細不明	内・灰 外・ぶ い黄	0.5~5mmの石英、0.5~ 7mmの結晶片岩	外面側付着	A④
1556	SD000	土師器	底部			3.6	(内)ヘラケズリ(外)体部タナハケ(7条/ cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(8条/cm)	内・ぶ い黄 外・黒 地に ぶい 黄	0.5~1mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色 斑紋	内面側付着 顕著	A⑤
1557	SD000	土師器	底部			7.0	(内)ヘラケズリ(外)体部タナハケ(5条/ cm)(8条/cm)体部下端ヨコナダ底部ハケ(8 条/cm)	内・ぶ い黄 外・ぶ い黄	1~2mmの石英、1~2 mmの結晶片岩、赤色斑 紋		A⑥
1558	SD000	土師器	底部			18.6	(内)ナデ(外)体部ナデのち一部ヘラミ ガキ底部ヘラケズリ	ぶい 黄	0.5~5mmの石英、0.5~ 2mmの結晶片岩、赤色 斑紋		
1559	SK1074	土師器	高杯	23.0			(内)ヨコハケ(14条/cm)のちヘラミガ キ(102mm)口縁部ヨコナダ形ヨコナダ(外) ヨコナダ側面ヨコナダ形ナメハケ	ぶい 赤 黄	0.5~4mmの石英、0.5mm の結晶片岩、赤色斑 紋		
1560	SK1074	土師器	小瓶九底 鉢	7.7			(内)口縁部上位ヨコナダ口縁部下位散 ナデ(外)ナメハケ(8条/cm)のちヨコナ ダ	黄	1~1.5mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩、赤色 斑紋		小Cb
1561	SK1074	土師器	鉢	14.2			(内)口縁部ヨコナダ体部散ナデ(外)口 縁部ヨコナダ体部履しわ履/ナデ	内・黄 外・ぶ い黄	1~3mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩、赤色 斑紋		鉢II A 7
1562	SK1074	土師器	鉢	21.3			(内)口縁部ヨコナダ体部散ナデ(11.2cm) (外)口縁部ナメハケのちナデ体部履 しわ履/ナメハケ(7条/cm)	内・ぶ い黄 外・ぶ い黄	0.5~9mmの石英、0.5~ 7mmの結晶片岩、赤色 斑紋	口縁部1 条の縦凹線	鉢I A 2
1563	SK1074	土師器	鉢	23.1			(内)口縁部ヨコナダ体部磨耗激しく不 明(外)口縁部ヨコハケ(8条/cm)体部履 しわ履/ヘラケズリ	ぶい 黄	0.5~6mmの石英、0.5~ 1.5mmの結晶片岩、赤色 斑紋		鉢I A 2
1564	SK1074	土師器	鉢	20.8	8.0		(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラミガキ底部 ユビナサエ(外)口縁部ヨコナダ体部上 位履しわ履/ナデ体部下位ヘラケズリ 底部ヘラケズリ	黄	1~10mmの石英、1~4 mmの結晶片岩、赤色斑 紋	完形	鉢I A 5c
1565	SK1074	土師器	鉢	21.7	6.3		(内)ナデのちヘラミガキ(外)口縁部ヨ コナダ体部上履しわ履/ヘラケズリのち ナデ体部下履しわ履のちヘラケズリ	ぶい 黄	0.5~10mmの石英、1~ 3mmの結晶片岩、赤色 斑紋	完形	鉢I A 3c
1566	SK1074	土師器	鉢	21.8			(内)ヘラミガキ(外)履しわ履/ヘラケズ リのちナデ?磨耗激しく詳細不明	黄	1~11mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色 斑紋		鉢I A 3
1567	SK1074	土師器	鉢	20.2	7.9		(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラミガキ(外) ヘラケズリのちナデ	ぶい 黄	1~3mmの石英、1~3 mmの結晶片岩、赤色 斑紋	完形	鉢I A 2c
1568	SK1074	土師器	鉢	19.4	5.8		(内)口縁部ヨコナダ体部散ナデのちヘ ラミガキ?磨耗激しく詳細不明(外)口縁 部履しわ履/ヨコナダ体部散ナデ	内・ぶ い黄 外・黄	1~5mmの石英、0.5~ 2.5mmの結晶片岩、赤 色斑紋	口縁部1 条の縦凹線	鉢II A 6a
1569	SK1074	土師器	鉢	17.4			(内)ナメハケのちナデ(外)口縁部ヨ コナダ粘土を足した痕あり体部履しわ履/ タナキのちヘラケズリ	ぶい 黄	1~3mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色 斑紋		鉢II A 3
1570	SK1074	土師器	鉢	20.8			(内)口縁部ヨコナダ体部ナメハケのち ナデ(外)口縁部ヨコナダ体部履しわ履/ ヘラケズリ	ぶい 黄	1~12mmの石英、0.5~ 7mmの結晶片岩、赤色 斑紋		鉢I A 2
1571	SK1074	土師器	鉢	21.6			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部 ナメハケ(7条/cm)(外)口縁部ヨコ ナダ体部履しわ履/ヘラケズリ	ぶい 黄	0.5~2mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩		鉢I A 2

第78表 出土遺物観察表 (67)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1572	SK1074	土師器	鉢	20.1			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部上段履しわ(外)ナダ体部下位ヘラケズリ	褐色	1~9mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1条の縦凹線	鉢IA2
1573	SK1074	土師器	鉢	23.2			(内)口縁部ヨコナダ体部着ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ(外)ヘラケズリ	にぶい黄緑	1~1.5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢IA2
1574	SK1074	土師器	鉢	10.2			(内)ナダハケの痕跡密着のため詳細不明(外)口縁部ヨコナダ器成形時に粘土を付加した復縁体部上段ナダ体部下位ナダケズリ	内・にぶい黄緑 外・橙	0.5~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩		鉢IIA2
1575	SK1074	土師器	鉢	12.0	5.9		(内)ナダ(外)口縁部~体部上段履しわ(外)ヘラケズリのちヨコナダ体部下位~底部ヘラケズリ	内・にぶい黄緑 外・橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	完形	鉢IIIa1c
1576	SK1074	土師器	鉢	12.1	6.1		(内)ナメハケ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	橙	1~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	ほぼ完形	鉢IIIa1c
1577	SK1074	土師器	鉢	14.7	6.1		(内)エビオサエのちナダ(外)口縁部~体部上段履しわ(外)粗いハケのちナダ体部下位~底部粗いハケ	内・にぶい黄緑 外・橙	1~7mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢IIA2c
1578	SK1074	土師器	鉢	16.3	6.6		(内)ナゲ(7&1.4cm)(5&0.9cm)(外)口縁部ヨコナダ体~底部履しわ(外)ヘラケズリ	にぶい黄緑	1~2mmの石英、1~8mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢IIA2c
1579	SK1074	土師器	鉢	15.3	7.6		(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ下部に嵌り押さえたようナダ(外)口縁部ヨコナダのちナダ体部ナダ中程に工具で押さえた痕跡部ヘラケズリ	にぶい黄緑	0.5~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢IIA1c
1580	SK1074	土師器	鉢	19.9	8.4		(内)口縁部ヘラケズリのちヨコナダ体部ヘラケズリ(1cm)のちハラミガキ(3cm)(外)口縁部ヨコナダ底部ヘラケズリ(1cm)	にぶい黄緑	0.5~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒を含む	完形、口縁部1条の縦凹線、外面炭化物付着	鉢III3c
1581	SK1074	土師器	鉢	22.6	8.5	3.7	(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部ハラミガキ(10~5mm)(外)口縁部ヨコナダ体部履しわ(外)ヘラケズリ	橙	0.5~6mmの石英、1~7mmの結晶片岩、赤色炭粒	完形	鉢IE3a
1582	SK1074	土師器	鉢	26.5			(内)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部ナメハケ(7&cm)(外)口縁部ヨコナダ体部タタキ?のちナダ	内・にぶい黄緑 外・にぶい黄緑	0.5~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	鉢IE4
1583	SK1074	土師器	鉢	17.3			(内)ナメハケ(6&cm)(外)口縁部ナメハケのちヨコナダ体部履しわ(外)ナメハケ上縁のちナダ?	にぶい黄緑	0.5~1mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢II B1
1584	SK1074	土師器	鉢	14.0	11.0		(内)口縁部ナメハケ体部ナメハケ底部厚く積状工芸による押さえた(外)口縁部ヨコナダ体部履しわ(外)ナダ?底部ヘラケズリ全体に磨耗痕跡?詳細不明	橙	1~4mmの石英、0.5~7mmの結晶片岩、赤色炭粒、金雲母		鉢IIA1c
1585	SK1074	土師器	有孔鉢	18.2	9.5		(内)口縁部~体部下段ナメハケ(4~5本/cm)接合痕付近にエビオサエ 底部エビオサエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ口縁部履しわ(外)エビオサエのちナダ体部ヘラケズリ底部エビオサエのちナダ	にぶい黄緑	結晶片岩、石英、長石、砂粒	完形	鉢IIA1c
1586	SK1074	土師器	有孔鉢	21.8	13.2		(内)口縁部ハケ(7本/cm)のちナダ体部ヘラケズリ(履1.5cm)のちナダ(外)口縁部ヨコハケ(5&cm)体部ナメハケ(7本/cm)のちナダ/履しわ	内・橙 外・にぶい黄緑	0.5~12mm大の結晶片岩	完形	鉢IA9c
1587	SK1074	土師器	広口壺	17.8			(内)ヨコハケのちヨコナダ(外)ヨコナダ	浅黄緑	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1588	SK1074	土師器	広口壺	16.4			(内)口縁部ヨコハケ器部成形時の指痕部エビオサエ/ヘラケズリのちハケ密着痕跡しく詳細不明(外)ナメハケ(5&cm)	内・にぶい黄緑 外・にぶい黄緑	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺IB
1589	SK1074	土師器	広口壺	17.8			(内)口縁部ヨコナダ?器部ナメハケのちナダ?磨耗痕跡しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ器部ナメハケ	内・明黄緑 外・橙	0.5~3mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	口縁部3条の縦凹線	壺IB
1590	SK1074	土師器	広口壺	16.6			(内)口縁部ヨコハケ(8&1.8cm)器部成形時の指痕器部ナダ体部エビオサエのちナダ(外)口縁部~器部ナメハケ(8&1.8cm)体部タタキのちナメハケ(9&cm)	にぶい黄緑	0.5~2.5mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺IB

第79表 出土遺物観察表 (68)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1591	SK1074	土師器	広口壺	22.4			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(12条/cm)のち一部敷ナデ	にぶい藍	0.5~1mmの石英、0.5~1mmの結晶片屑、赤色塵粒	口縁端部3条の頸凹線	変Ha1
1592	SK1074	土師器	広口壺	13.9			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ? 腰部整形時の指痕体部上端ヨコナデ? 磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナデ体部上端ナメハケ	内・ぶい黄藍 外・黄	0.5~5mmの石英、1~2mmの結晶片屑		変Hb
1593	SK1074	土師器	壺	12.9			(内)口縁部ヨコハケ(5条/0.6cm)のちヨコナデ体部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部坂ナデ	内・黄 外・ぶい藍	1~5.5mmの石英、1mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AKf
1594	SK1074	土師器	壺	11.7			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部上段ユビオサエのちヨコハケ(9条/cm)体部下段ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(9条/cm)	内・黄藍 外・ぶい黄藍	0.5~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AHVb
1595	SK1074	土師器	壺	17.0			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ? 磨耗激しく詳細不明	黄	1~7mmの石英、0.5~1mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEb
1596	SK1074	土師器	壺	14.8			(内)口縁部ヨコナデ体部工具・ユビによるオサエ/ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ハケ(10条/1.3cm)(6条/cm)	にぶい黄藍	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片屑、赤色塵粒	口縁端部1条の頸凹線	変AEb
1597	SK1074	土師器	壺	15.7			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(8条/cm)	にぶい藍	0.5~7mmの石英、1~4mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1598	SK1074	土師器	壺	13.1			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ(8条/cm)体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(5条/cm)	にぶい藍	1~4mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1599	SK1074	土師器	壺	13.2			(内)口縁部ユビオサエのちナメハケ(4条/cm)体部ユビオサエのちナデ(外)口縁部ナメハケのちヨコナデ体部ナメハケ(6条/cm)	内・ぶい黄藍 外・ぶい黄藍	1~3mmの石英、1~4mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1600	SK1074	土師器	壺	13.7			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(11条/cm)	にぶい藍	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1601	SK1074	土師器	壺	14.6			(内)口縁部ヨコハケ(15条/cm)体部上端ナメハケのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(9条/cm)	黄	1~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1602	SK1074	土師器	壺	16.5			(内)口縁部ヨコハケ(8条/cm)体部ユビオサエ(外)口縁部ユビオサエのちヨコナデ体部タテハケ(9条/cm)	内・黄藍 外・ぶい黄藍	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片屑		変AEh
1603	SK1074	土師器	壺	11.0			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(6条/cm)	にぶい黄藍	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1604	SK1074	土師器	壺	13.8			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ	にぶい黄藍	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片屑		変AEh
1605	SK1074	土師器	壺	14.4			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(8条/cm)	内・ぶい黄藍 外・黄	1~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片屑		変AEh
1606	SK1074	土師器	壺	14.3			(内)口縁部ヨコハケ? 磨耗激しく詳細不明体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(7条/cm)	内・ぶい黄藍 外・黄	1~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1607	SK1074	土師器	壺	13.1			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ/指ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(7条/cm)	にぶい藍	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1608	SK1074	土師器	壺	14.2			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケのちヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(8条/cm)	にぶい藍	1~3mmの石英、1~1.5mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1609	SK1074	土師器	壺	16.3			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケのちヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ナメハケ口縁部ヨコハケ体部ナメハケ(6条/0.8cm)	内・黄藍 外・ぶい黄藍	0.5~1.5mmの石英、0.5~7mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1610	SK1074	土師器	壺	17.5			(内)口縁部ヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(8条/cm)	黄	0.5~3mmの石英、0.5~2mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh
1611	SK1074	土師器	壺	16.9			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(7条/cm)	内・黄藍 外・明黄	1~1.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片屑、赤色塵粒		変AEh

第80表 出土遺物観覧表(69)

番号	遺 集	分 類	器種名	口径	器高	底径	注 法・特 徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
1612	SK1074	土師器	甕	13.2			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8&cm)	内・にぶい 外・橙	1~2.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEh
1613	SK1074	土師器	甕	13.5			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(7&cm)	内・橙 外・にぶい	1~5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEh
1614	SK1074	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8&cm)	にぶい黄橙	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEh
1615	SK1074	土師器	甕	13.6			(内)口縁部ヨコハケ?胎土致しく詳細不明体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(7&cm)	内・橙 外・にぶい黄橙	1~4mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEf
1616	SK1074	土師器	甕	12.7			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(5&cm)	内・にぶい 外・にぶい黄橙	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEe
1617	SK1074	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(7&cm)	橙	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEc
1618	SK1074	土師器	甕	15.5			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部上ユビオサエ体部下ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部上ナメハケ(10&cm)体部下ナメハケ胎土致しく詳細不明	内・にぶい 外・黒褐	0.5~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	体部外面、内面下位炭化物付着顕著	甕AEIIh
1619	SK1074	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコナダ?体部上ユビオサエ?体部下ヘラケズリ?(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(5&cm)全体に胎土致しく詳細不明	橙	1~9mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部鋭い1条の縦凹線	甕AEIIb
1620	SK1074	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナダ体部上ユビオサエ体部下ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ全体に胎土致しく詳細不明	橙	0.5~10mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部鋭い2条の縦凹線、体部外面下位炭化物付着	甕AEIIb
1621	SK1074	土師器	甕		4.5		(内)体部上ユビオサエ体部下ヘラケズリ底部ユビオサエ(工具?)(外)体部タナハケ(5&cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ	内・橙 外・にぶい	1~2mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	体部外面下位炭化物付着顕著	甕AEII①
1622	SK1074	土師器	甕	12.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ/ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(8&cm)	にぶい橙	1~3mmの石英、0.5~7mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部4条程度の縦凹線	甕AEIb
1623	SK1074	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコナダ体部上ユビオサエ体部下ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部上ナメハケ(8&cm)体部下ナメハケ	橙	1~10mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	甕AEIb
1624	SK1074	土師器	甕	16.0	27.4	4.0	(内)口縁部ヨコナダ体部上ユビオサエのち中ナダ体部下ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部上ナメハケ(8~9&cm)体部の中位不定方向ハケ胎土致しくユビオサエのち致しく底ナダ体部ハケ(10&cm/1.5cm)	内・灰青 外・にぶい 外・にぶい赤橙	0.5~3mmの結晶片岩、灰石、石英、砂粒	口縁部部2条の縦凹線、体部外面下位炭化物付着	甕AEIIb ⑤
1625	SK1074	土師器	甕	15.0	24.3	3.6	(内)口縁部ヨコナダ体部上部ユビオサエ体部下ヘラケズリ底部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(7&cm)9条/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ	内・にぶい 外・黄橙	1~6mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	甕AEIIIb ②
1626	SK1074	土師器	甕	13.3			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ/指ナ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(7条/cm)	にぶい橙	1~1.5mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	甕AeB
1627	SK1074	土師器	甕	15.2			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部胎土致しく不明(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(8&cm)	内・にぶい 外・橙	1~4mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	甕AEh
1628	SK1074	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部胎土致しく不明(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(8&cm)	内・にぶい 外・橙	0.5~8mmの石英、1~8mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	甕AEIh
1629	SK1074	土師器	甕	11.6			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8&cm)/タナハケ(5&cm)	橙	0.5~1mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	甕AEc
1630	SK1074	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部上ユビオサエのちナダ体部下ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(5~6条/cm)	内・褐灰 外・にぶい	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部部2条の縦凹線	甕AEh

第81表 出土遺物観察表 (70)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1631	SK1074	土師器	甕	15.1			(内)口縁部ヨコハケ端部成形時の指痕あり 体部上位エビオサエ体部下位ハラケズリ (外)口縁部ヨコナデ一筋工具痕体部タテハケのちナメハケ(8‰/cm)	にぶい橙	2~5mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部弱い2条の縦凹線	変AEh
1632	SK1074	土師器	甕	16.3			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ/指ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(9‰/0.7cm)	にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1633	SK1074	土師器	甕	15.7			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部エビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部上端ハケ(8‰/cm)体部ハケのちナデ	内・橙 外・にぶい橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1634	SK1074	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ナメハケのちヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部上位タテハケ(7‰/1.2cm)体部中位ナメハケ磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1635	SK1074	土師器	甕	13.8			(内)口縁部ヨコナデ体部上位エビオサエ体部下位ハラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(6‰/cm)	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1636	SK1074	土師器	甕	14.6			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部エビオサエのち板ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(5‰/0.8cm)	にぶい橙	1~5mmの石英、1~2.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1637	SK1074	土師器	甕	15.3			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ磨耗激しく詳細不明	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1mmの石英、1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1638	SK1074	土師器	甕	14.5			(内)口縁部ヨコナデ体部上位エビオサエのちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケのち板ナデ?	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1639	SK1074	土師器	甕	13.8			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部板ナデ?	内・橙 外・にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1640	SK1074	土師器	甕	14.4			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ磨耗激しく詳細不明	内・橙 外・にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部弱い2条の縦凹線	変AEb
1641	SK1074	土師器	甕	14.7			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(11‰/cm)	にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1642	SK1074	土師器	甕	16.0			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ磨耗激しく詳細不明(外)磨耗激しく不明	橙	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部1条の縦凹線	変AEb
1643	SK1074	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケのちナメハケ(7‰/cm)	橙	1~10mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1644	SK1074	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部上位エビオサエ/指ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ	にぶい橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1645	SK1074	土師器	甕	17.1			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(10‰/cm)	橙	1mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1646	SK1074	土師器	甕	17.5			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(5‰/0.8cm)	にぶい黄橙	1~4.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1647	SK1074	土師器	甕	14.3			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ金体に磨耗激しく詳細不明	橙	0.5~4mmの石英、0.5~7mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1648	SK1074	土師器	甕	13.2			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(7‰/cm)	橙	0.5mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1649	SK1074	土師器	甕	13.7			(内)口縁部ヨコハケ(8‰/cm)のちヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(7~8‰/cm)	内・にぶい橙 外・橙	0.5~2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1650	SK1074	土師器	甕	18.7			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ハケ磨耗激しく詳細不明	橙	1~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
1651	SK1074	土師器	底部		3.8		(内)体部磨耗激しく不明底部エビオサエ(外)体部ナメハケ底部顔面ヨコナデ? 底部ナデ? 磨耗激しく詳細不明	橙	0.5~1mmの石英、結晶片岩		A②
1652	SK1074	土師器	底部		3.2		(内)体部ハラケズリ底部エビオサエ(外)体部タテハケ底部磨耗激しく詳細不明	にぶい黄橙	1~3mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②

第82表 出土遺物観察表(71)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1653	SK1074	土師器	底部			3.5	(内)ヘラズリ底部に粘土を足した灰(外)体部タテハケ(5g/cm)底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ(5g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩	外面炭化物付着	A①
1654	SK1074	土師器	底部			3.8	(内)ユビオサエのちヘラズリ(外)体部タテハケ底部側面ヨコナダ底部ハケ磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1~4mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩	内外面炭化物付着	A①
1655	SK1074	土師器	底部			4.6	(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	内外面炭化物付着	A①
1656	SK1074	土師器	底部			4.1	(内)ユビオサエのちヘラズリ(外)体部タテハケ底部側面ヨコナダ底部ハケ磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1~4mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	外面炭化物付着	A②
1657	SK1074	土師器	底部			3.5	(内)ユビオサエ/ヘラズリ(外)体部タテハケ(4g/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒	外面炭化物付着	A①
1658	SK1074	土師器	底部			4.3	(内)ユビオサエ/ヘラズリ(外)体部タテハケ(8g/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~6mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	外面炭化物付着	A①
1659	SK1074	土師器	底部			4.2	(内)ユビオサエ(爪痕あり)/ヘラズリ(外)体部タテハケ(7g/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(6g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒、金雲母		A②
1660	SK1074	土師器	裏			3.9	(内)体部中位ユビオサエ体部下位ヘラズリ(外)体部タテハケ(5g/cm)底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ(5g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		裏A/B②
1661	SK1074	土師器	底部			4.4	(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ?磨耗激しく詳細不明底部磨耗激しく不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1662	SK1074	土師器	底部			3.6	(内)ユビオサエのちナダ底部に粘土を足した(外)体部タテハケのちヨコナダ底部側面ヨコナダ底部ハケ(10g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~1.5mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	内外面炭化物付着	A②
1663	SK1074	土師器	底部			3.8	(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ(10g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~1.5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	内外面炭化物付着	A②
1664	SK1074	土師器	底部			3.5	(内)体部ヘラズリ底部ユビオサエ(外)体部タテハケ(8g/0.6cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(11g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~1mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒		A②
1665	SK1074	土師器	底部			4.4	(内)ユビオサエ/ヘラズリ(外)体部タテハケ体部下端~底部側面ヨコナダ底部ナダ?磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1~7.5mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩	内外面炭化物付着	A②
1666	SK1074	土師器	底部			3.8	(内)体部ヘラズリ底部ユビオサエ(外)体部タテハケ(6g/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(6g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~3mmの石英、1~3mmの結晶片岩	外面炭化物付着	A②
1667	SK1074	土師器	底部			3.1	(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ(9g/cm)底部側面タテハケのちヨコナダ底部ハケ?磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1668	SK1074	土師器	底部			3.8	(内)ヘラズリ/ユビオサエ(工具?)(外)体部タテハケ底部側面ヨコナダ底部ハケ(6g/cm)	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1~4mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1669	SK1074	土師器	底部			4.1	(内)ユビオサエ/指ナダ(外)磨耗激しく不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~3mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1670	SK1074	土師器	底部			3.7	(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ?底部側面ヨコナダ?底部ハケ磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	1~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	内外面炭化物付着	A②
1671	SK1074	土師器	底部			4.6	(内)体部ヘラズリ底部ユビオサエ(外)体部タテハケ?のちヨコナダ?底部側面ヨコナダ底部ハケ磨耗激しく詳細不明	内・ぶい 外・ぶい 黄緑	0.5~3mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩		A②

第83表 出土遺物観察表 (72)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1672	SK1074	土師器	底部			4.3	(内)ヘラケズリ/エビオサエ(工具?)(外)体部タテハケ底部側面ヨコナデ底部ハケ磨耗強く詳細不明	内・にぶい 外・粗	1mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	外面炭化物付着	A②
1673	SK1074	土師器	底部			3.5	(内)ヘラケズリ/エビオサエ(外)体部タテハケ底部側面ヨコナデ?底部ナメ?磨耗強く詳細不明	内・灰質 外・にぶい 黄緑	0.5~5mmの石英、0.5~6mmの結晶片岩、赤色炭粒		A②
1674	SK1074	土師器	底部			4.4	(内)ヘラケズリ/エビオサエ(工具?)(外)体部タテハケ底部側面ヨコナデハケのちヨコナデ底部ハケ(5条/cm)	にぶい 黄緑	1.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩	外面炭化物付着	A②
1675	SK1074	土師器	底部			4.5	(内)エビオサエ/ヘラケズリ(外)体部タテハケ?磨耗強く詳細不明底部ハケ(5条/cm)	内・粗 外・明赤 黒	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	外面炭化物付着	A②
1676	SK1077	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのち板ナメ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ磨耗強く詳細不明	内・にぶい 外・にぶい 粗	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		甕 AEb
1677	SK1078	石器	礮石	8.3	0.9	1.3			輝緑岩		
1678	SK1078	石器	叩石	13.4	2.9	4.4			輝緑岩		
1679	SK1078	石器	叩石	14.4	2.4	5.0			片岩		
1680	SK1079	土師器	台杯鉢				(内)ヘラケズリ?(外)ヘラケズリ?全体に磨耗強く詳細不明	粗	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、黒色の炭粒、赤色炭粒		
1681	SK1079	土師器	鉢	9.1			(内)ナメ?磨耗強く詳細不明(外)口縁部ナメハケ(7条/cm)体部上段タテハケ体部下段タテハケのちタテハケ?磨耗強く詳細不明	内・暗緑 灰 外・にぶい 粗	0.5~2.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢Ⅱ G1
1682	SK1079	土師器	壺	16.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい 黄緑	1mmの石英、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	壺 AEb
1683	SK1079	土師器	甕	15.1			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのちナメ(外)口縁部ヨコナデ体部磨耗強く不明	にぶい 粗	0.5~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		甕 AEb
1684	SK1079	土師器	壺	14.0			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのちナメ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(15条/cm)	粗	0.5~2mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	壺 AEb
1685	SK1079	土師器	甕	13.1			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ?全体に磨耗強く詳細不明	粗	0.5~6mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	体部外面炭化物付着	甕 AEb
1686	SK1079	土師器	底部			3.5	(内)ヘラケズリ?磨耗強く詳細不明(外)底部側面ヨコナデ底部ハケ(6条/cm)	内・黄灰 外・にぶい 粗	1~6mmの石英、結晶片岩		A①
1687	SK1079	土師器	底部			3.0	(内)ヘラケズリ?磨耗強く詳細不明(外)体部タテハケ?底部磨耗強く不明	内・粗 外・にぶい 粗	1~5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	外面炭化物付着	A②
1688	SK2034	土師器	甕	14.1			(内)ヨコハケ?のちヨコナデ(外)ヨコナデ	内・粗 外・明赤	2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	
1689	SK2034	土師器	底部			5.5	(内)磨耗強く不明(外)底部側面ヨコナデ底部磨耗強く不明	内・暗灰 外・にぶい 黄緑	0.5~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		A①
1690	SK2030	土師器	高杯	22.2			(内)ヨコナデ?磨耗強く詳細不明(外)口縁部上端ヨコナデ口縁部ヨコナデのち3mm幅のタテハラミガキ	内・明赤 外・粗	2.0mmの結晶片岩		
1691	SK2030	土師器	高杯	20.4			(内)口縁部上端ヨコナデ口縁部ヨコハケ(10条/cm)(外)口縁部上端ヨコナデ口縁部ナメハケ(8条/cm)	内・にぶい 外・粗	0.5~3mmの石英、結晶片岩、砂粒		
1692	SK2030	土師器	高杯				(内)ヨコナデ/ハケのち3mm幅のタテハラミガキ(外)杯部上半ナメハケ(11条/cm)杯部下半磨耗強く不明	内・粗 外・にぶい 粗	2.0mmの結晶片岩、5.0mmの石英、赤色炭粒		
1693	SK2030	土師器	鉢	10.8			(内)口縁部上端強いヨコナデ体部ナメハケ(9条/cm)のち2mm幅のタテハラミガキ(外)口縁部強いヨコナデ体部ヘラケズリ	赤褐色	結晶片岩、赤色炭粒		鉢Ⅱ A1
1694	SK2030	土師器	鉢	14.4			(内)ナメハケ(外)履しお瓦/ナメ?磨耗強く詳細不明	にぶい 粗	結晶片岩、1.0mm砂粒		鉢Ⅱ A1

第84表 出土遺物観察表(73)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1665	SK2030	土師器	広口壺	18.6			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコナデのちナメハケ(9条/cm)(外)口縁部ヨコナデ口縁部下位～頸部ヨコナデのちナメハケ(9条/cm)	内・明赤 外・明褐	0.5～0.6mmの石英、0.5mmの結晶片岩	口縁部1条の縦凹線	表Ha2
1666	SK2030	弥生土器	広口壺				(内)磨粒激しく不明(外)頸部ナメハケ磨粒激しく詳細不明	内・暗灰 外・浅黄	結晶片岩、多量の1.0～2.0mmの石英	頸部刻目突帯文	
1697	SK2030	土師器	底部			4.2	(内)ナデ(外)ヘラミガキ(幅3mm)	内・白 外・白	結晶片岩、多量の1.0～3.0mmの石英		A①
1698	SK2030	土師器	底部			7.0	(内)ナデ(外)ナデ	内・灰白 外・白	結晶片岩、多量の2mm砂粒		A②
1699	SK2030	土師器	底部			8.7	(内)ナデ(外)不明	内・白 外・白	結晶片岩、多量の2mmの砂粒		A③
1700	SK2030	石器	石包丁	11.7	6.7	1.1			片岩		
1701	SK2031	土師器	高杯	17.8			(内)ナデ?磨粒のため詳細不明(外)ナメハケ(7条/cm)	内・白 外・白	結晶片岩、多量の石英、赤色炭粒		
1702	SK2031	土師器	高杯				(内)脚部上位はり蓋/ヘラケズリ下位ヨコハケ(8条/cm)(外)脚部上位ヨコナデ下位幅3mmのヘラミガキ	内・白 外・白	0.2～4.0mmの結晶片岩、石英、雲母	透かし穴4	
1703	SK2031	土師器	高杯				(内)脚柱部タテヘラケズリ充填粘土土壌ユビオサエ(外)タテハケ(15条/5mm)	内・白 外・白	結晶片岩、雲母		
1704	SK2031	土師器	器台			12.0	(内)脚部上位ヘラケズリ接合部ユビオサエ中位一部ヨコ板ナデ脚部下位ナメハケ(15条/cm)下通ヨコナデ(外)脚部タテハケのち3mm幅のヘラミガキ下通ヨコナデ	内・白 外・白	0.3～0.5mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒	透かし穴4 頸部1条の縦凹線	
1705	SK2031	土師器	ミニチュア鉢	3.7	1.7	1.0	(内)ナデ(外)ナデ	内・白 外・白	1.0～3.0mmの結晶片岩、石英、雲母		鉢IV A 2
1706	SK2031	土師器	広口壺	19.0			(内)ヨコナデのちナメハケ(8条/cm)(外)ヨコナデ	内・白 外・白	0.5～2.0mmの結晶片岩、石英、雲母、赤色炭粒		表Ha1
1707	SK2031	土師器	広口壺	19.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ全体に磨粒激しく詳細不明	内・白 外・白	0.5～4.0mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		表Ha1
1708	SK2031	土師器	広口壺	20.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ/ナメハケ	内・白 外・白	0.5～5.0mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒	口縁部1条の縦凹線	表Ha1
1709	SK2031	土師器	広口壺	20.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・白 外・白	2.0mmの結晶片岩、1mmの石英	口縁部2条の縦凹線	表Ha1
1710	SK2031	土師器	二重口縁壺	23.6			(内)ナメハケのちヨコハケ(5条/1.2cm)(外)口縁部上端ナメハケのちヨコナデ口縁部下端ナメハケ	内・白 外・白	1.0～2.0mmの石英、2.0mmの結晶片岩		
1711	SK2031	土師器	二重口縁壺	15.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・白 外・白	0.5～3.8mmの石英、1.0～4.0mmの結晶片岩、雲母、赤色炭粒		表Nb
1712	SK2031	土師器	甕	17.5			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・白 外・白	0.5～2.0mmの結晶片岩、石英、雲母、赤色炭粒	口縁部内側1条の縦凹線	表AEd
1713	SK2031	土師器	甕	17.4			(内)口縁部～体部上端ヨコナデ体部ユビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(13条/cm)	内・白 外・白	0.5～4.0mmの石英、雲母		表AEb
1714	SK2031	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエのちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(10条/cm)	内・白 外・白	2mmの結晶片岩、1～1.5mmの石英		表AEb
1715	SK2031	土師器	甕	12.0			(内)口縁部ヨコナデ体部上端ユビオサエのち上端ヨコナデ下位ヘラケズリ(外)口縁部～体部上端ヨコナデ体部ナメハケ(10条/cm)	内・白 外・白	0.5～2.5mmの結晶片岩、石英、雲母	ほぼ完形	表AE V b⑤
1716	SK2031	土師器	甕	14.5			(内)口縁部ヨコナデ体部ナデ? (外)口縁部ヨコナデ体部ナデ?全体に磨粒激しく詳細不明	内・白 外・白	2.0mmの結晶片岩、雲母、赤色炭粒		表AEh

第85表 出土遺物観察表 (74)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	注・特徴	色調	胎土	備考	分類
1717	SK2001	土師器	甕	9.4			(内)口縁部ナナメハケ体部ナデ(外)口縁部ヨコナテ体部ナメハケ(5条/3cm)全体に磨耗激しく詳細不明	内・橙外・ぶい	0.5~1.0mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒		要AEh
1718	SK2001	土師器	甕	10.2			(内)口縁部ヨコハケ/ナデ体部ユビオサエ/板ナデ(外)口縁部工具痕?のちヨコナテ体部ナメハケ(9条/cm)	内・洗黄外・橙	0.5~5.5mmの結晶片岩、石英、長石、雲母		要AEh
1719	SK2001	土師器	甕				(内)体部上位ユビオサエ下位ヘラケズリ(外)体部ナメハケ(12条/cm)	内・ぶい外・橙	0.5~6.0mmの結晶片岩、石英、顔雲母		要AEV
1720	SK2001	土師器	甕	15.2	23.8		(内)口縁部ヨコナテ体部上位ユビオサエ中下位ヘラケズリ底面ユビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナテ体部タテハケ(13条/cm)	にぶい	結晶片岩、4.0~10.0mmの砂粒	完形 体部外面、内面下位炭化物付着	要AEVb ⑤
1721	SK2001	土師器	甕				(内)体部上位ユビオサエ体部中位ヘラケズリのハケ(8条/cm)(外)タテハケ(8条/cm)	内・橙外・ぶい	0.5~14mmの石英、結晶片岩、砂粒		要AE
1722	SK2001	土師器	甕				(内)体部上位ユビオサエのちナデ下位ヘラケズリ(外)ナメハケ(10条/cm)	内・ぶい外・橙	0.2~0.5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	体部外面下位炭化物付着	要AE
1723	SK2002	土師器	高杯				(内)ナデ(外)ヨコハケのちタテハケ(9条/cm)	内・明黄外・橙	0.2~1.0mmの結晶片岩、石英		
1724	SK2002	土師器	甕	18.5			(内)口縁部~体部上端ヨコナテ体部上位ユビオサエ(外)口縁部ヨコハケ体部上位ナメハケ(10条/cm)	橙	0.5~2.0mmの結晶片岩、石英、顔雲母、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	要AEb
1725	SK2002	土師器	甕	16.6			(内)口縁部~体部上端ヨコナテ体部上位ユビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部上位タテハケ	内・明黄外・ぶい	0.5~2.0mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	要AEb
1726	SK2002	土師器	広口甕	20.6			(内)口縁部ヨコナテ頂部ナメハケ体部上位ユビオサエのちナデ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部~体部上端ヨコナテ体部ナメハケ(13条/cm)	灰青黄	0.2~3.5mmの結晶片岩、石英、砂粒	口縁部1条の縦凹線	要Hk
1727	SK2003	縄文土器	浅鉢	31.0			(内)ヨコハラミガキ(5mm幅)、中位ナデ(外)ヨコハラミガキ(5mm幅)	黒褐色	1~3mmの石英を含む		
1728	SK2003	縄文土器	深鉢	18.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナテ	にぶい	0.5~4.0mmの結晶片岩、石英、多量の砂粒	口縁部外面斜目突帯文	
1729	SK2003	土師器	高杯	19.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナテのちタテハケ(10条/cm)	内・ぶい外・橙	0.2~1.0mmの石英、結晶片岩		
1730	SK2003	土師器	高杯	20.1			(内)ナメハケのちヨコナデ(外)ナメハケ(5条/0.5cm)のちヨコナテ	内・明赤外・橙	結晶片岩		
1731	SK2003	土師器	高杯	22.6			(内)杯部ナメハケ(12条/cm)のち口縁部上位ヨコナテのち杯部幅1.5mmのタテハラミガキ(外)ナメハケ(13条/cm)のち口縁部上位ヨコナテ	内・暗黄外・黄	結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1条の縦凹線	
1732	SK2003	土師器	高杯	17.8			(内)口縁部上位ヨコナテ杯部幅2.5mmのタテハラミガキ(外)口縁部ナメハケのちナデ磨耗激しく詳細不明	内・明黄外・橙	0.2~2.0mmの石英、結晶片岩、砂粒		
1733	SK2003	土師器	高杯	17.4			(内)ヨコナテ? (外)ヨコナテのちタテハラミガキ幅部ナメハケ(8条/cm)	橙	0.2~0.5mmの結晶片岩、石英		
1734	SK2003	土師器	高杯	23.5			(内)ナデ? (外)ナメハケ(12条/cm)全体に磨耗のため詳細不明	橙	0.5~4.0mmの結晶片岩、石英、赤色炭粒		
1735	SK2003	土師器	高杯	19.1			(内)ナデ? (外)ナメハケ(12条/cm)全体に磨耗のため詳細不明	橙	1.0~5.5mmの石英、結晶片岩、砂粒		
1736	SK2003	土師器	高杯	20.0			(内)ナメハケのち屈曲部上方ヨコハケ(4条/0.5mm)(外)タテハケ(7条/cm)全体に磨耗激しく詳細不明	橙	1.0~3.0mmの結晶片岩、石英		
1737	SK2003	土師器	高杯				(内)接合部ユビオサエ管部ヨコナテ(外)頸部上位ヨコハケ(8条/cm)頸部下位ナメハケのちナデ	内・ぶい外・ぶい外・黄	0.2~7mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		
1738	SK2003	土師器	高杯		9.2		(内)脚柱部ナデ裾部ヨコハケ(11条/cm)(外)ナデ磨耗激しく詳細不明	内・橙外・ぶい	0.5~1.0mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、砂粒		

第86表 出土遺物観察表 (75)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1739	SK2033	土師器	高杯			15.0	(内)ナメハケのちナダ(外)裾部ナメハケ(12条/cm)	橙	1.0~3.5mmの結晶片岩、石英、砂粒	透かし穴	
1740	SK2033	土師器	高杯			17.3	(内)裾部ヘラケズリ裾部下位ヨコナダ(外)裾部ナメハケ(8条/cm)裾部下位ヨコナダ	にぶい橙	0.2~0.9mmの結晶片岩、石英	透かし穴	
1741	SK2033	土師器	器台				(内)脚柱部ナダ?裾部ハケ(6条/5cm)(外)脚柱部ヨコハケ裾部ハケ(5条/5cm)のち1.5mm幅のヘラミガキ	内・橙 外・にぶい黄橙	0.2~6mmの石英、0.2~3mmの結晶片岩	透かし穴	
1742	SK2033	土師器	小型丸底鉢	14.2			(内)ヨコナダのち幅2mmのタテヘラミガキ(外)ヨコナダのち幅2mmのタテヘラミガキ	内・灰褐色 外・にぶい黄	1.0~2.0mmの石英、結晶片岩、砂粒		小B1
1743	SK2033	土師器	小型丸底鉢	15.6			(内)ヨコナダのち幅2mmのタテヘラミガキ(外)ヨコナダのち幅2mmのタテヘラミガキ	内・にぶい黄 外・にぶい橙	結晶片岩		小B2
1744	SK2033	土師器	甕	8.2			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオヤエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(10条/cm)のちヨコナダ	内・にぶい黄橙 外・橙	1.0~4.0mmの石英、結晶片岩、砂粒		変AEVj
1745	SK2033	土師器	鉢	10.7			(内)口縁部ヨコナダ体部板ナダ(外)口縁部~体部上位ヨコナダ体部ヘラケズリのちナダ	内・にぶい赤褐色 外・黒褐色	赤色斑紋		鉢ⅢE4
1746	SK2033	土師器	鉢	9.8			(内)板ナダ(外)板ナダ	内・赤褐色 外・明褐色	結晶片岩		
1747	SK2033	土師器	鉢	9.8	4.3	3.0	(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	橙	0.2~5mmの石英、結晶片岩、赤色斑紋		鉢ⅢA2
1748	SK2033	土師器	鉢	11.3			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナダ体部下位ヘラケズリ	内・にぶい赤褐色 外・灰褐色	結晶片岩		鉢ⅢA2
1749	SK2033	土師器	鉢	14.1			(内)ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部下位ヘラケズリ	内・にぶい橙 外・橙	0.5~2.0mmの石英、結晶片岩、砂粒		鉢ⅡA2
1750	SK2033	土師器	鉢	14.0			(内)ナダ? (外)口縁部~体部上位ナダ体部下位ヘラケズリ全体に磨耗のため詳細不明	内・橙 外・明褐色	結晶片岩		鉢ⅡA2
1751	SK2033	土師器	鉢	19.8			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部上位タタキのちナダ体部下位ヘラケズリ全体に磨耗のため詳細不明	にぶい橙	0.5~2.0mmの石英、結晶片岩、赤色斑紋		鉢ⅡA3
1752	SK2033	土師器	鉢	20.6			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナダ体部ケズリのちナダ	内・にぶい黄 外・にぶい橙	0.5~3.0mmの石英、結晶片岩、赤色斑紋		鉢ⅠA3
1753	SK2033	土師器	鉢	20.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちヘラミガキ(外)体部上位ヨコナダ体部下位ヘラケズリ	内・灰褐色 外・灰褐色	0.5~2mmの石英、赤色斑紋、結晶片岩		鉢ⅠA3
1754	SK2033	土師器	鉢	20.2	7.3		(内)口縁部~体部上位ナメ板ナダのち上層にヨコハケ(10条/1.6cm)体部~底部3mmのタテヘラミガキ(外)口縁部ヨコナダ(4条/2cm)体部上位細かいタタキ体部下位~底部ヘラケズリ	にぶい橙	1~11mmの石英、3~7mmの結晶片岩、雲母、赤色斑紋	完形	鉢ⅠA2c
1755	SK2033	土師器	体部				(内)ハケ(5条/cm)(外)体部上位ナダ体部下位ヘラケズリ	褐色	1.0~3.0mmの石英	内面水銀朱付着	
1756	SK2033	土師器	小型丸底鉢				(内)ハケ(7条/cm)(外)口縁部タテハケ(7条/cm)体部ナダ	内・橙 外・にぶい黄橙	結晶片岩、石英	内面水銀朱付着	
1757	SK2033	土師器	広口壺	14.5			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ裾部タテハケ(5条/cm)/(5条/0.5cm)のちヨコナダ	にぶい橙	結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	変Ⅱa1
1758	SK2033	土師器	広口壺	14.1			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ裾部ナメハケ(10条/cm)	内・橙 外・にぶい橙	0.5mmの石英、結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	変Ⅱh
1759	SK2033	土師器	広口壺	19.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	0.2~3.0mmの石英、0.2~7mmの結晶片岩	口縁部2条の縦凹線	
1760	SK2033	土師器	広口壺	19.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.2~0.3mmの石英、0.2~0.4mmの結晶片岩	口縁部面い2条の縦凹線	

第87表 出土遺物観察表 (76)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1761	SK2033	土師器	広口甕	21.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・靑 外・にぶ い赤褐色	1.0~3.0mmの石英、赤色 炭粒、結晶片岩	口縁部1 2条の縦 凹線	
1762	SK2033	土師器	広口甕	23.8			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ頸部 タハケ(10条/cm)	にぶい靑	0.1~0.4mmの石英、結晶 片岩、赤色炭粒	口縁部1 3条の縦 凹線	要 He
1763	SK2033	土師器	二重口縁 甕	15.6			(内)口縁部~頸部上位ヨコナダ頸部下 位ヨコハケ(外)口縁部~頸部ヨコナダ	内・にぶ い靑 外・にぶ い靑	0.5~5.5mmの石英、結晶 片岩、砂粒		要 Nb
1764	SK2033	土師器	二重口縁 甕	19.0			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ頸部 タハケのちナダ	内・靑 外・にぶ い黄褐色	0.2~2.0mmの石英、0.2~ 4.0mmの結晶片岩、赤色 炭粒	口縁部外 面4条の縦 凹線	要 Nc 2
1765	SK2033	土師器	二重口縁 甕	21.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	靑	0.5~1.0mmの石英、結晶 片岩		
1766	SK2033	土師器	二重口縁 甕	20.1			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ頸部~ 体部ナメハケ(9条/cm)全体に磨耗激し く詳細不明	内・にぶ い靑 外・明赤 褐色	1.0~3.0mmの石英、結晶 片岩		要 Na
1767	SK2033	土師器	広口甕	17.0			(内)口縁部上位ヨコナダ口縁部下位ヨ コハケ(外)ヨコナダ磨耗激しく詳細不明	内・明赤 褐色 外・にぶ い靑	0.5~1.0mmの石英、結晶 片岩、赤色炭粒		要 Hd
1768	SK2033	土師器	広口甕	17.1			(内)ナダ/板ナダ(外)口縁部上位ヨコナ ダ口縁部下位ナメハケ(5条/0.5cm)全体に 磨耗激しく詳細不明	靑	1.0~3.0mmの石英、結晶 片岩		要 Hd
1769	SK2033	土師器	広口甕	16.1			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい靑	結晶片岩		
1770	SK2033	土師器	不明	5.1			(内)ナダ(外)横方向のナダ	内・灰濁 外・にぶ い靑	結晶片岩、1.0mmの砂粒		
1771	SK2033	土師器	ミニチュ ア甕	5.9			(内)口縁部ヨコナダ体部板ナダ(外)口 縁部ヨコナダ体部ナダ	にぶい靑	石英、結晶片岩		
1772	SK2033	土師器	甕	19.5			(内)口縁部ヨコナダ体部ヨコナダ(外)口 縁部ヨコナダ体部ナメハケ(10条/cm)	にぶい赤 褐色	0.5~2.5mmの結晶片岩、 石英、赤色炭粒	口縁部1 2条の縦 凹線	要 AEb
1773	SK2033	土師器	甕	16.0			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい黄 褐色	1.0~4.0mmの結晶片岩、 石英、砂粒		要 AEb
1774	SK2033	土師器	甕	16.0			(内)ヨコナダのちヨコハケ(10条/cm)(外) ヨコナダ	灰濁	4mmの石英、結晶片岩、 赤色炭粒		要 AEb
1775	SK2033	土師器	甕	16.0			(内)口縁部~体部上端ヨコナダ体部ユビ オサエのちナダ(外)口縁部~体部上端ヨ コハケ体部ナメハケ(12条/cm)	にぶい靑	1~3.5mmの石英、結晶 片岩、砂粒	口縁部2 条の縦凹 線	要 AEb
1776	SK2033	土師器	甕	14.6			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ユビオサ エのちナダ体部下位ヘラケズリのちナダ (外)口縁部~体部上端ヨコナダ体部ナ メハケ(9条/cm)	内・明赤 褐色 外・明靑	2.0~3mmの石英、結晶 片岩	口縁部1 2条の縦 凹線、体部 外面下位炭 化物付着	要 AEb
1777	SK2033	土師器	甕	16.2			(内)口縁部~体部上端ヨコナダ体部ユ ビオサエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体 部ナメハケ(10条/cm)	内・灰黄 褐色 外・靑	0.1~0.4mmの石英、結晶 片岩、砂粒	口縁部1 2条の縦凹 線、体部 外面下位炭 化物付着	要 AEn
1778	SK2033	土師器	甕	26.7			(内)口縁部ヨコハケ(5条/cm)体部上位ユ ビオサエのちナダ下位ヘラケズリ磨耗激 しく詳細不明(外)口縁部ユビオサエ/ナ メハケのちナダ体部横位のタナキ(4条/ cm)のちナメナダ(7~12条/cm)	にぶい靑	1~2.5mmの石英、結晶 片岩	体部外面 下位炭化物 付着	要 AEb
1779	SK2033	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ(外) 口縁部ヨコナダ体部タハケ(12条/cm)	内・浅黄 褐色 外・にぶ い靑	0.1~0.4mmの石英、赤色 炭粒、結晶片岩	口縁部1 1条の縦 凹線	要 AEb
1780	SK2033	土師器	甕	13.8			(内)口縁部~体部上端ヨコナダ体部ユ ビオサエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体 部ナメハケ(7~9条/cm)	内・にぶ い黄褐色 外・にぶ い靑	結晶片岩、砂粒	口縁部1 3条の縦 凹線	要 AEb

第88表 出土遺物観察表 (77)

番号	遺 標	分 類	器種名	口径	器高	底径	技 法 ・ 特 徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
1781	SK2033	土師器	甕	14.0	24.4	5.6	(内)口縁部ヨコナダ体部上位ヘラケズリのちエビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部一帯部上端ヨコナダ体部下エビオサエ(12条/cm)底部側面ヨコナダ底部エビオサエのちナダ磨耗致しく詳細不明	内・地外・灰黄緑	1.0~6.0mmの石英、結晶片岩	口縁部底部近い1条の縦凹溝 体部内外面灰化物付着	選AE1b⑤
1782	SK2033	土師器	底部			5.0	(内)エビオサエのちナダ(外)体部一帯部側面ナダ?底部ハケ全体に磨耗致しく詳細不明	にぶい橙	0.5mmの石英、赤色斑粒		A②
1783	SK2033	土師器	底部			5.6	(内)体部一帯部ヘラケズリ(外)体部一帯部側面ナダハケ(12条/cm)底部ナダのちハケ	内・にぶい橙 外・にぶい黄	結晶片岩、赤色斑粒、石英	底部外面灰化物付着	A⑦
1784	SK2033	土師器	底部			2.6	(内)体部ヘラケズリのちナダ底部エビオサエのちナダ(外)体部ナダハケ(11条/cm)底部	内・橙 外・にぶい黄緑	0.5~1.0mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	底部外面灰化物付着	A④
1785	SK2033	石器	石杵	8.0	5.7		先端部摩滅			先端部水銀朱付着	
1786	SK2033	弥生土器	広口壺	15.6	43.9	7.4	(内)口縁部ヨコナダ頸部一帯部上半エビオサエのちナダ体部中位ヘラケズリ体部下位ヘラケズリのちナダ磨滅エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ頸部一帯部上半ナダハケ(8条/cm)体部下半ナダハケ(8条/cm)のち3mmのナダハラミガキ底部ハケ	橙	0.5~5.0mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒、砂粒	口縁部底部2条の縦凹溝 ほぼ定形	
1787	SK1081	土師器	高杯			15.0	(内)頸部上部ヘラケズリ頸部下端ナマハケ(5条/cm)(外)ナマハケ(10条/cm)下端はのちヨコナダ	内・にぶい橙 外・橙	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1788	SK1081	土師器	小型丸底鉢	8.9	6.6		(内)口縁部ハケ体部一帯部ナダ(外)口縁部ナダ口縁部一帯部ナダ	橙	結晶片岩、赤色斑粒、砂粒	定形	小B1
1789	SK1081	土師器	底部			6.2	(内)ヘラケズリ(外)底部側面ヨコナダ底部ハケ(8条/cm)	内・褐色 外・にぶい黄緑	1~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩		A②
1790	SK1081	土師器	鉢	16.7			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ(外)口縁部一帯部上位ヨコナダ体部下位ヘラケズリ	内・にぶい橙 外・橙	0.5~1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢II A2
1791	SK1081	土師器	鉢	17.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちハラミガキ磨耗致しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部磨しわ痕/ナダ?磨耗致しく詳細不明	内・にぶい橙 外・橙	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢II A2
1792	SK1081	土師器	鉢	18.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	にぶい橙	1~1.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢II A3
1793	SK1083	土師器	高杯	9.4			(内)口縁部ヨコナダ?体部ナダ?柱状部磨耗致しく不明(外)磨耗致しく不明	橙	0.5~3mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B2
1794	SK1083	土師器	高杯	10.4			(内)口縁部ヨコハケ?のちヨコナダのちハラミガキ体部ナダのちハラミガキ(外)口縁部ヨコナダ体部ナダ屈曲部付近にハケ	内・灰褐色 外・にぶい橙	0.5~5mmの石英、1~7mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B3
1795	SK1083	土師器	高杯	12.9			(内)ナダ?磨耗致しく詳細不明(外)磨耗致しく不明	橙	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1796	SK1083	土師器	高杯	13.5			(内)ナダ?(外)口縁部ヨコナダ体部上部ナダハケ体部下端ナダハケのちヨコナダ全体に磨耗致しく詳細不明	内・明褐色 外・にぶい橙	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1797	SK1083	土師器	高杯	16.8	14.6	13.2	(内)杯部ヨコハケのち縦2mmのナダハラミガキ筒状部ナダヘラケズリのちナダ頸部ナダ頸部下位ヨコナダ(外)杯部ハケのち縦2mmのハラミガキ体部ハケのちナダ頸部ヨコナダ頸柱部ハラミガキ頸部ハケのちナダ底部下位ヨコナダ	灰黄褐色	1~4mmの石英、2~4mmの結晶片岩	定形 杯部内外面及び頸部内外面水銀朱付着	高B5
1798	SK1083	土師器	高杯				(内)ヘラケズリ(外)ナダ?磨耗致しく詳細不明	にぶい黄緑	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1799	SK1083	土師器	高杯				(内)体部ナダ柱状部しほり痕(外)体部ナダ柱状部ナダハケのちナダ	にぶい橙	0.5~5mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1800	SK1083	土師器	高杯			13.1	(内)ヘラケズリ(外)柱状部ナダ頸部ナダハケ(9条/cm)頸部下端ヨコナダ	内・にぶい黄緑 外・にぶい橙	0.5~10mmの石英、2.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		

第89表 出土遺物観察表 (78)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1801	SK1083	土師器	高杯				(内)しほり痕(外)ナナメハケ?磨耗痕しく詳細不明	橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色塵粒		
1802	SK1083	土師器	高杯				(内)しほり痕/ヘラケズリ(外)ヘラケズリ?のちナナメハケのちナテ	内・橙 外・にぶ い黄橙	0.5~5mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色塵粒		
1803	SK1083	土師器	高杯				(内)体部ナテ状部しほり痕(外)体部ナテ?柱状部ヘラケズリ?のちナテ磨耗痕しく詳細不明	内・黄灰 外・黄橙	0.5~2mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色塵粒		
1804	SK1083	土師器	高杯			13.5	(内)裾部ヘラケズリ裾部下層ヨコナテ(外)頸部板ナテ頸部下層板ナテのちヨコナテ	にぶい黄橙	0.5~5mmの石英、結晶片岩、赤色塵粒		
1805	SK1083	土師器	高杯			11.4	(内)舞柱部 しほり痕舞柱部下位ヘラケズリ裾部ナテ(外)舞柱部ヘラケズリ?のちナテ磨耗ナメハケ(9条/0.8cm)	内・橙 外・にぶ い橙	0.5~10mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色塵粒		
1806	SK1083	土師器	高杯			13.1	(内)ナテ?(外)ヘラミガキ?全体に磨耗痕しく詳細不明	にぶい橙	0.5~8mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色塵粒		
1807	SK1083	土師器	高杯	15.1			(内)ナテのちヘラミガキ(外)ヨコナテ	橙	0.5~1mmの石英、角閃石、黒雲母、赤色塵粒	結晶片岩含まず 澱入土器	高B5
1808	SK1083	土師器	高杯	19.5			(内)ヨコナテ(外)ヨコハケ?のちヨコナテ	内・にぶ い橙 外・淡黄 橙	1~6mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色塵粒		
1809	SK1083	土師器	鉢	19.1			(内)ヨコナテのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナテ体部紐しわ痕/ヘラケズリ	橙	0.5mmの石英、結晶片岩、赤色塵粒		鉢ⅡA3
1810	SK1083	土師器	鉢	17.6			(内)口縁部~体部上部ヨコハケのちヨコナテのちヘラミガキ体部下層ナテのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナテ体部ヘラケズリ	内・黄灰 外・明黄 濁	1~4mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢ⅡA2
1811	SK1083	土師器	鉢	15.8	6.4		(内)ナテ(外)ナナメヘラケズリ(1.5cm)	内・橙 外・にぶ い橙	結晶片岩、石英		鉢ⅡA2c
1812	SK1083	土師器	鉢	11.1	5.0		(内)ナテのちヘラミガキ?磨耗痕しく詳細不明(外)口縁部ヨコナテ体・底部紐しわ痕/ヘラケズリ	内・橙 外・にぶ い黄橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		鉢ⅡA2c
1813	SK1083	土師器	鉢	12.3	4.7		(内)口縁部ヨコナテ体・底部ナテのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナテ体・底部ヘラケズリ	橙	0.5~5mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢ⅡA2c
1814	SK1083	土師器	鉢	10.1	5.7		(外)ヘラケズリ、ナテ(内)ナテ	橙	結晶片岩、石英		鉢ⅡA2c
1815	SK1083	土師器	鉢	17.4			(内)口縁部ヨコナテ?体部板ナテのちヘラミガキ?磨耗痕しく詳細不明(外)口縁部ヨコナテ体部上段紐しわ痕/タキのち板ナテ体部下段ヘラケズリ/縁状圧痕	内・灰白 外・にぶ い橙	1~4mmの石英、長石、1~6mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢ⅡF1
1816	SK1083	土師器	有孔鉢	11.9	10.0		(内)ナテ(外)口縁部ヨコナテ?体・底部紐しわ痕/ヘラケズリ?全体に磨耗痕しく詳細不明	橙	1~5mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色塵粒		鉢ⅡA1c
1817	SK1083	土師器	広口壺	19.1			(内)ヨコナテ(外)口縁部ヨコナテ頸部タテハケのちヨコナテ	内・にぶ い橙/に ぶい黄橙 外・にぶ い黄橙	0.5~8mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色塵粒		壺Hd
1818	SK1083	土師器	壺	12.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナテ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部タテハケ(10条/0.9cm)	内・黄灰 外・にぶ い橙	0.5~7mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、赤色塵粒		壺AEf
1819	SK1083	土師器	壺	17.7			(内)口縁部ヨコナテ体部ナテ(外)口縁部ヨコナテ体部タテハケ(8条/0.8cm)	内・にぶ い橙 外・橙	0.5~1.5mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色塵粒		口縁部2 条の縦凹線
1820	SK1083	土師器	壺	15.0			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナテ体部ナメハケ(12条/0.8cm)	にぶい黄橙	0.5~12mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色塵粒		壺AEb
1821	SK1083	土師器	壺	14.0			(内)口縁部ヨコナテ体部エビオサエのちナテ(外)口縁部ヨコナテ体部ナメハケ(7条/0.8cm)	内・橙 外・にぶ い橙	0.5~4mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色塵粒		壺AEb

第90表 出土遺物観察表(79)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1822	SK1083	土師器	甕	14.1			(内)口縁部ヨコナダ体部上部ニビオサエ体部下部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9~10条/cm)	にぶい橙	0.5~7mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	体部内外面下位炭化物付着	甕 AEb
1823	SK1084	土師器	甕	12.0			(内)口縁部ヨコナダ体部上端ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(7条/cm)	にぶい黄橙	0.5~1mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕 AEb
1824	SK1085	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナダ体部上端ニビオサエ体部下部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(12条/cm)	内・にぶい橙 外・灰黄濁	1~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	体部外面下位炭化物付着	甕 AEb
1825	SK1085	土師器	甕	14.8			(内)口縁部ヨコナダ体部上端ニビオサエ体部下部ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(17条/cm)	にぶい黄橙	0.5~3mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁端部2条の縦凹線 体部外面下位炭化物付着	甕 AEb
1826	SK1086	土師器	高杯	22.6			(内)磨耗激しく不明(外)磨耗激しく不明	にぶい橙	0.5~5mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1827	SK1086	土師器	高杯		17.5		(内)ナダ(外)ナメハケ(8条/cm)肩部下端はちヨコナダ	内・灰黄外・にぶい橙	1mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	肩部部弱い1条の縦凹線	
1828	SK1086	土師器	高杯		22.5		(内)板ナダ? (外)ナダのちヘラミガキ	橙	0.5~3mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	肩部部弱い1条の縦凹線	
1829	SK1086	土師器	鉢	18.6			(内)磨耗激しく不明(外)履しむ板磨耗激しく不明	橙	0.5~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅡA2
1830	SK1086	土師器	鉢	19.6			(内)ナダ?磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部上部ナダ体部下部ヘラケズリ	橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅡA2
1831	SK1086	土師器	鉢	18.2			(内)口縁部ヨコハケ(11条/cm)体部板ナダ(外)口縁部ニビオサエのちヨコナダ体部上部タチのちナダ体部下部ヘラケズリ	内・灰黄外・にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢ⅡB3
1832	SK1086	土師器	広口甕	19.6			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ肩部タチハケ(11条/2cm)	内・橙外・にぶい橙	1~5mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1833	SK1086	土師器	甕	10.2			(内)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ上端はちナダ(外)口縁部ヨコナダ体部上位ナメハケ 上端はちヨコナダ体部下部タチハケ(14条/cm)	にぶい黄橙	1~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕 AKIVa
1834	SK1086	土師器	甕	11.6			(内)口縁部ヨコハケ(12条/cm)体部上端ナダ(外)口縁部ヨコナダ体部磨耗激しく不明	にぶい黄橙	1~2mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕 AEb
1835	SK1086	土師器	甕	13.5			(内)口縁部ヨコナダ体部上端ヨコハケ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	にぶい黄	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁端部弱い3条の縦凹線	甕 AEb
1836	SK1086	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ヨコナダ体部ニビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(6条/cm)	内・灰黄外・にぶい赤濁	0.5~1mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕 AEb
1837	SK1086	土師器	甕	17.2			(内)口縁部ヨコナダ体部上端ニビオサエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	1mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁端部2条の縦凹線	甕 AEb
1838	SK1087	土師器	高杯				(内)体部磨耗激しく不明脚柱部しばり縦部磨耗激しく不明(外)脚柱部工具痕磨耗激しく不明	内・橙外・にぶい橙	0.5~3mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒		
1839	SK1087	土師器	高杯				(内)柱状部ヘラケズリ肩部ヨコハケ(9条/cm)(外)接合部ナメハケ(8条/cm)脚部ナダのちタチヘラミガキ?	橙	2mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒		
1840	SK1087	土師器	高杯		15.5		(内)磨耗激しく不明(外)ナメハケ?磨耗激しく詳細不明	内・にぶい橙 外・橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1841	SK1087	土師器	高杯		17.4		(内)ヨコハケ(6条/cm)下端はちヨコナダ(外)ナメハケ(6条/cm)のちタチヘラミガキ下端はちヨコナダ	にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	透かし穴縦端部弱い数条の縦凹線	

第91表 出土遺物観察表 (80)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1842	SK1087	土師器	ミニチュア鉢				(内)ナデ(外)縦しわ痕/ナデ	にぶい橙	0.5~3mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡF1
1843	SK1087	土師器	鉢	8.6	6.9	3.6	(内)体部上位工具痕/敷ナデ磨耗痕しく詳細不明(外)磨耗痕しく不明	橙	0.5~4mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA1
1844	SK1087	土師器	鉢	15.0			(内)ナデのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部ヘラズリ	内・明黄褐色外・暗灰黄	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA2
1845	SK1087	土師器	鉢	20.3			(内)磨耗痕しく不明(外)口縁部ヨコナデ?体部上部ナデ?体部下部ヘラズリ?磨耗痕しく詳細不明	内・橙外・にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA3
1846	SK1087	土師器	鉢	19.9	5.4		(内)口縁部ヨコナデ体-底部ナメハケ(11条/cm)のちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体底上位縦しわ痕体部下位-底部ヘラズリ全体に磨耗痕しく詳細不明	橙	0.5~7mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	ほぼ完形 口縁部1条の縦凹線	鉢ⅡA3c
1847	SK1087	土師器	鉢	18.0			(内)口縁部ユビオサエのちヨコハケ(7条/cm)体部上位ヨコナデ体部下位ヘラズリ(外)口縁部ヨコハケのちヨコナデ体部縦しわ痕体部上位ナメハケのちヨコナデ体部下位ナメハケ状のケズリ	内・浅黄外・にぶい黄褐色	0.5~6mmの石英、1~7mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡB2
1848	SK1087	土師器	鉢	18.9	8.0		(内)口縁部ヨコナデ?体-底部ナデ?(外)口縁部ヨコナデ体部上位縦しわ痕/ナデ体部下位-底部ヘラズリ全体に磨耗痕しく詳細不明	内・橙外・にぶい橙	1~3mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡB5c
1849	SK1087	土師器	広口壺	15.9			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコハケのちナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部タテハケのちナデ	内・橙外・にぶい橙	0.5~5mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線
1850	SK1087	土師器	広口壺	19.2			(内)ヨコハケ(8条/cm)(外)ヨコナデ	内・灰黄外・にぶい黄褐色	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺ⅡA1
1851	SK1087	土師器	二重口縁壺	22.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙外・にぶい黄褐色	1~8mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺ⅡB
1852	SK1087	土師器	二重口縁壺	20.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5~1.5mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺ⅡB
1853	SK1087	土師器	甕	8.7			(内)体部上位工具痕(外)体部上位ヨコナデ全体に磨耗痕しく詳細不明	橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線 2条の縦凹線
1854	SK1087	土師器	甕	14.4			(内)口縁部ヨコナデ体部磨耗痕しく不明(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ	にぶい黄褐色	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線
1855	SK1087	土師器	甕	14.6			(内)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(6条/cm)	にぶい黄褐色	0.5mmの石英、1~2mmの結晶片岩		口縁部2条の縦凹線
1856	SK1087	土師器	甕	15.8			(内)口縁部ヨコナデ?体部磨耗痕しく不明(外)口縁部ヨコナデ?体部磨耗痕しく不明	橙	0.5~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線
1857	SK1087	土師器	甕	16.3			(内)口縁部ナメハケ(5条/cm)のちヨコナデ体部上端ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ?	内・にぶい黄褐色外・橙	0.5~6.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線
1858	SK1087	土師器	甕	17.2			(内)口縁部ユビオサエのちヨコナデ体部ユビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ?磨耗痕しく詳細不明	にぶい橙	0.5~3.5mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		口縁部2条の縦凹線
1859	SK1087	土師器	底部		3.7		(内)ヘラズリ(外)体部タテハケ底部側面ヨコナデ底部ハケ磨耗痕しく詳細不明	内・橙外・黄灰	0.5~3mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		A③
1860	SK1087	土師器	底部		3.8		(内)ユビオサエ/ヘラズリ(外)体部タテハケ底部側面ヨコナデ底部ハケ磨耗痕しく詳細不明	にぶい橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		A③
1861	SK1087	土師器	底部		4.6		(内)磨耗痕しく不明(外)底部側面ヨコナデ底部ハケ磨耗痕しく詳細不明	内・灰黄外・にぶい橙	0.5~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		A③

第92表 出土遺物観察表(81)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1862	SK1087	土師器	底部			5.0	(内)ヘラクスリ(外)体部ナメハケ(10条/cm)底部側面ヨコナダ底部ハケ(8条/cm)	内・灰黄外・ぶい黄橙	0.5~7mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		A②
1863	SK1087	金属	不明	4.3	2.3						
1864	SK1088	土師器	鉢	10.3			(内)口縁部ナメハケ胴部タテハケ(外)ナダ	内・ぶい橙外・明黄緑	縦溝部、2mmの石英	SD 2020と遺構関係合	鉢ⅢG1
1865	SK2038	土師器	高杯	24.0			(内)口縁部ナメハケのち(6条/cm)ヘラミギキ口縁部上端はのちヨコナダ(外)口縁部タテハケのち(6条/cm)ナメハケ(7条/cm)口縁部上端はのちヨコナダ	内・ぶい橙外・褐	0.5~2mmの赤色炭粒、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1866	SK2038	土師器	高杯	17.4			(内)口縁部上端ヨコナダ口縁部下位ヘラミギキ?磨耗強く詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	橙	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1867	SK2038	土師器	鉢	16.5	5.4		(内)口縁部ヨコナダ体・底部ナダのちタテヘラミギキ(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ底部ヘラクスリ	橙	0.5~8mmの石英、1.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA2c
1868	SK2038	土師器	甕	15.0	24.6		(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部上端ユビオサエのちナダ体部下位ヘラクスリ底部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タテハケ(9~11条/cm)底部ナダ?	にぶい橙	1~2mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	完形 体部内外面 下位炭化物 付着	要AEVb ⑤
1869	SK2038	土師器	土玉	2.1			ナダ	にぶい黄橙	1.5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	径0.28cmの 突刺穴	
1870	SK2039	土師器	高杯	20.5			(内)ヘラミギキ?磨耗強く詳細不明(外)磨耗強く不明	橙	0.5~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1871	SK2039	土師器	高杯				(内)柱状部棒状工具によるキサエ窄部ヘラクスリ?磨耗強く詳細不明(外)磨耗強く不明	橙	0.5~6mmの石英、1.5mmの結晶片岩		
1872	SK2039	土師器	高杯			18.8	磨耗強く不明	橙	0.5~1mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1873	SK2039	土師器	鉢	16.0			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ横/ヘラクスリ	橙	0.5~2mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA3
1874	SK2039	土師器	鉢	16.8			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちヘラミギキ(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ横/ナダ	内・ぶい橙外・にぶい黄橙	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA3
1875	SK2039	土師器	鉢	22.0			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部磨耗強く詳細不明	にぶい橙	0.5~1mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA3
1876	SK2039	土師器	鉢	19.7			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ横/ナダ	橙	0.5~1mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA3
1877	SK2039	土師器	鉢	12.0	4.5		(内)ナダ?磨耗強く詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラクスリ	橙 にぶい橙	0.5~2.5mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	ほぼ完形	鉢ⅢA2c
1878	SK2039	土師器	鉢	14.0			(内)ナダのちヘラミギキ(外)口縁部ヨコナダ体部上端縦しわ横/ヘラクスリのちヨコハケのちナダ?体部下位ヘラクスリ	内・ぶい橙 にぶい黄橙 外・にぶい黄橙	0.5~8mmの石英、0.5~7mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅡA1
1879	SK2039	土師器	広口甕	16.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・橙外・灰黄緑	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1880	SK2039	土師器	甕	12.3			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダ?磨耗強く詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(10条/cm)	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部弱い1条の縦凹線	要AEb
1881	SK2039	土師器	甕	14.8			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(14条/cm)	にぶい黄橙	0.5~1mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	口縁部2条の縦凹線	要AEe
1882	SK2039	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ヨコナダ体部ユビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部磨耗強く不明	にぶい橙	0.5~1mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部外部上位炭化物付着	要AEb

第93表 出土遺物観察表 (82)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1883	SK209	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ヨコナダ体部上位ヨコハケ(7金/cm)体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部底面粗しく不明	にぶい靨	0.5~6mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色炭粒		美AHb
1884	SK209	土師器	甕	13.3			(内)口縁部ヨコナダ体部ヨコハケ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ	靨	1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1余の縦凹線	美AEb
1885	SK209	土師器	甕	12.8			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(18~19金/cm)	内・灰黄靨 外・黒靨	0.5mmの結晶片岩	口縁部1余の縦凹線	美AEb
1886	SK209	土師器	甕	15.0			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部エビオサエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(13金/cm)	靨	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部部留い1余の縦凹線	美AEb
1887	SK209	土師器	甕	15.2			(内)口縁部ヨコナダ体部上半オサエ(外)口縁部ヨコナダ体部上半ハケ	にぶい黄靨	2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1余の縦凹線	美AEb
1888	SK209	土師器	甕	15.5			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(11金/cm)	内・靨 外・にぶい靨	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部部留い1余の縦凹線	美AEb
1889	SK209	土師器	甕	14.5			(内)口縁部ヨコナダ体部上部エビオサエ/指ナダ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(12金/cm)	内・淡黄靨 外・にぶい靨	0.5~4mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部部留い1余の縦凹線、体部内外下位炭化物付着	美AEb
1890	SK209	土師器	甕	14.1			(内)口縁部ヨコナダ体部上部エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部タナハケ(13~15金/cm)	内・にぶい靨 外・靨	1~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部部留い2余の縦凹線、体部外面下位炭化物付着	美AEb
1891	SK209	土師器	体部				(内)ナダ(外)ヘラケズリ	にぶい黄靨	0.5~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒	体部内面水銀朱不付着	
1892	SK209	土師器	ミニチュア有孔鉢	2.8			(内)ナダ(外)ナダ	にぶい黄靨	0.5~1mmの石英、結晶片岩		鉢VA1c
1893	SK209	土師器	ミニチュア鉢	3.4	4.0	1.4	(内)エビオサエ/ナダ(外)口縁部~体部上位ナダ体部下位~底面ヘラケズリのちハケ	靨	1mmの石英、1mmの結晶片岩		鉢VF1c
1894	SK209	金属	刀子	4.3	1.0						
1895	SK2041	土師器	高杯		8.7		(内)柱状部しばり痕層部ハケ?のちヨコナダ? (外)ヘラケズリ?のちナダ?全体に磨耗粗しく詳細不明	明靨灰	1~2mmの石英、1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1896	SK2041	土師器	甕	12.7			(内)口縁部ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ	灰白	1mmの角閃石及び赤色の鉱物を多量に	継入土器	美HK
1897	SK2041	土師器	甕	10.7			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(6金/cm)	内・黄灰靨 外・にぶい黄靨	1~2mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	体部外面炭化物付着	美ABb
1898	SK2041	土師器	甕	13.3			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(8金/cm)	靨	0.5~3mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		美AEb
1899	SK2042	土師器	高杯		13.9		(内)柱状部しばり痕層部上位ヘラケズリ層部下位ヨコナダ(外)柱状部ヨコナダ層部ケリのちナダのちハケ全体に磨耗粗しく詳細不明	靨	1~4mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1900	SK2042	土師器	鉢	8.8	2.8		(内)口縁部~体部エビオサエのちナダ(外)口縁部~体部底面しわ痕/エビオサエのちナダ底面ヘラケズリ	内・にぶい靨 外・にぶい靨	0.5~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢III A3c
1900	SK2042	土師器	鉢	8.8	2.8		(内)口縁部~体部エビオサエのちナダ(外)口縁部~体部底面しわ痕/エビオサエのちナダ底面ヘラケズリ	内・にぶい靨 外・にぶい黄靨	0.5~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢III A3c
1901	SK2042	土師器	有段鉢	25.2			(内)口縁部ヨコハケ体部ヘラケズリのちナダ(外)口縁部ヨコハケ体部上位ハケ(12金/12mm)体部下位タタキ	にぶい靨	結晶片岩、0.5~1mmの砂粒		鉢IH
1902	SK2042	土師器	二重口縁壺	19.9			(内)工具痕/ナダ?磨耗粗しく詳細不明(外)ヨコナダ	にぶい靨	1~2mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Na
1903	SK2042	土師器	甕	10.5			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(13金/cm)	にぶい靨	0.5~4mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		美AEb

第94表 出土遺物観察表 (83)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1904	SK2042	土師器	甕	13.6			(内)口縁部~体部上端ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナナメハケ(9条/cm)	橙	1~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		甕AEB
1905	SK2042	土師器	甕	13.0			(内)口縁部エビオサエハケのちヨコナデ体部上位エビオサエエ/指ナデ体部下位ハラケズリ(外)口縁部エビオサエのちヨコナデ体部ナナメハケ	橙	1~4mmの石英、1~7mmの結晶片岩、赤色斑粒	体部内外面下部炭化物付着	甕AEIV
1906	SK2042	土師器	甕	13.0	21.3		(内)口縁部ヨコナデ体部上位エビオサエ体部上位エビオサエのちハラケズリ底部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナナメハケ底面ハケのち板ナデ	内・にぶい橙 外・明褐色 外・にぶい橙	結晶片岩、赤色斑粒	ほぼ定形体部下部~底部外周炭化物付着	甕AEIVb ⑤
1907	SK2042	石製品	砥石	11.6	4.6	5.3	長側面の3面を使用、一部欠損		流紋岩		
1908	SK2042	石器	石鏃	2.7	0.4	1.8			サメカイト		
1909	SK2044	土師器	高杯	12.9			(内)口縁部ヨコナデ体部ナデ磨粒激しく詳細不明(外)口縁部上端ヨコナデ体部工具痕/ナデのちハラミガキ?磨粒激しく不明	内・浅黄 外・にぶい黄橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B5
1910	SK2044	土師器	高杯	13.7			(内)ハラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部ナデ	橙	0.5~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B5
1911	SK2044	土師器	高杯	17.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5~9mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩		
1912	SK2044	土師器	高杯	15.5			(内)口縁部上端ヨコナデ?口縁部~体部ナデのちナナメハラミガキ杯底部ナデ(外)ナナメハケのち(11条/0.9cm)ヨコナデ	にぶい橙	0.5~6mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B5
1913	SK2044	土師器	高杯	15.3			(内)口縁部ヨコナデのち螺旋状のハラミガキ体部ナデ(外)口縁部~体部ヨコナデのちタテハケ(8条/cm)接合部付近ハラケズリのちヨコナデ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~3mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B5
1914	SK2044	土師器	高杯	17.8			(内)ヨコナデのちハラミガキ(外)ナデ?下部にハケ磨粒激しく詳細不明	橙	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		高B5
1915	SK2044	土師器	高杯				(内)ハラケズリ?(外)脚柱部ナデ?胴部ナナメハケ全体に磨粒激しく詳細不明	内・橙 外・明赤褐	0.5~6mmの石英、結晶片岩		
1916	SK2044	土師器	高杯		11.2		(内)脚柱部しぼり痕胴部ヨコナデ接合部ナデ(外)脚柱部ハラミガキ接合部付近にナナメハケ管部上位ハラミガキのち一部ハケ?管部下位ヨコナデ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	1~2.5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1917	SK2044	土師器	高杯		12.0		(内)ナデ(外)ナナメハケ(11条/cm)	内・にぶい黄橙 外・にぶい橙	0.5~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩		
1918	SK2044	土師器	高杯		13.0		(内)胴部上位ハラケズリ磨粒激しく詳細不明(外)磨粒激しく不明	橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1919	SK2044	土師器	高杯		14.8		(内)胴部上位ハラケズリ管部下位ヨコナデ(外)ナデのちハラミガキ	暗灰黄 にぶい黄橙	0.5~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒	胴部1条の縦目線	
1920	SK2044	土師器	高杯		17.0		(内)ナナメハケ下端はのちヨコナデ(外)タテハケ(10条/cm)	橙	0.5~3mmの石英、1mmの結晶片岩		
1921	SK2044	土師器	高杯		17.2		(内)ナデ?磨粒激しく詳細不明(外)タテハケ(6条/cm)下端はのちヨコナデ	橙	0.5~4mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒		
1922	SK2044	土師器	鉢	14.5			(内)ヨコナデのちハラミガキ?(外)口縁部ヨコナデ体部履しハケ/ハラケズリ	内・明黄褐 外・明黄	1~7mmの石英、1~4mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢IIA2
1923	SK2044	土師器	鉢	14.6			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部上位履しハケ/ナデ体部下位ハラケズリ	にぶい黄橙	0.5~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		鉢IIA2
1924	SK2044	土師器	鉢	12.2			(内)ナデ(外)口縁部ヨコナデ体部履しハケ/ハラケズリ	内・にぶい橙 外・橙	0.5~3mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		鉢IIA2
1925	SK2044	土師器	鉢	13.1	4.9		(内)口縁部ヨコナデ体部底面ナデのちハラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部履しハケ/ハラケズリ	にぶい橙	1~4mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	定形	鉢IIA2c

第95表 出土遺物観察表 (84)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1926	SK2044	土師器	鉢	17.0	3.7	7.0	(内)ナメハケのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部上位直しわ痕/ナデ体部下位タケキのちヘラケズリ	橙	1~14mmの石英、1mmの結晶片岩、砂粒		鉢ⅡA3a
1927	SK2044	土師器	鉢	16.1			(内)口縁部ヨコナデ体部ナデ?磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナデ?体部ヘラケズリ	内・にぶい黄橙 外・橙	1~4mmの石英、結晶片岩		鉢ⅡA2
1928	SK2044	土師器	鉢	23.6			(内)口縁部~体部上位磨耗激しく不明体部下位ヘラケズリ?磨耗激しく詳細不明(外)口縁部~体部上位磨耗激しく不明体部下位ヘラケズリ?磨耗激しく詳細不明	橙	0.5~2.5mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅠA2
1929	SK2044	土師器	鉢	17.6			(内)口縁部エビオサエのちヨコハケのちヨコナデ体部上位ナデ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部~体部上位タケキ体部下位ヘラケズリ	内・にぶい橙 外・にぶい黄橙	0.5~7mmの石英、1~7mmの結晶片岩、赤色炭粒、長石		鉢ⅡA4
1930	SK2044	土師器	有孔鉢	15.2	16.0		(内)口縁部ヨコナデ体部上位ナデ?体部下位タケキ体部下位~底部ヘラケズリ	橙	1~8mmの石英、1~5.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	完形	鉢ⅡG2c
1931	SK2044	土師器	体部				(内)ハケ(7本/cm)のハケ(外)ナデ	内・橙 外・明橙		内・水銀朱付着	
1932	SK2044	土師器	体部				(内)ハケ(7本/cm)のハケ(外)ナデ	橙		内・水銀朱付着	
1933	SK2044	土師器	体部				(内)ハケ(7本/cm)のハケ(外)ナデ	明橙	0.5~1mmの石英、砂粒	内・水銀朱付着	
1934	SK2044	土師器	体部				(内)ヘラケズリのちナデ(外)ヘラケズリのちナデ	内・にぶい黄橙 外・灰褐		内・水銀朱付着	
1935	SK2044	土師器	無須壺	7.0	8.2		(内)口縁部ヨコナデ体部上端ケズリ体部ケズリのち板ナデ底部ケズリのち板ナデ(外)口縁部エビオサエのちヨコナデ体部上位直しわ痕/ナデ体部下位~底部ヘラケズリ	橙	0.5~4mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒	完形	壺Ma
1936	SK2044	土師器	二重口縁壺	15.1			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・橙	0.5~4mmの石英、0.5~2.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Nb
1937	SK2044	土師器	広口壺	15.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデのちヘラミダキ	内・橙 外・にぶい橙	1~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1938	SK2044	土師器	広口壺	17.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5~3mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1939	SK2044	土師器	広口壺	17.8			(内)口縁部ヨコナデ底部直ナデ(外)ヨコナデ	橙	0.5~5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Ha1
1940	SK2044	土師器	広口壺	20.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ/ヨコナデ	にぶい橙	1~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Hk
1941	SK2044	土師器	広口壺	21.5			(内)ヨコナデ下位に一部ナメハケのちヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	0.5~3mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Hd
1942	SK2044	土師器	底部		5.5		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8&/cm)底部側面ヨコナデ?底部ハケ?磨耗激しく詳細不明	にぶい橙	0.5~4mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	底部	A③
1943	SK2044	土師器	底部		4.8		(内)ヘラケズリ(外)体部タテハケ(6&/cm)底部側面ヨコナデ底部ナデ?磨耗激しく詳細不明	内・にぶい黄橙 外・灰黄黒濁	0.5~1mmの石英、1.5mmの結晶片岩		A②
1944	SK2044	土師器	底部		5.5		(内)ヘラケズリ(外)底部側面ヨコナデ底部ハケ(7&/cm)	内・にぶい黄橙 外・灰黄濁	0.5~1mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩		A②
1945	SK2044	土師器	壺	15.7			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ	橙	0.5~4mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩	口縁部朝顔い2条の縦凹線	壺AEb
1946	SK2044	土師器	壺	13.2			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(9&/cm)	にぶい黄橙	0.5~1mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒	口縁部朝顔1条の縦凹線	壺AEB

第96表 出土遺物観察表(85)

番号	遺 標	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
1947	SK2044	土師器	甕	12.3			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部ナダ?磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ?体部磨耗激しく不明	にぶい殻	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		変AEh
1948	SK2044	土師器	甕	10.3			(内)口縁部ヨコナダ工具痕あり体部ヘラケズリ(外)口縁部タタキのちヨコナダ体部上位タタキのちナダ体部下位タタキのち部分的にナメハケ(9条/cm)	殻	0.5~4mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		変AGj
1949	SK2044	土師器	甕	16.2			(内)ヨコナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)	にぶい殻	0.5~1mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		変AEb
1950	SK2044	土師器	甕	15.3			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエのちナダ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(11条/cm)	内・にぶい殻 外・明焼	0.5~1mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		変AEd
1951	SK2044	土師器	甕	12.1			(内)口縁部ヨコナダ体部上部エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(14条/cm)	殻	0.5~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1線の縦凹線	変AEb
1952	SK2044	土師器	甕	16.4			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい殻	0.5~1mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		変AEb
1953	SK2044	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ヨコハケのちヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ?体部磨耗激しく不明	殻	0.5~5mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		変AEb
1954	SK2044	土師器	甕	13.5			(内)口縁部ヨコナダ体部上部エビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(9条/cm)体部上端に工具痕あり	内・灰黄 外・殻	1~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部1線の縦凹線	変AEb
1955	SK2044	土師器	甕	15.7			(内)口縁部ヨコナダ体部上位エビオサエのちナダ体部下位ヘラケズリ/底部近くはエビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部ナメハケ(10条/cm)	内・にぶい殻 外・にぶい殻 外・黄褐	1~7mmの石英、1~9mmの結晶片岩、赤色炭粒	口縁部弱い1線の縦凹線 体部外面内面下位炭化物付着	変AEVb
1956	SK2044	土師器	甕	14.9	25.5		(内)口縁部ナダ体部上指オサエ・ナダ側部下ヘラケズリ/底部僅かに指オサエ(外)口縁部~体部上端強いヨコナダ体部~底部ナダ(9~10本/1.4cm)	赤褐	0.5~3mmの結晶片岩、石英、砂粒、赤色炭粒		変AEVb
1957	SK2044	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ナメハケ(10条/cm)のちヨコナダ体部上位ヨコハケズリ体部下位タテヘラケズリ~高エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部上位ヨコハケ(11条/cm)体部中下位タテハケのち浅めのナメハケ	内・灰白 外・にぶい殻	1~2mmの石英、雲母、多量の角閃石		変HFVk 肩部外面列点4、体部中下位口縁部外面炭化物付着、外面ターレット状、肩部底下穿孔
1958	SK2044	石製品	砥石	5.8	3.6	2.8	裏裏2面を使用	流紋岩			
1959	SK2044	石製品	砥石	6.7	5.3	5.9	1面を使用	砂岩			
1960	SK2045	土師器	高杯			20.1	(内)ナメハケ(外)タテハケ全体に磨耗激しく詳細不明	にぶい殻	0.5~2mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		透かし穴
1961	SK2045	土師器	鉢	13.0			(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちヘラミダキ(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	内・灰灰 外・明黄褐	0.5~2mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅢA3
1962	SK2045	土師器	小型丸底鉢	12.0	13.7		(内)口縁部ナメハケ(5条/cm)のちナダ体部ヘラケズリ/エビオサエ(外)口縁部タテハケ(11条/cm)体部底部ヘラケズリのちナダ	内・にぶい殻 外・殻	1~2mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		小Cb
1963	SK2045	土師器	広口壺	24.2			(内)ヨコナダ/工具痕(外)ヨコナダ	内・にぶい殻 外・にぶい殻	0.5~1mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		変Hd
1964	SK2046	土師器	高杯	14.4			(内)ヨコナダ(外)口縁部上端タテハケのちヨコナダ口縁部上段タテハケ下位はのちヨコナダ	内・灰褐 外・にぶい殻	1~3mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1965	SK2046	土師器	高杯	16.7			(内)杯部底ナダのちヘラミダキ磨耗部しばり痕(外)口縁部ナメハケ(12条/1.6cm)/ヨコナダ体部ヘラケナダ磨耗部タテハケ	内・にぶい殻 外・灰黄褐	1~7mmの石英、2~4mmの結晶片岩、赤色炭粒		高B5

第97表 出土遺物観察表 (86)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
1966	SK2046	土師器	高杯	14.0	12.4	11.9	(内)体部敷ナダのちヘラムミガキ(外)口縁部ヘラケズリ(内)口縁部ナメハケのちナダ脚柱部ナメハケのちナダヘラムミガキ	内・にぶい 外・にぶい	0.5~3mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色炭粒、砂粒	完形	高B5
1967	SK2046	土師器	高杯	15.0	15.3	13.2	(内)口縁部ヘラムミガキ(3.0mm)ヨコナダ脚柱部ヘラケズリ(外)口縁部タナハケ(9&/cm)(7&/cm)ヨコナダ脚柱部ケズリのちヘラムミガキ(3mm)肩部上位ヨコヘラムミガキ下位タナハケ(9&/cm)	灰黄褐色	結晶片岩、多量の5~1.5mmの石英	完形	高B5
1968	SK2046	土師器	高杯	19.5			(内)ヨコナダ? (外)ヨコナダ? 全体に磨耗激しく詳細不明	橙	0.5~1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1969	SK2046	土師器	高杯	19.0			(内)ヨコナダのちナダヘラムミガキ? (外)ナダヘラムミガキのちナダ全体に磨耗激しく詳細不明	橙	1~3mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1970	SK2046	土師器	高杯				(内)脚柱部はぼり痕(外)ナメハケ(外)ナダ? 全体に磨耗激しく詳細不明	内・明黄褐色 外・橙	1~2mmの石英、3.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1971	SK2046	土師器	高杯			15.6	(内)ナメハケのちナダ(外)ナメハケのちナダ全体に磨耗激しく詳細不明	橙	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1972	SK2046	土師器	鉢	10.8			(内)ヨコナダ? 磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部ヘラケズリ	にぶい	0.5~2mmの石英、0.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		鉢ⅢA5
1973	SK2046	土師器	鉢	11.9	4.3		(内)タテヘラムミガキ(外)口縁部~体部上位磨しわ痕/ヨコナダ体部下位~底部ヘラケズリ	内・にぶい 外・灰黄褐色	結晶片岩、石英、1~2mm大の多量の砂粒	完形	鉢ⅢA5
1974	SK2046	土師器	鉢	15.9	7.3		(内)口縁部ヨコナダ体部ナダのちヘラムミガキ? 磨耗激しく詳細不明(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ痕(外)口縁部ヨコナダ体部縦しわ痕	内・にぶい 外・橙	1~8mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色炭粒	完形	鉢ⅢE9
1975	SK2046	土師器	小型丸底鉢	10.5			(内)エビオサエ/管ナダのちヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい 外・にぶい 外・にぶい	1~5mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1976	SK2046	土師器	小型丸底鉢	11.1			(内)口縁部強いヨコナダ/管ナダ体部ナダ(外)ヨコナダのちタテヘラムミガキ体部ヘラケズリのちヨコナダ	内・にぶい 外・にぶい 外・にぶい	結晶片岩、1~2mmの砂粒		小D1
1977	SK2046	土師器	小型丸底鉢	13.5			(内)ヨコナダのちヘラムミガキ? (外)口縁部ナダのちヨコヘラムミガキ体部ヘラケズリ	にぶい	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		小D2
1978	SK2046	土師器	広口壺	18.2			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	橙	0.5~3mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		
1979	SK2046	土師器	広口壺	18.5			(内)口縁部上位ヨコナダ口縁部ナダ(外)口縁部ナダ(外)ヨコナダ	にぶい	1~8mmの石英、1~10mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Hd
1980	SK2046	土師器	広口壺	19.5			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい 外・にぶい 外・にぶい	1~2mmの石英、0.5~3mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Hd
1981	SK2046	土師器	広口壺	20.2			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい	1~5mmの石英、0.5~1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺Hd
1982	SK2046	土師器	二重口縁壺	19.6			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい	1~3mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		壺Na
1983	SK2046	土師器	二重口縁壺	16.0	32.5		(内)口縁部~頸部ヨコナダ体部上エビオサエ体部下ヘラケズリ(外)口縁部~頸部ヨコナダ体部ハケ(10&/cm)	にぶい	0.5~5mm大の結晶片岩、石英を含む	完形	壺Ng
1984	SK2046	土師器	壺	16.3			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	にぶい	1~3mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺AeB
1985	SK2046	土師器	壺	15.7			(内)ヨコナダ(外)ヨコナダ	内・にぶい 外・にぶい 外・にぶい	1mmの石英、1mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺AeB
1986	SK2046	土師器	壺	13.5			(内)口縁部ヨコナダ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナダ体部タテヘラムミガキ(9&/cm)	橙	1~2mmの石英、1.5mmの結晶片岩、赤色炭粒		壺AeB

第98表 出土遺物観察表 (87)

番号	遺物	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴		胎土	備考	分類	
1987	SK2046	土師器	甕	16.7			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(11条/cm)		内・にぶい黄緑外・灰黄	0.5~3mmの石英、0.5~3.5mmの結晶片岩、赤色斑粒		変AEb
1988	SK2046	土師器	甕	12.1			(内)口縁部ヨコナデ体部上位ヘラケズリのうちエビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(11条/cm)		にぶい黄緑	0.5~3mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部1条の縦凹線	変AEb
1989	SK2046	土師器	甕	15.4			(内)口縁部ヨコナデのちヨコナデ体部上層エビオサエ体部下層ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(10条/cm)		にぶい黄緑	0.5~9mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色斑粒	体部外面下位炭化物付着	変AEb
1990	SK2046	土師器	甕	16.6			(内)口縁部ヨコナデ体部上層エビオサエ/ヘラケズリ体部下層ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(11条/cm)		内・にぶい黄緑外・にぶい黄緑	0.5~6mmの石英、0.5~5mmの結晶片岩、赤色斑粒		変AEb
1991	SK2046	土師器	甕	15.1			(内)口縁部ヨコナデ体部上位エビオサエ/ユビナデ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(9条/0.9cm)		にぶい黄緑	0.5~6mmの石英、1~6mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部1条の縦凹線体部外面下位炭化物付着	変AEb
1992	SK2046	土師器	甕	13.4	20.2		(内)口縁部ナデ体部上半部オサエ体部下層ヘラケズリ/底部階オサエ(外)口縁部ヨコナデ体部-底部タタキのちタテハケ		にぶい黄緑	0.5~2mmの結晶片岩、石英、黄石、赤色斑粒	ほぼ定形体部外面一部炭化物付着	変AEIV b⑤
1993	SK2046	土師器	甕	13.5			(内)口縁部ヨコナデ体部上位ヘラケズリのうちエビオサエ体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(12条/cm)		にぶい黄緑	1~8mmの石英、0.5~4mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部1条の縦凹線	変AEb
1994	SK2046	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエ/ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部ナメハケ(12条/1.5cm)		にぶい黄緑	1~9mmの石英、2~7mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部1条の縦凹線	変AEb
1995	SK2046	土師器	甕	13.1	21.5		(内)口縁部ヨコナデ体部上層エビオサエ/指ナデ体部下層-底部エビオサエ/ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナデ体部タテハケ(10条/cm)底部ナデ?		にぶい黄緑	1~4mmの石英、1~5mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部1条の縦凹線	変AEIV b⑤
1996	SK2046	土師器	底部			3.2	(内)エビオサエのちナデ(外)体部タテハケのちナデ?底部ナデ?全体に磨耗激しく詳細不明		黄緑	1mmの石英、3mmの結晶片岩、赤色斑粒		A②
1997	SX1004	土師器	二重口縁甕	21.4			(内)二次口縁部ヨコナデ一次口縁部ナメハケエビオサエのちナデ(外)ヨコナデ二次口縁部に一部深い指痕あり		黄緑	0.5~5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部外面5条の縦凹線	変Ne2
1998	SX1004	石製品	叩石	9.6	1.5	7.8				片岩		
1999	SX1004	石製品	不明	8.4	1.0	1.5				堆積岩		
2000	SX1004	石製品	砥石	3.4	1.0	3.7				砂岩		
2001	SX1004	金属	不明			1.4						
2002	SX1005	土師器	高杯		16.4		(内)ナデ?(外)ナデ?のちヘラミガキ?全体に磨耗激しく詳細不明		黄緑	0.5~2mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色斑粒	透かし穴	
2003	SX1005	土師器	広口壺	17.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ?のちヨコナデ磨耗激しく詳細不明		にぶい黄緑	0.5~6mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	
2004	SX1005	土師器	甕	16.0			(内)口縁部ヨコナデ体部エビオサエのちナデ(外)口縁部ヨコナデ体部磨耗激しく不明		黄緑	0.5~3.5mmの石英、結晶片岩、赤色斑粒	口縁部2条の縦凹線	変AEb
2005	SX1005	土師器	底部		2.1		(内)ヘラケズリのちナデ(外)体部縦ハケ/ナデ底部ナデ		内・にぶい黄緑外・にぶい黄緑	1mmの石英、結晶片岩		A④
2006	SX1005	土師器	底部		4.6		(内)ヘラケズリ(外)体部タタキのちタテハケ(8条/cm)底部外面ヨコナデ底部ハケ(8条/cm)		内・にぶい黄緑外・にぶい黄緑	1.5~5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		A④
2007	SX1005	土師器	底部		4.5		(内)エビオサエ/ヘラケズリ(外)底部外面タテハケのちヨコナデ底部ハケ(10条/cm)		内・にぶい黄緑外・にぶい黄緑	0.5~4mmの石英、0.5~2mmの結晶片岩、赤色斑粒		A④
2008	SX1005	土師器	底部		4.1		(内)エビオサエ/ヘラケズリ(外)体部タテハケ(8条/cm)底部ハケ?のちナデ?磨耗激しく詳細不明		内・淡黄緑外・黄	0.5~2.5mmの石英、0.5~1mmの結晶片岩		A④

第99表 出土遺物観察表 (88)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
2009	SX1005	土師器	底部				(内)体部下位ヘラケズリ底部エビオサエ (外)体部下位ハケのちヨコナデ底部ナデ	内・灰黄 濁・にぶ い黄橙	0.5~2.5mmの石英、0.5 mmの結晶片岩、赤色塵粒		A④
2010	SX1005	金属	不明	8.1		3.1					
2011	SX1007	土師器	鉢	15.6			(内)ヨコハケ(10条/cm)(外)縦しわ縦/ナ デ	内・にぶ い黄橙 外・灰黄 濁	0.5mmの石英、結晶片岩、 赤色塵粒		鉢ⅡA2
2012	SX1007	土師器	底部			3.9	(内)ヘラケズリ?(外)ヘラケズリ?のち ナデ	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い黄	1~2mmの石英、1 ~3mmの結晶片岩、赤色 塵粒		A④
2013	SX1008	土師器	広口壺	18.0			(内)ヨコナデ?(外)ヨコナデ?全体に書 刺痕しく詳細不明	黄	0.5~5mmの石英、0.5~ 2mmの結晶片岩、赤色塵 粒		
2014	SX1008	土師器	広口壺	18.7			(内)口縁部ヨコナデ頸部ヨコハケ?磨 減しく詳細不明(外)口縁部ヨコナデ頸部 磨減しく不明	黄	0.5~3.5mmの石英、0.5 ~5mmの結晶片岩、赤色 塵粒		変Hk
2015	SP2124	土師器	高杯	14.2			(内)杯底部ハケ裾部ヘラミガキ杯 底部ナデ脚柱部しほり痕(外)口縁部ヨコ ナデ体部ヘラケズリのちタテハケのちナ デのち下位は強いヨコナデ脚柱部タテハ ケ(8条/cm)	内・にぶ い黄橙 外・にぶ い黄	0.5~4mmの石英、1~ 3mmの結晶片岩、赤色塵 粒		高B5
2016	SP2124	土師器	高杯				(内)杯底部ハケ裾部ヘラケズリ(外)脚柱 部ハケのちナデ接合部エビオサエ	にぶい黄 橙	0.5~2mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩、赤色塵 粒		
2017	SP2124	土師器	高杯			12.7	(内)上位ナデ下位ヨコナデ(外)タテハ ケ(5条/cm)のち2mm幅のヘラミガキ上層は ヨコナデ	にぶい黄 橙	1~7mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩、赤色 塵粒		
2018	SP2124	土師器	二重口縁 壺	16.0			(内)ヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ頸部 ナメハケ(11条/cm)のちヨコナデ	にぶい黄 橙	0.5~4mmの石英、0.5~ 4mmの結晶片岩、赤色塵 粒		変Nd
2019	SP2136	土師器	二重口縁 壺	21.6			(内)口縁部ヨコナデ頸部ナメハケ(5条/ cm)(外)口縁部ヨコナデ口縁部ヨコナ デのちナデ頸部ナメハケ(5条/cm)	黄	0.5~1mmの石英、0.5~ 3mmの結晶片岩、赤色塵 粒		口縁部強い 2条の縦凹 線
2020	SP2136	土師器	壺	16.6			(内)口縁部ヨコナデ体部上部エビオサエ 体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナ デ体部ナメハケ(8条/cm)	内・にぶ い黄 外・にぶ い黄	0.5~2.5mmの石英、0.5 ~4mmの結晶片岩、赤色 塵粒		体部外面下 位炭化物付 着
2021	SD2019	土師器	鉢	10.7			(内)エビオサエのちヨコナデ(外)ナ デ	黄	0.5~4mmの石英、1~ 3mmの結晶片岩、砂粒		鉢ⅢA7
2022	SK2040	土師器	二重口縁 壺	24.3			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい黄 橙	1~5mmの石英、1~6 mmの結晶片岩、赤色塵 粒、砂粒		変Nb
2023	SK2036	土師器	壺	12.9			(内)口縁部ヨコナデ体部上部エビオサエ 体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナ デ体部ナメハケ体部下位タテハケ(10 条/cm)	内・にぶ い黄橙 外・黄	0.5~4mmの石英、1~ 2mmの結晶片岩、赤色塵 粒		口縁部1 条の縦凹 線
2024	第9調査 区	土師器	高杯	11.0			(内)ナデのちタテヘラミガキ(外)口縁部 ヨコナデ体部ヨコハケ(8条/cm)接合部付 近にヨコナデ	内・黒濁 外・黄	0.5~2.5mmの石英、0.5 ~2mmの結晶片岩、赤色 塵粒		杯部内面水 銀朱付着
2025	第10調査 区	土師器	高杯			15.0	(内)脚柱部ヘラケズリのちナデ頸部ナ デ(外)タテハケ(7条/cm)接合部付近にナ デ	内・黄 外・にぶ い黄	0.5~1mmの石英、0.5~ 1mmの結晶片岩、赤色塵 粒		透かし穴
2026	E-68	土師器	鉢	14.0			(内)ナデのち縦1.5mmのヘラミガキ(外)口 縁部ヨコナデ体部縦しわ痕/ヘラケズリ	内・灰黄 外・明黄 橙	0.5~2.5mmの石英、1~ 3mmの結晶片岩、赤色塵 粒		鉢ⅡA2
2027	第6層	土師器	広口壺	15.9			(内)口縁部ヨコナデ頸部ナデ(外)口縁 部ヨコナデ頸部ナデ?磨減しく詳細不 明	内・明黄 濁 外・黄	0.5~3mmの石英、0.5~ 2mmの結晶片岩、赤色塵 粒		
2028	第10調査 区	土師器	壺	16.3			(内)口縁部ヨコナデ体部上位エビオサエ 体部下位ヘラケズリ(外)口縁部ヨコナ デ体部タテキ	内・黄 外・黄 濁灰	0.5~4mmの石英、1~ 2mmの結晶片岩、赤色塵 粒		口縁部2 条の縦凹 線
2029	包含層	土師器	把手				ヘラケズリのちナ デ	にぶい黄 橙	0.2~3mmの石英、赤色 塵粒		

第100表 出土遺物観察表 (89)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	注 法・特 徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
2000	包含層	土師器	体部				(内)ナデ(外)ヘラケズリのちナデ	内・橙 外・黒褐	0.2~1.5mmの石英、結晶片岩	内面水銀朱付着	
2031	包含層	土師器	小型丸底鉢				(内)ヘラミガキ(外)口縁部ハケ体部ヘラケズリのちナデ	にぶい褐	0.8mmの結晶片岩	内面水銀朱付着	
2032	第6層	土師器	底部			4.7	(内)ヘラケズリ(外)体部ナデ?磨鈍しく詳細不明底部磨鈍しく不明	内・にぶい黄橙 外・灰白	0.5~3.5mmの石英、1~3mmの結晶片岩、赤色塵粒		
2033	包含層	須恵器	杯	13.3	4.5	8.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)不明	灰白	1~3mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、砂粒		
2034	包含層	須恵器	杯	13.4	4.2	9.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切り	灰白	0.5~1mmの石英、1mmの結晶片岩、砂粒		
2035	第3層	須恵器	底部			9.9	(内)体部ヨコナデ底部ユビオサエ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切り?のちナデ	灰白	0.5~2mmの石英、1~1.5mmの結晶片岩、砂粒		
2036	覆乱	須恵器	高杯				(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰	0.5~5mmの石英、1mmの結晶片岩		
2037	第2層	須恵器	蓋	11.0	3.2		(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ天井部回転ヘラ切りのちナデ	内・灰白 外・明青 灰	0.5~4mmの石英、結晶片岩、砂粒		
2038	包含層	須恵器	蓋			12.9	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰	1mmの石英、1~2mmの結晶片岩		
2039	包含層	瓦質	軒九瓦					灰	0.5~2.0mmの石英		
2040	第3層	瓦質	軒九瓦				ナデ	灰			
2041	包含層	瓦質	丸瓦				(凸面)タタキ				
2042	包含層	瓦質	均正徳唐承文軒平瓦				(凹面)板ナデ(凸面)板ナデ	凹・にぶい黄橙 凸・にぶい赤褐	1~6mmの石英、結晶片岩、赤色塵粒		
2043	第3層	金属	環	0.5	2.8						
2044	第2層	石製品	碧玉	5.1	0.4	0.9		ペールミントみずあさぎ	凝灰岩		
2045	第1層	銭貨	北宋銭	2.5	0.2						穴径0.7cm
2046	包含層	土師器	皿	10.1	1.2	8.0	(内)板ナデ(外)ナデ口縁部は底部の側面に嵌合	橙	1mmの結晶片岩、赤色塵粒		皿 s
2047	包含層	土師器	皿	7.7	1.2	5.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転糸切り	内・明赤 外・にぶい赤褐	結晶片岩		皿 s
2048	包含層	瓦器	鉢	11.7			(内)ナデのちヘラミガキ(外)口縁部ヨコナデ体部ユビオサエ	内・灰 外・黒灰	0.5~1mmの結晶片岩、砂粒		
2049	包含層	土師器	鍋	32.0			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	内・にぶい橙 外・黒褐	1~4mmの石英、1~2mmの結晶片岩、赤色塵粒		
2050	包含層	瓦質	羽釜	18.0			(内)ナデ(外)ナデ	灰白	0.2~0.5mmの石英・砂粒		
2051	包含層	土師器	御付鍋脚部				ケズリのちナデ	黒褐	3mmの石英、結晶片岩		
2052	包含層	土師器	御付鍋脚部				ヘラ状工具で磨ったあとナデ	橙	石英・砂粒多し		
2053	包含層	磁器	碗				青磁(外)裏弁文	灰			龍泉窯焼成不良
2054	第1層	磁器	碗	14.2			白磁	明緑灰	精良		口壳
2055	包含層	磁器	碗			5.2	青磁(内)底部に円形の鉄線(外)蓮弁文	オリープ灰			龍泉窯
2056	第3層	金属	不明	8.2	0.2						
2057	覆乱	金属	不明	7.9	1.6						1孔
2058	包含層	金属	不明	7.8	0.3						
2059	第3層	金属	不明	6.8	1.9						籠形
2060	第3層	金属	不明	0.2	2.8						リング状
2061	包含層	石器	石包丁	13.3	5.7	1.8			結晶片岩		
2062	包含層	石器	叩石	5.8	7.2	5.9			砂岩		
2063	覆乱	石器	大型輪刃石斧	9.9	4.9	8.0			砂岩		

第101表 出土遺物観察表 (90)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
2064	雑瓦	石器	石鏃	1.5	0.4	1.4			チャート		
2065	包含層	石器	石鏃	1.8	0.2	1.3			サヌカイト		
2066	包含層	石器	石鏃	1.5	0.4	0.8			サヌカイト		
2067	包含層	石器	石鏃	2.0	0.4	0.9			サヌカイト		
2068	包含層	動物	歯	1.9		1.2					
2069	包含層	動物	歯	1.7		1.8					
2070	SD1048	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)格子状タタキ	灰			
2071	SD1048	須恵器	杯	12.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白		外面自然釉	
2072	SD1048	土師器	皿	19.1	1.9	16.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りナデ	橙	結晶片岩、3mmの石英	外面赤彩痕	皿 f
2073	SD1048	土師質	杯	17.7	2.5	12.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ板ナデ(外底)回転ヘラ切りナデ	淡黄	結晶片岩、2mmの石英		
2074	SD1048	陶器	碗			4.2	ロクロ成形 疊付 砂付青 白泥/鉄輪 内面・流し掛け外面・硝毛目	灰オリーブ			肥前系
2075	SD1048	陶器	鉢			10.6	ロクロ成形 見込砂目鉄輪/白泥外・硝毛目高台内鉄輪	にぶい橙	0.1~0.2mmの雲母		肥前系
2076	SD1048	陶器	碗	10.0	6.1	3.9	ロクロ成形 灰輪 高台無輪	灰白			信楽系 小砂碗
2077	SD1048	磁器	銘口	6.9	5.8	4.6	ロクロ成形 染付草花文 疊付砂付青 内面無輪	灰白			肥前系
2078	SD1048	磁器	御酒徳利			4.1	ロクロ成形 染付内面無輪 雁化コバルト 型紙摺り	灰白			
2079	SD1048	磁器	碗	11.2	5.6	4.3	ロクロ成形 見込紙ノ目輪硝子染付	白			肥前系 漆塗 罌付蓋
2080	SD1048	磁器	碗	8.0	6.0	4.1	ロクロ成形 貼付高台 見込砂目 内・染付 見込面輪内「寿」除害虫 外・鉄輪	灰白			肥前系
2081	SD1048	磁器	碗			3.6	ロクロ成形 染付見込・梅花文外・菊花文	灰白			肥前系
2082	SD1048	磁器	碗			6.3	ロクロ成形 染付見込面輪内「寿」扇し外・山水文	灰白			肥前系 広東碗
2083	SD1048	磁器	皿			5.3	ロクロ成形 高台内ハリ跡 染付内・朝顔文外・草文	白			肥前系
2084	SD1048	磁器	皿	17.2	2.5	10.4	ロクロ成形 見込ハリ跡 染付	灰白			肥前系
2085	SD1048	磁器	皿	13.4	2.5	7.8	ロクロ成形 総ノ目四堂高台 染付山水文	白			肥前系
2086	SD1048	磁器	小皿	8.0	2.2	3.7	摺押成形 染付菊花散し文	白			瀬戸黄瀬系
2087	SD1048	磁器	香炉			4.3	ロクロ成形 三足貼付 染付 見込、高台無輪	灰白	黒粒		肥前系 高台に墨書
2088	SD1048	瓦質	羽釜	24.0	12.0		肩部以下を成形後、上位に口縁部を貼付ける 筒上方の2方向に粘土を貼付け穿孔孔(内)エビオヤエのちナデ(外)エビオヤエのちナデ	褐			底部外面炭化物の付着顕著
2089	SD1048	瓦	加工円盤	6.0	1.3		平瓦を打ち抜き、円盤状に研削	灰			
2090	SK1091	須恵器	壺			12.9	(内)ヨコナデ(外)ケズリヨコナデ	灰白	0.1~0.5mmの石英		高台に漆書痕
2091	SK1091	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)タタキのちヨコハケ(7/8・on)	灰			外面自然釉
2092	SK1091	土師器	瓦				(凹面)布目紋(凸面)渦巻紋タタキ	にぶい黄褐	石英、結晶片岩、赤色炭粒		
2093	SK1091	石器	叩石	9.7	4.9				砂岩		
2094	SK1091	石製品	不明	20.0	3.5		径3.0cmの穿孔				
2095	SK1091	土師器	不明			4.8	(内)ヘラケズリ(外)ヘラケズリ	赤	1.0~5.0mmの石英、結晶片岩		内面二次焼成
2096	SK1091	金属	不明	0.6	8.0						
2097	SK1093	土師器	壺	14.0			(内)ナデ(外)ナデ	にぶい橙	0.5~3.0mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒、砂粒		
2098	SK1093	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)格子状タタキ	灰			
2099	SK1093	土師器	杯	16.2	3.4	12.6	(内)ヘラケズリのちナデ(外)ヘラケズリのちナデ(外底)強いナデ	橙	1.0~4.0mmの石英、1.0~8.0mmの結晶片岩		外底・線刻面 内外面赤彩
2100	SK1093	須恵器	杯			11.0	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	黄灰	0.5~1.0mmの黒粒		

第102表 出土遺物観察表(91)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	技 法 ・ 特 徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
2101	SK1063	須恵器	杯			11.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)ヘラケズリ	灰白	0.2-1.0mmの石英		
2102	SK1063	須恵器	壺	16.0	2.0		(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白	0.5-2.0mmの長石		
2103	SK1094	石器	ナイフ型石器	1.8	4.8	6.5			ササカイト		図府型
2104	SK1094	土師器	甕	13.2	23.0		(内)口縁部ヨコナデ体部上ホスピオヤエのちハケのちナデ体部下ホラケズリ底部スピオヤエ(外)口縁部ヨコナデ体部ハケ(12本/cm)	内・橙外・明赤褐	1.0-3.0mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒		肩部穿孔1
2105	SK1094	須恵器	壺				(内)同心円文タタキ(外)タタキのちナデ	暗灰			
2106	SK1094	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)ハケ	灰白			
2107	SK1094	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)タタキのちハケ	灰			
2108	SK1094	土師器	小皿			5.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切り	橙	1mmの石英、赤色炭粒		
2109	SK1094	土師器	皿			19.5	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	赤褐	結晶片岩、石英		
2110	SX1009	土師器	壺	14.4			(内)不明(外)不明	内・にぶい黄橙外・浅黄橙	0.2-2.5mmの石英、結晶片岩、砂粒		
2111	SX1009	土師器	底部			8.4	(内)5.0mm幅のケズリ(外)15.0mm幅のケズリのちヨコナデ	内・にぶい黄橙外・黄灰	1.0-3.0mmの石英、結晶片岩		
2112	SX1009	土師器	底部			7.4	(内)指オサエのちナデ(外)ケズリのちナデ	内・赤褐外・にぶい赤褐	2.0mmの石英、結晶片岩		
2113	SX1009	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)格子状タタキのちハケ	黒褐	砂粒		
2114	SX1009	須恵器	甕				(内)口縁部ヨコナデ胴部同心円文タタキのちヨコナデ(外)口縁部ヨコナデ胴部格子状タタキ	灰白			
2115	SX1009	須恵器	壺	11.5	1.2		(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	外・灰内・灰白			
2116	SX1009	須恵器	壺				(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰白			
2117	SX1009	須恵器	壺				(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰			
2118	SX1009	土師器	碗			8.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	にぶい橙	2.0mmの結晶片岩、1.0mmの石英		
2119	SX1009	土師器	碗			8.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	橙	結晶片岩、赤色炭粒		内外面赤彩
2120	SX1009	土師器	碗			7.6	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	橙	0.5-3.0mmの石英、赤色炭粒		
2121	SX1009	土師器	皿	12.4	1.1	7.4	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切り	明赤褐	1.0mmの石英、結晶片岩		皿 a
2122	SX1009	土師器	杯	14.1	3.7	8.7	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切り	橙	0.5-1.0mmの赤色炭粒、結晶片岩		杯 c
2123	SX1009	黒色土器A類	碗			8.7	(内)ヘラミガキ底(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・黒外・橙	1.0-2.0mmの結晶片岩、2.0mmの赤色炭粒		
2124	SX1009	黒色土器A類	碗			8.4	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・褐灰外・にぶい橙	1.0-2.0mmの石英、砂粒		
2125	SX1009	黒色土器A類	碗			9.1	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・褐灰外・にぶい黄橙	0.2-3.0mmの石英・0.2-4.0mmの結晶片岩		
2126	SX1009	黒色土器A類	碗			8.8	(内)ヘラミガキ(外)ヘラケズリのちヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・黒外・橙	0.1-2.5mmの石英、1.0-3.0mmの結晶片岩、赤色炭粒		
2127	SX1009	黒色土器A類	碗			8.8	(内)ヘラミガキ(外)ヨコナデ(外底)回転ヘラ切りのちナデ	内・褐灰外・橙	0.5-2.0mmの石英、結晶片岩		
2128	SX1009	土師器	壺	9.9			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	赤褐	石英、赤色炭粒		
2129	SX1009	土師器	甕	14.0			(内)口縁部ヨコナデ体部ヘラケズリのちヨコナデ(外)ヨコナデ	にぶい橙	多量の石英、結晶片岩、砂粒		

第103表 出土遺物観察表 (92)

番号	遺構	分類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色調	胎土	備考	分類
2130	SX1009	土師器	甕	23.5			(内)口縁部ヨコハケ(6本/1.1cm)体部エビスエのちナデ(外)口縁部ヨコハケ(3本・1.2cm)体部ナメハケ(6~7本/1.8cm)	にぶい褐	多量の2.0~7.0mmの結晶片岩、1.0~5.0mmの石英		
2131	SX1009	土師器	甕	26.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	褐	多量の2.0~8.0mmの結晶片岩		
2132	SX1009	土師器	甕				(内)ヨコハケ(4本/cm)(外)タテハケ(4本/cm)ヨコハケタテハケ	褐	0.5~1.0mmの石英、結晶片岩		
2133	SX1009	土師器	甕	25.5			(内)ヨコハケ(5本/cm)(外)ハケ(3本/cm)	明赤褐	0.5~3.5mmの石英		
2134	SX1009	土師器	土師		1.0	4.6	胎に粘土を巻き付けて成形	褐	結晶片岩		
2135	SX1009	須恵器	杯	8.6			(内)ヨコナデ (外)ヨコナデ	灰白	細かい石英		
2136	SX1009	石器	撚石	10.5	3.3		両面中央部摩耗		砂岩		
2137	SX1009	石器	叩石	10.6	4.9				砂岩		
2138	SX1009	石器	不明	12.0	1.5				片石		
2139	SX1009	瓦質	甕				(上面)回転ナデ(下面)ナデ 摺り部分貼付 摺り筋花文	灰白	黒粒		
2140	SX1009	磁器	仏飯器	5.7	4.9	3.7	ロクロ成形 染付藍文	灰白	黒粒		肥前系
2141	SX1009	磁器	碗	7.0	5.5	3.5	ロクロ成形 染付青花文格子子 見込手 羅五弁花	灰白			肥前系
2142	SX1009	磁器	火入	8.7			ロクロ成形 見込砂付着 染付 内面無釉	灰白			肥前系 口縁部削ぎ状
2143	SX1009	磁器	小坏	7.6	3.3	2.6	ロクロ成形 染付若松双鳥文	灰白			肥前系
2144	SX1009	磁器	碗			4.0	ロクロ成形 見込純ノ目輪割ぎ砂付着 染付砂付着 内、高台内・染付 外・青磁	灰白			肥前系
2145	SX1009	磁器	紅皿	6.0	1.6	2.8	ロクロ成形 白磁	灰白	黒粒		肥前系
2146	SX1009	磁器	碗	7.8	3.6	2.8	ロクロ成形 染付華文	灰白			肥前系
2147	SX1009	磁器	碗	11.0	4.0	3.8	ロクロ成形 染付若松文 腰部・湯堂文	白	細かい黒粒		肥前系
2148	SX1009	磁器	皿	13.9	3.6	8.0	ロクロ成形 染付 見込高脚印五弁花 高台一重 内面無釉	灰白			肥前系
2149	SX1009	磁器	皿			7.0	ロクロ成形 見込純ノ目輪割ぎ 染付	灰白			肥前系
2150	SX1009	磁器	碗	10.9	6.7	5.7	ロクロ成形 染付砂付着 染付見込一重 内面(内)割し 山水文	灰白			肥前系 広東碗
2151	SX1009	磁器	瓶	1.5			ロクロ成形 染付華文	灰白			肥前系
2152	SX1009	磁器	蓋			4.0	ロクロ成形 染付見込二重内面山水文	灰白	黒粒		肥前系 撥高台
2153	SX1009	陶器	碗	8.8	5.2	3.1	ロクロ成形 鉄絵若松文 灰釉 高台無釉	灰白	霰粒々黒粒		信楽系 小砂碗
2154	SX1009	陶器	碗			3.8	ロクロ成形 灰釉 外・鉄絵 高台無釉	灰白	黒粒		信楽系 染付に墨書
2155	SX1009	陶器	碗	7.6		3.8	ロクロ成形 白泥イッタン掛け鉄絵梅折枝文 灰釉	灰白	長石、黒粒		信楽系
2156	SX1009	陶器	碗	9.5	4.8	3.4	ロクロ成形 内・白泥、透明釉 外・鉄絵、白泥イッタン掛け梅折枝文、透明釉	浅黄褐			信楽系
2157	SX1009	陶器	鉢			7.0	ロクロ成形 量付目跡4 内・灰釉 外金面・鉄釉	灰白			瀬戸美濃系
2158	SX1009	陶器	碗				ロクロ成形 内・鉄絵 外・鉄絵赤緑、灰釉	灰白	霰粒々黒粒		美濃系茶碗
2159	SX1009	陶器	碗	10.4	7.3	5.0	ロクロ成形 陶胎染付松竹文	灰白			瀬戸美濃系
2160	SX1009	陶器	碗	10.4	7.2	4.6	ロクロ成形 陶胎染付松文	淡黄			瀬戸美濃系
2161	SX1009	陶器	片口			8.8	ロクロ成形 見込目跡3 灰釉高台無釉	淡黄	石英		瀬戸美濃系
2162	SX1009	炆器	灯明皿	10.0	1.6	4.0	(内)ヨコナデ(外)ケズリ(外)回転糸切り内面塗土	赤褐			備前 口縁部部全周灯芯油痕
2163	SX1009	炆器	灯明皿	6.9	0.8	4.0	三角切込3(内)ヨコナデ(外)ケズリ(外)回転糸切りのちケズリ内面塗土	赤褐			備前
2164	SX1009	炆器	灯明皿	9.4	1.2		三日月切込3(内)ヨコナデ(外)ケズリ(外)左回転糸切り全面塗土	赤			備前 口縁部部散置所灯芯油痕

第104表 出土遺物観察表 (93)

番号	遺 構	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類	
2166	SX1009	磁器	灯明皿	11.2	1.9	5.0	三角切込(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転糸切りのちナデ全面産土 仕切縁部と外面・複重底	褐灰			備前	
2166	SX1009	土師器	皿	12.8	1.6	8.0	(内)ヨコナデ透明釉(外)ケズリ	靑			外面タール痕跡著	
2167	SX1009	陶器	蓋	5.3	1.5	2.8	ロクロ成形(内)鉄軸(外底)左回転糸切り	暗褐				大谷焼
2168	SX1009	陶器	瓶				ロクロ成形 鉄軸	暗褐				大谷焼 「口長」
2169	SX1009	土師器	瓶伊	21.5			(内)受け貼付 ナデ(外)ナデ 口縁部	にぶい赤褐				結晶片岩、砂粒 内面上部煤付著
2170	SX1009	土師器	きな(七厘部品)	14.8	1.2		板づくり 7穴穿孔	灰白	1.0~1.5mmの結晶片岩			
2171	SX1009	磁器	楕鉢	23.0	8.0	11.8	(内)器目8本/2.05cm、見込、不定形(外)体部、ロクロケズリ(口縁部内、外)ロクロナデ	赤	2.5mmの石英			堺明石系白神Ⅱ型式2段階、福原C2b類外・墨書口縁部・磨耗
2172	SX1009	磁器	楕鉢	33.4			(内)器目8本/2.9cm(外)体部ロクロケズリ(口縁部内、外)ロクロナデ	にぶい赤褐	1.0~2.0mmの石英			堺明石系白神Ⅱ型式
2173	SX1009	土師器	加工円盤	3.2	1.1		(上面)ケズリのちナデ(下面)ナデ	靑	0.1~0.2mmの石英、0.1mmの結晶片岩			
2174	SX1009	土師器	加工円盤	3.7	0.9		(上面、側面)ナデ(下面)未調査	にぶい靑	0.2~7.0mmの結晶片岩			
2175	SX1009	土師器	土人形				置押前後結合せ 空気穴1 色 紺魚・赤、黒・手・肌色、衣・黄土	浅黄靑	0.1mmの石英			
2176	SX1009	瓦葺	軒平瓦		3.9		均整書文(西面)ナデ(凸面)ナデ	灰	多量の1mmの石英			
2177	SX1009	金属	釘	6.3	0.8							
2178	SX1009	金属	釘	5.3	0.7							
2179	SX1009	銅	不明	4.2	0.3							
2180	SX1009	銅	煙管吸口	1.0	6.0	0.6	補強帯なし					古泉第4段階以降
2181	SX1009	土	土塊				焼土 指押圧による2条の凹帯					
2182	SX1009	鉄貨	寛永通宝	2.4								新寛永
2183	SX1009	石製品	火打石	2.1	0.9			グレーみの緑	チャート			
2184	SX1009	石製品	火打石	1.9	0.8			あかるいグレーみの緑	チャート			
2185	SK1092	須恵器	杯	18.7	2.7	14.2	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	灰	細粒			
2186	SK1092	須恵器	杯	14.7			(内)強いヨコナデ(外)強いヨコナデ、所々チナ方向のナデ	オリーブ黒	結晶片岩、1.0mmの黒色炭粒			
2187	SK1096	土師器	皿	16.5	1.9	12.8	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ	靑	0.5mmの石英、結晶片岩、赤色炭粒			風 d
2188	SK1096	瓦質土器	柄線型始器	43.7			口縁部内面に粘土を貼付け穿孔2(内)口縁部ナデ体部ヨコナ(外)口縁部ナデ底部指ササエのちナデ	褐	0.1~0.3mmの石英			
2189	SX1010	銭貨	1コペイカ	2.1			ロシアロマノフ王朝期1916年造					
2190	SK2053	石器	石剣	7.7	23.0							
2191	SK2053	陶器	碗			2.7	ロクロ成形 鉄絵彩文 鉄軸 高台無軸 見込砂付着	灰白				信楽系 小砂碗
2192	SK2053	竹	箸	50.0	11.0	43.0						
2193	SK1111	土師器	壺	12.2			(内)体部上位ユビオサエのちナデ、下位ケズリ(外)不明	にぶい靑	6.0mmの結晶片岩、1.0~2.0mmの石英			SK1112と道瀬岡組合
2194	SK1110	土師器	碗	13.9	5.5	6.3	(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ(外底)回転糸切り	灰黄褐				
2195	SK1111	磁器	小碗	7.3	3.2	2.3	白磁 墨付砂目	灰白				
2196	SK1114	磁器	灯明皿	7.3	1.0	4.5	ロクロ成形(内)ヨコナデ(外)ケズリ 全面産土	にぶい赤褐	0.2~0.4mmの石英			備前 口縁部1ヶ所 灯芯油痕

第105表 出土遺物観察表 (94)

番号	遺 標	分 類	器種名	口径	器高	底径	技法・特徴	色 調	胎 土	備 考	分 類
2197	SK1114	陶器	甕			21.8	紐づくり内・外・鉄輪 底部周辺白色粉付着	赤黒			
2198	包含層	土師器	銅				(内)強いヨコナデ(外)ケズリのちナデ	にぶい靨	1.0~7.0mmの結晶片岩、石英		
2199	包含層	須恵器	壺	13.4			(内)ヨコナデ(外)ヨコナデ 肩部2条の凹線	内・灰 外・淡黄	細かい砂粒		
2200	包含層	須恵器	甕				(内)口縁部ケズリのちヨコナデ肩部指オサエのちヨコナデ(外)ケズリのちヨコナデ	灰	1.0mmの砂粒、黒粒	外面自然釉	
2201	包含層	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)平行タタキ	灰白	0.1mmの石英、黒粒		
2202	包含層	須恵器	体部				(内)同心円文タタキ(外)平行タタキのちハケ	内・灰白 外・灰			
2203	包含層	土師器	銅				ケズリのちナデ上部指オサエ	靨	1.0~4.0mmの石英、7.0mmの結晶片岩		
2204	包含層	石器	石片	4.0	6.8		下部先端線刻顕著		砂岩		
2205	包含層	石製品	不明	2.8					緑色片岩		
2206	包含層	石器	叩石	4.2	10.5				砂岩		
2207	包含層	石器	不明	4.0					緑色片岩		
2208	トレンチ	磁器	小坏	8.4	3.3	2.8	ロクロ成形 白磁色胎「磨古瀬」	白			
2209	包含層	瓦質	火鉢				紐づくり 方形角上面・円内「匠」刷印	黒灰			
2210	包含層	土製品	泥面子	1.6	0.6		摺押成形	にぶい靨	0.1mm以下の石英		
2211	包含層	土製品	泥面子	1.6	0.8		摺技成形	靨	細かい砂粒		
2212	トレンチ	土製品	土人形	2.2	2.6		摺押成形 前後型合せ	にぶい靨	0.1mm以下の石英		
2213	SK1093	鉄	鉄屑							17点	
2214	SK2053	植物	松魁							7点	
2215	SK2053	植物	竹							2点	

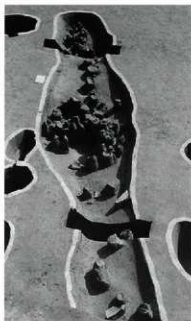
版 图



1. 第1調査区調査前風景



2. 第1調査区第2遺構面検出状況



3. SD2009検出状況



4. SK2008検出状況



5. SK2009検出状況



6. SK2014検出状況

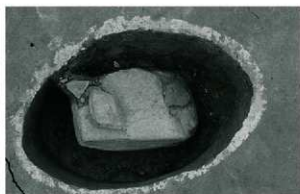


7. SK2011検出状況

図版 2



1. SP2029検出状況



2. SP2031検出状況



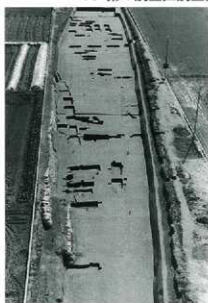
3. 第1調査区完掘状況



4. 第4調査区調査前風景



5. SX1002検出状況



6. 第4調査区
完掘状況



7. SZ2003検出状況



8. 第5調査区北壁土層



1. SZ2002
検出状況



2. SK1074検出状況



3. SX10004検出状況



4. 第9～12調査区調査前風景



5. SD1037検出状況(1)



6. SD1037検出状況(2)



7. SK1083検出状況



8. SK2044検出状況

図版 4



1. SK2046検出状況



2. 第10調査区西壁土層



3. SK1086検出状況



4. SD1044
検出状況



5. SD2020検出状況



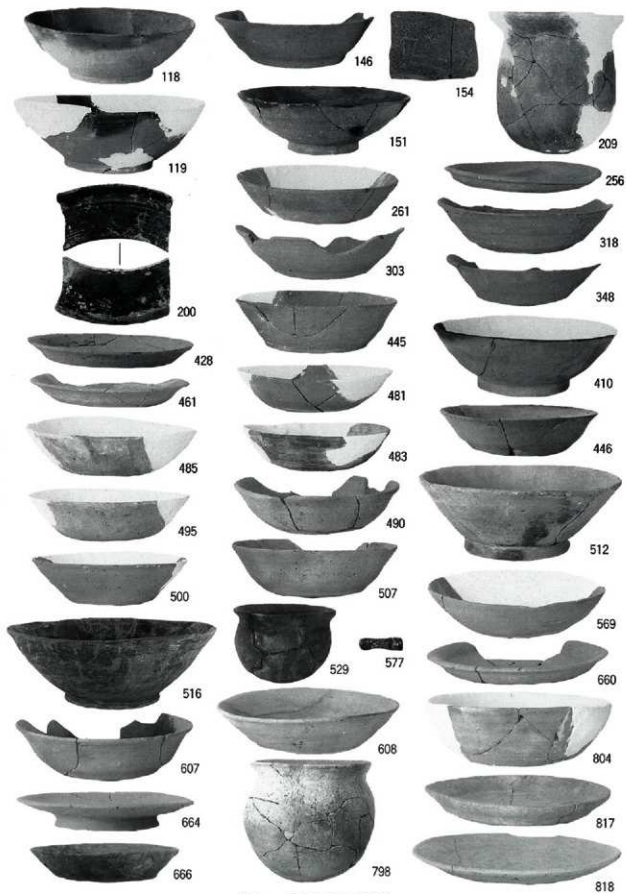
6. 第10調査区完掘状況



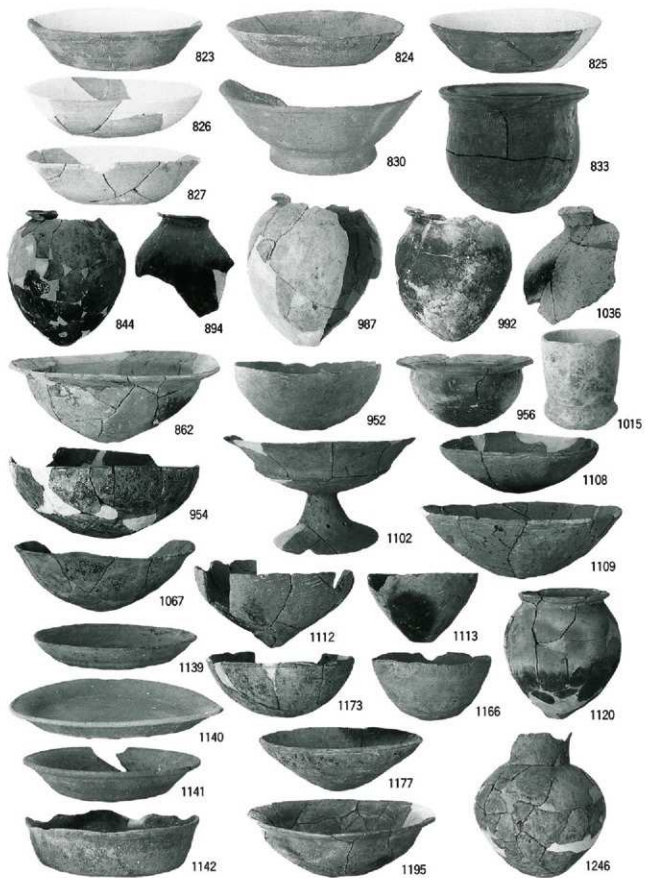
7. 第13調査区完掘状況



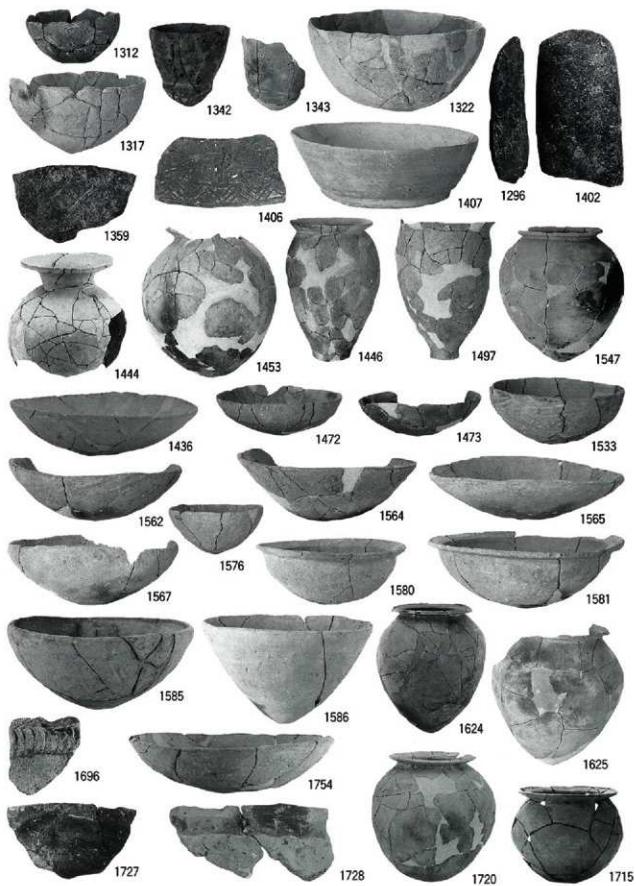
8. 第13調査区第2分割完掘状況



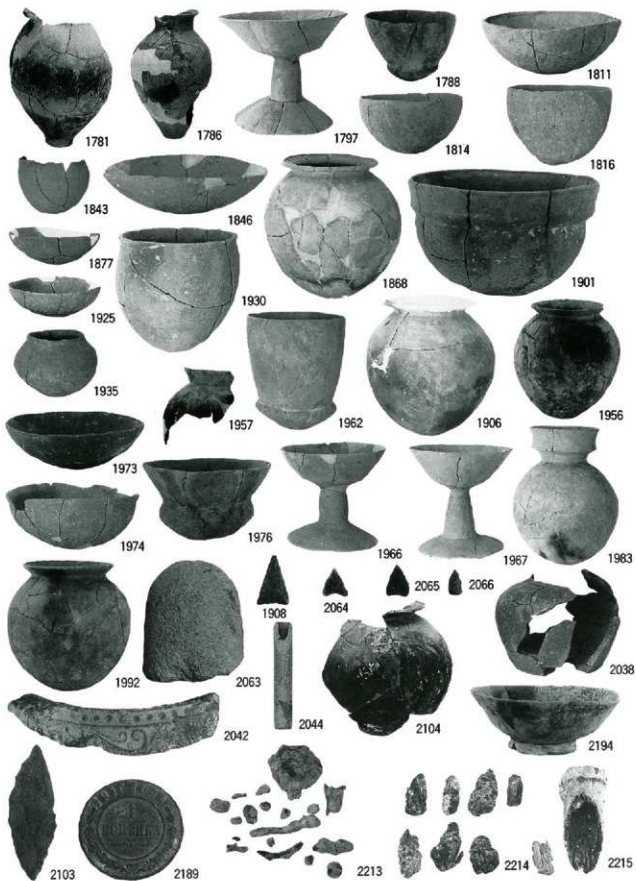
第1～4調査区出土遺物



第 1 ~ 5 調査区出土遺物



第5～10調査区出土遺物



第 6 ~ 13 調査区出土遺物

報告書抄録

ふりがな	いしいじょうのうちいせき いしい・かみやませんちく							
書名	石井城ノ内遺跡 石井・神山織地区							
副書名	主要地方道石井・神山織道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第23集							
編著者名	日下 正剛							
編集機関	財団法人 徳島県埋蔵文化財センター							
所在地	〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2 TEL 088-672-4545							
発行年月日	1999年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
石井城ノ内遺跡 石井・神山織地区	徳島県名西郡石井町石井字城ノ内	36341	—	34度3分19秒～ 34度3分42秒	134度25分57秒～ 134度26分3秒	1次 19920501～ 19921130 2次 19930401～ 19940331 3次 19940401～ 19941227 4次 19950401～ 19951228	850㎡ 1,700㎡ 2,700㎡ 1,300㎡	主要地方道石井・神山織道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

所収遺跡名	種別	主な年代	主な遺構	主な遺物	特記事項
石井城ノ内遺跡 石井・神山織地区	集落等	弥生時代終末期～古墳時代初頭	掘立柱建物 2棟 溝 33条 土坑 39基 土器溜り 2基 不明遺構 6基 柱穴・小穴 97基	旧石器（ナイフ型石器） 縄文土器、弥生土器、石器（石鏃、石庵丁、石斧）、土師器、黒色土器、須恵器、緑輪陶器、瓦類、瓦質土器、土師質土器、陶磁器、土製品、銭貨、金属製品、石製品、木製品、自然遺物	古墳時代初頭の遺構から、水銀朱付着の土器、石杵、石臼が出土。
		奈良・平安時代、近世	掘立柱建物 5棟 棚列 1基 溝 34条 土坑 95基 土器溜り 1基 不明遺構 2基 柱穴・小穴 115基		

徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第23集

石井城ノ内遺跡 石井・神山線地区

—主要地方道石井・神山線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

発行日 平成11年3月31日

編 集 財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
〒779-0108 徳島県板野郡板野町大伏字平山86番2
TEL (088) 672-4545

発 行 徳 島 県 教 育 委 員 会
財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

印 刷 株式会社教育出版センター